

中栗須邸前遺跡(22包蔵地)

中栗須邸前遺跡 (22包蔵地)

(主) 藤岡本庄線(中栗須工区)に
伴う埋蔵文化財発掘調査報告書



(主) 藤岡本庄線(中栗須工区)に
伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

二〇二〇

群馬県藤岡土木事務所
公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

2020

群馬県藤岡土木事務所
公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

中栗須邸前遺跡 (22包蔵地)

(主)藤岡本庄線(中栗須工区)に
伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

2020

群馬県藤岡土木事務所
公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

序

県道藤岡本庄線は、藤岡市森で県道前橋長瀬線から分岐し、埼玉県本庄市をつなぐ全長約13kmの主要地方道です。災害時の安全な交通区間の確保や地域活性化などのための工事に伴い、藤岡市22包蔵地を対象として平成27・29年度に発掘調査を実施しました。本報告書は、その調査成果について「中栗須邸前遺跡」として報告するものです。

中栗須邸前遺跡は、『日本書紀』安閑天皇2年(535)に記載された「緑野屯倉」と関連するとみられる緑塁の地名が近くに残されており、古墳時代から中央との関係が深かった地域と考えられています。また、律令の時代には、多胡郡の建郡に直接に関わった地域でもあります。

中栗須邸前遺跡では、6世紀後半から9世紀代の遺構・遺物が検出され、特に7世紀末から8世紀前半の掘立柱建物や須恵器盤は官衙に関連する可能性が高く、本地域の古代史を解明する上で貴重な発見であり、今後の研究に役立つものと確信しています。

発掘調査から報告書の刊行に至るまで、群馬県藤岡土木事務所、群馬県教育委員会、藤岡市教育委員会をはじめとする関係機関や地元の皆様には多大なるご尽力を賜りました。本報告書を上梓するにあたり、衷心より感謝申し上げます。

令和2年3月

公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
理 事 長 中野三智男

例　　言

1. 本書は、藤岡本庄線(下栗須工区)の平成27年度・29年度の埋蔵文化財の発掘調査である。群馬県教育委員会の確認調査および調整を経て、平成27年度は平成28年1月1日～平成28年3月31日、平成29年度は平成30年1月1日～平成30年2月28日の期間を発掘調査した。
中栗須郷前遺跡(22包蔵地)は、群馬県藤岡市中栗須282-4、287-2、287-10、287-11、287-12、465-7、467-11、467-12、467-13、467-14、468-4、470-5、471-3、471-6、471-7、472-5、472-6、475-3、606-3、608-2番地に所在する。
2. (1) 事業主体 群馬県藤岡土木事務所
(2) 調査主体 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
(3) 履行期間 平成27年度、平成27年12月1日～平成28年3月31日
　　〃 平成29年度、平成29年12月1日～平成30年3月31日
(4) 調査期間 平成27年度、平成28年1月1日～平成28年3月31日
　　〃 平成29年度、平成30年1月1日～平成30年2月28日
(5) 調査面積 平成27年度、1,733m² 1～4区
　　〃 平成29年度、539,5m² 5・6区
　　なお、本報告書は県文化財保護課調査立ち合い分(平成30年度分・7区)を含んでいる。
　　遺跡掘削工事 平成27年度、株式会社測研
　　〃 平成29年度、飯塚組
　　測量委託業者 平成27年度・29年度、アコン測量設計株式会社
3. (6) 調査体制 平成27年度 藤井義則 主任調査研究員
　　小野 隆 主任調査研究員
平成29年度 都木直人 主任調査研究員(1・2月)
　　千明 明 調査研究員(1月)
4. (7) 整理体制 整理期間 平成31年4月1日～令和2年1月31日
　　履行期間 平成31年4月1日～令和2年3月31日
　　整理担当 編集 友廣哲也 専門調査役
5. 本書作成担当 遺構写真 藤井義則 小野 隆 都木直人 千明 明
　　遺物観察 繩文土器 関口博幸 主任調査研究員
　　土師器 神谷佳明 専門調査役
　　石製品 津島秀章 資料2課長
　　金属製品 板垣泰之 専門員
　　陶磁器 矢口裕之 資料1課長
6. 石材の同定は、飯島静雄(群馬地質研究会)に依頼した。
7. 発掘調査と報告書の作成にあたり、群馬県教育委員会事務局文化財保護課、藤岡市教育委員会事務局のご指導、ご助言をいただきました。記して感謝します。
8. 発掘調査の記録資料と出土資料は、群馬県埋蔵文化財調査センターで保管している。

凡　　例

1. 本書で使用した座標値および方位は世界測地系、平面直角座標系第IX系で示した。挿図中に示した方位は座標北を示す。
単位はメートルである。
2. 等高線、遺構断面図等に記した数値は海拔標高を示す。
3. 遺構図、遺物図については、各挿図中にスケールを添付したが、原則下記の縮尺で掲載した。また、遺物写真の縮尺は、実測図と同一の縮尺を原則とした。
遺構図：竪穴建物 1/60　竈 1/30　竪穴状遺構 1/60　掘立柱建物 1/60　溝 1/100・1/60・1/40
土坑・ピット 1/40　焼土遺構 1/30　溜池状遺構 1/40
4. 遺構の掲載は遺構の種別ごとに遺跡全体を通し番号とした。
5. 本書に使用したスクリントーンの意味は、以下の通りである。
遺構図：焼土 捣乱 硬化面 炭化物
遺物図：灰釉 黒色 スス 磨り面
6. 遺構の数値は全容が計測できない遺構については残存値で示してある。
7. 本遺跡で確認できた軽石・火山灰は以下の通りである。
浅間Bテフラ As-B 天仁元年(1108)
8. 遺物観察表の表現及び記載法は、以下の通りである。
計測値の項目は以下の通りである。
口：口径 底：底径 高：器高
9. 本書で使用した地形図は以下の通りである。
国土地理院発行 1：50000地形図「高崎」 平成10年12月1日発行使用
国土地理院の電子地形図 1：25000「高崎」「藤岡」を使用
10. 土層注記については農林水産省農林水産技術会議事務局監修『新版標準土色帳』を使用した。

目 次

序	
例言	
凡例	
目次	
挿図目次	
表目次	
写真目次	
第1章 調査の経緯と事業の経過	1
第1節 調査に至る経過	1
第2節 調査の方法と経過	2
第3節 整理事業	2
第2章 遺跡の環境	4
第1節 遺跡の地理的環境	4
第2節 歴史的環境	4
第3節 基本土層	7
第3章 検出された遺構と遺物	8
第1節 竪穴建物	8
第2節 竪穴状遺構	55
第3節 挖立柱建物	60
第4節 土坑	65
第5節 溝	75
第6節 燃土遺構	87
第7節 淀池状遺構	87
第8節 ピット	88
第9節 遺構外	104
第4章 まとめ	105
遺物観察表	108
土坑計測値一覧表	127
溝計測値一覧表	128
ピット計測値一覧表	129
写真図版	
報告書抄録	
奥付	
付図1 全体図(1:400) 基本土層(1:20)	
付図2 調査坑全体図(1:400)	
調査坑基本土層(1:20)	

挿図目次

第1図 道路位置図(国土地理院1:50,000「高崎」平成10年12月1日発行 使用)	1	第56図 27号竪穴建物出土遺物(2)	53
第2図 調査区位置図	3	第57図 28号竪穴建物と出土遺物	54
第3図 周辺遺跡(国土地理院の電子地形図1:25,000「高崎」「藤岡」使 用)	5	第58図 29号竪穴建物と出土遺物	54
第4図 1号竪穴建物	8	第59図 1号竪穴状遺構と出土遺物	55
第5図 1号竪穴建物出土遺物	9	第60図 2号竪穴状遺構と出土遺物(1)	56
第6図 2号竪穴建物	9	第61図 2号竪穴状遺構出土遺物(2)	57
第7図 2号竪穴建物掘り方・図と出土遺物	10	第62図 3号竪穴状遺構と出土遺物	58
第8図 3号竪穴建物	11	第63図 4号竪穴状遺構	58
第9図 3号竪穴建物出土遺物	12	第64図 5号竪穴状遺構と出土遺物	59
第10図 4号竪穴建物と出土遺物	12	第65図 1号擬立柱建物	60
第11図 5号竪穴建物	13	第66図 1号擬立柱建物上断面と出土遺物	61
第12図 5号竪穴建物出土遺物	14	第67図 2号擬立柱建物	62
第13図 6号竪穴建物	15	第68図 2号擬立柱建物上断面	63
第14図 6号竪穴建物出土遺物	16	第69図 2号擬立柱建物と出土遺物	64
第15図 7号竪穴建物	17	第70図 1号~4号土坑	65
第16図 7号竪穴建物と出土遺物(1)	18	第71図 5号~10号土坑	66
第17図 7号竪穴建物出土遺物(2)	19	第72図 11号~19号土坑	67
第18図 8号竪穴建物	20	第73図 20号~22号・27号・28号・30号土坑	68
第19図 8号竪穴建物と出土遺物(1)	21	第74図 31号~35号・38号土坑	69
第20図 8号竪穴建物出土遺物(2)	22	第75図 36号~37号・39号~41号土坑	70
第21図 9号竪穴建物と出土遺物	23	第76図 42号~52号土坑	71
第22図 10号竪穴建物	24	第77図 53号~57号土坑	72
第23図 10号竪穴建物出土遺物	25	第78図 4号~7号・8号・15号・22号・35号・36号土坑出土遺物	73
第24図 11号竪穴建物(1)	26	第79図 37号~38号・40号~42号・52号・54号土坑出土遺物	74
第25図 11号竪穴建物(2)	27	第80図 1号~2号溝と出土遺物	75
第26図 11号竪穴建物壠	28	第81図 3号溝と出土遺物	76
第27図 11号竪穴建物壠上	29	第82図 4号~6号溝と4号溝出土遺物	77
第28図 11号竪穴建物出土遺物(1)	30	第83図 5号溝	78
第29図 11号竪穴建物出土遺物(2)	31	第84図 5号溝エレベーション図と出土遺物	79
第30図 13号竪穴建物と出土遺物	32	第85図 7号溝	80
第31図 14号竪穴建物と出土遺物	32	第86図 7号溝出土遺物	81
第32図 15号竪穴建物	33	第87図 8号溝と出土遺物	82
第33図 15号竪穴建物上断面・壠	34	第88図 9号溝と出土遺物	83
第34図 15号竪穴建物出土遺物(1)	35	第89図 9号溝出土遺物	84
第35図 15号竪穴建物出土遺物(2)	36	第90図 10号~13号溝、10号溝出土遺物	85
第36図 15号竪穴建物出土遺物(3)	37	第91図 14号~16号溝、15号溝出土遺物	86
第37図 15号竪穴建物出土遺物(4)	38	第92図 1号池上遺構と出土遺物	87
第38図 15号竪穴建物出土遺物(5)	39	第93図 1号池池状遺構と出土遺物	87
第39図 16号竪穴建物	40	第94図 1号~15号ビット	88
第40図 16号竪穴建物出土遺物(1)	41	第95図 16号~31号ビット	89
第41図 16号竪穴建物出土遺物(2)	42	第96図 32号~46号ビット	90
第42図 16号竪穴建物出土遺物(3)	43	第97図 47号~61号ビット	91
第43図 17号竪穴建物と出土遺物	44	第98図 62号~78号ビット	92
第44図 18号竪穴建物	44	第99図 79号~96号ビット	93
第45図 19号竪穴建物	45	第100図 97号~111号ビット	94
第46図 19号竪穴建物出土遺物	46	第101図 112号~126号・129号ビット	95
第47図 20号竪穴建物と出土遺物	47	第102図 127号~128号・130号~145号ビット	96
第48図 21号竪穴建物と出土遺物	47	第103図 146号~159号ビット	97
第49図 22号竪穴建物と出土遺物(1)	48	第104図 160号~171号ビットと162号ビット出土遺物	98
第50図 22号竪穴建物出土遺物(2)	49	第105図 172号~186号ビット	99
第51図 23号竪穴建物と出土遺物	50	第106図 187号~202号ビット	100
第52図 24号竪穴建物と出土遺物	51	第107図 203号~219号ビット	101
第53図 25号竪穴建物と出土遺物	51	第108図 220号~235号ビット	102
第54図 26号竪穴建物	52	第109図 236号~254号ビット	103
第55図 27号竪穴建物と出土遺物(1)	52	第110図 道構外出土遺物	104
		第111図 上栗須道路1区4号擬立柱建物	106
		第112図 中栗須道路2区1号擬立柱建物	106

表 目 次

第1表 周辺遺跡一覧表	6	第4表 遺物観察表	108
第2表 1号擬立柱建物柱穴計測表	61	第5表 土坑計測値一覧表	127
第3表 2号擬立柱建物柱穴計測表	64	第6表 溝計測値一覧表	128
		第7表 ピット計測値一覧表	129

写真目次

PL. 1	1	1区1号竪穴建物全景 西から	PL. 9	1	2区8号竪穴建物上層断面 北から
	2	1区1号竪穴建物全景 西から		2	2区8号竪穴建物出土遺物 北から
	3	1区1号竪穴建物遺物出土状態 東から		3	2区8号竪穴建物出土遺物 南から
	4	1区1号竪穴建物掘り方全景 東から		4	2区8号竪穴建物出土状態 西から
	5	1区2号竪穴建物全景 西から		5	2区8号竪穴建物遺物出土状態 西から
	6	1区2号竪穴建物全景 西から		6	2区8号竪穴建物遺物出土状態 西から
	7	1区2号竪穴建物遺物出土状態 西から		7	2区8号竪穴建物出土状態 西から
	8	1区2号竪穴建物堆土確認 東から		8	2区8号竪穴建物床下土坑全景 西から
PL. 2	1	1区2号竪穴建物全景 西から	PL. 10	1	2区9号竪穴建物全景 北西から
	2	1区2号竪穴建物遺物出土状態 東から		2	2区9号竪穴建物全景 南東から
	3	2区3号竪穴建物全景 南西から		3	2区9号竪穴建物出土遺物 南から
	4	2区3号竪穴建物全景 東から		4	2区10号竪穴建物全景 西から
	5	2区3号竪穴建物掘り方工具類 東から		5	2区10号竪穴建物全景 西から
	6	2区3号竪穴建物掘り方工具類 東から		6	2区10号竪穴建物遺物出土状態 西から
	7	2区3号竪穴建物上層断面 南から		7	2区10号竪穴建物遺物出土状態 西から
	8	2区3号竪穴建物出土遺物 東から		8	2区10号竪穴建物出土遺物 西から
PL. 3	1	2区3号竪穴建物遺物出土状態 南西から	PL. 11	1	2区10号竪穴建物遺物出土状態 西から
	2	2区3号竪穴建物遺物出土状態 南から		2	2区10号竪穴建物遺物出土状態 西から
	3	2区3号竪穴建物出土遺物 南から		3	2区10号竪穴建物出土状態 西から
	4	2区3号竪穴建物出土遺物 東から		4	2区10号竪穴建物瓦・瓦片出土状態 西から
	5	1区4号竪穴建物全景 西から		5	2区10号竪穴建物瓦・瓦片出土状態 西から
	6	1区4号竪穴建物全景 東から		6	2区10号竪穴建物瓦出土状態 北から
	7	1区4号竪穴建物上層断面 東から		7	2区11号竪穴建物全景 南西から
	8	2区5号竪穴建物全景 南から		8	2区11号竪穴建物出土遺物 南から
PL. 4	1	2区5号竪穴建物上層断面 北東から	PL. 12	1	2区11号竪穴建物遺物出土状態 南西から
	2	2区5号竪穴建物遺物出土状態 北から		2	2区11号竪穴建物出土遺物 南から
	3	2区5号竪穴建物遺物出土状態 西から		3	2区11号竪穴建物出土遺物 南から
	4	2区5号竪穴建物上層断面 東から		4	2区11号竪穴建物出土状態 南から
	5	2区5号竪穴建物土坑1全景 北から		5	2区11号竪穴建物出土状態 南から
	6	2区5号竪穴建物全景 南から		6	2区11号竪穴建物出土状態 南から
	7	2区5号竪穴建物出土遺物 東から		7	2区11号竪穴建物出土状態 南から
	8	2区5号竪穴建物上層断面 北から		8	2区11号竪穴建物出土遺物 出土状態 南から
PL. 5	1	1区6号竪穴建物全景 南西から	PL. 13	1	2区11号竪穴建物出土遺物 東から
	2	1区6号竪穴建物全景 南西から		2	2区11号竪穴建物出土遺物 南東から
	3	1区6号竪穴建物使用面 南から		3	2区11号竪穴建物出土遺物 南西から
	4	1区6号竪穴建物上層断面 南東から		4	2区11号竪穴建物出土遺物 北東から
	5	1区6号竪穴建物上層断面 南東から		5	2区11号竪穴建物出土状態 南から
	6	1区6号竪穴建物出土遺物 南西から		6	2区11号竪穴建物出土状態 南から
	7	1区6号竪穴建物出土遺物 南西から		7	2区11号竪穴建物出土遺物 出土状態 南から
	8	1区6号竪穴建物出土遺物 南西から		8	2区11号竪穴建物出土遺物 出土状態 南から
PL. 6	1	1区6号竪穴建物出土状態 東から	PL. 14	1	2区11号竪穴建物鉄製品出土遺物 西から
	2	1区6号竪穴建物出土遺物 南東から		2	2区11号竪穴建物出土遺物 出土状態 東から
	3	1区6号竪穴建物出土遺物 東から		3	2区11号竪穴建物P1全景 南から
	4	1区6号竪穴建物出土遺物 東から		4	2区11号竪穴建物P3全景 南から
	5	1区6号竪穴建物P1 全景 東から		5	2区11号竪穴建物上層断面 南東から
	6	1区6号竪穴建物P2全景 南から		6	2区11号竪穴建物上層断面 南西から
	7	2区7号竪穴建物全景 南西から		7	2区11号竪穴建物上層断面 西から
	8	2区7号竪穴建物全景 南西から		8	2区11号竪穴建物上層断面 西から
PL. 7	1	2区7号竪穴建物遺物出土状態 西から	PL. 15	1	2区12号竪穴建物全景 南から
	2	2区7号竪穴建物遺物出土状態 西から		2	2区12号竪穴建物出土遺物 南から
	3	2区7号竪穴建物出土遺物 西から		3	2区12号竪穴建物上層断面 東から
	4	2区7号竪穴建物出土遺物 南西から		4	5区13号竪穴建物炭化物・遺物出土状態 南から
	5	2区7号竪穴建物出土遺物 南西から		5	5区13号竪穴建物炭化物・遺物出土状態 南から
	6	2区7号竪穴建物出土遺物 南西から		6	5区13号竪穴建物出土遺物 南西から
	7	2区7号竪穴建物遺物出土状態 南から		7	5区13号竪穴建物上層断面 南西から
	8	2区7号竪穴建物出土遺物 南から		8	5区14号竪穴建物全景 南から
PL. 8	1	2区7号竪穴建物遺物出土状態 西から	PL. 16	1	5区14号竪穴建物P1全景 東から
	2	2区7号竪穴建物出土遺物 南から		2	5区14号竪穴建物P2全景 東から
	3	2区7号竪穴建物出土遺物 東から		3	5区15号竪穴建物全景 南西から
	4	2区7号竪穴建物出土遺物 北から		4	5区15号竪穴建物全景 南から
	5	2区7号竪穴建物出土遺物 北から		5	5区15号竪穴建物遺物出土状態 西から
	6	2区7号竪穴建物出土遺物 南西から		6	5区15号竪穴建物遺物出土状態 東から
	7	2区7号竪穴建物鉄製品出土状態 西から		7	5区15号竪穴建物遺物出土状態 東から
	8	2区8号竪穴建物全景 西から		8	5区15号竪穴建物遺物出土状態 東から

PL. 17	1 5区15号竖穴建物遺物出土状態 東から 2 5区15号竖穴建物遺物出土状態 東から 3 5区15号竖穴建物出土遺物 東から 4 5区15号竖穴建物P1全景 東から 5 5区15号竖穴建物P2全景 東から 6 5区15号竖穴建物P3全景 南から 7 5区15号竖穴建物P4全景 東から 8 5区15号竖穴建物P5全景 東から	3 6区22号竖穴建物集石出土状態 西から 4 6区22号竖穴建物集石出土状態 西から 5 6区22号竖穴建物集石出土状態 西から 6 6区22号竖穴建物集石出土状態 西から 7 6区22号竖穴建物集石跡 西から 8 6区23号竖穴建物全景 西から
PL. 18	1 5区15号竖穴建物P6全景 東から 2 5区15号竖穴建物上坑1 全景 南から 3 5区15号竖穴建物上坑1 上層断面 南から 4 5区15号・18号・20号竖穴建物、56号土坑上層断面 北東から 5 5区15号・18号・20号竖穴建物上層断面 北から 6 5区16号竖穴建物全景 南から 7 5区16号竖穴建物全景 西から 8 5区16号竖穴建物全景 西から	1 6区23号竖穴建物遺物全景 西から 2 6区23号竖穴建物遺物出土状態 西から 3 6区23号竖穴建物出土遺物 西から 4 6区24号竖穴建物全景 西から 5 6区24号竖穴建物全景 東から 6 6区24号竖穴建物遺物出土状態 西から 7 6区24号竖穴建物遺物出土状態 西から 8 6区25号竖穴建物全景 西から
PL. 19	1 5区16号竖穴建物遺物出土状態 南から 2 5区16号竖穴建物遺物出土状態 南から 3 5区16号竖穴建物遺物出土状態 西から 4 5区16号竖穴建物遺物出土状態 南西から 5 5区16号竖穴建物遺物出土状態 西から 6 5区16号竖穴建物遺物出土状態 東から 7 5区16号竖穴建物遺物出土状態 西から 8 5区16号竖穴建物遺物出土状態 西から	1 6区25号竖穴建物P1全景 西から 2 6区25号竖穴建物遺物出土状態 西から 3 6区25号竖穴建物遺物出土状態 西から 4 6区25号竖穴建物遺物出土状態 西から 5 6区25号竖穴建物遺物出土状態 西から 6 7区26号竖穴建物全景 南西から 7 7区26号竖穴建物上層断面 南東から 8 7区27号竖穴建物遺物出土状態 東から
PL. 20	1 5区16号竖穴建物遺物出土状態 西から 2 5区16号竖穴建物遺物出土状態 西から 3 5区16号竖穴建物遺物出土状態 西から 4 5区16号竖穴建物遺物出土状態 北から 5 5区16号竖穴建物遺物出土状態 北から 6 5区16号・17号竖穴建物出土断面 北から 7 5区16号・17号竖穴建物全景 西から 8 5区17号竖穴建物遺物出土状態 南西から	1 7区27号竖穴建物遺物出土状態 北から 2 7区27号竖穴建物遺物出土状態 北東から 3 7区27号竖穴建物遺物出土状態 北東から 4 7区27号竖穴建物遺物出土状態 北東から 5 7区27号竖穴建物出土遺物 東から 6 7区28号竖穴建物全景 西から 7 1区1号竖穴状造構全景(北半分) 南東から 8 1区1号竖穴状造構全景(南半分) 北から
PL. 21	1 5区17号竖穴建物遺物出土状態 西から 2 5区17号竖穴建物出土遺物 西から 3 5区18号竖穴建物全景 南から 4 5区18号竖穴建物、56号土坑上層断面 北から 5 5区19号竖穴建物全景 南から 6 5区19号竖穴建物全景 西から 7 5区19号竖穴建物上層断面 南西から 8 5区19号竖穴建物上層断面 北西から	1 1区1号竖穴状造構上層断面 東から 2 1区2号竖穴状造構全景(7号～10号土坑) 北東から 3 1区2号竖穴状造構遺物出土状態 南西から
PL. 22	1 5区19号竖穴建物遺物全景 遺物出土状態 南から 2 5区19号竖穴建物遺物出土状態 南から 3 5区19号竖穴建物灰化物出土状態 南から 4 5区19号竖穴建物遺物出土状態 南から 5 5区19号竖穴建物遺物出土状態 南から 6 5区19号竖穴建物遺物出土状態 南から 7 5区19号竖穴建物遺物出土状態 南から 8 5区19号竖穴建物遺物出土状態 南から	4 1区3号竖穴状造構全景 東から 5 1区2号竖穴状造構全景 東から 6 1区2号竖穴状造構遺物出土状態 東から 7 1区2号竖穴状造構遺物出土状態 東から 8 1区2号竖穴状造構遺物出土状態 東から
PL. 23	1 5区19号・20号竖穴建物全景 南から 2 5区20号竖穴建物全景 北から 3 6区21号竖穴建物全景 西から 4 6区21号竖穴建物上層断面 西から 5 6区22号竖穴建物全景 西から 6 6区22号竖穴建物全景 西から 7 6区22号竖穴建物P1全景 西から 8 6区22号竖穴建物周溝 東から	1 2区4号竖穴状造構上層断面 南から 2 2区5号竖穴状造構全景 東から 3 2区5号竖穴状造構遺物出土状態 東から 4 2区5号竖穴状造構構出上層断面 東から 5 2区5号竖穴状造構全景 東から 6 2区5号竖穴状造構遺物出土状態 東から 7 2区5号竖穴状造構構出上層断面 東から 8 2区5号竖穴状造構遺物出土状態 東から
PL. 24	1 6区22号竖穴建物遺物出土状態 西から 2 6区22号竖穴建物遺物出土状態 西から 3 6区22号竖穴建物出土遺物 東から 4 6区22号竖穴建物遺物出土断面 東から 5 6区22号竖穴建物全景 西から 6 6区22号竖穴建物出土断面 北から 7 6区22号竖穴建物P1全景 西から 8 6区22号竖穴建物周溝 東から	1 1区2号掘立柱建物全景 北東から 2 1区2号掘立柱建物P 4～P 5 北東から 3 1区2号掘立柱建物全景 南から
PL. 25	1 6区22号竖穴建物集石出土状態 西から 2 6区22号竖穴建物集石出土断面 東から	1 1区2号掘立柱建物全景 北東から 2 1区2号掘立柱建物P 4～P 8 南西から 1 1区2号掘立柱建物 P 8 北から 2 1区2号掘立柱建物 P 7 北から 3 1区2号掘立柱建物 P 6～P 8 北東から 4 1区2号掘立柱建物 P 4 北東から 5 1区2号掘立柱建物 P 6 上層断面 南から 1 1区2号掘立柱建物 P 4～P 8 北東から 2 1区2号掘立柱建物 P 2・P 3 北から 1 1区2号掘立柱建物 P 1 西から 2 1区2号掘立柱建物 P 2 西から 3 1区2号掘立柱建物 P 2 西から

4	1区1号土坑全景	南から	8	1区8号溝馬の骨出土状態	北から	
5	1区2号土坑全景	東から	1	2区9号溝出土遺物	北から	
6	1区3号土坑全景	西から	2	1区10号溝	35号土坑全景	北から
7	1区4号土坑全景	西から	3	1区11号溝全景	北西から	
8	1区5号土坑全景	西から	4	1区12号溝全景	西から	
PL. 37	1	1区6号土坑全景	西から	5	5区13号溝全景	南から
2	1区7号土坑全景	東から	6	5区14号溝全景	南東から	
3	1区7号土坑遺物出土状態	南から	7	6区15号溝土坑断面(22号竖穴建物含)	北から	
4	1区7号土坑遺物出土状態	東から	8	1区1号潮池状遺構出土遺物	南西から	
5	1区8号土坑全景	東から	1	1区1号～10号ビット群全景	北から	
6	1区9号土坑全景	南から	2	1区1号ビット全景	南から	
7	1区10号土坑全景	東から	3	1区13号ビット全景	南から	
8	1区10号土坑遺物出土状態	西から	4	1区14号ビット全景	南から	
PL. 38	1	2区11号土坑全景	東から	5	1区15号ビット全景	南から
2	2区12号土坑全景	南東から	6	1区16号ビット全景	南から	
3	2区13号土坑全景	南から	7	1区14号～16号・32号ビット全景	南から	
4	2区14号土坑全景	北東から	8	1区19号ビット全景	南から	
5	2区15号土坑全景	東から	9	1区20号ビット全景	北から	
6	2区15号出土遺物	東から	10	1区54号ビット全景	東から	
7	2区15号土坑石出土状態	南から	11	1区56号ビット全景	南から	
8	1区16号土坑全景	南から	12	1区57号ビット全景	南から	
PL. 39	1	1区17号土坑全景	南から	13	1区58号ビット全景	南から
2	1区18号土坑全景	東から	14	1区64号ビット全景	西から	
3	1区19号土坑全景	西から	15	1区68号・69号ビット全景	西から	
4	1区20号土坑全景	東から	1	1区70号ビット上層断面	西から	
5	1区18～21号土坑群全景	東から	2	1区71号ビット全景	南から	
6	1区27号土坑全景	東から	3	1区72号ビット全景	南から	
7	1区28号土坑全景	東から	4	1区73号ビット全景	北から	
8	2区31号・32号土坑	17号ビット全景	5	1区74号ビット全景	北から	
PL. 40	1	2区32号土坑全景	南から	6	1区75号ビット全景	南から
2	1区35号土坑全景	南から	7	2区77号ビット全景	南から	
3	1区36号土坑全景	南から	8	2区78号ビット全景	南から	
4	1区36号土坑出土遺物	西から	9	2区79号ビット全景	南から	
5	1区37号土坑全景	南から	10	1区81号ビット全景	南から	
6	1区37号土坑馬の骨出土状態	北から	11	1区82号ビット全景	南から	
7	1区37号土坑馬の骨出土状態	北から	12	1区83号ビット全景	南から	
8	1区38号土坑上層断面	北から	13	1区84号ビット全景	南から	
PL. 41	1	1区39号土坑全景	北から	14	2区91号ビット全景	南東から
2	2区40号土坑全景	北から	15	2区92号ビット全景	南から	
3	2区41号土坑全景	西から	PL. 48	1	2区93号ビット全景	北から
4	2区41号出土遺物	北から	2	2区94号ビット全景	南から	
5	2区41号土坑出土遺物	東から	3	3区95号ビット全景	西から	
6	2区42号土坑全景	南から	4	2区96号ビット全景	南から	
7	2区43号・44号土坑全景	東から	5	2区98号ビット全景	南から	
8	1区45号土坑全景	西から	6	2区99号ビット全景	南から	
PL. 42	1	1区46号土坑全景	南から	7	2区100号ビット全景	南から
2	5区52号土坑全景	西から	8	2区101号ビット全景	南から	
3	5区54号土坑全景	南西から	9	2区102号ビット全景	西から	
4	5区54号土坑遺物出土状態	南西から	10	2区103号ビット全景	南東から	
5	5区54号土坑出土遺物	南西から	11	2区104号ビット全景	北から	
6	5区54号土坑出土遺物	南西から	12	2区105号ビット全景	北から	
7	5区54号土坑遺物出土状態	南西から	13	2区106号・109号ビット全景	南から	
8	5区54号土坑石製石斧出土状態	南西から	14	2区107号ビット全景	南から	
PL. 43	1	5区54号土坑臼出土壤状態	南西から	15	2区108号ビット全景	西から
2	5区55号土坑全景	南西から	1	2区110号ビット全景	南から	
3	7区57号土坑全景	南西から	2	2区111号ビット全景	北から	
4	1区1号溝出土遺物	東から	3	2区112号・114号ビット全景	西から	
5	1区1号溝全景	北西から	4	2区113号ビット全景	南から	
6	1区2号溝全景	南から	5	1区115号ビット上層断面	北から	
7	1区3号溝上層断面	西から	6	1区116号ビット全景	北から	
PL. 44	1	1区4号溝全景	南から	7	1区117号ビット全景	北から
2	1区4号溝出土遺物	東から	8	1区118号ビット全景	南から	
3	1区6号溝全景	南から	9	1区120号ビット全景	南から	
4	1区6号溝出土遺物	西から	10	1区121号ビット全景	南から	
5	2区7号溝全景	東から	11	1区122号ビット全景	南から	
6	1区8号溝全景	北東から	12	1区123号ビット全景	南から	
7	1区8号溝集石出土状態	北東から	13	1区124号・129号ビット全景	南から	

PL. 50	14	1区126号ビット全景 南から	5	6区211号ビット全景 西から
	15	2区128号ビット全景 南から	6	6区212号ビット全景 南から
	1	1区130号ビット全景 東から	7	6区214号ビット全景 西から
	2	1区131号・133号ビット全景 南から	8	6区215号ビット全景 東から
	3	1区134号・136号・152号ビット全景 南から	9	6区216号ビット全景 北から
	4	1区137号ビット全景 南から	10	6区217号ビット全景 東から
	5	1区138号ビット全景 南東から	11	6区218号ビット全景 東から
	6	1区139号ビット全景 南から	12	6区219号ビット全景 東から
	7	1区140号ビット全景 南から	13	6区220号ビット全景 東から
	8	1区141号ビット全景 南から	14	6区221号ビット全景 北から
	9	1区142号ビット全景 南から	15	6区223号ビット全景 東から
	10	1区143号・145号ビット全景 東から	PL. 55	1 6区224号ビット全景 東から
	11	1区146号ビット全景 南から		2 6区225号ビット全景 東から
	12	1区147号ビット全景 南から		3 6区226号ビット全景 東から
PL. 51	13	1区148号ビット全景 西から		4 6区227号ビット全景 東から
	14	1区149号ビット全景 東から		5 6区228号ビット全景 東から
	15	1区149号ビット出土遺物 南から		6 6区229号ビット全景 東から
	1	1区150号ビット全景 南から		7 6区230号ビット全景 南から
	2	1区151号ビット全景 南から		8 6区231号ビット全景 東から
	3	1区153号・155号ビット全景 南から		9 6区232号ビット全景 南から
	4	1区154号ビット全景 南から		10 6区233号ビット全景 南から
	5	1区156号ビット全景 西から		11 6区234号ビット全景 東から
	6	2区157号ビット全景 南から		12 6区235号ビット全景 東から
	7	2区159号ビット全景 南西から		13 6区236号ビット全景 東から
	8	2区160号ビット全景 南から		14 6区237号ビット全景 東から
	9	2区161号ビット全景 南から		15 6区238号ビット全景 東から
	10	2区162号ビット全景 西から	PL. 56	1 6区239号ビット全景 北から
	11	2区162号・163号ビット全景 南東から		2 6区240号ビット全景 東から
PL. 52	12	2区164号ビット全景 南から		3 6区241号ビット全景 西から
	13	2区158号・159号・164号・170号ビット全景 南西から		4 6区242号ビット全景 東から
	14	2区165号・166号ビット全景 南西から		5 6区243号ビット全景 東から
	15	2区167号・168号ビット全景 南から		6 6区244号ビット全景 東から
	1	2区169号ビット全景 南から		7 6区245号ビット全景 東から
	2	2区172号ビット全景 南から		8 6区246号ビット全景 東から
	3	2区175号ビット全景 南から		9 6区247号ビット全景 東から
	4	1区176号ビット全景 南から		10 6区248号ビット全景 東から
	5	1区177号ビット全景 北から		11 6区249号ビット全景 東から
	6	2区178号ビット全景 東から		12 6区250号ビット全景 東から
	7	2区179号ビット全景 南から		13 6区251号ビット全景 東から
	8	1区180号ビット全景 西から		14 6区252号ビット全景 西から
	9	1区182号ビット全景 南から		15 6区254号ビット全景 東から
	10	2区184号ビット全景 東から	PL. 57	1 1区1号旧石器調査坑 東から
	11	2区185号ビット全景 南から		2 1区5号旧石器調査坑 南から
PL. 53	12	2区186号ビット全景 南から		3 1区2号旧石器調査坑 西から
	13	5区187号ビット全景 北から		4 1区3号旧石器調査坑 南から
	14	5区189号ビット全景 南から		5 4区5号旧石器調査坑 南から
	15	5区190号ビット全景 南から		PL. 58 1号～5号壁穴建物出土遺物
	1	5区191号ビット全景 南から		PL. 59 6号・7号壁穴建物出土遺物
	2	5区192号ビット全景 南から		PL. 60 7号・8号壁穴建物出土遺物
	3	5区193号ビット全景 南から		PL. 61 8号～10号壁穴建物出土遺物
	4	5区194号ビット全景 南東から		PL. 62 11号壁穴建物出土遺物
	5	5区195号ビット全景 東北から		PL. 63 11号・13号・15号壁穴建物出土遺物
	6	5区196号ビット全景 南から		PL. 64 15号壁穴建物出土遺物
	7	5区197号ビット全景 北から		PL. 65 15号壁穴建物出土遺物
	8	5区198号ビット全景 北から		PL. 66 16号壁穴建物出土遺物
	9	6区199号ビット全景 東から		PL. 67 16号・17号壁穴建物出土遺物
	10	6区200号ビット全景 北から		PL. 68 19号・22号壁穴建物出土遺物
	11	6区201号ビット全景 東から		PL. 69 22号～25号・27号壁穴建物出土遺物
PL. 54	12	6区202号ビット全景 東から		PL. 70 27号～29号壁穴建物、1号・2号壁穴状遺構出土遺物
	13	6区203号ビット全景 東から		PL. 71 2号・3号・5号壁穴状遺構、1号・2号柱立柱出土遺物
	14	6区204号ビット全景 東から		PL. 72 4号・7号・8号・15号・35号・37号・38号土坑出土遺物
	15	6区205号ビット全景 東から		PL. 73 40号～42号・52号・54号土坑、1号～4号溝出土遺物
	1	6区207号ビット全景 東から		PL. 74 5号・7号・8号溝出土遺物
PL. 55	2	6区208号ビット全景 東から		PL. 75 8号・9号溝出土遺物
	3	6区209号ビット全景 南から		PL. 76 15号溝、1号施上遺構、1号池底状遺構、162号ビット、道構外出土遺物
	4	6区210号ビット全景 南から		

第1章 調査の経緯と事業の経過

第1節 調査に至る経緯

本書は、平成27・29年度(主)藤岡本庄線(中栗須工区)に伴う埋蔵文化財の発掘調査報告書である。本道路は、群馬県藤岡市で(主)前橋長瀬線から分岐する森を基点にし、埼玉県児玉郡上里町を経由し、埼玉県本庄市寿3丁目を終点とする道路である。全長約13kmを測り、発掘調査は藤岡市中栗須地を着手した。前橋を基点とする(主)前橋長瀬線の東にほぼ並行する形で本線が南北方向に走っている。

以下経緯を記載する。

平成26年5月16日に群馬県土整備部建設企画課から文化財保護課に事業照会があった。

平成26年6月群馬県教育委員会事務局文化財保護課(以下文化財保護課)は、事業地が22包蔵地内にあるため「試掘・確認調査が必要」と回答する。

平成27年5月27日群馬県藤岡土木事務所(以下藤岡土木

事務所)より文化財保護課に22包蔵地の確認調査の依頼があった。

平成27年6月4日文化財保護課は確認調査を実施し、竪穴建物等の遺構を検出・確認した。

平成27年6月8日文化財保護課は遺構を検出したため藤岡土木事務所に発掘調査が必要と通知する。

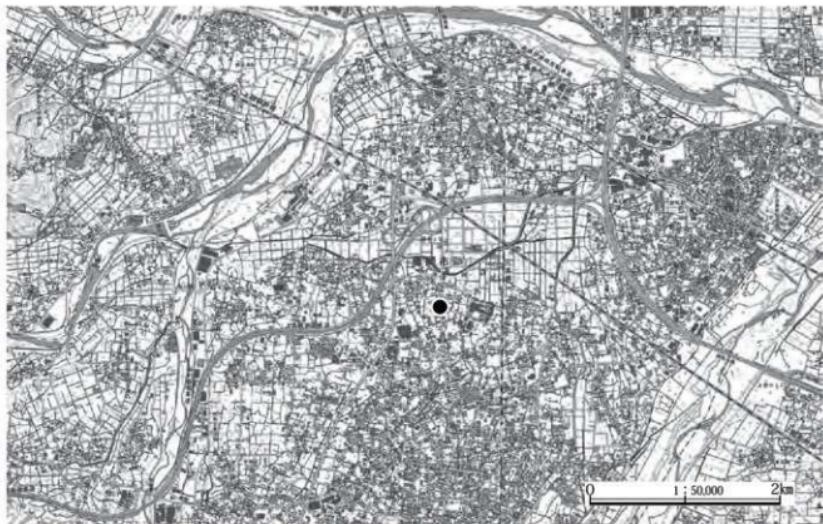
藤岡土木事務所からの委託により公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団(以下事業団)が発掘調査を実施した。

平成28年11月20日藤岡土木事務所は22包蔵地の確認調査を文化財保護課に依頼。

平成28年12月21日文化財保護課は確認調査を実施し、竪穴建物等が検出された。

平成29年3月27日文化財保護課は藤岡土木事務所に、遺構が検出されたため発掘調査が必要と通知した。

平成29年11月10日藤岡土木事務所は22包蔵地の文化財保護法94条通知を藤岡市教育委員会事務局文化財保護課(以下藤岡市教委)に提出。藤岡市教委は同日付で県に連達する。文化財保護課は「発掘調査」を藤岡土木事務所



第1図 道路位置図(国土地理院1:50,000「高崎」平成10年12月1日発行使用)

に勧告した。

本調査は藤岡土木事務所の委託により事業団が発掘調査を実施した。

平成30年6月6日藤岡土木事務所は藤岡市22包蔵地の文化財保護法94条通知を藤岡市教委に提出。藤岡市教委は同日付けで県に進達する。県教育委員会は「工事立会」及び「慎重工事」を藤岡土木事務所に勧告。

平成30年6月13日、平成30年7月1～3日文化財保護課は工事立会を実施。竪穴建物3棟の調査を実施し、遺構内から土師器等が出土した。(この部分は本報告書第7区として掲載。)

第2節 調査の方法と経過

以下年度ごとの概要を示す。

平成27年度調査

遺跡は藤岡市北部の藤岡台地の北縁に位置し、北は沖積低地にあたる小野地区に接している。標高は75mを測る。平成27年度の調査は平成28年1月1日から平成28年3月31日にかかる3ヶ月の調査である。同年の調査は中栗須交差点改良工事に伴う拡幅部の調査を実施した。このため道路に沿う形で発掘調査区を1～4区と設定し、1～4区の発掘調査を実施した。調査に際し、交差点の北東側を1区、北西側を2区、南西側を3区、南東側を4区に分け、順次1区から調査を開始した。調査区が交差点脇であることから掘削した表土を排出することができないため、各区とも調査区域を半分ずつに分け表土を掘削し、調査したのちに埋め土しながら、再度残りの半分を調査した。1区は交差点の角から北と東にあたるため、北側を1区北、東側を1区東と分割した。発掘調査は重機による表土掘削から始め遺構面の精査を経て、遺構の発掘、写真撮影、測量を行った。測量は測量会社に委託した。

それぞれの発掘区における遺構遺物を確認した。

1区は地表から約1～1.8m掘り下げた面で7～8世紀の竪穴建物5棟、竪穴状遺構2基、溝11条、土坑、ピットが確認された。1区内で地表面から約1.5mで、長さ300cm(10尺)、深さ60cm(2尺)の布掘りの掘立柱建物1棟が確認された。出土遺物、土層觀察から7世紀代に比定した。

2区は約1m掘り下げた面で遺構が確認できた。竪穴建物7棟、竪穴状遺構2基、掘立柱建物1棟、溝2条、土坑、ピットを検出した。

3区は約1.8m掘り下げた面で確認面に達した。半分以上は擾乱であったが、擾乱の間から遺構を確認した。竪穴状遺構1基、土坑1基、ピット1基を確認した。

4区は地表から約40cm掘り下げたところで確認面に達し、調査区内の半分以上が擾乱を受けていた。

平成29年度調査

当年度は5～7区の調査を実施した。7区については文化財保護課によって実施された工事立会の調査成果を当報告書中に掲載してある。調査地点が交通量や人の往来も多いため、掘削深度も深くなる等を考慮し、安全柵で調査区を確保した。掘削土の置き場は調査区内の空き地を借地し、廃土を置き、調査終了後に埋め戻した。

5区は地表から約1m掘り下げて遺構確認面に達した。遺構は竪穴建物8棟、土坑、ピットを確認した。当区には掘立柱建物、溝等の遺構は確認されていない。

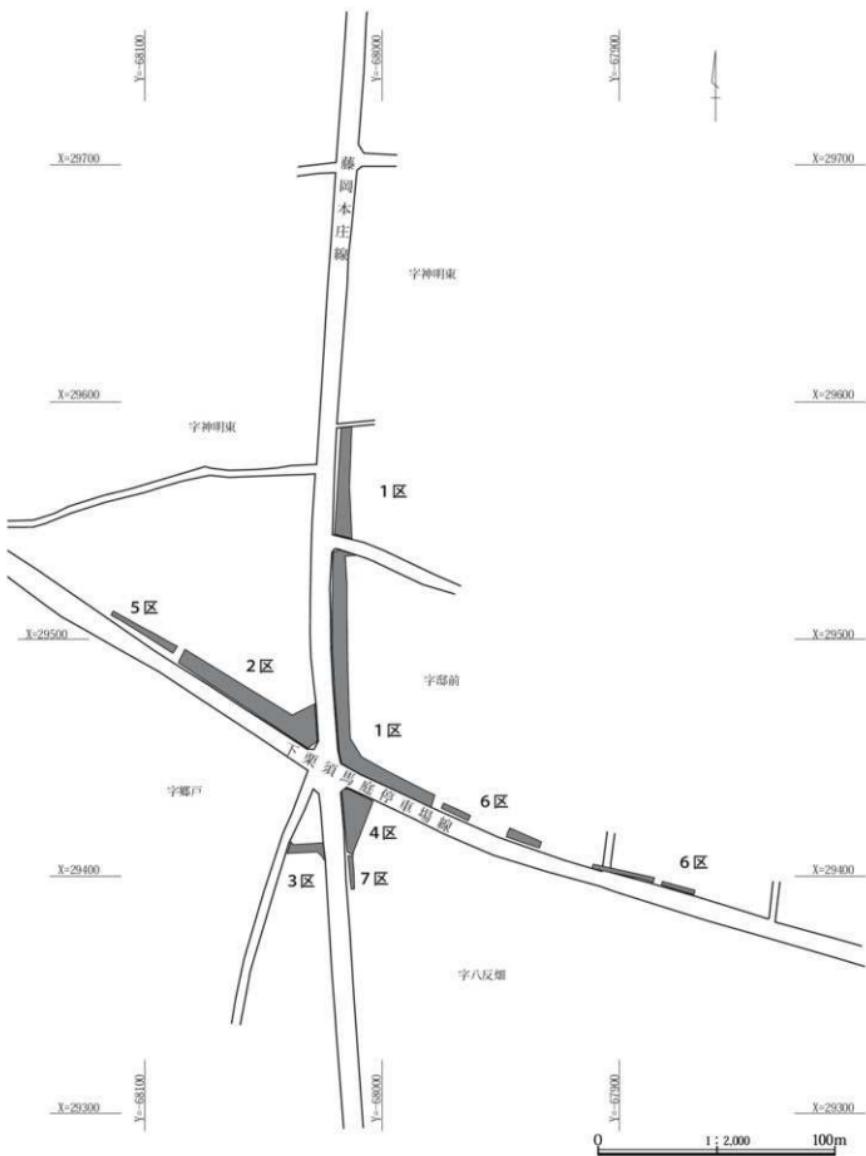
6区は表土から約1m掘削し、遺構確認面に達した。竪穴建物5棟が検出された。

7区は地表から約1m～1.8m掘り下げた面で遺構確認面に達した。竪穴建物3棟を確認した。

第3節 整理事業

発掘調査は平成27年7月から開始し、平成29年度に終了した。

整理事業は平成31年4月に開始され、令和2年1月31日に終了した。発掘調査中から県文化財保護課と藤岡市教委との間で22包蔵地の名称変更が検討され、中栗須^{なかくりす}跡前遺跡と改名され、本報告書は新たな遺跡名を使用して刊行した。出土した遺物や遺構の図面類はすべて事業団に集積し、報告書作成の作業は平成31年4月に開始した。作業は遺物の分類、図面の確認作業から始め遺物接合、復元、写真、実測、トレース作業、その後編集レイアウトを行い令和2年1月に終了した。



第2図 調査区位置図

第2章 遺跡の環境

第1節 遺跡の地理的環境

藤岡市は群馬県南西部に位置し、市域は東西に延びている。東部には神流川が南北に流下している。

道路は神流川を越えると埼玉県に入る。藤岡市の北西部には烏川、鍋川が流れ、高崎市と接している。南部には関東山地が連なり、藤岡市の地形は起伏に富んでいる。市内は南に広がる関東山地と繋がる丘陵、北部は鍋川から分岐し、南流する鮎川が構成した扇状地である藤岡台地、その北側に広がる沖積地によって構成される。中栗須邸前遺跡は藤岡市のほぼ中央に位置し、台地の北端に所在する。遺跡は神流川の右岸に所在し、標高は約75~80mを測る。

遺跡は上信越自動車道藤岡インターチェンジの南東約1.2kmに所在し、藤岡本庄線と県道174号線が交差する部分の拡幅工事に伴う発掘調査によって調査された。

中栗須邸前遺跡のある藤岡台地は細かく見ると神流川と鮎川の合流扇状地からなり、藤岡扇状地と呼ばれる。

台地を構成する扇状地堆積物は結晶片岩やチャート、砂岩などの岩石からなる砂礫層を主とする。藤岡粘土層は扇状地を構成する堆積物の一部である。台地の中央部には庚申山丘陵がある。

第2節 歴史的環境

藤岡市内には多くの遺跡が確認されている。

旧石器時代

藤岡市内の旧石器時代の遺跡は藤岡北山遺跡(37)、藤岡北山B遺跡(38)がある。遺跡は市街地の南に位置し、庚申山の北東にあたる字北山に所在する。北山遺跡は1983年に調査され、西毛地域では初めての大規模旧石器遺跡である。北山遺跡は3万年前のA T下位から台形様石器・ナイフ形石器を主体とし、多様な石材を用いた石器群と環状ブロック群を検出した。

北山B遺跡は1991年に調査され、北山遺跡の南西数百mにあり、A T下位3万年以前のローム層から文化層が

3面確認された。

白石大御堂遺跡(44)では約1万6千年前の尖頭器が出土している。

縄文時代

竪下・竪前遺跡(11)、中大塚遺跡(8)が確認されている。中大塚遺跡では敷石竪穴建物が確認されている。

早期の遺跡、中期の集落遺跡は藤岡北山遺跡、晚期になると中栗須に位置する谷地遺跡(4)では大量の耳飾りや土偶等が出土している。縄文時代の遺跡は早期から晚期まで途切れることなく確認されている。

弥生時代

立石地内にある沖II遺跡がある。注目されるのは弥生時代前末期にあたる伊勢湾沿岸周辺に出自が求められる水神平系の土器が出土していることである。また沖II遺跡では弥生時代中期の再葬墓も確認されている。

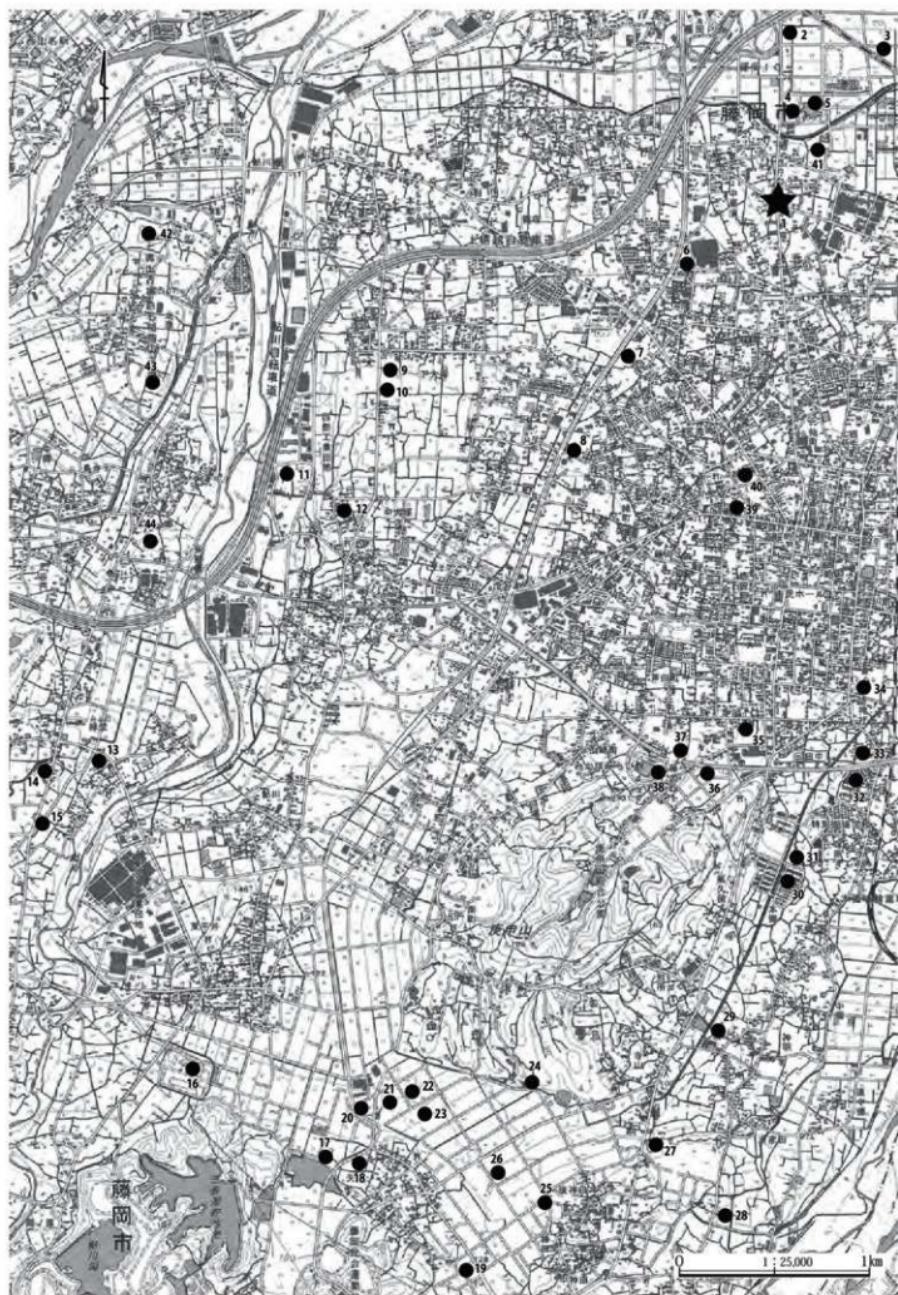
近年では県北部長野原町川原湯勝沼遺跡で縄文晩期から弥生前期にかかる水式並行と考えられる再葬墓が確認されている。白石大御堂遺跡からは遠賀川系と思われる土器片が出土している。弥生時代後期になると竹沼遺跡(15)があり、弥生時代から古墳時代にかかる時期の遺跡である。周溝墓等が確認されている。

古墳時代

藤岡市は古墳時代になると白石船荷山古墳(43)、七興山古墳(42)等の大型古墳が出現する。集落遺跡は縄張遺跡群(14)等が古墳周辺地域に確認されている。

奈良・平安時代

古墳時代に増える集落遺跡はこの時代に入るとさらに大きな集落を形成していく。しかし遺跡群は藤岡台地の先端部に集中し、低地部の水田耕作を開拓していったものと考えられる。



第3図 周辺遺跡(国土地理院の電子地形図1:25,000「高崎」「藤岡」使用)

第1表 周辺遺跡一覧表

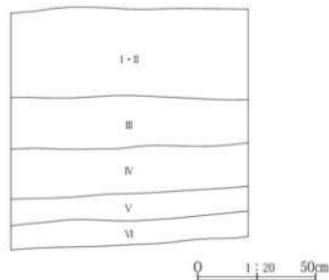
No.	遺跡名	所在地	種別	時代	備考	文献
1	中栄須部前遺跡	藤岡市中栄須白山 190-2	集落跡	古墳～平安	堅穴建物29軒、堅穴状遺構5基。擬立柱建物2棟、溝16条、土坑57基、ピット254基	本報告書
2	滻川遺跡	藤岡市森町	包藏地	縄文		『小野地区遺跡群』群馬県藤岡市教育委員会1982
3	小野地区遺跡群	藤岡市小野	生産址	平安		『小野地区遺跡群』群馬県藤岡市教育委員会1980
4	谷地遺跡	藤岡市中栄須	包藏地	縄文		『小野地区遺跡群』群馬県藤岡市教育委員会1982
5	神明北遺跡	藤岡市中栄須	包藏地	縄文		『小野地区遺跡群』群馬県藤岡市教育委員会1982
6	上栄須遺跡	藤岡市中栄須白山 寺東	古墳・ 集落	縄文～近世	縄文の土坑・方形周溝墓・古墳・奈良・平安の集落	『上栄須遺跡・下大塚遺跡・中大塚遺跡』(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団1989
7	下大塚遺跡	藤岡市三之久保、東原	集落跡	奈良・平安	集落	『上栄須遺跡・下大塚遺跡・中大塚遺跡』(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団1989
8	中大塚遺跡	市街道、中道他	集落跡	奈良～中世	集落、中世の道	『上栄須遺跡・下大塚遺跡・中大塚遺跡』(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団1989
9	中大塚城	中大塚字下郷	城館跡	戦国	複郭城跡、本丸の北・西・南の三方を圓心形と土居	『藤岡市道路延長詳細分布図』群馬県藤岡市教育委員会1983
10	平地神社古墳	中大塚字宮前	墳墓	古墳	人骨出土	『市指定史跡』昭和43年
11	滝下・滝前遺跡	中大塚滝下、滝前	包藏地	縄文～平安	方形周溝墓、擬立柱建物、道路状遺構	『滝下・滝前遺跡』群馬県藤岡市教育委員会1988
12	天神塚古墳	藤岡市中大塚字天神	墳墓	古墳	円墳、人骨出土	『群馬県史資料編』1988
13	緑壁上郷遺跡	藤岡市緑壁・白石	生産址	江戸・平安	齊藤代官屋敷跡、水田	『緑壁上郷跡群・緑壁上郷遺跡・竹沼遺跡』(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団1997
14	緑壁遺跡群	藤岡市緑壁・白石	生産址	江戸・平安	水田、畠、土坑、鍛冶街跡	『緑壁遺跡群・緑壁上郷遺跡・竹沼遺跡』(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団1997
15	竹沼遺跡	藤岡市緑壁字久保、 西平井	集落跡	弥生～平安	堅穴建物34軒	『竹沼遺跡』(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団1997
16	富士井戸Ⅲ C 遺跡	藤岡市東平井	集落跡、 包含層	縄文～近世	堅穴建物15軒、堅穴状遺構3基、集石土坑、ピット	『富士井戸Ⅲ C 遺跡』群馬県藤岡市教育委員会2012
17	倉谷戸B遺跡	藤岡市矢場字倉谷戸	集落跡	奈良・平安	堅穴建物14軒、井戸2基、溝	『矢場神明遺跡・倉谷戸B遺跡・矢場田中遺跡・松ノ木遺跡・道上D遺跡』群馬県藤岡市教育委員会2008
18	倉谷戸遺跡	藤岡市矢場字倉谷戸	集落跡	縄文～近世	堅穴建物17軒、土坑、井戸、土坑墓、溝状遺構、ピット	『八王子遺跡・打越遺跡・倉谷戸遺跡・三本木清水Ⅱ遺跡・八王子下遺跡・赤坂遺跡』群馬県藤岡市教育委員会1999
19	矢場前原遺跡	藤岡市矢場字前原	包藏地、 集落跡	巨石器～中世	堅穴建物203軒、堅穴状遺構7基、擬立柱建物8棟、横列状6条、溝21条、土坑125基、ピット662基	『矢場前原遺跡』群馬県藤岡市教育委員会2006
20	矢場三ッ橋II遺跡	藤岡市矢場	集落跡	古墳～中世	堅穴建物67軒、擬立柱建物、井戸、土坑	『矢場三ッ橋II遺跡』(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2012
21	道上D遺跡	藤岡市矢場字道上	集落跡	古墳～平安	溝10条、土坑、ピット	『矢場神明遺跡・倉谷戸B遺跡・矢場田中遺跡・松ノ木遺跡・道上D遺跡』群馬県藤岡市教育委員会2008
22	松ノ木田遺跡	藤岡市矢場字松ノ木田	集落跡	奈良・平安	堅穴建物81軒、井戸8基、溝14条	『矢場神明遺跡・倉谷戸B遺跡・矢場田中遺跡・松ノ木遺跡・道上D遺跡』群馬県藤岡市教育委員会2008
23	矢場田中遺跡	藤岡市矢場字田中	集落跡	平安	堅穴建物204軒、堅穴状遺構1基、溝63条、井戸7基、土坑37基	『矢場神明遺跡・倉谷戸B遺跡・矢場田中遺跡・松ノ木遺跡・道上D遺跡』群馬県藤岡市教育委員会2008
24	常岡城跡	宇外の平	城館跡	戦国	菱形の丘城、土財、腰曲輪	『群馬県古城址の研究下巻』1972
25	神田丸沢遺跡	藤岡市字神田	集落跡	古墳～近世	堅穴建物15軒、堅穴状遺構2基、擬立柱建物2棟、井戸2基、ピット1条、土坑1ピット287基、屋敷跡、畠、墨書き器、土師器、須恵器、灰釉陶器	『川除屋敷裏遺跡・神田丸沢遺跡・神田吼谷戸遺跡・神田池田遺跡・神田神明遺跡・神田吼谷戸B遺跡』群馬県藤岡市教育委員会2012
26	神田池田遺跡	藤岡市字神田	集落跡	平安	堅穴建物5軒、溝9条、土坑、ピット83基、土師器、須恵器、灰釉陶器「油」「真」の刻書き器他	『川除屋敷裏遺跡・神田丸沢遺跡・神田吼谷戸遺跡・神田池田遺跡・神田神明遺跡・神田吼谷戸B遺跡』群馬県藤岡市教育委員会2012
27	神田神明B遺跡	藤岡市神田字龍源寺	集落跡	古墳～中世	堅穴建物11軒、土坑5基、溝1条	『神田神明B遺跡』群馬県藤岡市教育委員会2017
28	川除屋敷裏遺跡	藤岡市字川除	集落跡	古墳～平安	堅穴建物41軒、堅穴状遺構3基、溝6条、土坑、ピット147基	『川除屋敷裏遺跡・神田丸沢遺跡・神田神明遺跡・神田吼谷戸B遺跡』群馬県藤岡市教育委員会2012

No.	遺跡名	所在地	種別	時代	備考	文献
29	常山古墳かね塚	本郷別所	墳墓	古墳	円墳 29.4×18×3 m	「群馬県遺跡台帳Ⅱ(西毛編)」1973
30	本郷埴輪京跡	本郷	生産地	古墳	埴輪京跡	「風上・群馬師範学校1958」
31	本郷山根道路	本郷山根	集落跡	古墳～平安	壁穴建物20軒、掘立柱建物1棟、溝3条、土坑10基	「本郷山根道路」(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団1989
32	堀之内遺跡群	藤岡市小林南、本郷	墳墓・集落跡	古墳～平安		「堀之内遺跡・舞草道跡・小林古墳群A、堀之内遺跡群」藤岡市史料編1982
33	ひょうたん塚	藤岡市本郷塚原321	墳墓	古墳	円墳東西28.7×南北20.5、高さ3 m	「群馬県遺跡台帳Ⅱ(西毛編)」1973
34	諏訪神社古墳	藤岡市藤岡町東裏	墳墓	古墳	前方後円墳	「東京人類学雑誌」群馬大学1910
35	一本松遺跡	外之平	集落跡	縄文～古墳	南に突出する舌状台地状。土師器・須恵器	「群馬県遺跡台帳Ⅱ(西毛編)」1973
36	山間遺跡	藤岡市藤岡子山間	生産地	石器一平安	丹戸3基	「藤岡市史資料編」藤岡市編さん委員会
37	藤岡北山遺跡	藤岡市藤岡子北山	集落跡	旧石器～平安	壁穴建物4軒	「藤岡市史資料編」藤岡市編さん委員会
38	藤岡北山B遺跡	藤岡市藤岡子北山	集落	旧石器～平安	壁穴建物20軒、土坑1基、墓壙32基、ピット	「藤岡北山B遺跡」群馬県藤岡市市教育委員会1995
39	奥浅間古墳	高崎道西1152	墳墓	古墳	円墳東西29×南北23、高さ4.6m	「群馬県遺跡台帳Ⅱ(西毛編)」1973
40	浅間神社古墳	高崎道西1152	墳墓	古墳	円墳東西43×南北38、高さ4.5m	「群馬県遺跡台帳Ⅱ(西毛編)」1973
41	中柴須瀧川II遺跡	藤岡市中柴須瀧川	集落跡	縄文～平安	壁穴建物60軒、列石、配石、土坑、墓壙、溝	「中柴須瀧川II遺跡」群馬県藤岡市市教育委員会1999
42	七ヶ所古墳	藤岡市上落合七ヶ所甲831	墳墓	古墳	前方後円墳140m、前方部幅100m、高さ18m、後円部径80m、高さ17m、二重削溝、国指定史跡。埴丘146mの前方後円墳の周囲、内堀の外側に中堤、外堀がある。	「七ヶ所古墳」VI・VII群馬県藤岡市教育委員会1991-1992、(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2010
43	白石福荷山古墳	藤岡市白石福荷原	墳墓	古墳	前方後円墳(170m)、後円部径93m、高さ13.5m、くびれ部幅50m、前方部長77m、高さ9.5m、前方部幅118m	「白石福荷山古墳」II後藤守一、相川龍雄 1987
44	白石大御堂遺跡	藤岡市大字白石字大御堂	寺院址	縄文～中世	壁穴建物2軒、掘立柱建物21棟、溝22条、墓壙31基、土坑7基、他	「白石大御堂遺跡」(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団1991

第3節 基本土層

本遺跡中柴須瀧前遺跡は藤岡本庄線の拡幅工事の調査である(第2図)。従って調査範囲は広いが、調査自体は狭い幅の調査である。このため各区によって基本土層が大きく異なることが指摘できる。

その中で5区の基本土層を代表して示す(付図1)。



付図1 基本土層A-A'
 I 表土
 II 泥炭、鉄分、凝集。
 III 暗褐色土(10YR3/4)As-B多く含む。
 IV 暗褐色土(10YR3/4)遺物包含層。
 V 暗褐色土(10YR3/3)ロームブロック混入、遺物包含層。
 VI 褐色土(10YR4/4)(ローム漂移相)ローム層混入、粘性あり、しまり強い。

第3章 検出された遺構と遺物

第1節 竪穴建物

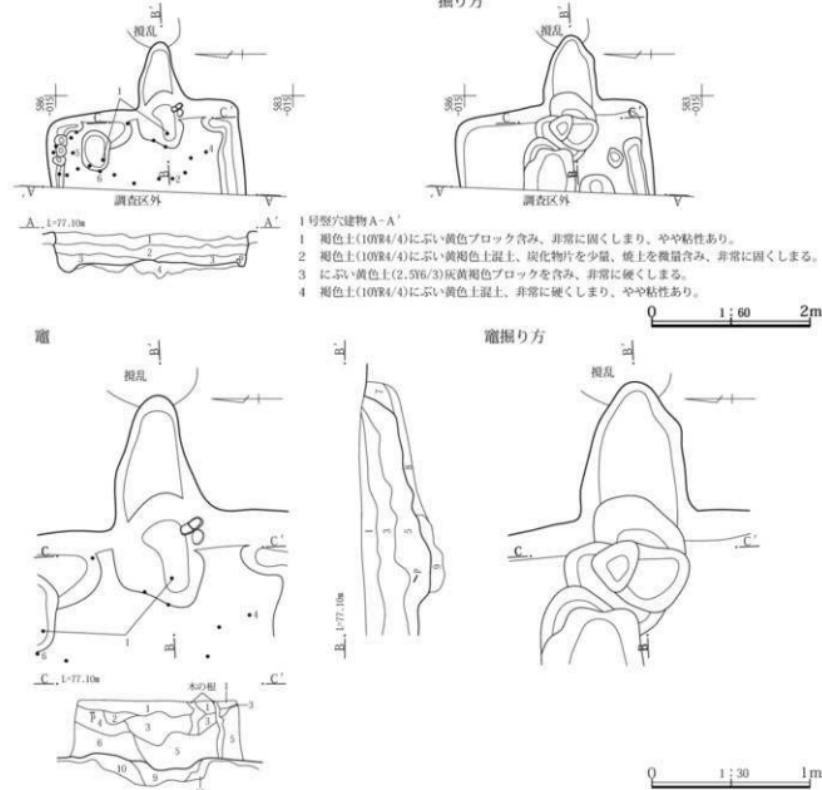
1区1号竪穴建物(第4・5図、PL. I・58)

1区北部に位置し、X=29,583～29,586、Y=−68,014～−68,016の範囲にある。

竪穴建物の西半部は遺跡調査区外に延び、東半部が残存している。形状は方形を呈するものと考えられる。

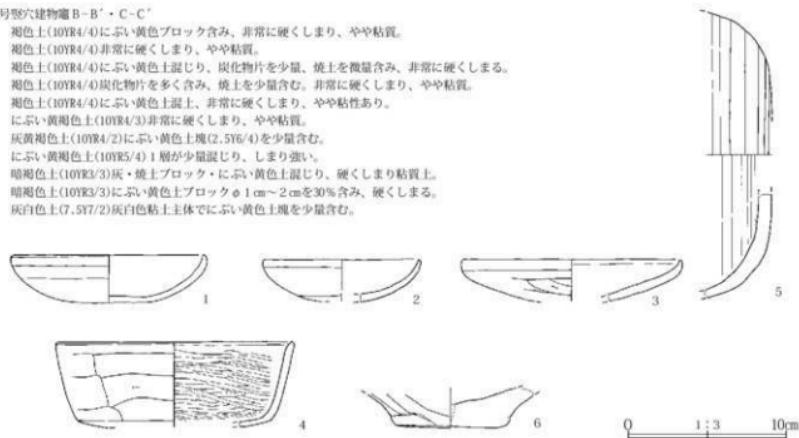
規模は長軸2.44m、短軸残存部で1.22m、壁高約45cmを測る。

主軸方位はN−87°—Eを指す。床面は平坦をなし、黄色粒を含む暗褐色土の硬い床面を造る。他の遺構との重複はない。壁周溝が南、北、東3壁に確認された。規模は幅14cm～31cm、深さ29cm～42cmを測る。竪は東壁やや南に付設されている。規模は長軸1.35m、袖幅56cm。貯蔵穴、柱穴等の施設は検出されていない。竪穴建物の確認面された面積は2.01m²を測る。時期は出土遺物から8世紀初頭である。



第4図 1号竪穴建物

- 1号窓穴建物B-B'・C-C'
- 褐色土(10YR4/4)に似る黄色ブロック含み、非常に硬くしまり、やや粘質。
- 褐色土(10YR4/4)非常に硬くしまり、やや粘質。
- 褐色土(10YR4/4)に似る黄色土混じり、炭化物片を少量、燒土を微量含み、非常に硬くしまる。
- 褐色土(10YR4/4)に似る黄色土混じり、燒土を多く含み、焼土を少量含む。非常に硬くしまり、やや粘質。
- 褐色土(10YR4/4)に似る黄色土混じり、非常に硬くしまり。やや粘性あり。
- に似る黄褐色土(10YR4/3)非常に硬くしまり、やや粘質。
- 灰黄褐色土(10YR4/2)に似る黄色土混じり、少額含む。
- に似る黄褐色土(10YR5/4)1層が少額混じり、しまり強い。
- 暗褐色土(10YR3/3)灰・燒土ブロックに似る黄色土混じり、硬くしまり粘質上。
- 暗褐色土(10YR3/3)に似る黄色土ブロックφ1cm~2cmを30%含み、硬くしまる。
- 灰白色土(7.5Y7/2)灰白色粘土主体で似る黄色土塊を少量含む。

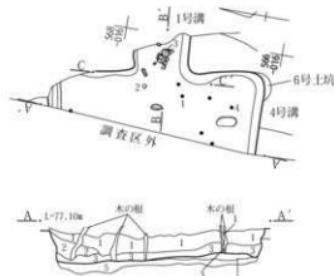


第5図 1号窓穴建物出土遺物

1区2号窓穴建物(第6・7図、PL. 1・2・58)

1区1号窓穴建物の南に位置し、X=29,566～29,568、Y=-68,015～-68,017の範囲にある。西半部は調査区外に延びている。形状は方形を呈するものと考えられる。規模は長軸2.69m、短軸1.05m、壁高約44～45cmを測る。主軸方位はN-85°-Eを指す。床面は平坦をなし、黄色ブロックを含む鈍い黄褐色土で硬い面を構成する。他の遺構との関係は東部で1号溝、南部で4号溝、6号土坑と重複する。新旧関係は2号窓穴建物が1号溝より旧く、6号土坑、4号溝より新しい。

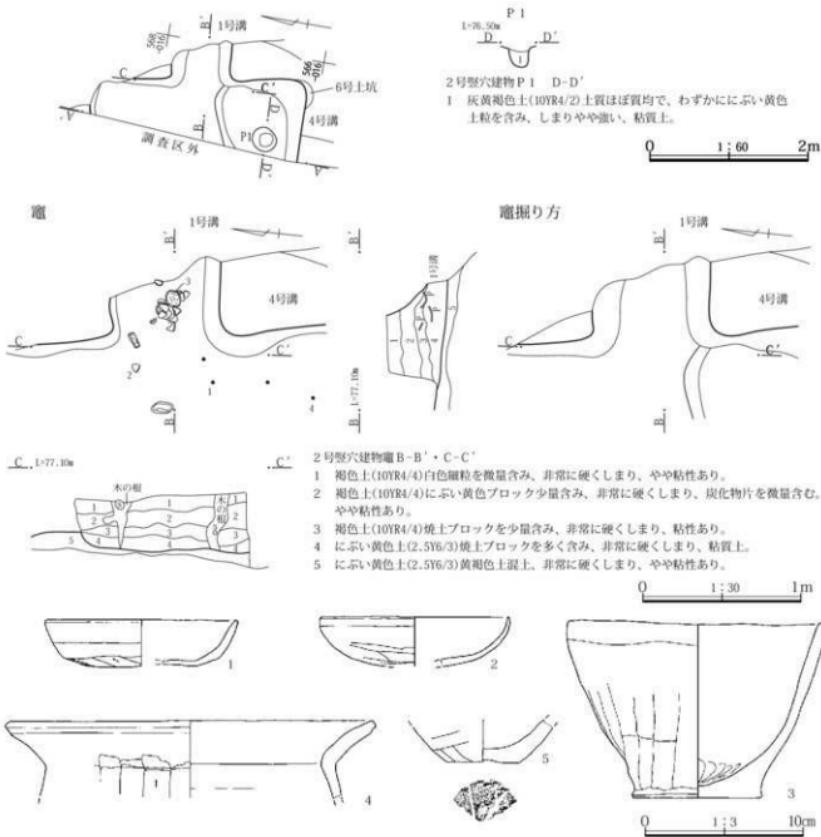
竪穴は東壁中央に付設されている。竪の東側先端部は1号溝によって壊されている。規模は長軸東西方向、残存部で58cm、袖幅56cmを測る。貯藏室、壁周溝等の施設は確認されていない。掘り方の面の調査で、柱穴と思われる小穴が確認された。柱穴の規模は31cm×30cm、深さ30cmを測る。窓穴建物の確認された面積は1.67m²を測る。時期は出土遺物から7世紀末である。



2号窓穴建物A-A'

- 褐色土(10YR4/4)に似る黄色ブロックを少量含み、非常に硬くしまり、やや粘性あり。
- 黒褐色土(10YR3/2)に似る黄色ブロックを少量含み、非常に硬くしまり、やや粘性あり。
- 暗褐色土(10YR3/3)に似る黄色ブロック少量、白色細粒を微量含み、硬くしまり1・2層より粘質高。
- に似る黄褐色土(10YR4/3)に似る黄色ブロック少量含み、非常に硬くしまり、やや粘性あり。
- に似る黄色土(2.5Y6/3)黄褐色土混じ、非常に硬くしまり、やや粘性あり。

第6図 2号窓穴建物



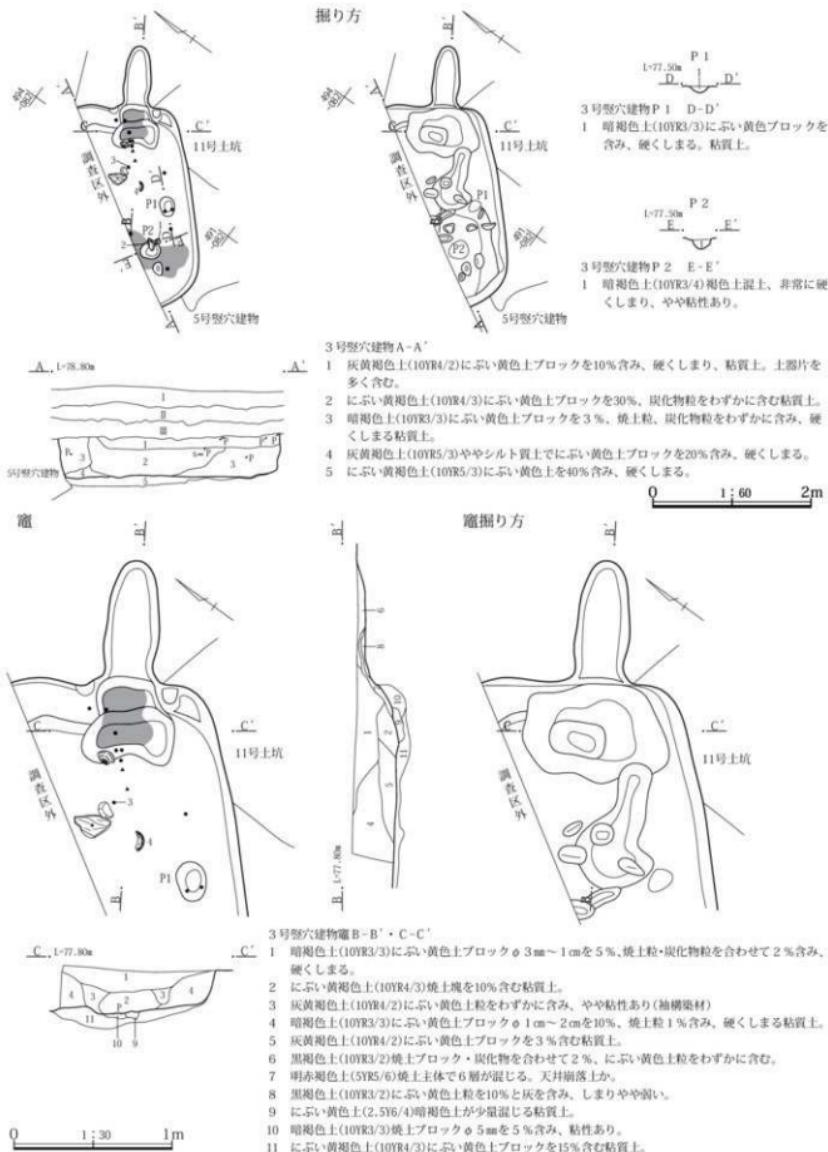
第7図 2号竖穴建物掘り方・竈と出土遺物

2区3号竖穴建物(第8・9図、PL. 2・3・58)

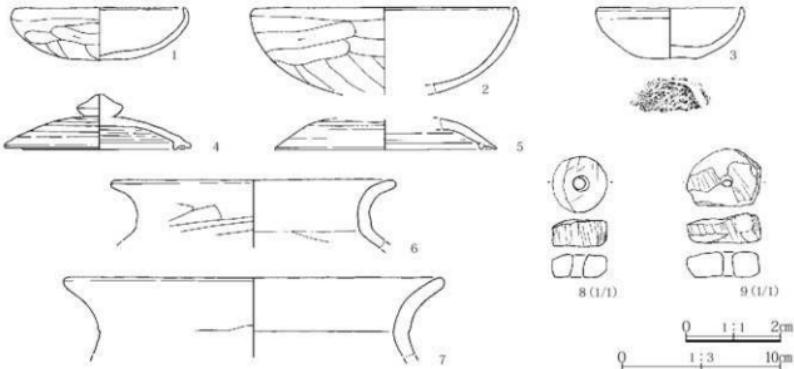
2区北西部に位置し、X=29,491～29,493、Y=−68,080～−68,083の範囲にある。南西部半分は調査区外に延びる。形状は方形を呈すると考えられる。

規模は南北長2.48m、東西軸1.20m、壁高31cmを測る。主軸方位はN−58°−Eを指す。床面は平坦をなし、黄色土ブロックを含む灰黄褐色土で硬い床面を構成する。他の遺構との重複は5号竖穴建物、11号土坑と重複する。新旧関係は3号竖穴建物が他の遺構より新しい。貯蔵穴、壁周溝、柱穴等は検出されていないが、小穴が2基

確認され北側をP 1、南西側はP 2とした。ピットの規模はP 1、25cm×18cm、深さ11cm、P 2、25cm×22cm、深さ18cmを測る。竈は東壁東寄りに検出された。規模は長軸1.22m、袖幅57cmを測る。竖穴建物の確認された面積は2.05m²である。時期は出土遺物から7世紀第4四半期である。



第8図 3号窓穴建物

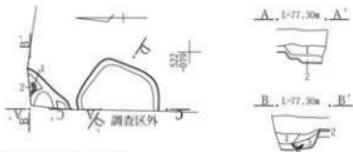


第9図 3号竖穴建物出土遺物

1区4号竖穴建物(第10図、PL. 3・58)

1区中央部に位置し、X=29,522～29,524、Y=−68,019の範囲にある。西側一部は調査区外に延びている。形状は楕円形を呈する。規模は長軸1.74m、短軸40cm、壁高は13cmを測る。主軸方位はN−122°−Eを指す。他の遺構との重複はない。竈、貯蔵穴、壁周溝、柱穴等の施設は確認されていない。

竖穴建物の床面は調査区外に延びるために、ほとんどが確認されていない。南側の楕円形の部分が竈の痕跡があったと判断して4号竖穴建物とした。形状は不明である。竈の規模は長軸1.03m、短軸0.65mを測るが、袖幅等は確認できない。貯蔵穴、壁周溝、柱穴等の施設は確認されていない。竖穴建物の確認された面積は0.48m²を測る。時期は出土遺物から8世紀後半期である。



- 4号竖穴建物 A-A'・B-B'
- 晴褐色土(10YR3/3)炭化物粒2%、燒土粒2%、にぶい黄色土ブロック3%含み、硬くしまる粘質土。
 - 灰黄褐色土(10YR4/2)にぶい黄色土が10%混じり、硬くしまる粘質土。
 - にぶい黄褐色土(10YR4/3)にぶい黄色土を20%、燒土、炭化物をわずかに含み、硬くしまる粘質土。

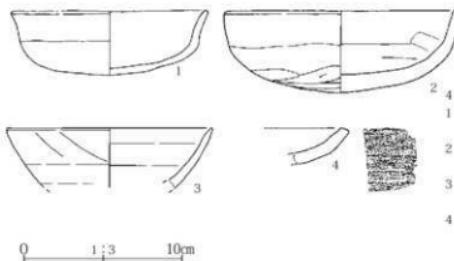
0 1:60 2m



2 4号竖穴建物竈 C-C'・D-D'

- 灰黄褐色土(10YR4/2)炭化物粒、燒土粒、にぶい黄色土粒をわずかに含み、硬くしまる粘質土。
- にぶい黄色土(10YR4/3)炭化物粒、燒土粒を合わせて5%、にぶい黄色土ブロックφ5mm～1cmを5%含み、硬くしまる粘質土。
- 灰黄褐色土(10YR4/2)にぶい黄色土ブロックφ5mm～1cmを10%含み、硬くしまる粘質土。
- にぶい黄色土(10YR4/3)炭化物粒10%、燒土ブロック7%、にぶい黄色土ブロックを20%含み、硬くしまる粘質土。

0 1:30 1m

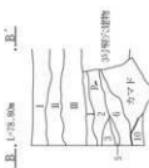
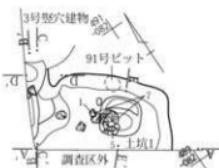


第10図 4号竖穴建物と出土遺物

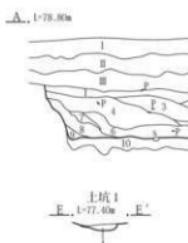
2区5号突穴建物(第11・12図、PL. 3・4・58)

2区中央部に位置し、X=29,489～29,491、Y=−68,081～−68,083の範囲にある。南西半部は調査区外に延びる。北東部と竪の一部が確認されている。形状は

不定形である。規模は長軸1.77m、短軸0.95m、壁高は40cm～45cmを測る。主軸方位はN−34°−Eを指す。他の遺構との関係は3号突穴建物、91号ピットと重複する。新旧関係は5号突穴建物が3号突穴建物、91号ピットよ



掘り方



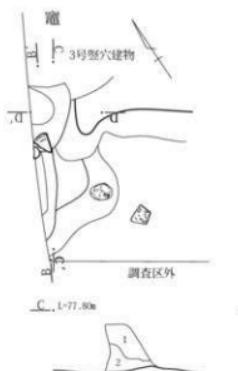
5号突穴建物 A-A'・B-B'

- 暗褐色土(10YR3/3)にぶい黄色土ブロックを5%、炭化物をわずかに含み、やや硬くしまる粘質土。
- にぶい黄褐色土(10YR4/3)にぶい黄色土ブロックを30%、炭化物を2%含み、硬くしまる粘質土。
- 暗褐色土(10YR4/4)にぶい黄色土ブロックを15%含み、硬くしまる粘質土。
- 褐色土(10YR4/4)にぶい黄色土ブロックを50%含み、硬くしまる粘質土。
- 暗褐色土(10YR3/3)にぶい黄色土ブロックを10%含み、上層部に灰斑が帯状に入る。
- 灰褐色土(10YR4/2)にぶい黄色土ブロック5%、炭化物粒、燒土粒をわずかに含む粘質土。
- にぶい黄褐色土(10YR5/3)上層ほぼ均質で土器小片を多く含む粘質土。
- 暗褐色土(7.5YR3/3)にぶい黄色土粒を2%、焼土粒を2%含む粘質土。
- 灰褐色土(10YR4/2)やや砂質で粘性あり、硬くしまる。
- にぶい黄褐色土(10YR4/3)にぶい黄色土塊混じりで硬くしまる。

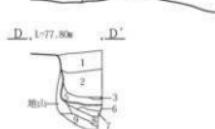
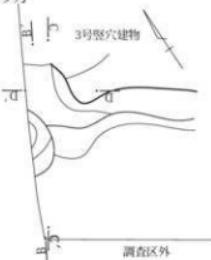
5号突穴建物上坑 1-E-E'

- 褐色土(10YR4/4)にぶい黄色土混じ、硬くしまり、粘質土。

0 1:60 2m



竪掘り方

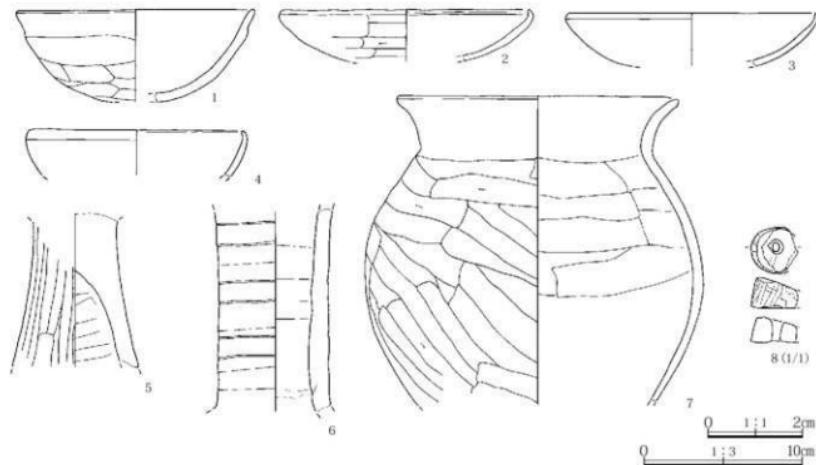


5号突穴建物竪 B'-B'～D-D'

- にぶい黄褐色土(10YR4/3)にぶい黄色土ブロック40%含む粘質土。
- 暗褐色土(10YR3/3)にぶい黄色土ブロックを10%含み、硬くしまる粘質土。
- にぶい黄褐色土(10YR4/3)にぶい黄色土ブロックを20%含み、硬くしまる粘質土。
- 暗褐色土(10YR3/3)地盤上ブロック、にぶい黄色土ブロックを3%含む粘質土。
- にぶい褐色土(7.5YR5/3)地盤30%含み、硬くしまる。
- 黒褐色土(10YR3/2)地盤主体で暗褐色土にぶい黄色土が混じり、しまり強い。
- にぶい黄色土(2.5YR4/4)シルト質土で燒土ブロックを2%含む。
- 黒褐色土(10YR3/2)地盤じりてしまりやや弱い。
- にぶい黄褐色土(10YR5/3)質均質でシルト質土、粘性あり。

0 1:30 1m

第11図 5号突穴建物



第12図 5号竪穴建物出土遺物

り新しい。床面は平坦をなし、黄色ブロック・炭化物・焼土を少量含む粘質土である。

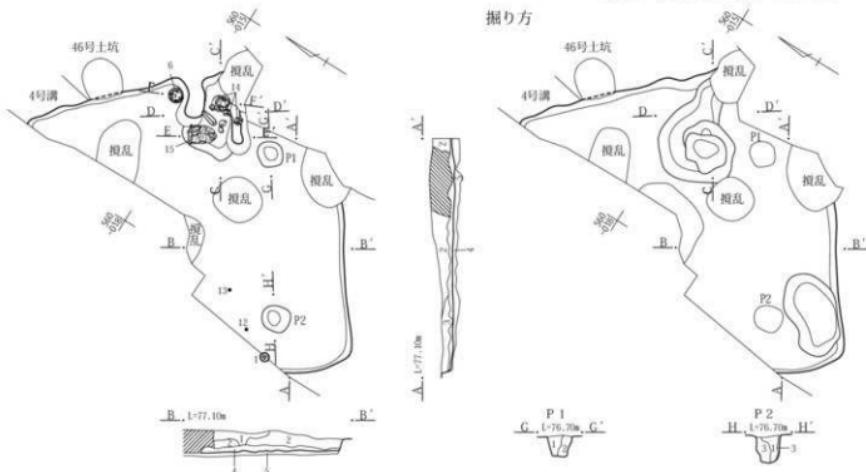
竈の痕跡は調査区内側の断面壁に焼土が確認された。規模は長軸1.03m、短軸0.65mを測るが、袖等は確認されていない。貯蔵穴、壁周溝、柱穴等の施設は確認されていない。

竈は北東壁北西に確認されたが、右袖の一部が確認されたのみである。確認された部分は全長40cm、袖幅15cmである。竈右袖前に土坑が確認された。規模は53cm×48cm、深さ9cmを測る。竪穴建物の確認された面積は1.15m²である。時期は出土遺物の土師甕(7)から7世紀後半である。

1区6号竪穴建物(第13・14図、PL. 5・6・59)

1区北部に位置し、X=29,556～29,562、Y=-68,015～-68,018の範囲にある。東側の一部は擾乱で壊され、西側の大半は調査区外に延びている。形状は方形と考えられる。規模は長軸3.9m、短軸3.75m、壁高は約26cmを測る。主軸方位はN-58°-Eを指す。他の遺構との関係は北側で4号溝と46号土坑と重複し、新旧関係は6号竪穴建物が新しい。床面は平坦をなし、鈍い黄色ブロックを含む硬い粘質土である。

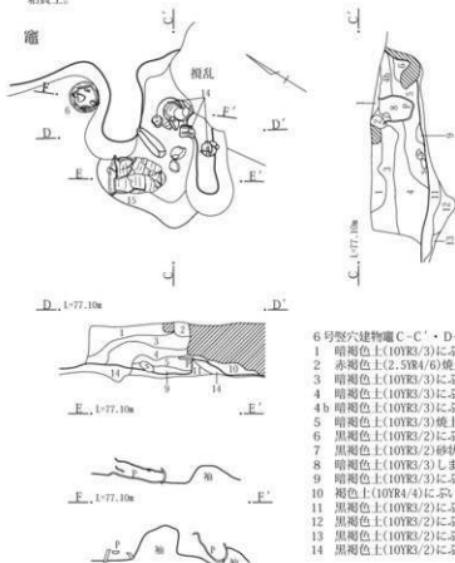
竈は北壁東寄り、竪穴建物の北東部に確認された。規模は長軸1.11m、袖幅0.45mを測る。竈の煙道部は擾乱で壊されている。燃焼部に甕(14・15)が確認されている。床面には柱穴と考えられるピットが2基確認された。ピットの規模は各々P1、32cm×31cm、深さ56cm、P2、36cm×33cm、深さ56cmである。竪穴建物の確認された面積は5.79m²である。時期は出土遺物竈から8世紀第2四半期である。



- 6号竖穴建物A-A'・B-B'
- 暗褐色土(10YR3/4)白色粉・にい黄色土を微量含み、非常に硬くしまり、やや粘性あり。
 - 暗褐色土(10YR3/4)にい黄色ブロックを多く含み、非常に硬くしまり、やや粘性あり。
 - 暗褐色土(10YR3/3)2層より多くにい黄色ブロックを含み、黒褐色土上ブロックを含む。非常に硬くしまる。
 - 黒褐色土(10YR3/2)にい黄色ブロックを少量含み、非常に硬くしまり、粘質上。
 - 暗褐色土(10YR3/4)にい黄色ブロックを多く含み、非常に硬くしまり、粘質上。

- 6号竖穴建物 P1・P2 G-G'・H-H'
- 暗褐色土(10YR3/3)にい黄色ブロック含み、硬くしまり、粘質上。
 - 褐色土(10YR4/4)暗褐色土少量含み、硬くしまり、粘質上。
 - 黒褐色土(10YR3/2)にい黄色ブロック多く含み、非常に硬くしまり、粘質上。

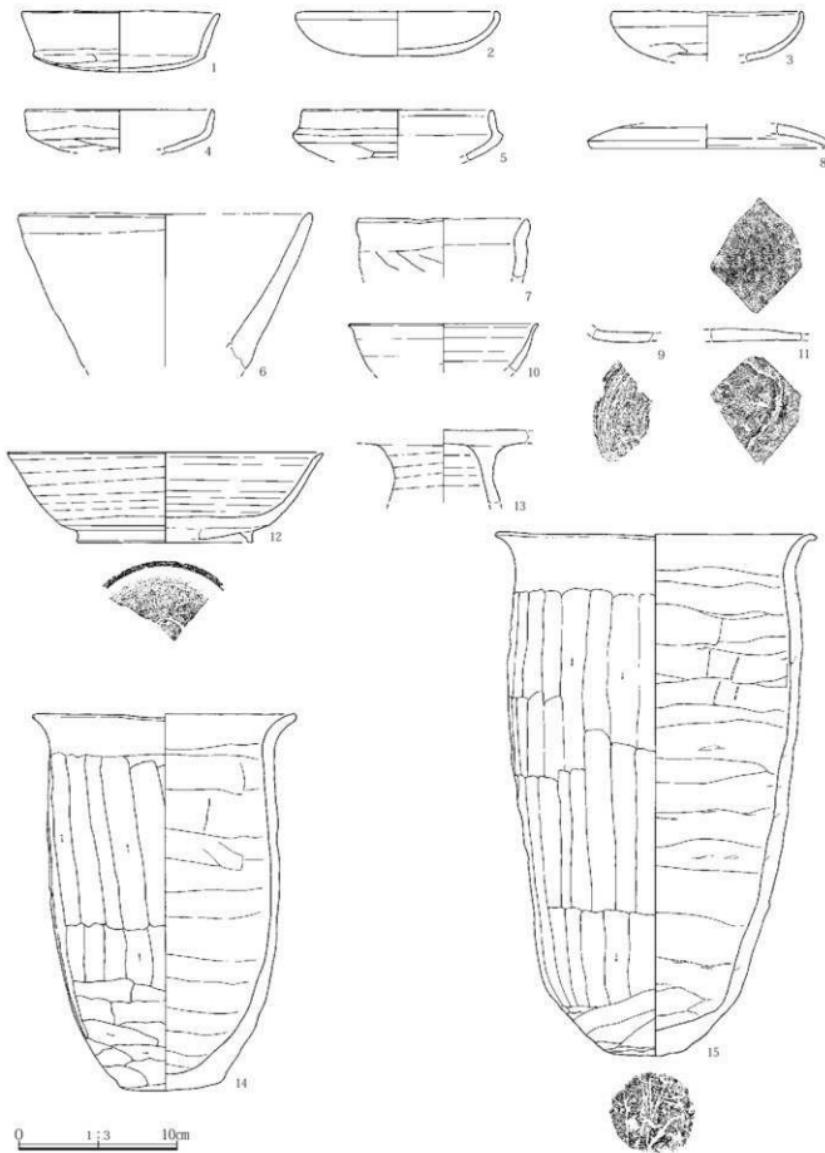
0 1:60 2m



- 6号竖穴建物竈 C-C'・D-D'
- 暗褐色土(10YR3/3)にい黄色土を少量含み、非常に硬くしまり、やや粘性あり。
 - 赤褐色土(2.5W4/6)焼土ブロック、硬くしまり、やや粘性あり。
 - 暗褐色土(10YR3/3)にい黄色ブロックを多く含み、非常に硬くしまり、やや粘性あり。
 - 暗褐色土(10YR3/3)にい黄色土を多く含み、非常に硬くしまり、やや粘性あり。
 - a 暗褐色土(10YR3/3)にい黄色土を多く含み、燒土を含む。非常に硬くしまり、やや粘性あり。
 - b 暗褐色土(10YR3/3)燒土を含み、硬くしまり、粘質上。
 - 黒褐色土(10YR3/2)にい黄色土上部、硬くしまり、粘質上。
 - 黒褐色土(10YR3/2)2層でややろい。
 - 暗褐色土(10YR3/3)まろり、粘性あり。
 - 暗褐色土(10YR3/3)にい黄色ブロックを含み、非常に硬くしまり、粘質上。
 - 褐色土(10YR4/4)にい黄色ブロックを少量含み、非常に硬くしまり、やや粘性あり。
 - 黒褐色土(10YR3/2)にい黄色ブロック含み、燒土を微量含む。非常に硬くしまり、粘質上。
 - 黒褐色土(10YR3/2)にい黄色ブロックを多く含み、非常に硬くしまり、粘質上。
 - 黒褐色土(10YR3/2)にい黄色ブロックを含み、非常に硬くしまり、粘質上。
 - 黒褐色土(10YR3/2)にい黄色ブロックを少量含み、非常に硬くしまり、粘質上。

第13図 6号竖穴建物

第3章 検出された遺構と遺物



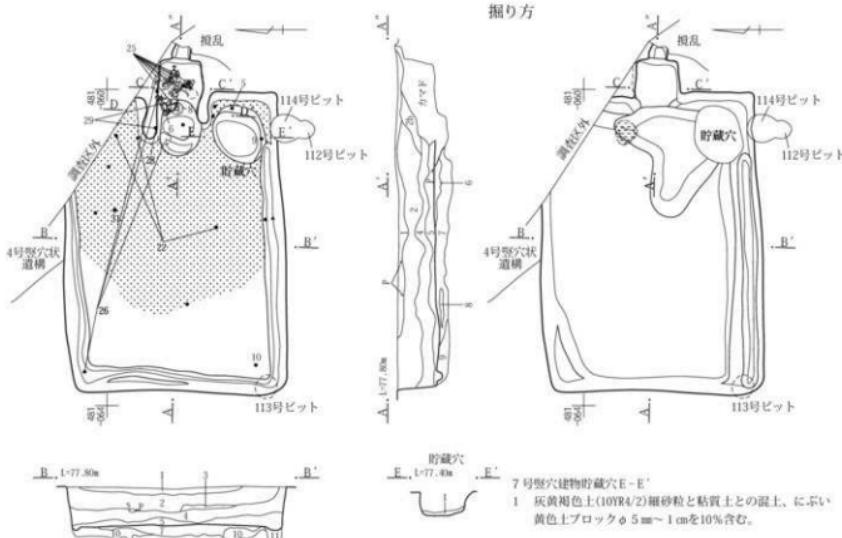
第14図 6号竪穴建物出土遺物

2区7号突穴建物(第15~17図、PL. 6~8・59・60)

2区北西部に位置し、X=29,478~29,481、Y=-68,059~-68,063の範囲にある。北西隅部は調査区外へ延びている。形状は長方形を呈し、規模は長軸3.83m、短軸2.8m、壁高約50cmを測る。主軸方位はN-91°-Eを指す。他の遺構との関係は北西部で4号突穴状遺構、南西部で113号ピット、南東部で114号ピットと重複する。新旧関係は7号突穴建物が4号突穴状遺構、113号ピットより新しく、114号ピットより旧い。床面は平坦をなし、黄色粒、炭化物を含み硬く締まった粘質土で、東半

部前面は硬く踏み固められている。壁に沿ってほぼ全面に壁周溝が確認された。規模は幅約15cm~30cm、深さは約3cm~6cmを測る。

竈は東壁やや南に付設されている。規模は長軸0.73m、袖幅0.52m、煙道は約10cmより東は搅乱によって壊されている。竈東袖前に貯蔵穴が確認された。規模は73cm×65cm、深さ約30cmを測る。竈焼焼部上からは土師器片が、床面上からは鉄片が出土している。確認した面積は8.11m²である。時期は出土遺物から8世紀第1~2四半期である。

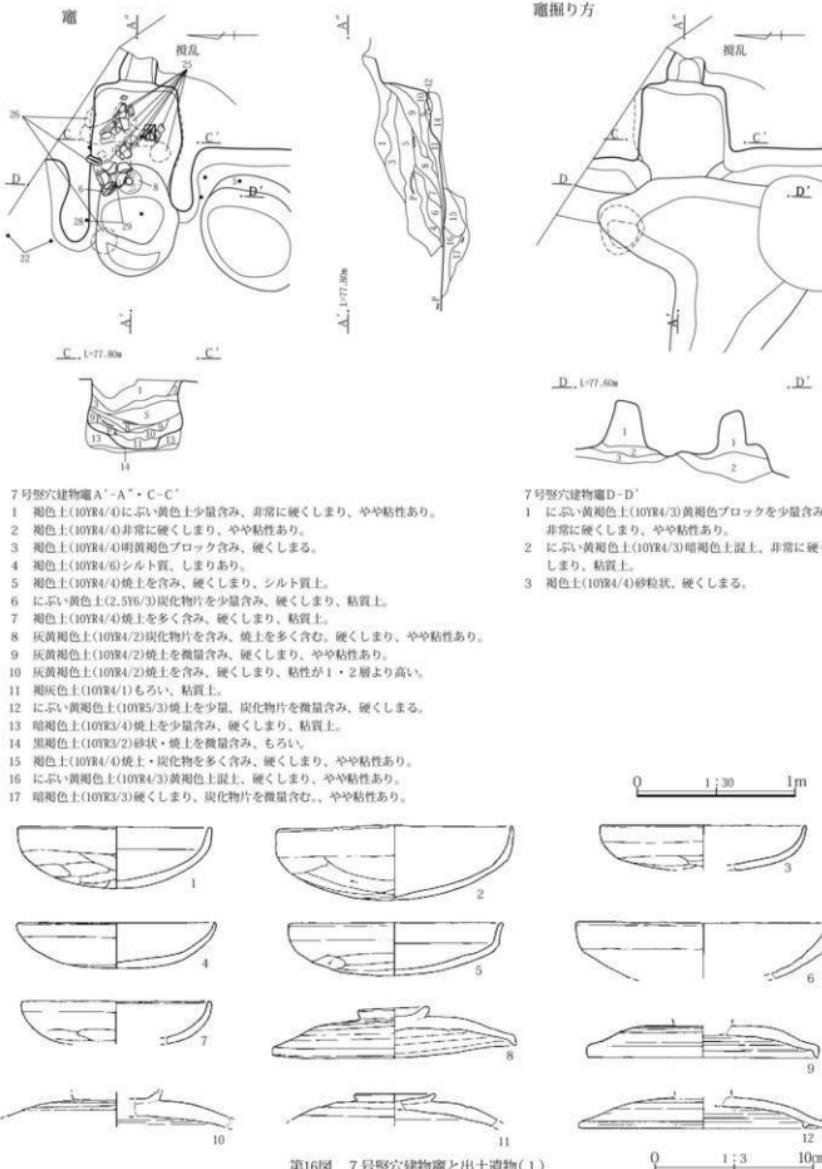


7号突穴建物 A-A' - B-B'

- 湖色土(10W4/4)にふい黄色土を含み、白色粒を微量含む。非常に硬くしまる。
- 暗褐色土(10YR3/3)にふい黄色ブロックを多く含み、非常に硬くしまり、粘質土。
- 暗褐色土(10YR3/3)にふい黄色ブロックを2層より多く含み、非常に硬くしまり、粘質土。
- 湖色土(10W4/4)白色粒、砂粒、炭化物片を微量含み、非常に硬くしまる。
- 暗褐色土(10YR3/3)にふい黄色土・白色粒を少量含み、非常に硬くしまる。
- 黒褐色土(10YR3/2)炭化物片を少量含み、にふい黄色土含む。硬くしまり、粘質土。
- にふい黄色土(2.5Y6/3)黄褐色土上層、炭化物片と土上を微量含み、非常に硬くしまり、やや粘性あり。
- にふい黄色土(2.5Y6/3)にふい黄色ブロックを大量に含み、非常に硬くしまり、やや粘性あり。
- 湖色土(10W4/4)φ 5~10mm程度の礫を少量含み、砂・にふい黄色ブロックを含む。もろい。
- 暗褐色土(10YR3/3)φ 3~7mm程度の礫を少量含み、しまりあり。
- にふい黄色土(10YR3/4)にふい黄色ブロックを多く含み、しまりあり。粘性あり。

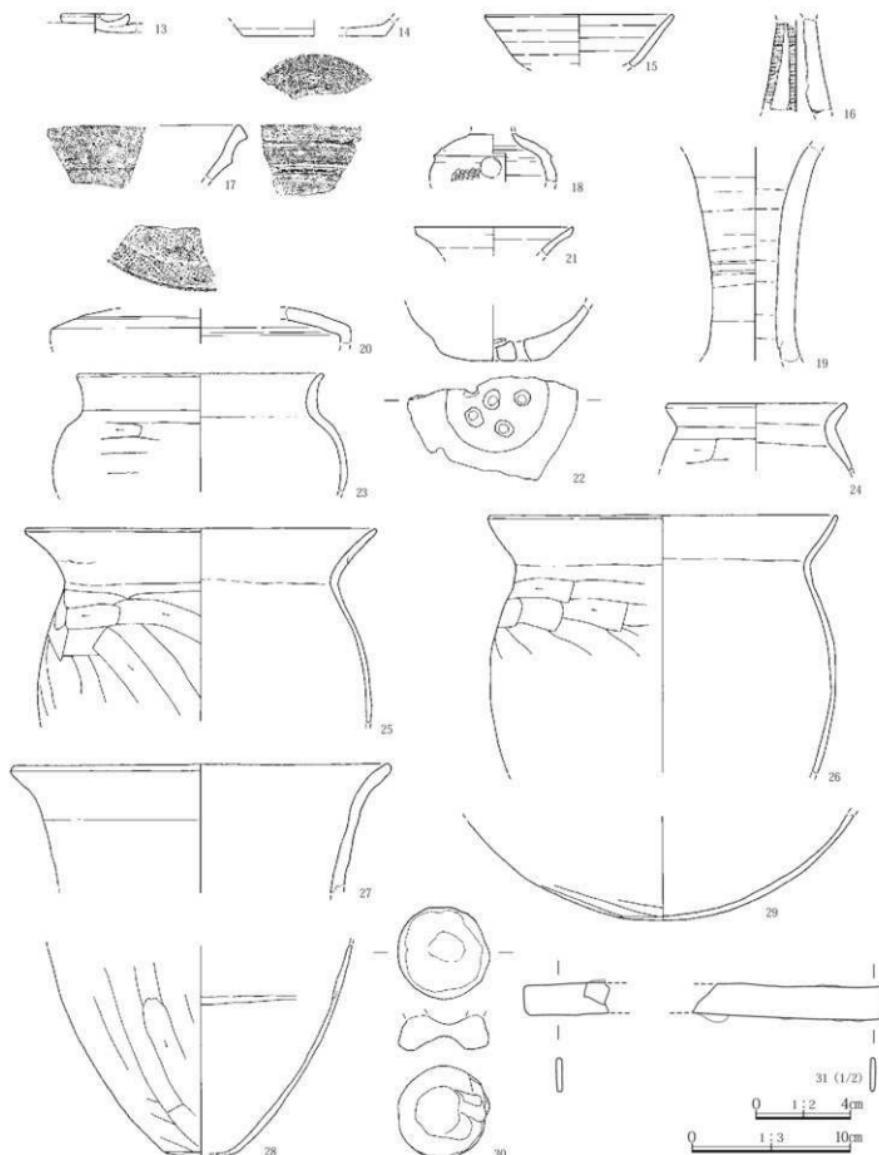
第15図 7号突穴建物

0 1:60 2m



第16図 7号堅穴建物竪と出土遺物(1)

第1節 突穴建物



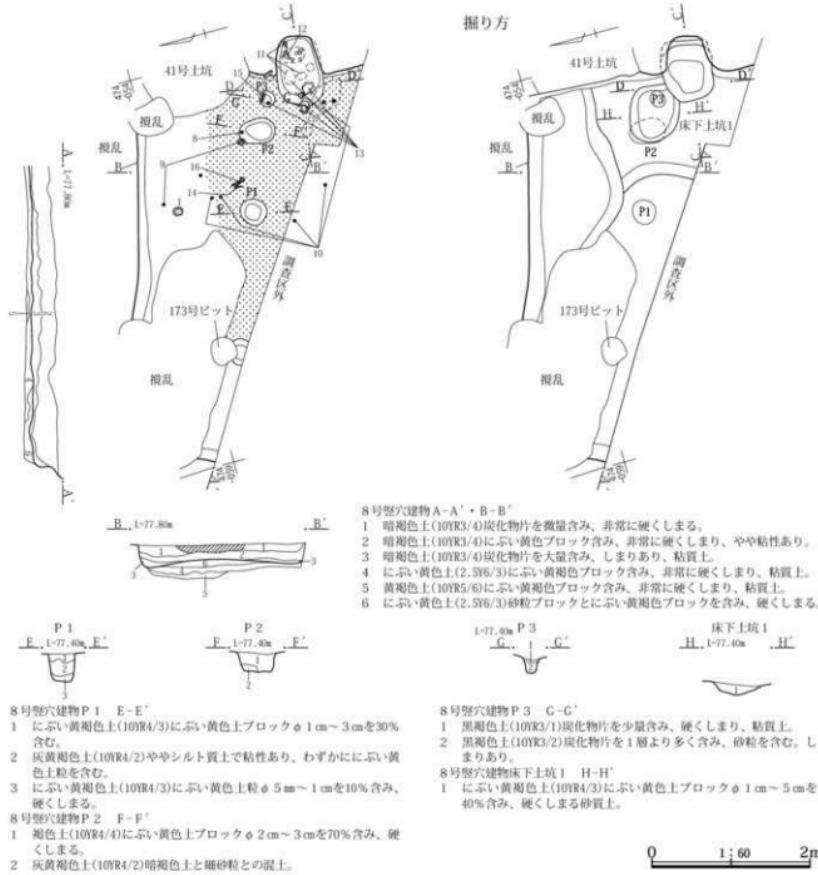
第17図 7号突穴建物出土遺物(2)

2区8号豎穴建物(第18～20図、PL. 8・9・60・61)

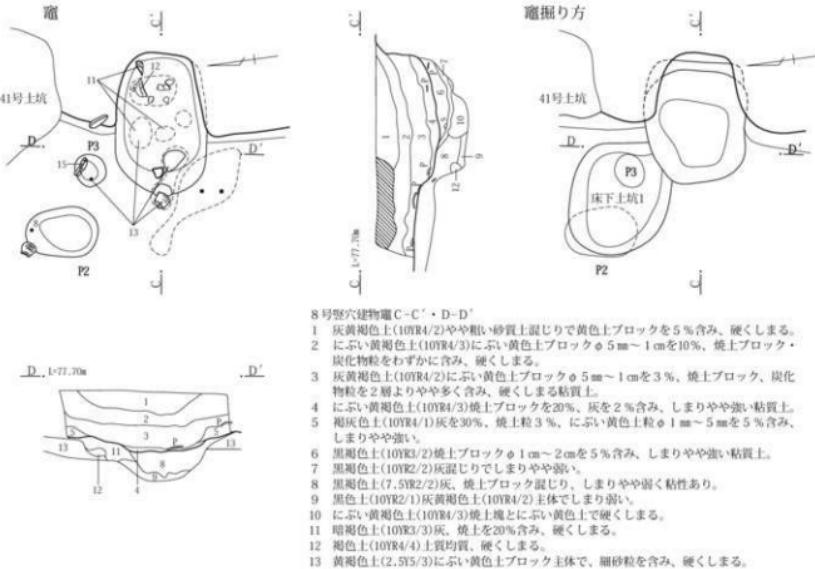
2区中央部に位置し、X=29,471～29,474、Y=−68,054～−68,058の範囲にある。南西側の約3分の2は擾乱、土坑によって壊されている。形状は長方形を呈する。規模は長軸4.93m、短軸2.8m、壁高約33cmを測る。

主軸方位はN−98°Eを指す。他の遺構との関係は北東部で41号土坑、西部で173号土坑と重複する。新旧関係は8号豎穴建物が41号・173号土坑より古い。床面は平坦をなし、鈍い黄色ブロックを含む黄色粘質土である。

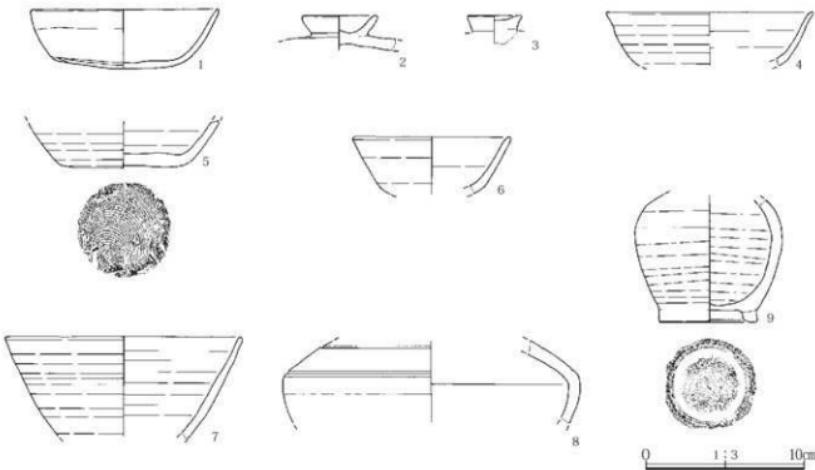
竪穴は東壁に付設されている。規模は長軸90cm、袖幅45cmを測る。床面に柱穴は確認されていないが、ピットが3基確認された。各々P1～P3とした。規模はP1、約33cm×34cm、深さ41cm、P2、45cm×30cm、深さ14cm、P3、21cm×20cm、深さ27cmを測る。竪穴前面に床下土坑が確認されている。規模は73cm×63cm、深さ16cmを測る。貯蔵穴、壁周溝等の施設は確認されていない。床面から鉄製の鉢(16)が出土している。竪穴建物の確認された調査面積は4.81m²である。時期は出土遺物から8世紀後半期である。



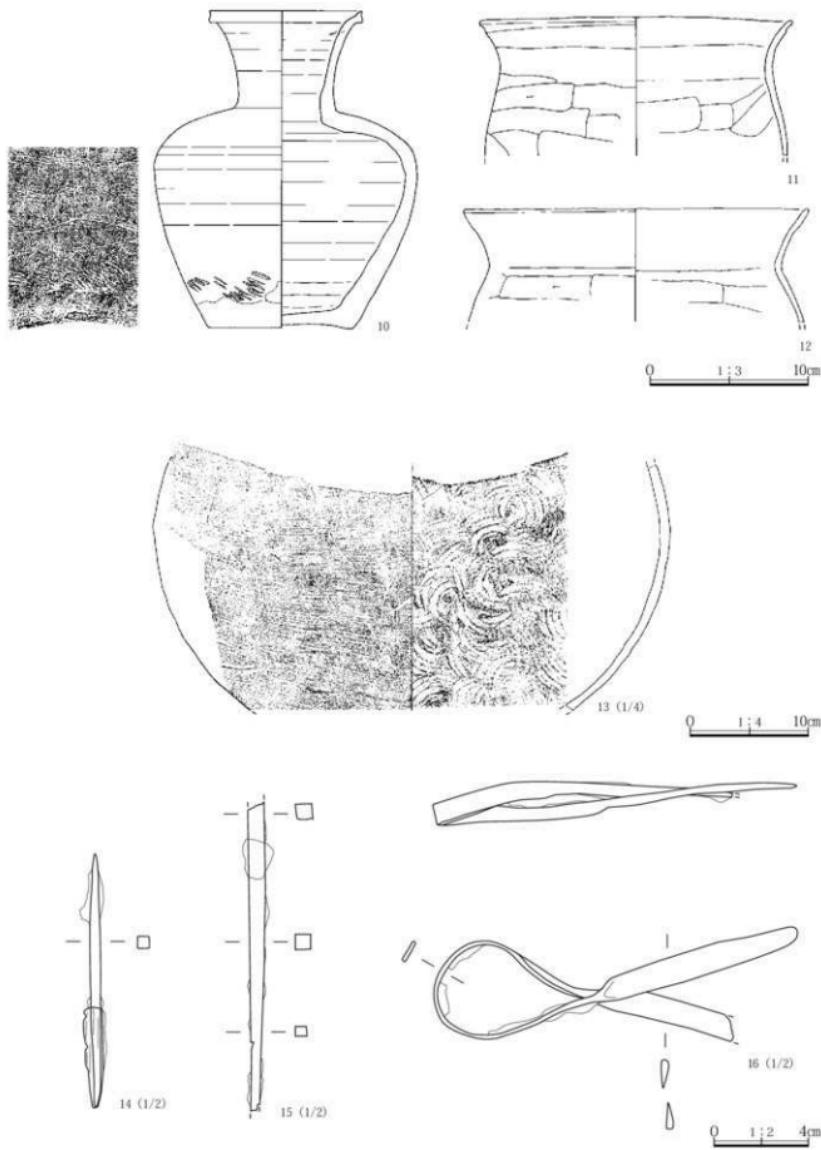
第18図 8号豎穴建物



0 1:30 1m



第19図 8号突穴建物竪と出土遺物(1)

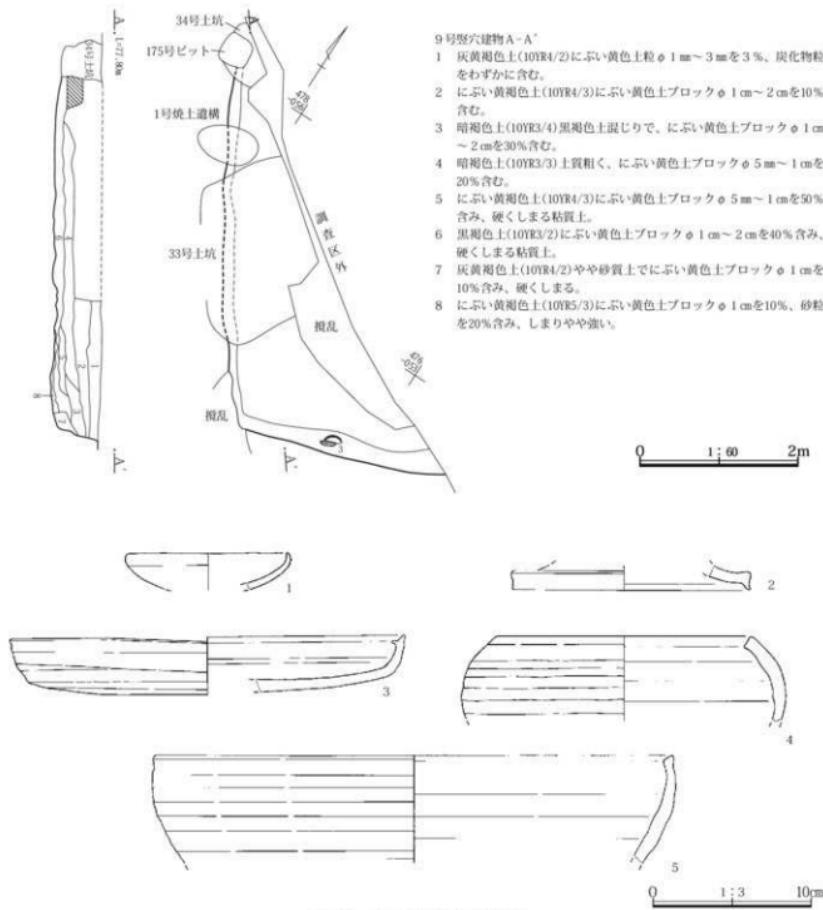


第20図 8号堅穴建物出土遺物(2)

2区9号突穴建物(第21図、PL.10・61)

2区7号突穴建物の南に位置し、X=29,475～29,478、Y=-68,052～-68,056の範囲にある。北東部の大半は調査区外に延びている。形状は長方形を呈するものと考えられる。規模は長軸5m、短軸2.83m、壁高59cmを測る。主軸方位はN-37°-Wを指す。他の遺構との関係は33号・34号土坑、1号焼土遺構、175号ピット

と重複する。新旧関係は9号突穴建物が33号土坑、1号焼土遺構より旧く、34号土坑より新しく、175号ピットとの新旧関係は不明である。床面は平坦をなし、東部は擾乱を受けている。竈、壁周溝、柱穴、貯蔵穴等は確認されていない。遺物は覆土から須恵器の盤(3)が出土している。突穴建物の確認された調査面積は4.01m²を測る。時期は出土遺物から7世紀末～8世紀初頭である。



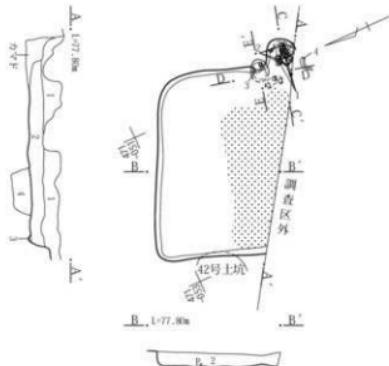
第21図 9号突穴建物と出土遺物

2区10号竪穴建物(第22・23図、PL.10・11・61)

2区7号竪穴建物の南東に位置し、X=29,468～29,471、Y=-68,050～-68,053の範囲にある。南半部は調査区外に延びている。形状は方形を呈するものと考えられる。規模は長軸2.37m、短軸1.63m、壁高7cmを測る。主軸方位はN-85°-Eを指す。他の遺構との関係は南西部で11号竪穴建物、西壁で42号土坑と重複する。新旧関係は10号竪穴建物が11号竪穴建物より旧く、42号

土坑より新しい。床面は平坦をなし、黄褐色ブロックを含み非常に硬い面を造る。竪穴は東壁に付設され、規模は長軸37cm、袖幅30cmを測る。竪穴の両袖には袖材として瓦が立てられている。竪穴燃焼部から土師器窯片(2)が出土している。貯蔵穴、壁周溝、柱穴等の諸施設は確認されていない。

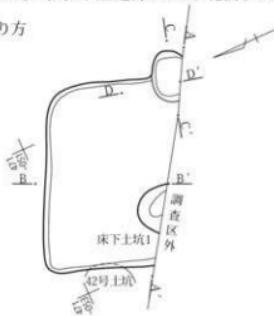
西部で床下土坑が確認されている。規模は62cm×32cm、深さ37cmを測る。竪穴建物の確認された調査範囲は3.28m²である。時期は出土遺物から9世紀後半である。



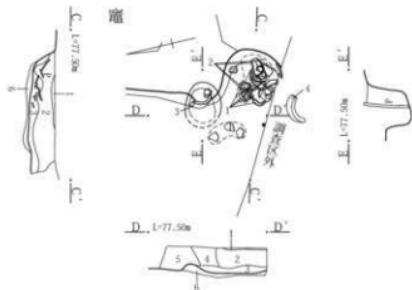
10号竪穴建物 A-A'・B-B'

- 1 にぶい黄褐色土(10YR4/3)黄褐色ブロック少量含み、所々砂質混じり、硬くしまる。粘性あり。
- 2 にぶい黄褐色土(10YR4/3)黄褐色ブロックを1層より多く含み、非常に硬くしまる。粘性あり。
- 3 褐色土(10YR4/4)硬くしまり、粘性あり。
- 4 暗褐色土(10YR3/3)にぶい黄色土ブロック ø 1cm～5cmを40%含み、硬くしまる。(床下土坑1)

掘り方



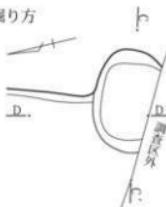
0 1:60 2m



10号竪穴建物 C-C'・D-D'

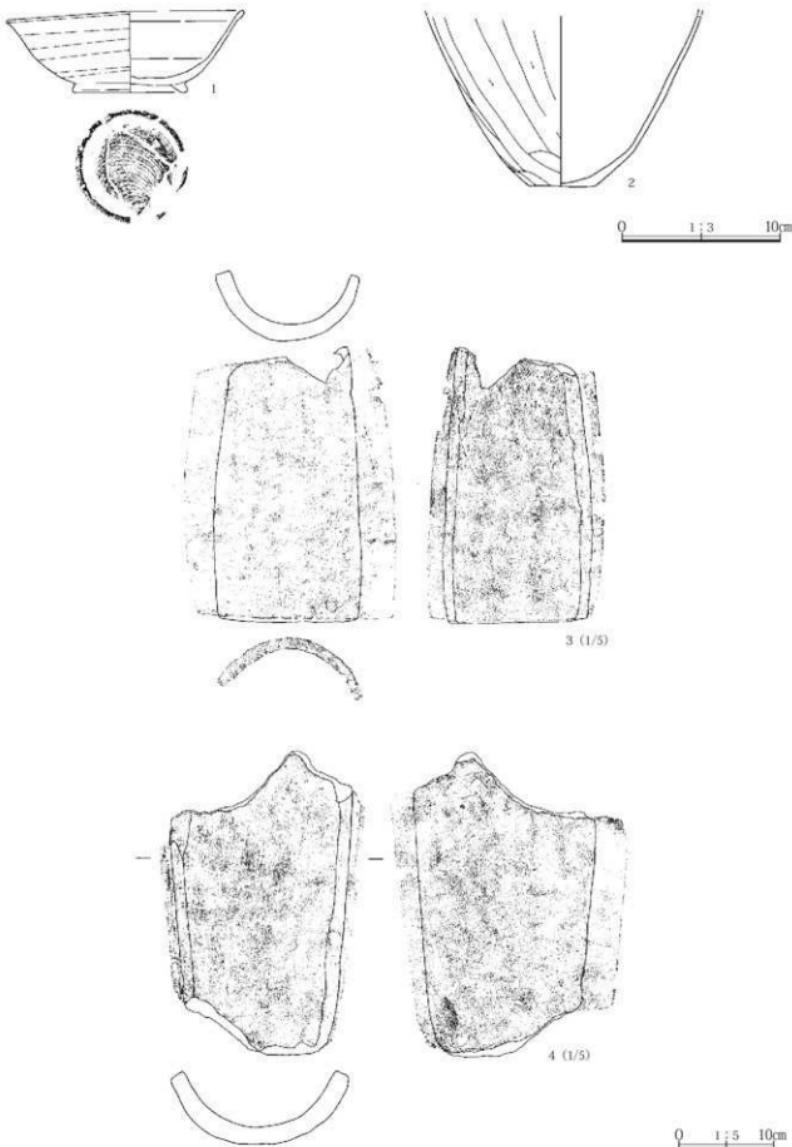
- 1 暗褐色土(10YR3/4)非常に硬くしまり、粘質土。
- 2 にぶい黄褐色土(10YR4/3)黄褐色ロームブロック少量含み、非常に硬くしまり、粘性あり。
- 3 暗褐色土(10YR3/3)炭化物・焼土を含み、しまりは柔らかく、粘質土。
- 4 褐色土(10YR4/4)黄褐色ロームを2層より多く含み、非常に硬くしまり、粘性あり。
- 5 褐色土(10YR4/4)所々に炭化物片・焼土を含み、非常に硬くしまり、粘性あり。
- 6 黄褐色土(10YR4/2)焼土 ø 1mm～5mmを3%、炭化物粒を5%，にぶい黄色土粒を3%含む。

竪掘り方



0 1:30 1m

第22図 10号竪穴建物

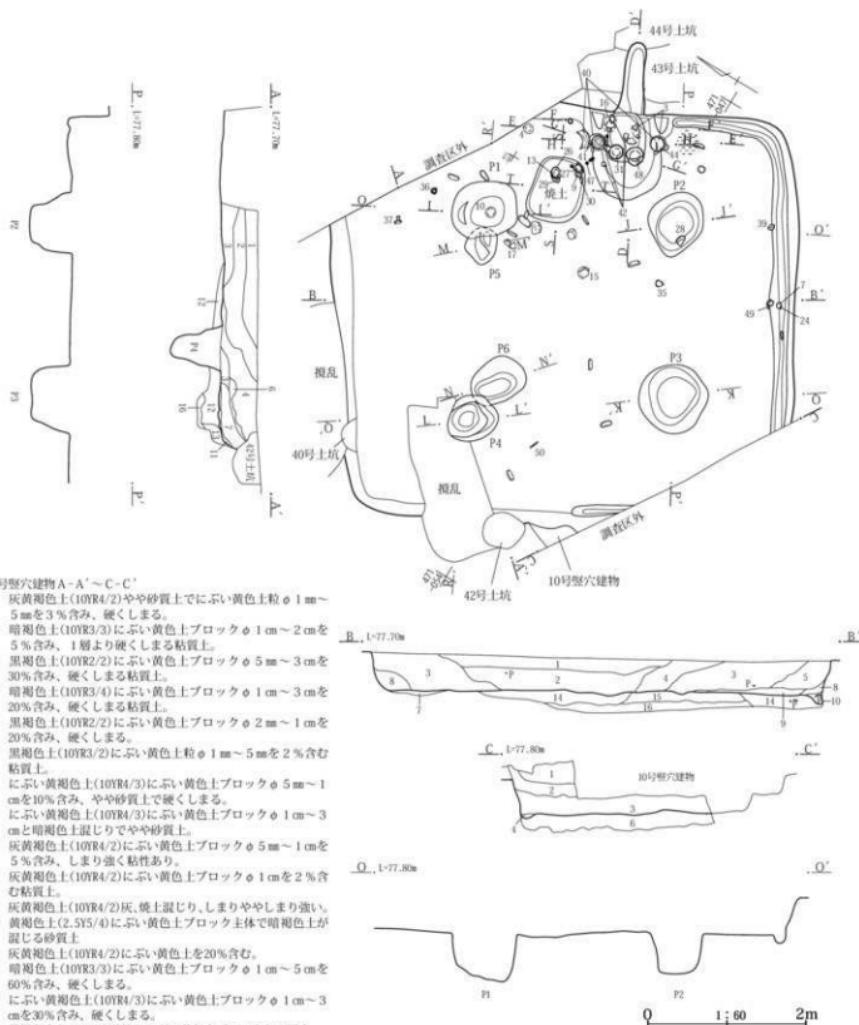


第23図 10号壁穴建物出土遺物

2区11号堅穴建物(第24~29図、PL.11~15・62・63)

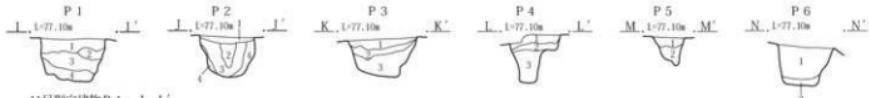
2区中央に位置し、X=29,468 ~ 29,474、Y= -68,046 ~ -68,053の範囲にある。南北両のコーナー部

の一部は調査区外に延びる。形状は方形を呈する。規模は長軸5.93m、短軸5.34m、壁高は52cmを測る。主軸方位はN-62°-Eを指す。他の遺構との関係は南部で10



第24図 11号堅穴建物(1)

第1節 突穴建物

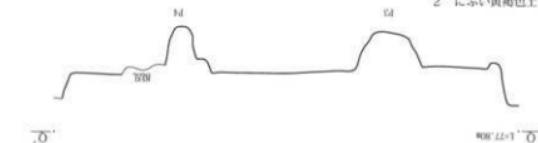


11号突穴建物 P 1 - I-I'

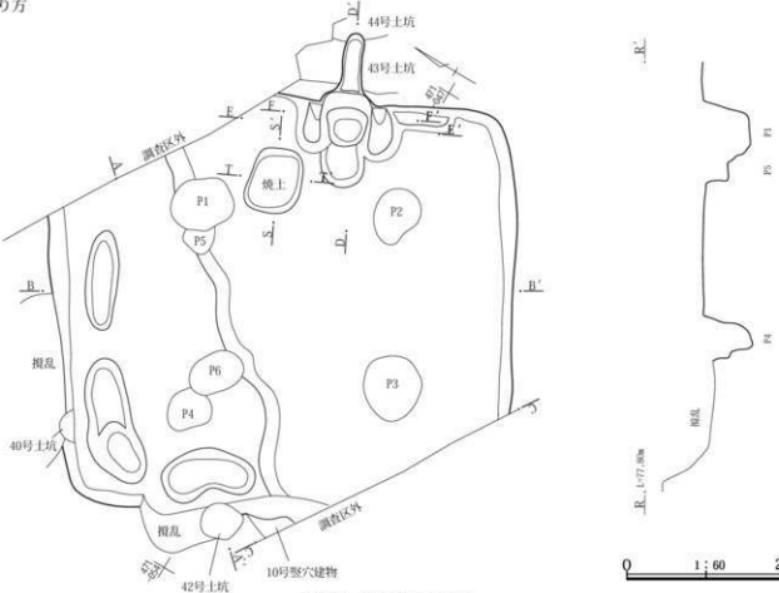
- 暗褐色土(10R3/4)黄褐色ブロックを少量含み、非常に硬くしまり、やや粘性あり。
 - 暗褐色土(10R3/4)黄褐色ブロックを1層より多く含み、硬くしまり、やや粘性あり。
 - 暗褐色土(10R3/4)黄褐色ブロックを1層より多く含み、砂粒混土、粘質土。
 - 暗褐色土(10R3/4)黄褐色ブロックを多く含み、粘質土。
- 11号突穴建物 P 2 - J-J'
- にぶい黄褐色土(10R4/3)硬くしまるシルト質土でにぶい黄色土ブロック φ 5mm~2cmを3%含む。
 - 灰黄褐色土(10R4/2)にぶい黄色土ブロック φ 5mm~1cmを10%含む。
 - 灰黄褐色土(10R5/2)にぶい黄色土ブロック φ 1cm~3cmを20%含み、硬くしまる粘質土。
 - にぶい黄褐色土(10R5/3)にぶい黄色土ブロック φ 1cm~3cmを40%、砂粒を5%含み、しまり強い。

11号突穴建物 P 3 - K-K'

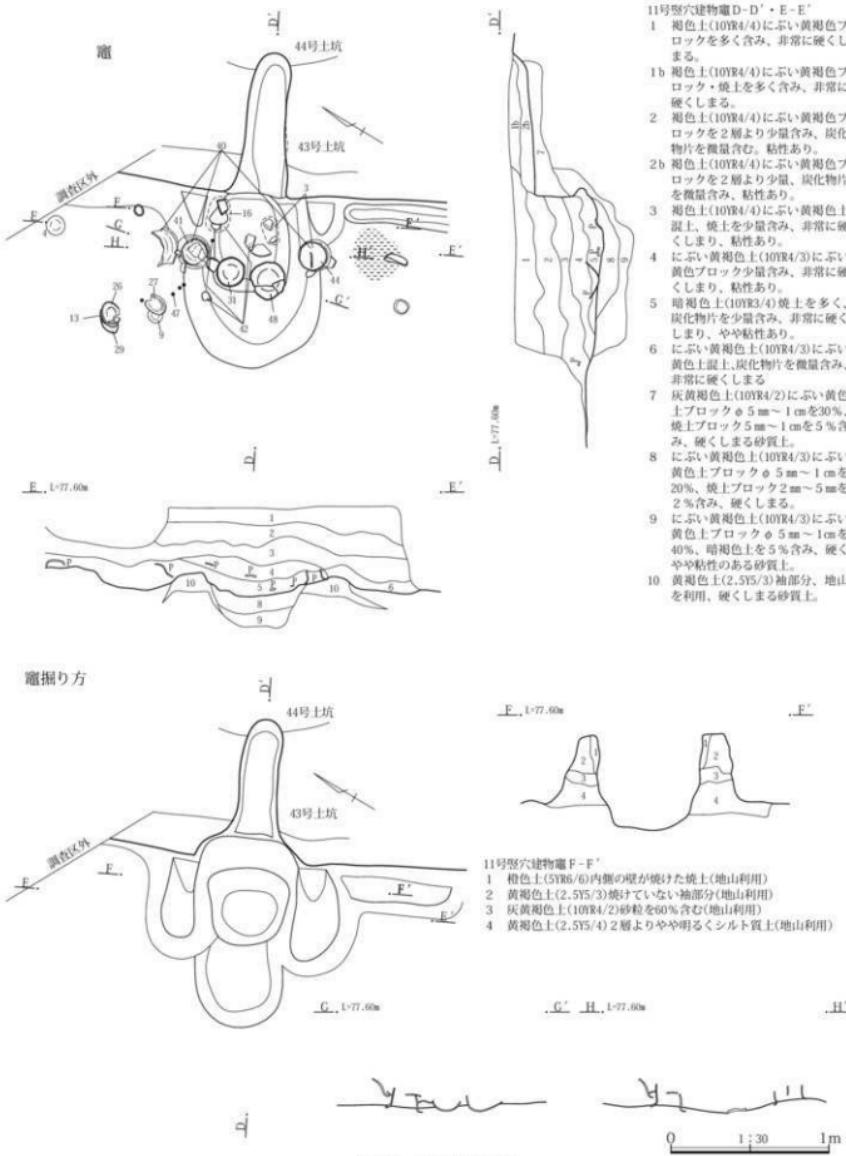
- 暗褐色土(10R3/4)黄褐色ブロックを少量含み、非常に硬くしまり、やや粘性あり。
 - 暗褐色土(10R3/4)黄褐色ブロックを多く含み、しまりあり、砂粒混土、粘質土。
 - 暗褐色土(10R3/3)黄褐色ブロックを多く含み、硬くしまり、粘質土。
- 11号突穴建物 P 4 - L-L'
- 暗褐色土(10R3/4)黄褐色ブロックを少量、炭化物片を微量含み、非常に硬くしまり、やや粘性あり。
 - 暗褐色土(10R3/3)黄褐色ブロックを1層より多く含み、硬くしまり、やや粘性あり。
 - 暗褐色土(10R3/3)黄褐色ブロックを多く含み、硬くしまり、粘質土。
- 11号突穴建物 P 5 - M-M'
- にぶい黄褐色土(10R4/3)硬くしまるシルト質土でにぶい黄色土ブロック φ 5mm~2cmを3%含む。
 - 灰黄褐色土(10R4/2)1層に砂粒が20%混じり、しまりやや弱い。
- 11号突穴建物 P 6 - N-N'
- 灰黄褐色土(10R4/2)にぶい黄色土ブロック φ 1cm~2cmを20%、礫 φ 1~2cmを5%含み、しまりやや弱い。
 - にぶい黄褐色土(10R4/3)砂質土でしまり強い。



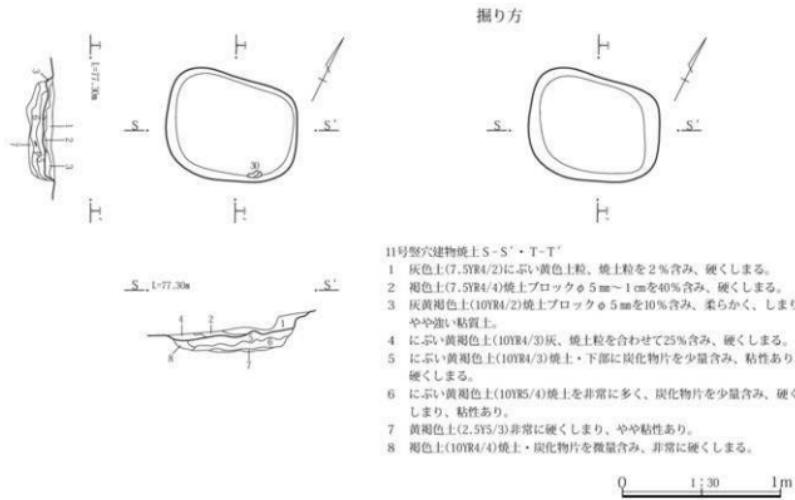
掘り方



第25図 11号突穴建物(2)



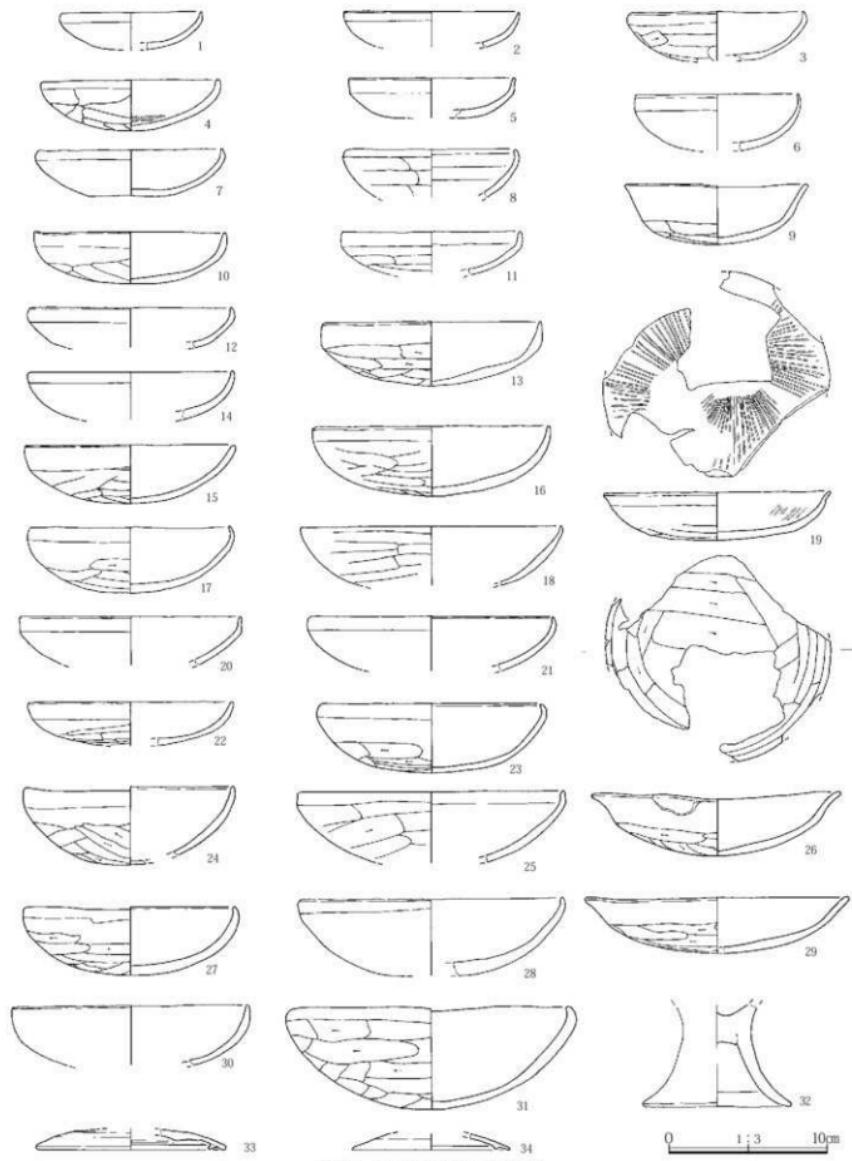
第26図 11号堅穴建物



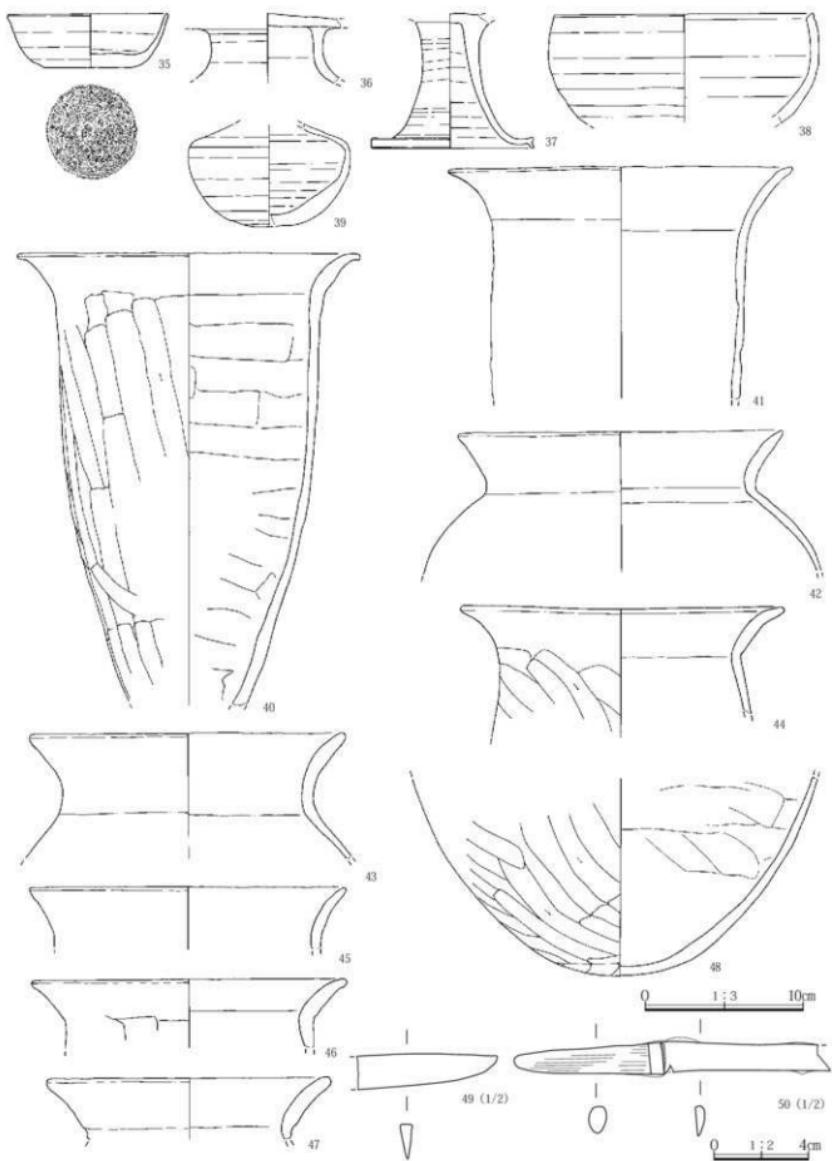
号竪穴建物、西部で40号・42号土坑、竈煙道部で43号・44号土坑と重複する。新旧関係は11号竪穴建物が10号竪穴建物、40号・42号土坑より旧く、43号・44号土坑より新しい。

床面は平坦をなし、鈍い黄色土粒を含む粘質土、砂質土で硬化面を造る。竈は東壁南寄りに付設されている。規模は長軸1.5m、内煙道部90cm、袖幅32cmを測る。竈燃焼部、前面より土師器杯が多数検出された。竈の両袖先端部には土師器壺が口縁部を下にして出土し、袖の構築材として確認された。東西・南北の一部に壁溝が確認された。規模は壁溝幅17cm～35cm、深さ6cm～9cmを測る。床面には方形の形状でビットが6基確認され、11号竪穴建物の柱穴と確認された。各々北東部から時計と反対周りにP1～P6とした。規模はP1、82cm×68cm、深さ62cm、P2、75cm×68cm、深さ53cm、P3、87cm×86cm、深さ49cm、P4、64cm×58cm、深さ60cm、P5、45cm×41cm、深さ33cm、P6、72cm×54cm、深さ67cmを測る。P1とP5、P4とP6は重複し、堆積土の観察より柱穴と考えられる。2基の柱穴は改築された可能性が認められる。特にP1とP2の底面には柱が付

設されたと思われる痕跡が確認されている。2基だけが掘り返されてる意味は不明であるが、地盤の関係が考えられる。P1と竈との間に焼土面が確認された。規模は83cm×66cm、厚さ18cmを測る。床面上には多数の土師器杯と刀子が2本確認され、焼土面は位置的に見ても鍛冶炉があった可能性が指摘できるが、鍛冶剣片等は確認できなかった。竪穴建物の確認された面積は0.39m²である。時期は出土遺物から7世紀後半である。覆土中より埼玉県深谷市周辺でみられる北島型土器(19)が出土している。



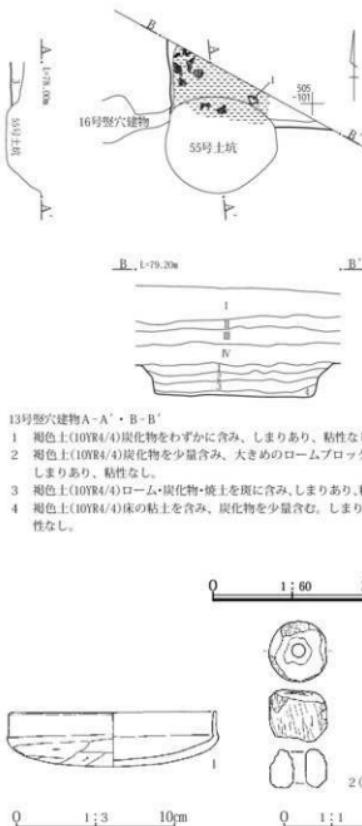
第28図 11号堅穴建物出土遺物(1)



第29図 11号突穴建物出土遺物(2)

5区13号竪穴建物(第30図、PL.15・63)

5区中央部に位置し、X=29,504・29,505、Y=-68,100～-68,102の範囲にある。南東コーナーの一部のみを確認した。形状は不明である。規模は長軸2.05m、短軸1.05m、壁高40cmを測る。主軸方位は不明である。他の遺構との関係は南部で55号土坑と重複する。新旧関係は13号竪穴建物が新しい。床面は平坦をなし、炭化物・焼土を含む硬い面を造る。竈、貯蔵穴、柱穴、壁周溝等の施設は確認されていない。竪穴建物の確認された面積は0.58m²である。時期は出土遺物から6世紀後半である。



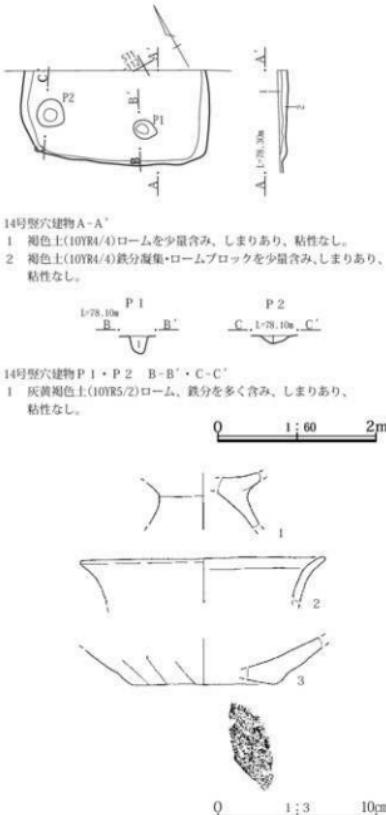
13号竪穴建物A'-A'・B'-B'

- 1 褐色土(10YR4/4)炭化物をわずかに含み、しまりあり、粘性なし。
- 2 褐色土(10YR4/4)炭化物を少量含み、大きめのロームブロックを含む。しまりあり、粘性なし。
- 3 褐色土(10YR4/4)ローム・炭化物・焼土を斑に含み、しまりあり、粘性なし。
- 4 褐色土(10YR4/4)床の粘土を含み、炭化物を少量含む。しまりあり、粘性なし。

第30図 13号竪穴建物と出土遺物

5区14号竪穴建物(第31図、PL.15・16)

5区東端に位置し、X=29,509～29,511、Y=-68,111～-68,113の範囲にある。南部を確認し、北部の大半は調査区外に延びる。形状は不明である。規模は長軸2.38m、短軸1.3m、壁高9cmを測る。主軸方位はN-60°-Wを指す。他の遺構との重複関係はない。床面は平坦をなし、2基のピットを確認した。各々P1・P2とした。規模はP1、30cm×23cm、深さ22cm、P2、35cm×34cm、深さ11cmを測る。ピット2基は柱穴と考えられる。竪穴建物の確認された面積は2.25m²である。時期は不明である。

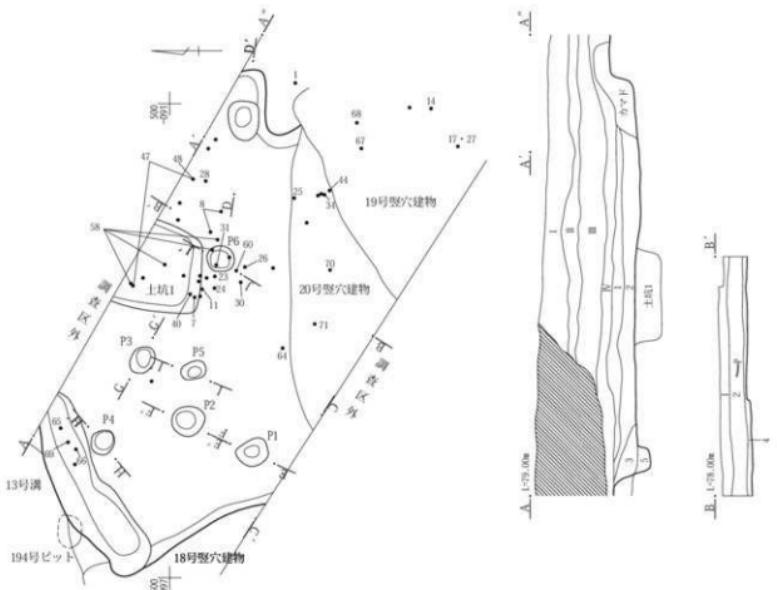


第31図 14号竪穴建物と出土遺物

5区15号窓穴建物(第32~38図、PL.16~18・63~65)

5区中央に位置し、X=29,497～29,501、Y=-68,090～-68,096の範囲にある。北半部は調査区外に延び、形状は不明である。規模は長軸4.8m、短軸4.67m、壁高15cmを測る。主軸方位はN-98°-Eを指す。他の遺構との関係は南西部で18号窓穴建物、13号溝、194号ピット、北東部で19号・20号窓穴建物と重複する。新旧関係は15号窓穴建物が18号窓穴建物、13号溝、194号ピットより新しく、19号・20号窓穴建物より古い。床面は平坦をなし、ロームを含む褐色土で造られる。竈は北東部に付設されるが、北半部は調査区外へ延びる。規模は長

軸1m、袖幅60cmを測る。床面にはピットが6基確認された。各々P1～P6とした。規模はP1、38cm×37cm、深さ26cm、P2、40cm×38cm、深さ6cm、P3、36cm×28cm、深さ24cm、P4、42cm×29cm、深さ14cm、P5、33cm×22cm、深さ20cm、P6、35cm×33cm、深さ19cmを測る。床面下に土坑1を確認した。規模は長軸1.15m、短軸0.95m、深さ31cmを測る。74点に及ぶ出土遺物が竈前面に集中して出土している。時期は出土遺物から9世紀後半である。

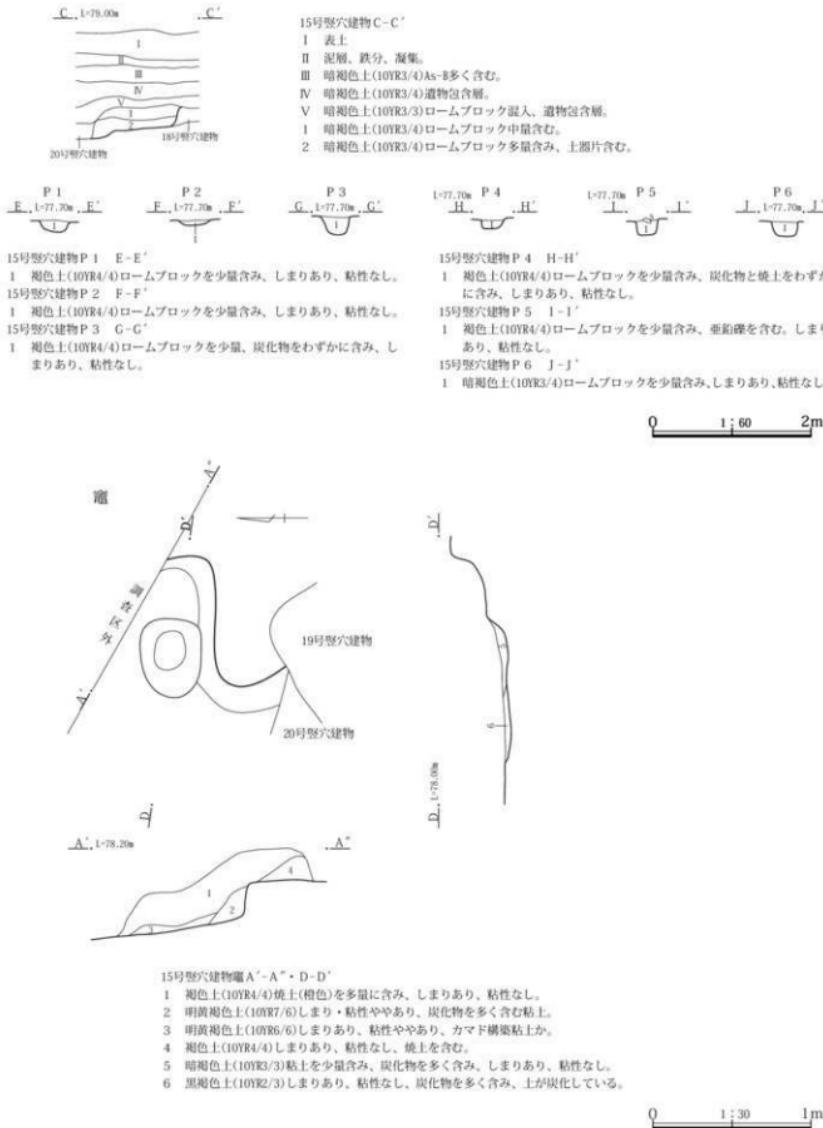


15号窓穴建物A-A'・B-B'

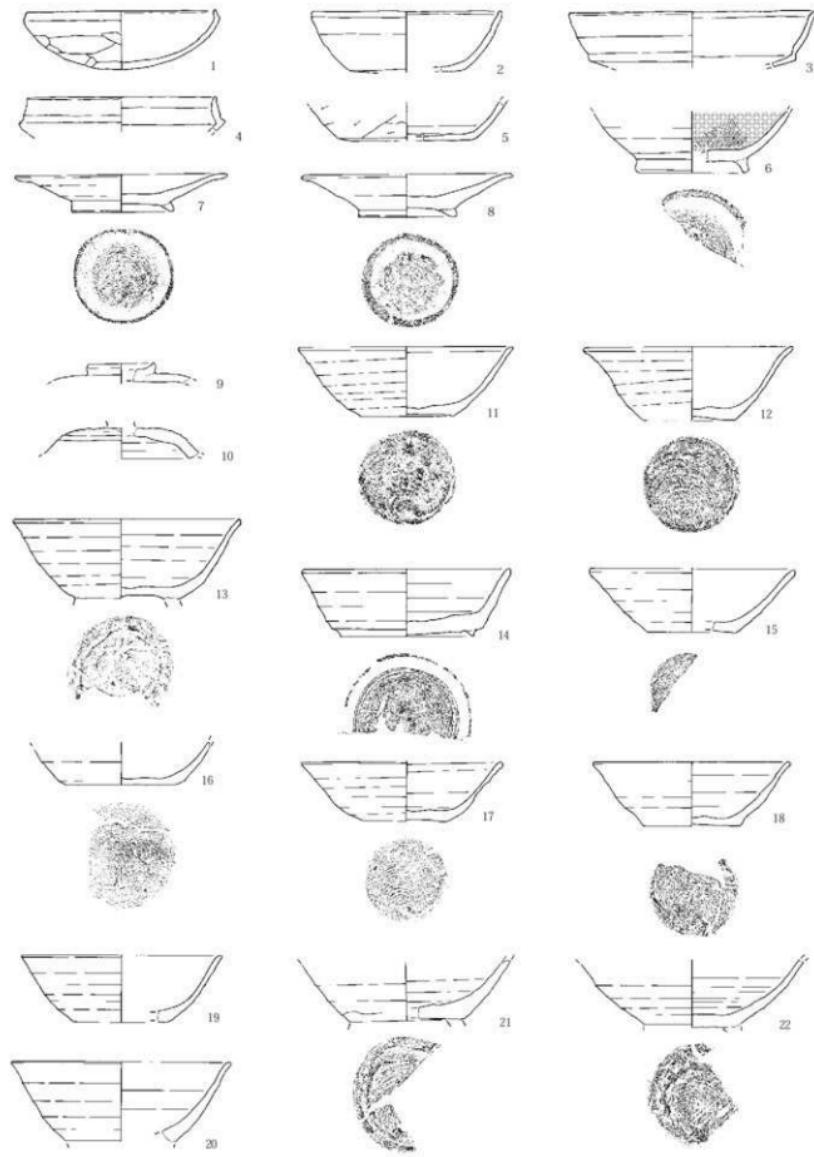
- 1 に多い黄褐色土(10YR5/4)炭化物をわずかに含み、しまりあり、粘性なし。
- 2 褐色土(10YR4/4)ロームや炭化物を多く含み、しまりあり、粘性なし。
- 3 暗褐色土(10YR3/4)ロームや炭化物を含み、しまりややあり、粘性なし。
- 4 褐色土(10YR4/4)ロームを少量含み、しまりあり、粘性なし。
- 5 暗褐色土(10YR3/4)しまり・粘性ややあり、炭化物や焼土を含む。

第32図 15号窓穴建物

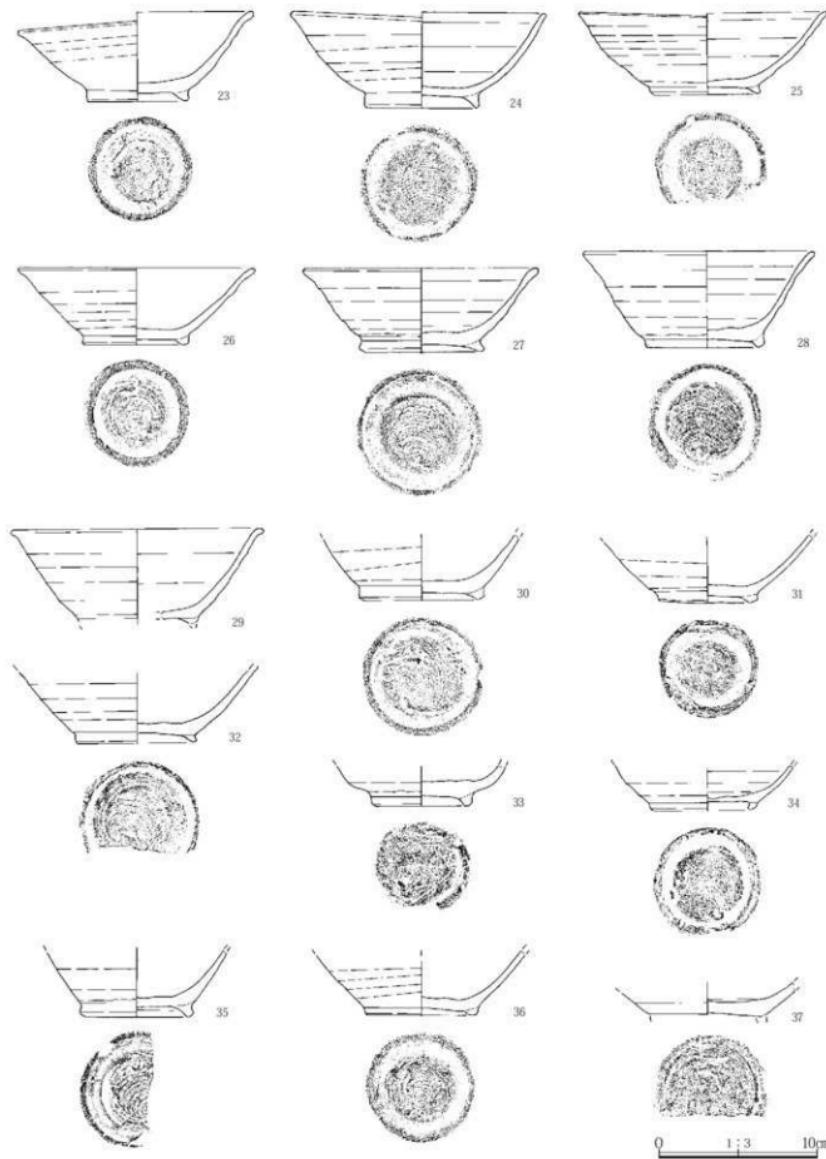




第33図 15号型穴建物土壌断面・竪

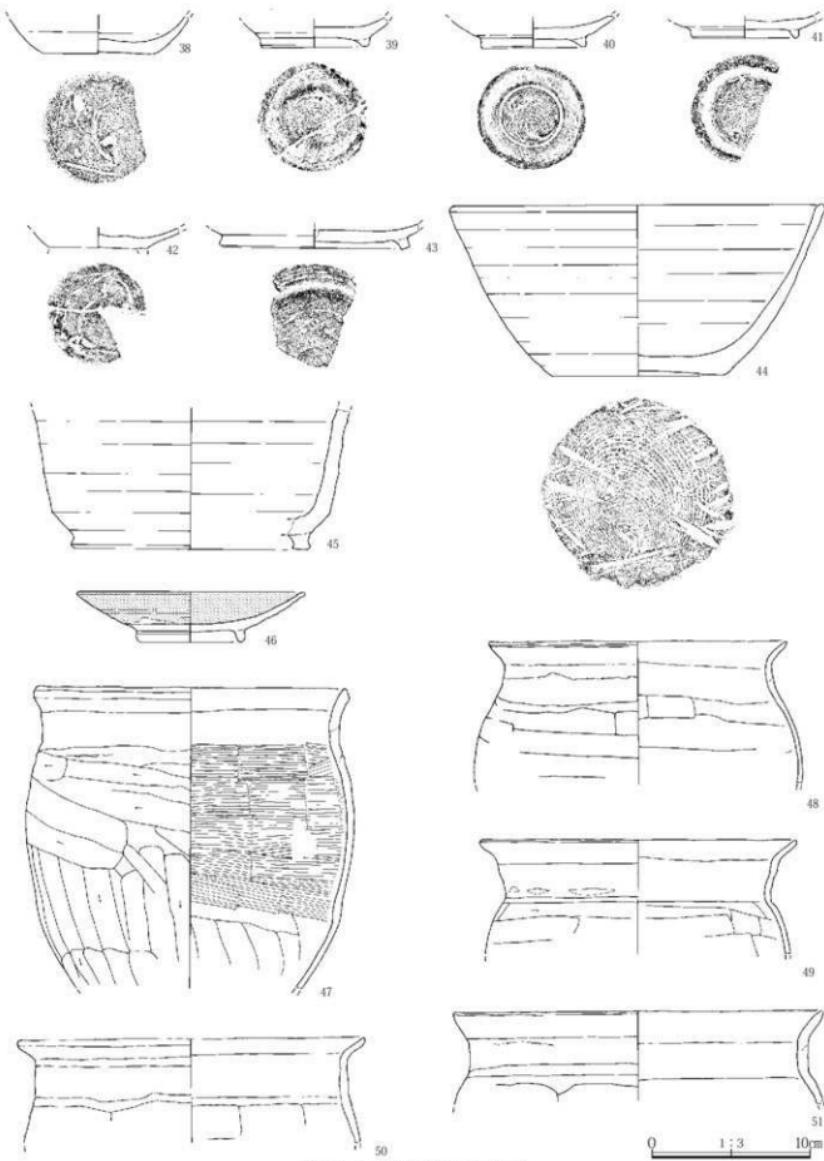


第34図 15号突穴建物出土遺物(1)

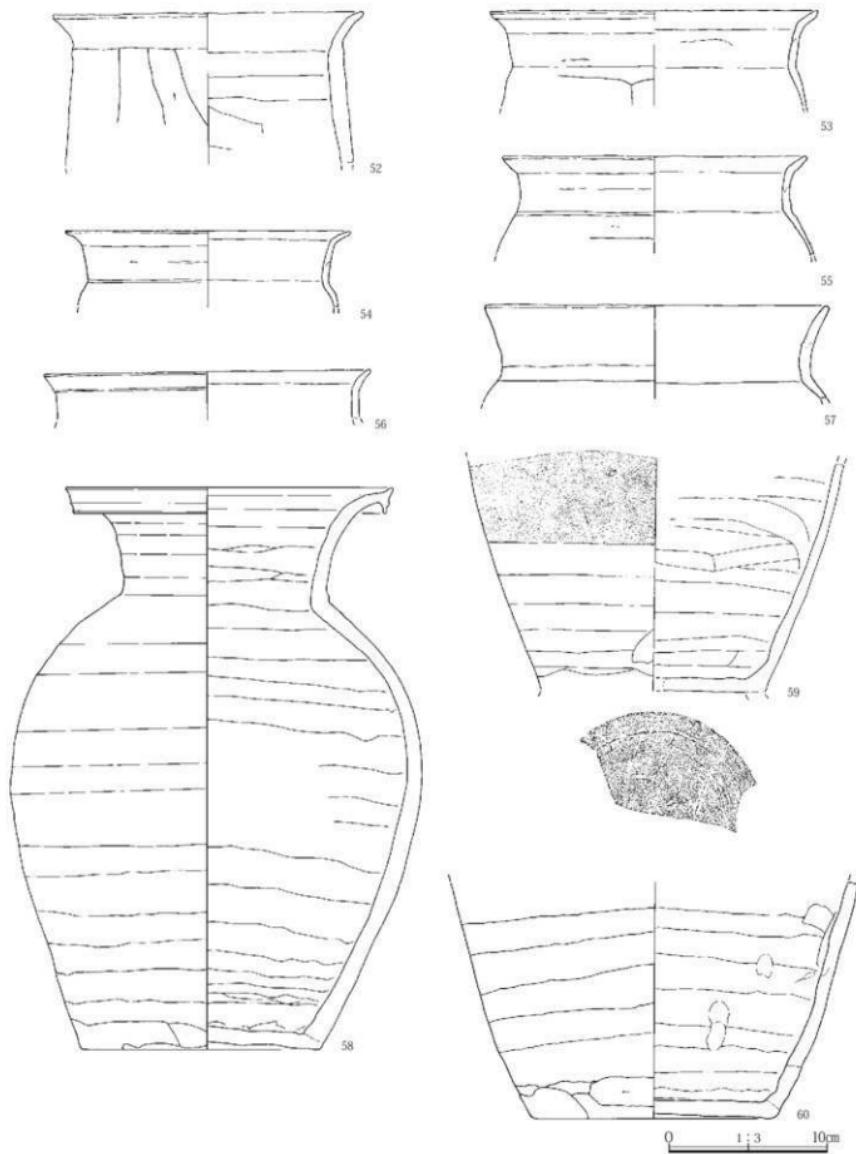


第35図 15号竪穴建物出土遺物(2)

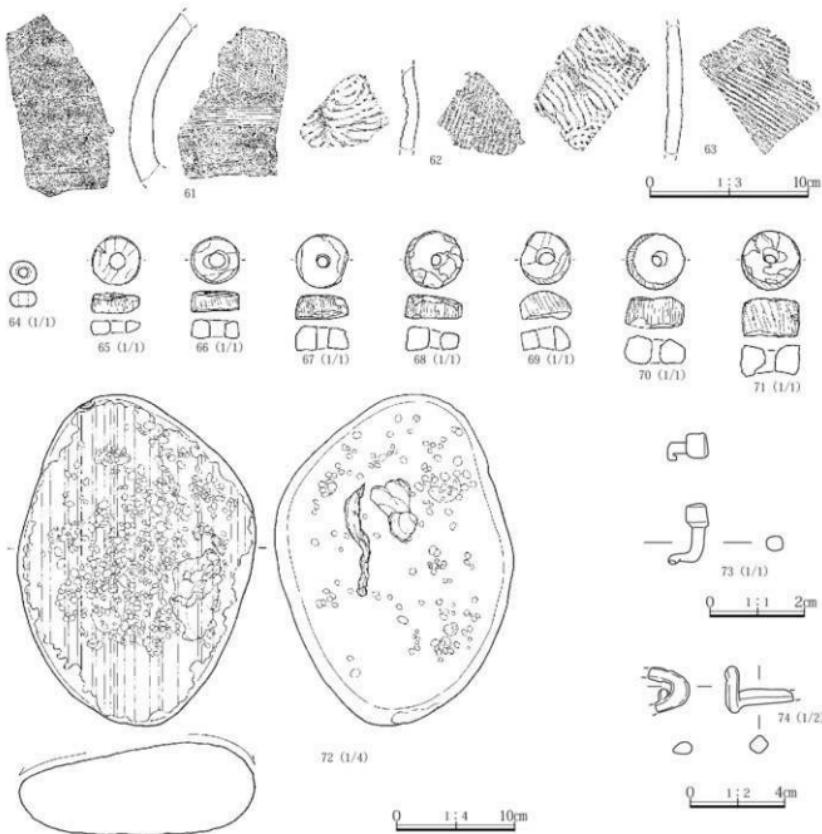
第1節 突穴建物



第36図 15号突穴建物出土遺物(3)



第37図 15号墳穴建物出土遺物(4)

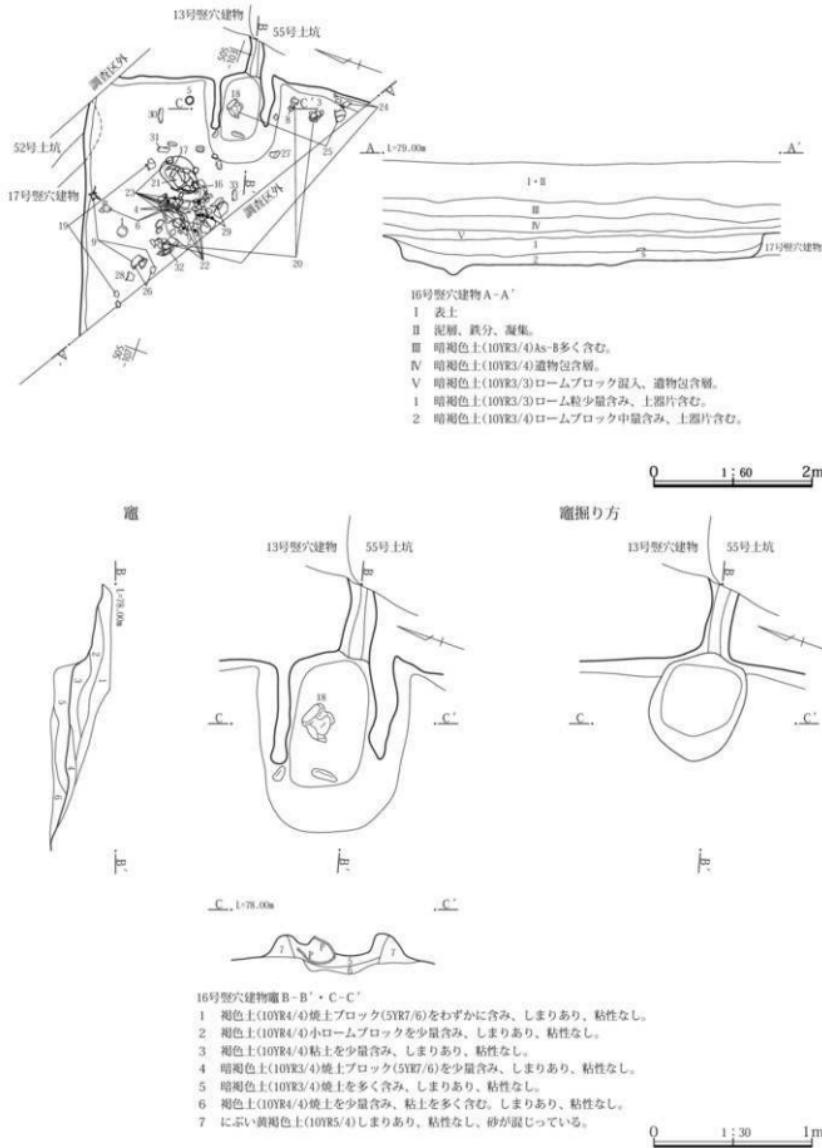


第38図 15号窓穴建物出土遺物(5)

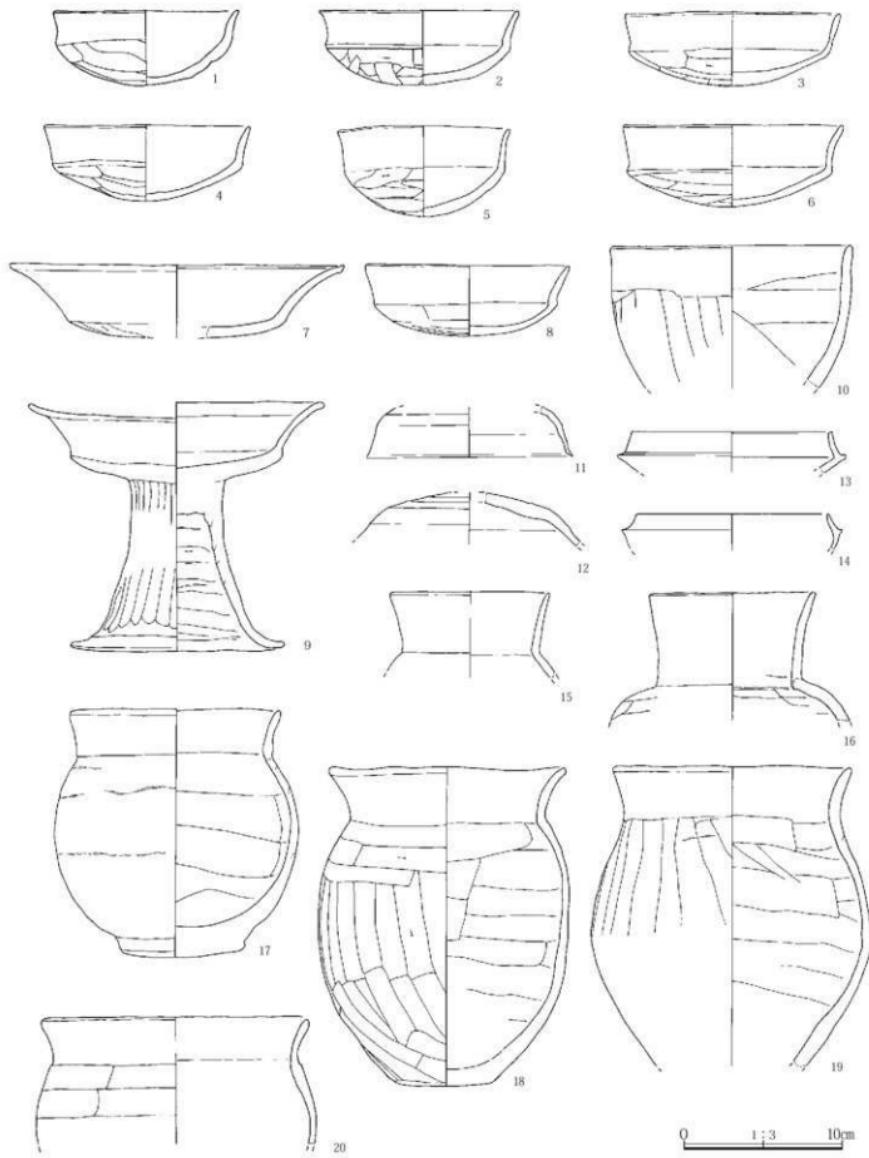
5区16号窓穴建物(第39~42図、PL.18~20・66・67)

5区西北部に位置し、X=29,503 ~ 29,506、Y=−68,102 ~ −68,107の範囲にある。南部の大半は調査区外に延びる。形状は方形を呈するものと考えられる。規模は長軸3.6m、短軸3.25m、壁高34cmを測る。主軸方位はN−75°−Eを指す。他の遺構との関係は北部で13号窓穴建物、西部で17号窓穴建物、東部竈煙道部で55号土坑、西北部で52号土坑と重複している。新旧関係は16号窓穴建物が13号・17号窓穴建物、52号土坑より新しく、

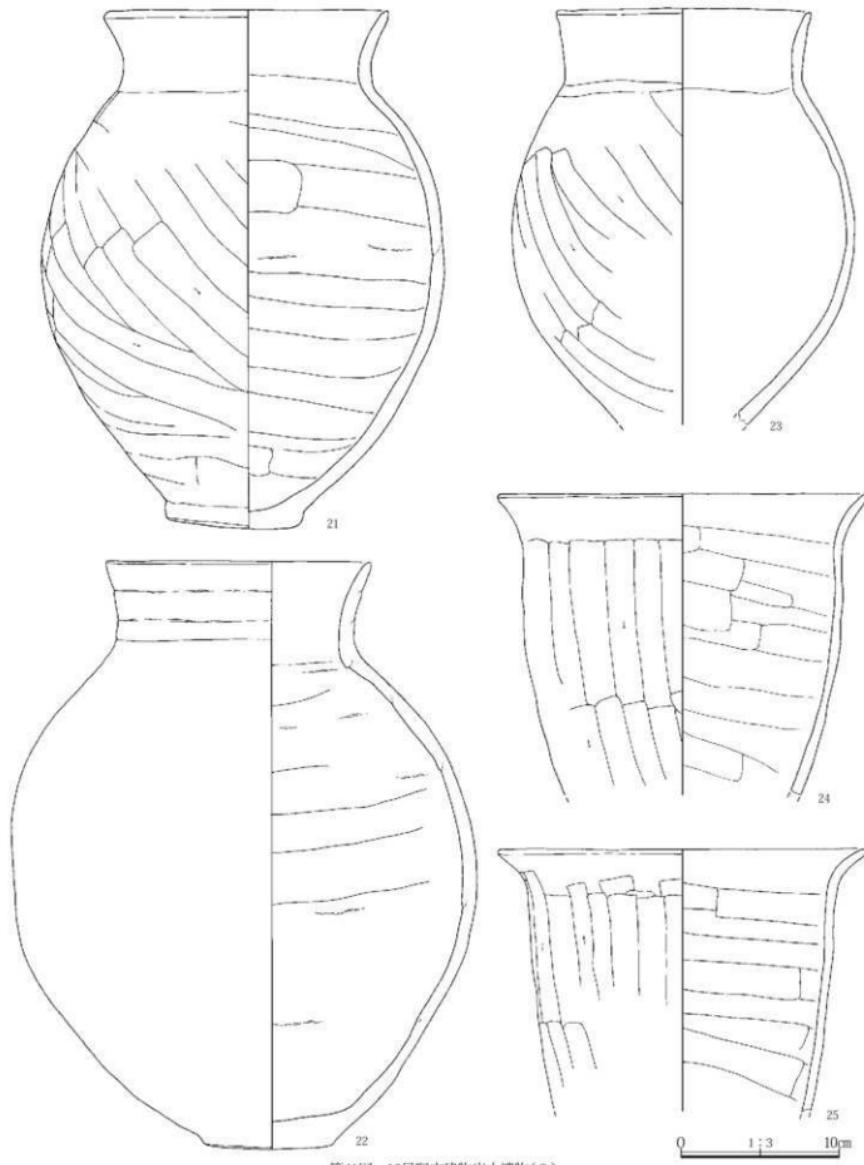
55号土坑より旧い。床面は平坦をなし、ロームブロックを含み暗褐色土で造られている。竈は東壁に付設されている。規模は長軸1.8m、このうち54cmが煙道部、袖幅45cmを測る。床面上には土師器、須恵器が多量に出土し、竈燃焼部から土師器甕が出土している。多量の出土遺物は竈左袖前より出土している。貯藏穴、壁周溝、柱穴等の諸施設は検出されていない。窓穴建物の確認された面積は5.74m²である。時期は出土遺物から6世紀後半である。



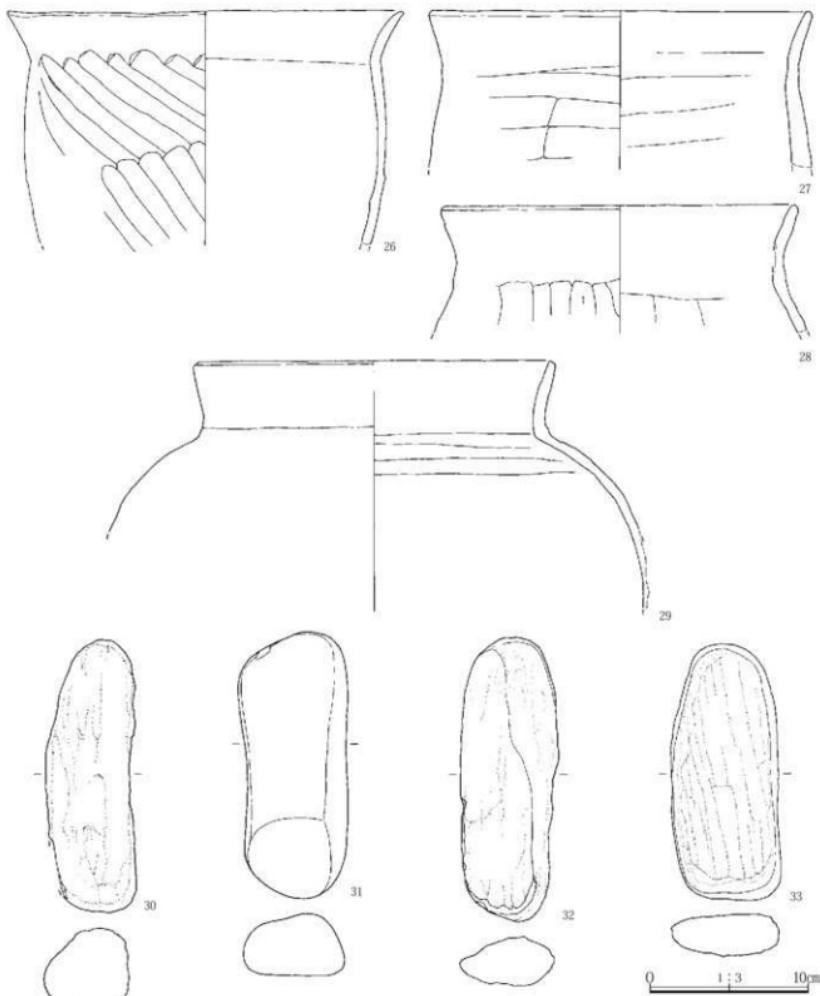
第39図 16号竖穴建物



第40図 16号突穴建物出土遺物(1)



第41図 16号竖穴建物出土遺物(2)

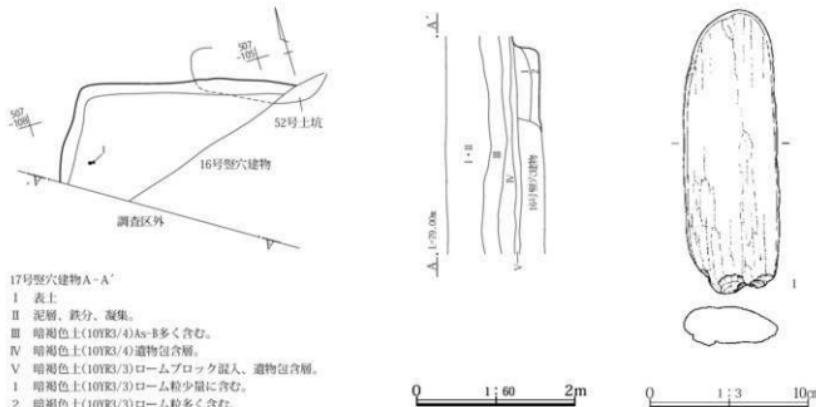


第42図 16号突穴建物出土遺物(3)

5区17号突穴建物(第43図、PL.20・21・67)

5区中央に位置し、X=29,505～29,507、Y=−68,104～−68,107の範囲にある。南東部は16号突穴建物にと南半部のほとんどは調査区外に延び、南東半部は

16号突穴建物に壟されている。規模は長軸2.8m、短軸1.5m、壁高31cmを測る。主軸方位はN-74°-Wを指す。形状は不明である。他の遺構との関係は北部で52号土坑、南東部は16号突穴建物と重複する。新旧関係は17号突



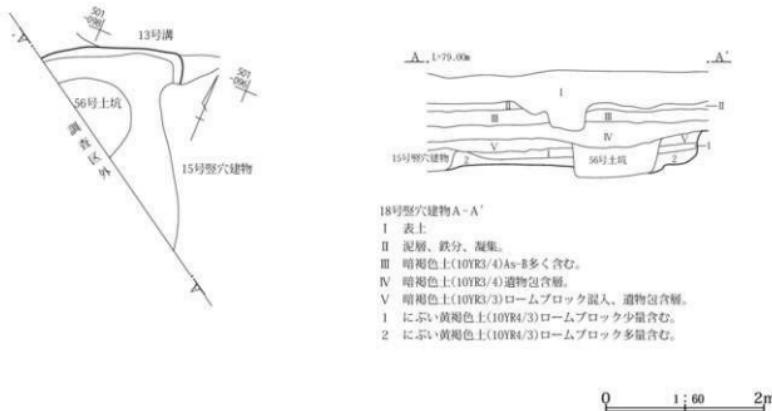
第43図 17号竖穴建物と出土遺物

建物が16号竖穴建物、52号土坑より古い。竈、貯蔵穴、壁周溝等の諸施設は検出されていない。竖穴建物の確認された面積は2.16m²である。時期は不明である。

5区18号竖穴建物(第44図、PL.21)

5区中央南に位置し、X=29,498～29,501、Y=−68,096～−68,098の範囲にある。南部の大半は調査区

外に延びる。形状は不明で、規模は長軸2.8m、短軸1.5m、壁高31cmを測る。主軸方位はN-30°-Wを指す。他の遺構との関係は東部で15号竖穴建物、中央部で56号土坑と重複する。新旧関係は18号竖穴建物が15号竖穴建物、56号土坑より古い。床面は平坦をなし、竈、貯蔵穴、柱穴等の諸施設は検出されていない。竖穴建物の確認された面積は1.47m²である。時期は不明である。

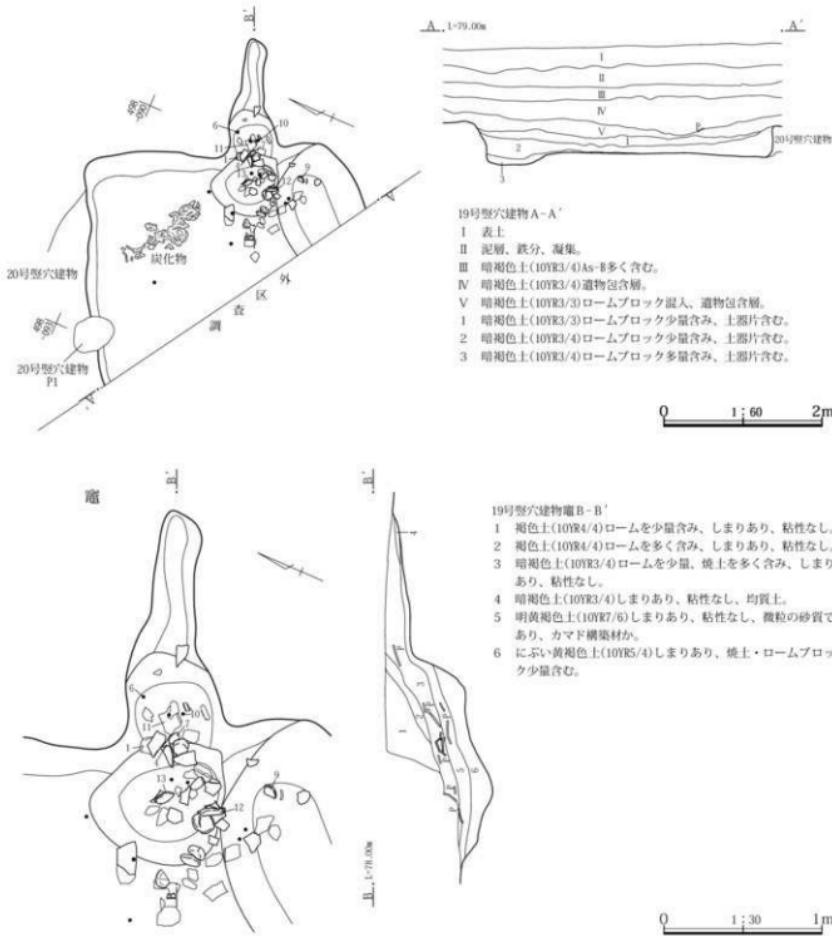


第44図 18号竖穴建物

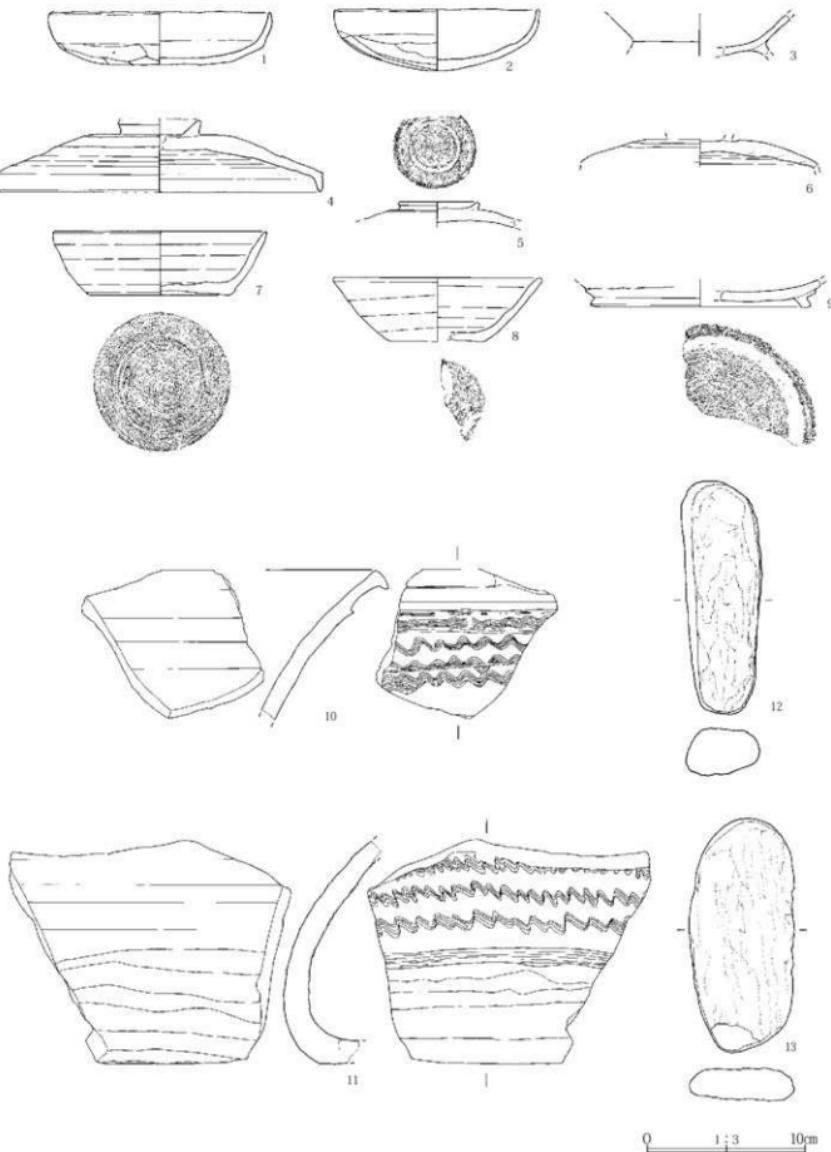
5区19号突穴建物(第45・46図、PL.21～23・68)

5区南東部に位置し、X=29,494～29,498、Y=−68,088～−68,093の範囲にある。南西部の大半は調査区外に延びる。形状は方形を呈すると考えられる。規模は長軸3.5m、短軸2.9m、壁高46cmを測る。主軸方位はN−67°−Eを指す。竈は東壁南寄りに付設されている。

規模は全長1.6m、このうち煙道部が1.4m、袖幅40cmを測る。竈前面燃焼部上覆土から須恵器(4・10・11)、土師器(1)が出土している。竈左袖前に炭化物が出土している。突穴建物の確認された面積は5.16m²である。時期は出土遺物から8世紀第3四半期である。



第45図 19号突穴建物

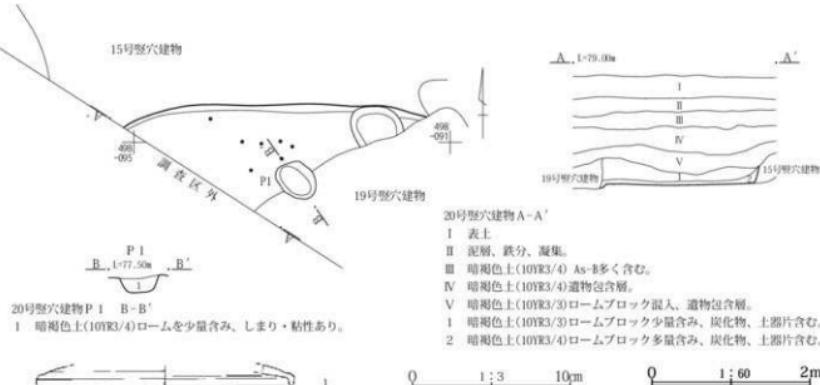


第46図 19号窓穴出土遺物

5区20号突穴建物(第47図、PL.23)

5区南東部に位置し、X=29,497・29,498、Y=-68,091～-68,095の範囲にある。南部の大半は調査区外に延び、19号突穴建物に壊されている。形状は不明で、規模は長軸3.8m、短軸1.33m、壁高19cmを測る。主軸方位は不明である。他の遺構との関係は北東部で15号突穴建物、南東部で19号突穴建物と重複する。新旧関係は

20号突穴建物が15号突穴建物より新しく、19号突穴建物より旧い。床面は平坦をなし、ロームブロック、炭化物を含む土で造られている。北壁側の床面にピットが1基確認され、P1とした。規模は52cm×44cm、深さ20cmを測る。竈、貯蔵穴、柱穴等の諸施設は検出されていない。突穴建物の確認された面積は2.49m²である。時期は不明である。

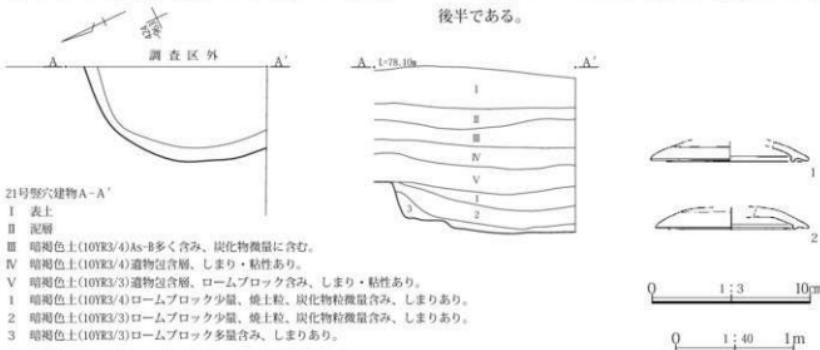


第47図 20号突穴建物と出土遺物

6区21号突穴建物(第48図、PL.23)

6区西侧東端に位置し、X=29,423・29,424、Y=-67,963・-67,964の範囲にある。突穴建物のほとんどは調査区外に延びる。北西部の一部のみが確認された。形状は不明である。規模は長軸1.53m、短軸0.78m、壁高

43cmを測る。主軸方位は不明で、他の遺構との重複はない。床面は平坦をなす。竈、貯蔵穴、柱穴等の諸施設は検出されていない。出土遺物は返りを持つ蓋(1・2)が出土し、時期は7世紀代と考えられる。突穴建物の確認された面積は0.82m²である。時期は出土遺物から7世紀後半である。

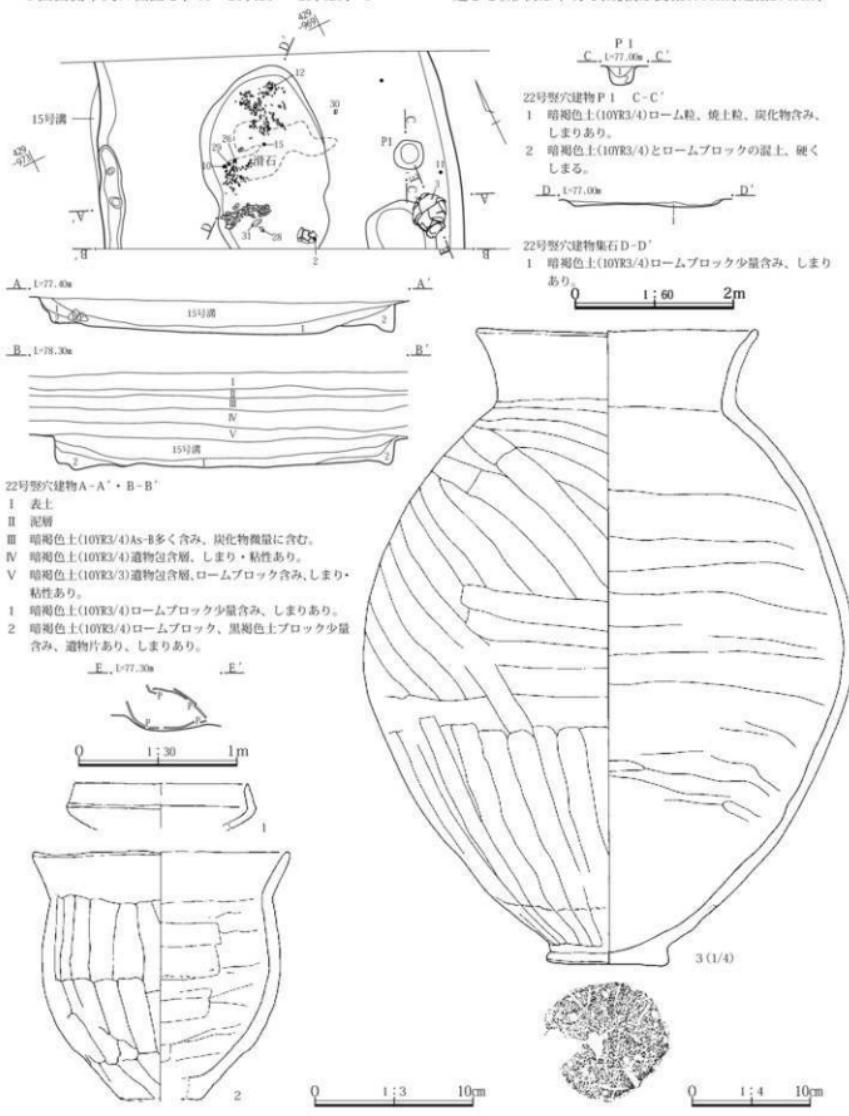


第48図 21号突穴建物と出土遺物

第3章 検出された遺構と遺物

6区22号竪穴建物(第49・50図、PL.23～25・68・69)
6区西側中央に位置し、X=29,425～29,429、Y=

-68,967～-68,972の範囲にある。南北壁は調査区外へ延びる。形状は不明で、規模は長軸4.56m、短軸2.45m、



第49図 22号竪穴建物と出土遺物(1)

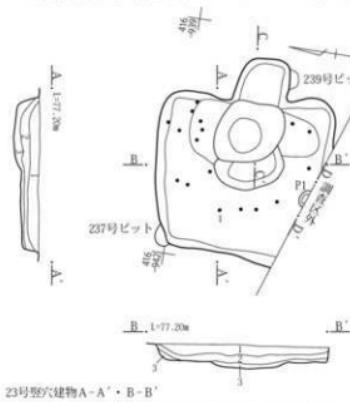


第50図 22号突穴建物出土遺物(2)

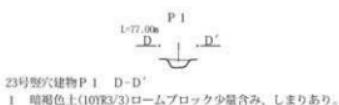
壁高41cmを測る。主軸方位は不明である。他の遺構との関係は西側で15号溝と重複する。新旧関係は22号竪穴建物が新しい。床面は平坦をなし、東壁寄りにピットを確認し、P 1とした。規模は37cm×36cm、深さ23cmを測る。P 1の南東壁際にはほぼ完形の土師器甕が出土している。竪穴建物の確認された面積は9.7m²である。本竪穴建物は建物の一部を確認したのみであるが床面上には多量の滑石が集中して出土している。白玉の未製品を含み、原石も出土している白玉の製作工房と考えられる。時期は出土遺物から6世紀後半である。

6区23号竪穴建物(第51図、PL.25・26・69)

6区東部中央に位置し、X=29,414～29,416、Y=

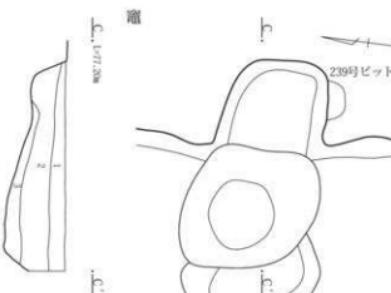


- 23号竪穴建物A-A'・B-B'
 1 噴褐色土(10YR3/3)ロームブロック少量含み、しまりあり。
 2 噴褐色土(10YR3/3)ロームブロック多く含み、しまりあり、土器片あり。
 3 噴褐色土(10YR3/3)とロームブロックの混土、粘性あり。



- 23号竪穴建物P 1 D-D'
 1 噴褐色土(10YR3/3)ロームブロック少量含み、しまりあり。

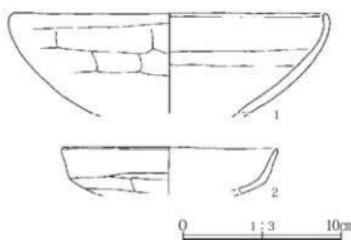
-67,939～-67,941の範囲にある。南壁の一部は調査区外に延びる。形状は方形を呈する。規模は長軸2.22m、短軸2.2m、壁高20cmを測る。主軸方位はN-82°-Eを指す。他の遺構との関係は北西壁で237号ピット、竪穴建物と239号ピットと重複する。新旧関係は23号竪穴建物が237号・239号ピットより新しい。床面は平坦をなす。竪穴建物は東壁に付設されている。規模は全長1.29m、袖幅50cmを測る。南調査区の境目にピットが1基確認されP 1としたが、調査区外に延びるため全掘はできなかった。規模は23cm×9cm、深さ11cmを測る。貯蔵穴、壁周溝、柱穴等の諸施設は検出されていない。時期は出土遺物から7世紀後半である。



23号竪穴建物竪穴 C-C'

- 1 噴褐色土(10YR3/3)ロームブロック少量含み、しまりあり。
 2 噴褐色土(10YR3/3)ロームブロック多く含み、しまりあり、上器片あり。
 3 噴褐色土(10YR3/3)とロームブロックの混土、粘性あり。

0 1:30 1m



第51図 23号竪穴建物と出土遺物

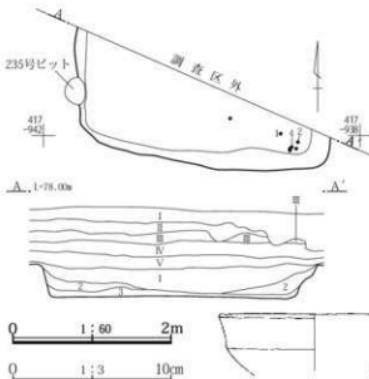
6区24号窓穴建物(第52図、PL.26・69)

6区東側中央に位置し、X=29,416～29,418、Y=−67,938～−67,941の範囲にある。北側のほとんどは調査区外に延びるため、確認されたのは南半部の一部のみである。形状は方形を呈するものと考えられる。規模は長軸3.16m、短軸1.32m、壁高44cmを測る。主軸方位はN−80°Wを指す。他の遺構との関係は西壁で235号ピットと重複する。新旧関係は24号窓穴建物が235号

ピットより古い。竈、貯蔵穴、壁周溝等の諸施設は検出されていない。出土遺物は南東コーナー部で土師器杯(2)、甕(4)が出土している。窓穴建物の確認された面積は2.43m²である。時期は出土遺物から8世紀前半である。

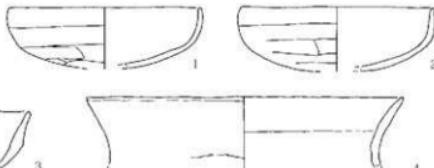
6区25号窓穴建物(第53図、PL.26・27・69)

6区東側南東部に位置し、X=29,411～29,413、

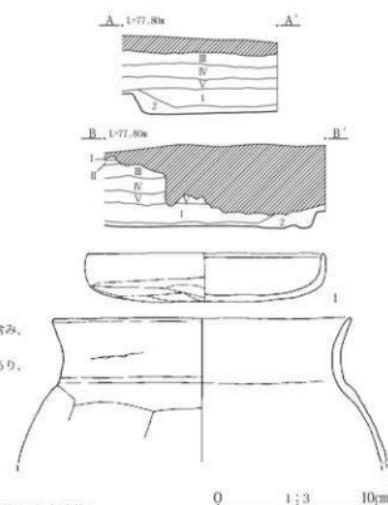


24号窓穴建物A-A'

- I 表土
- II 泥層
- III 暗褐色土(10YR3/4)As-B多く含み、炭化物微量に含む。
- IV 暗褐色土(10YR3/4)遺物包含層、しまり・粘性あり。
- V 暗褐色土(10YR3/3)遺物包含層、ロームブロック含み、しまり・粘性あり。
- 1 暗褐色土(10YR3/3)ロームブロック少量含み、遺物片混入、しまりあり。
- 2 暗褐色土(10YR3/4)ロームブロック少量含み、遺物片混入、しまりあり。
- 3 暗褐色土(10YR3/4)ロームブロック多量含み、粘性あり、貼り床か。



第52図 24号窓穴建物と出土遺物



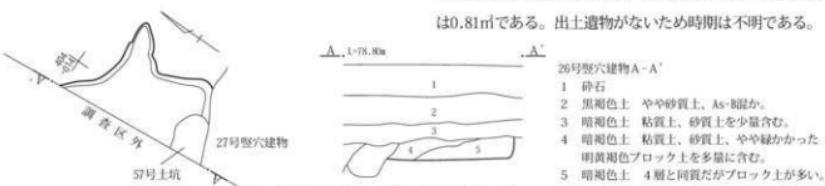
第53図 25号窓穴建物と出土遺物

25号窓穴建物P1-C-C'

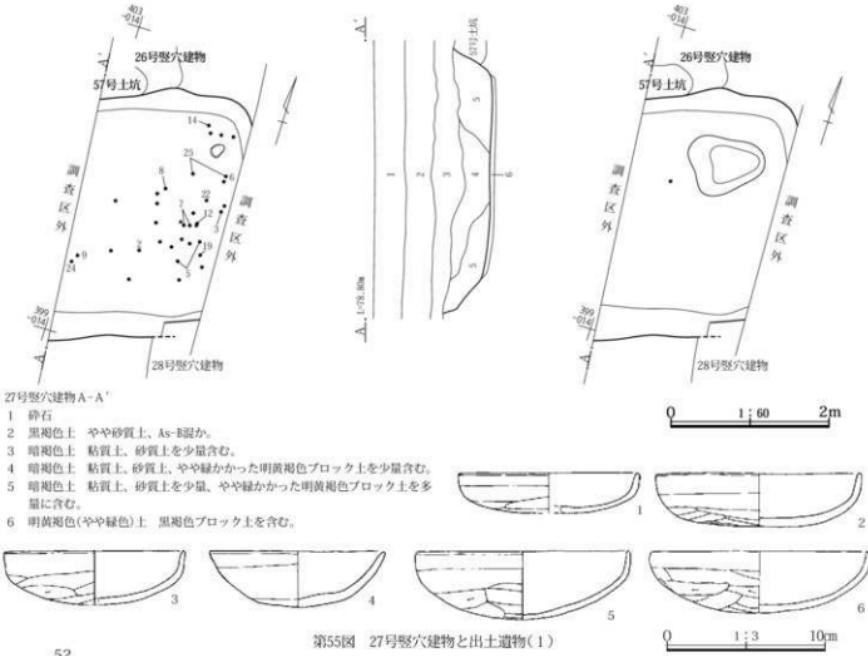
1 暗褐色土(10YR3/3)ロームブロック少量含み、粘性あり。

0 1:60 2m

$Y = -67,933 \sim -67,936$ の範囲にある。東西壁とともに調査区外へ延びる。形状は不明である。規模は長軸3.13m、短軸1.85m、壁高22cmを測る。主軸方位はN-87°-Wを指す。床面は平坦をなす。竈、貯蔵穴、壁面溝等の諸施設は確認されていない。西壁際でピットが1基確認され、P1とした。規模は48cm×46cm、深さ14cmを測る。出土遺物は土師器壺(1)、杯(2)が出土している。竪穴建物の確認された面積は3.91m²である。時期は出土遺物から8世紀後半である。



第54図 26号竪穴建物

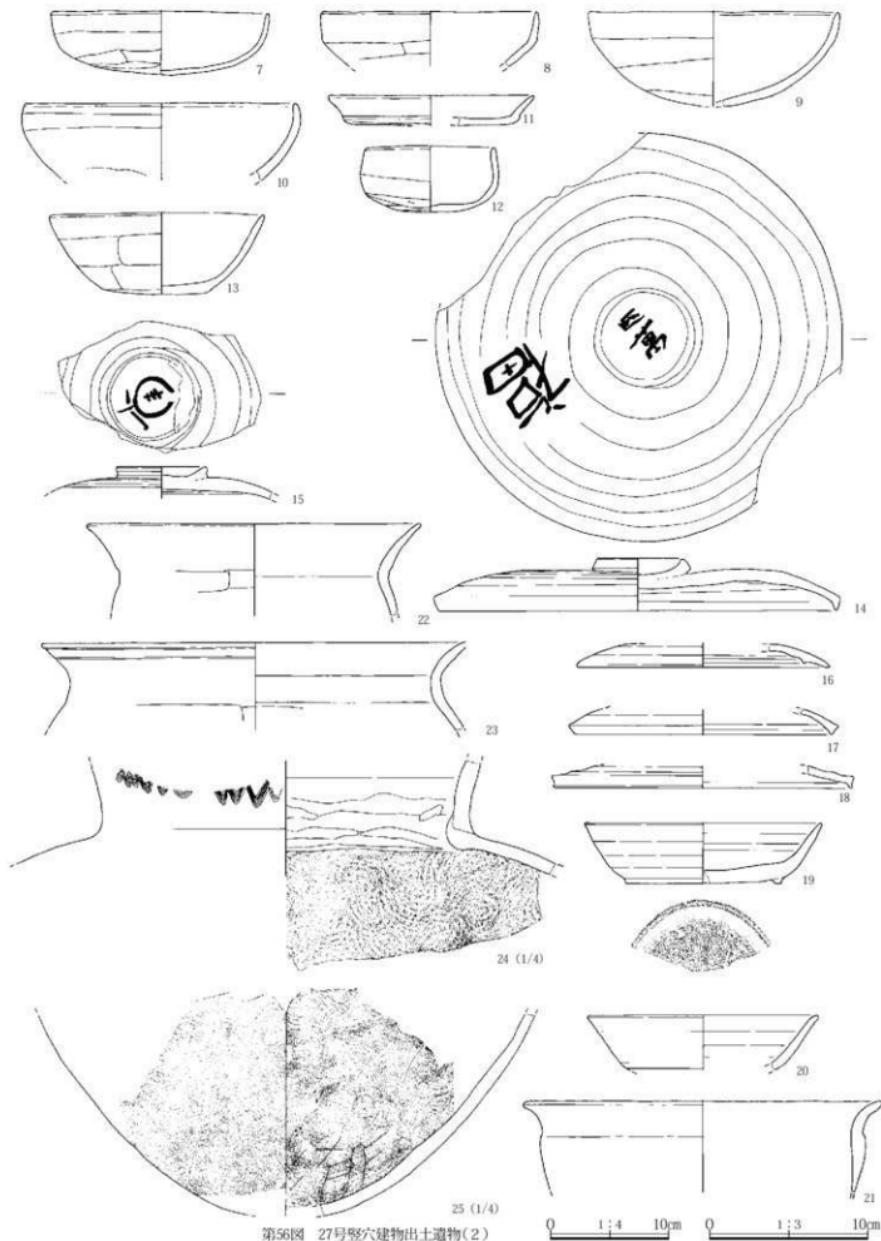


第55図 27号竪穴建物と出土遺物(1)

7区26号竪穴建物(第54図、PL.27)

7区中央に位置し、X=29,402～29,404、Y=-68,013・-68,014の範囲にある。西側大半は調査区外へ延びる。形状は方形を呈するものと考えられる。規模は長軸1.93m、短軸1.11m、壁高20cmを測る。主軸方位はN-60°-Eを指す。他の遺構との関係は南壁で27号竪穴建物、57号土坑と重複する。新旧関係は26号竪穴建物が57号土坑より旧く、57号土坑は27号竪穴建物より古い。

床面は平坦をなす。竈は北壁に付設されている。規模は全長71cm、袖幅54cmを測る。竪穴建物の確認された面積は0.81m²である。出土遺物がないため時期は不明である。



第56図 27号突穴建物出土遺物(2)

7区27号竪穴建物(第55・56図、PL.27・28・69・70)

7区中央に位置し、X = 29,398 ~ 29,402、Y = -68,012 ~ -68,014の範囲にある。東西壁は調査区外に延びる。形状は方形を呈すると考えられる。規模は長軸3.05m、短軸2.65m、壁高50cmを測る。主軸方位はN-20°-Wを指す。他の遺構との関係は北壁で26号竪穴建物、57号土坑、南壁で28号竪穴建物と重複する。新旧関係は27号竪穴建物が26号竪穴建物、5号土坑より新しく、28号竪穴建物より古い。床面は平坦をなす。竪、貯蔵穴、壁周溝等の諸施設は検出されていない。竪穴建物の確認された面積は4.91m²である。時期は出土遺物から8世紀第2四半期である。出土遺物の蓋(14)蓋破片(15)は墨書きが確認された。14はつまみの外側に『正(?)萬』、蓋表面に『福』15はつまみ外側に『南』と読める。

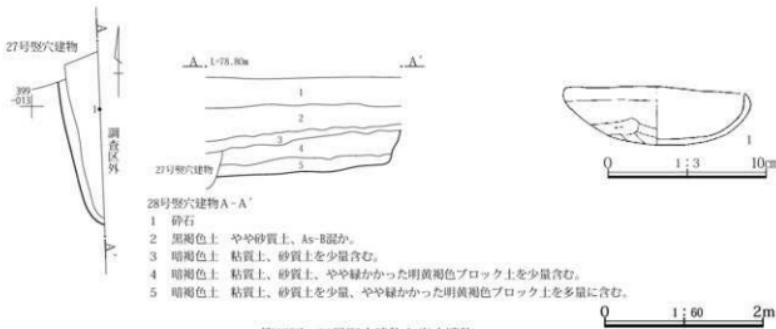
7区28号竪穴建物(第57図、PL.28・70)

7区中央に位置し、X = 29,397 ~ 29,399、Y = -68,012の範囲にある。竪穴建物の大半は調査区外に延

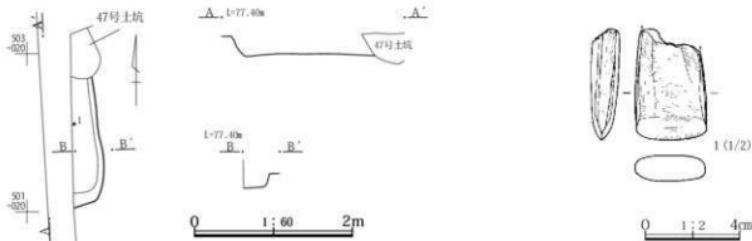
び、一部が確認された。形状は不明である。規模は長軸2.09m、短軸0.5m、壁高26cmを測る。主軸方位は西壁がN-14°-Wを指す。他の遺構との関係は北壁で27号竪穴建物と重複する。新旧関係は28号竪穴建物が古い。竪、貯蔵穴、壁周溝等の諸施設は検出されていない。竪穴建物の確認された面積は0.58m²である。時期は出土遺物から8世紀代である。

1区29号竪穴建物(第58図、PL.70)

1区中央に位置し、X = 29,501 ~ 29,502、Y = -68,017 ~ -68,019の範囲にある。竪穴建物の南東の一部が確認された。形状は不明で、規模は長軸1.65m、短軸1.55m、壁高20cmを測る。主軸方位は東壁がN-88°-Eを指す。他の遺構との関係は東壁北部で47号土坑と重複する。新旧関係は29号竪穴建物が47号土坑より古い。床面は平坦面を持つ。竪、貯蔵穴、壁周溝等の諸施設は検出されていない。竪穴状遺構の確認された面積は0.34m²である。時期は不明である。



第57図 28号竪穴建物と出土遺物



第58図 29号竪穴建物と出土遺物

第2節 壁穴状遺構

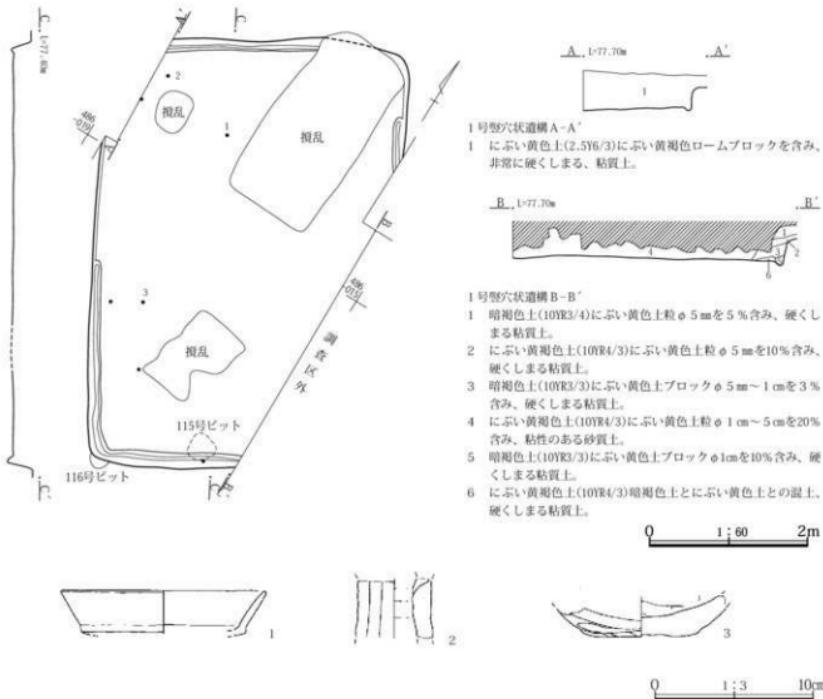
1区1号壁穴状遺構(第59図、PL.28・29・70)

1区中央に位置し、X=29,482～29,488、Y=−68,045～−68,018の範囲にある。東西壁は調査区外へ延びる。形状は長方形を呈する。規模は長軸5.4m、短軸3.8m、深さ31cmを測る。主軸方位はN−28°−Wを指す。他の遺構との関係は南部で115号・116号ビットと重複する。新旧関係は1号壁穴状遺構が新しい。底面はほぼ平坦面を持つ。四方の壁には周溝を持つ。規模は幅11cm～20cm、深さ1cm～5cmを測る。当遺構は壁穴状遺構としたが、底面の平らな事、壁周溝を持つことから東壁が調査区外に延びる部分に龜があることが考えら

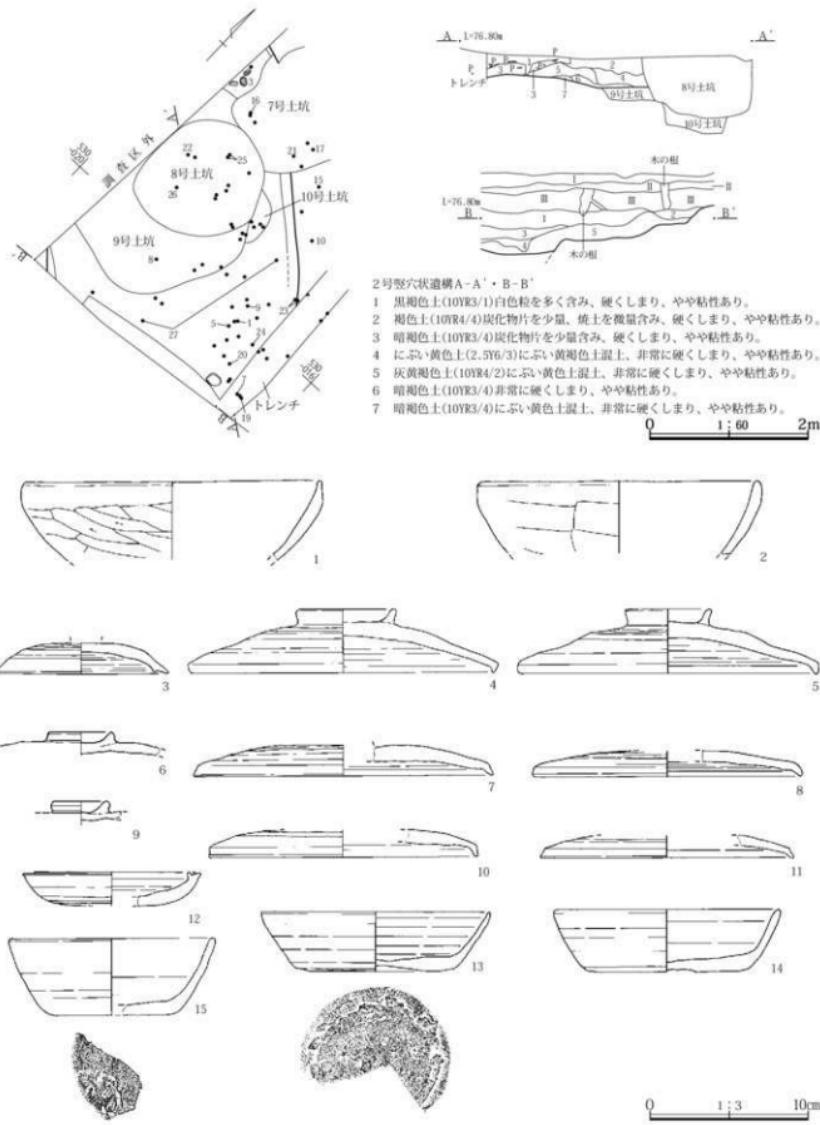
れ、壁穴建物の可能性が高い。時期は出土遺物から7世紀前半である。

1区2号壁穴状遺構(第60・61図、PL.29・70・71)

1区中央部に位置し、X=29,528～29,532、Y=−68,016～−68,019の範囲にある。形状は不明である。規模は長軸3.68m、短軸3.18m、深さ20cmを測る。主軸方位はN−54°−Wを指す。他の遺構との関係は7号～10号土坑と重複する。新旧関係は2号壁穴状遺構が7号～8号土坑より古い。7号～10号土坑に底面のほとんどを壊されている。時期は出土遺物から8世紀第2四半期である。

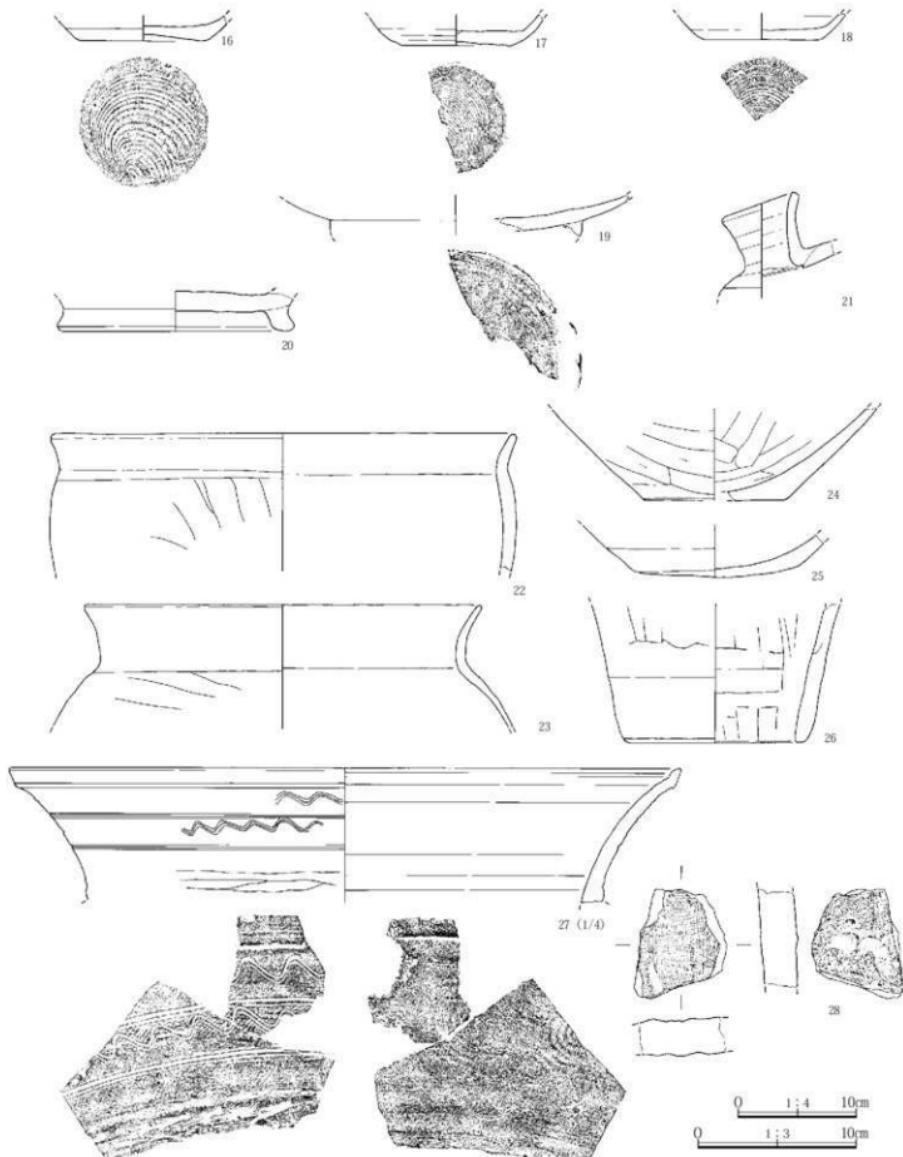


第59図 1号壁穴状遺構と出土遺物



第60図 2号竖穴状遺構と出土遺物(1)

第2節 穴状造構



第61図 2号堅穴状造構出土遺物(2)

第3章 検出された遺構と遺物

3区3号竪穴状遺構(第62図、PL.30・71)

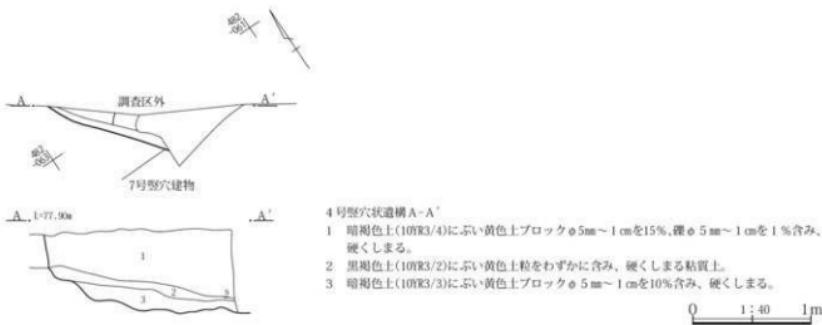
3区東端に位置し、X=29,411～29,413、Y=−68,027～−68,030の範囲にある。規模は長軸2.8m、短軸1.2m、深さ71cmを測る。他の遺構との関係は東部で22号土坑と重複する。新旧関係は3号竪穴状遺構が古い。時期は出土遺物から8世紀第1四半期である。

2区4号竪穴状遺構(第63図、PL.30)

2区中央に位置し、X=29,481～29,482、Y=−68,062の範囲にある。遺構の一部が確認された。形状、主軸等は不明である。規模は長軸1.03m、短軸40cm、深さ55cmを測る。底面は凹凸がある。他の遺構との関係は南部で7号竪穴建物と重複する。新旧関係は4号竪穴状遺構が古い。時期は不明である。



第62図 3号竪穴状遺構と出土遺物

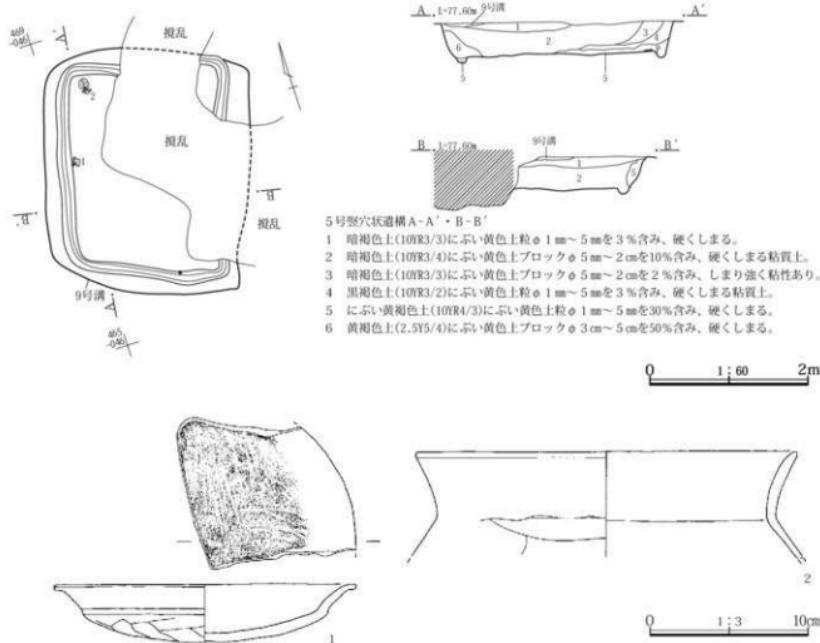


第63図 4号竪穴状遺構

2区 5号壁穴状遺構(第64図、PL.30・71)

2区東部に位置し、X=29,465～29,468、Y=−68,043～−68,046の範囲にある。形状は長方形を呈する。規模は長軸3.04m、短軸2.62m、深さ50cmを測る。

東部の大半は擾乱により壊されている。底面は平らになる。四方の壁には壁周溝が巡る。規模は幅12cm～28cm、深さ1cm～8cmを測る。当壁穴状遺構も1号壁穴状遺構同様、同じ理由で壁穴建物の可能性が高い。時期は出土遺物から8世紀前半である。



第64図 5号壁穴状遺構と出土遺物

第3節 掘立柱建物

2区1号掘立柱建物(第65・66図、PL.31・32・71)

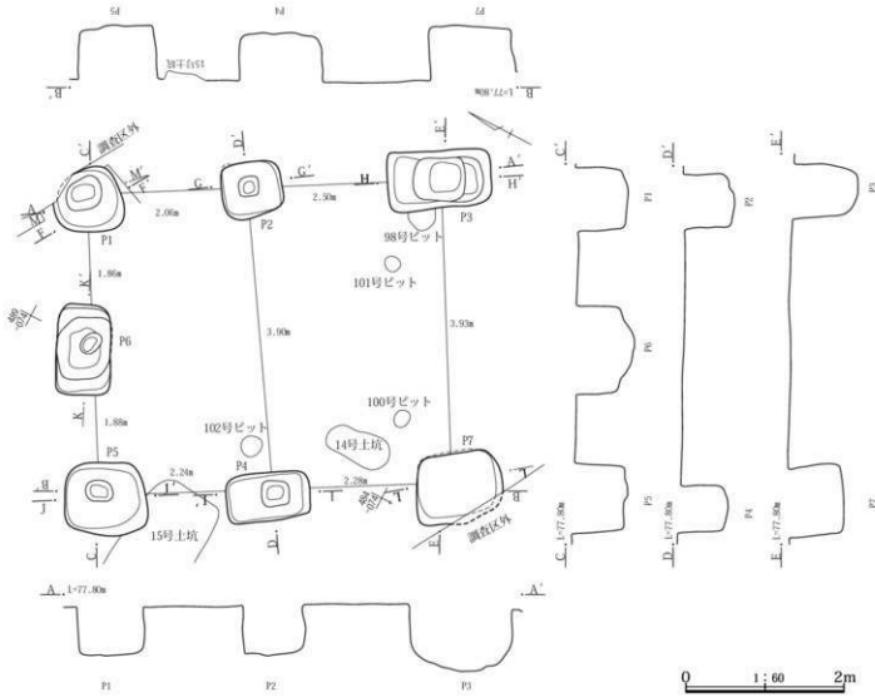
2区北西に位置し、X=29,482～29,489、Y=−68,069～−68,076の範囲にある。規模は2間×2間を測る。桁長4.56m、梁長3.74m～3.93mである。他の遺構との関係は14号・15号土坑、98号・100号～102号ピットと重複するが、新旧関係は不明である。東桁側は調査区外に延びることと、南東部は7号溝によって切られる。7号溝が新しいため建物の規模はさらに大きくなる可能性が高い。

柱穴の規模、形態、深さ等から、平面図に著した規模はさらに大きな建物になる可能性が強い。北西のP1～P6間は1.86m、P6～P5間は1.88mを測り、両柱間はほぼ6尺を保つが、P1～P2、柱間は2.06m、P2

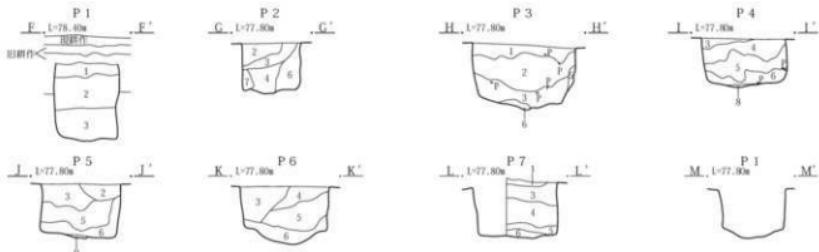
～P3柱間は2.50mと各々7尺、8尺を測る。西側のP5～P4間は2.24m、P4～P7間は2.28mを測り、各々8尺、約8尺である。柱穴の形態が統一されず、柱間が不揃いであることから丁寧な造りとは言えない。柱痕は底面に確認されている。断面には確認できていないが、断面写真を観察すると、うっすら掘り込み面が見える。

主軸方位はN=33°～Wである。全体的にピットの深さもややばらつきがみられる。

時期は掘立柱建物柱穴周辺より土器片が4点出土しており、出土遺物から7世紀末から8世紀初頭である。



第65図 1号掘立柱建物



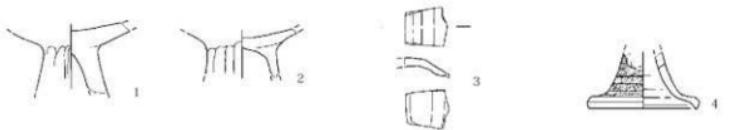
1号掘立柱建物 P 1 ~ P 7 F ~ F' ~ L ~ L'

- 褐色土(10YR4/4)にぶい黄色土混土、白色粒を微量含み、非常に硬くしまる。
- にぶい黄色土(2.5YR6/3)φ 1mm程度の白色粒・にぶい黄褐色ブロックを少量含み、非常に硬くしまり、やや粘性あり。
- 褐色土(10YR4/4)にぶい黄色土混土、非常に硬くしまり、やや粘性あり。
- 灰褐色土(10YR4/2)にぶい黄色ブロック点在し、非常に硬くしまり、やや粘性あり。
- 暗褐色土(10YR3/4)褐色土混土、暗褐色土は粘質土で砂状を含み、やや粘性あり。
- 黒褐色土(10YR3/2)にぶい黄色ブロック点在し、非常に硬くしまり、粘質土。
- 灰褐色土(10YR4/2)にぶい黄色ブロック微量含み、非常に硬くしまり、粘質土。
- 暗褐色土(10YR3/4)φ 2~3mm程度の粒を微量含み、硬くしまり、粘質土。
- 黒褐色土(10YR3/1)ロームブロック混じり、しまりあり、粘質土。

0 1:60 2m

第2表 1号掘立柱建物柱穴計測表

柱穴No	長(m)	短(m)	深(m)	形 状
P 1	0.85	0.82	0.63	楕円形
P 2	0.76	0.71	0.65	椭丸方形
P 3	1.31	0.71	0.86	椭丸長方形
P 4	1.06	0.61	0.64	椭丸長方形
P 5	1.02	0.93	0.71	楕円形
P 6	1.15	0.68	0.75	椭丸長方形
P 7	1.09	0.87	0.72	楕円形



0 1:3 10cm

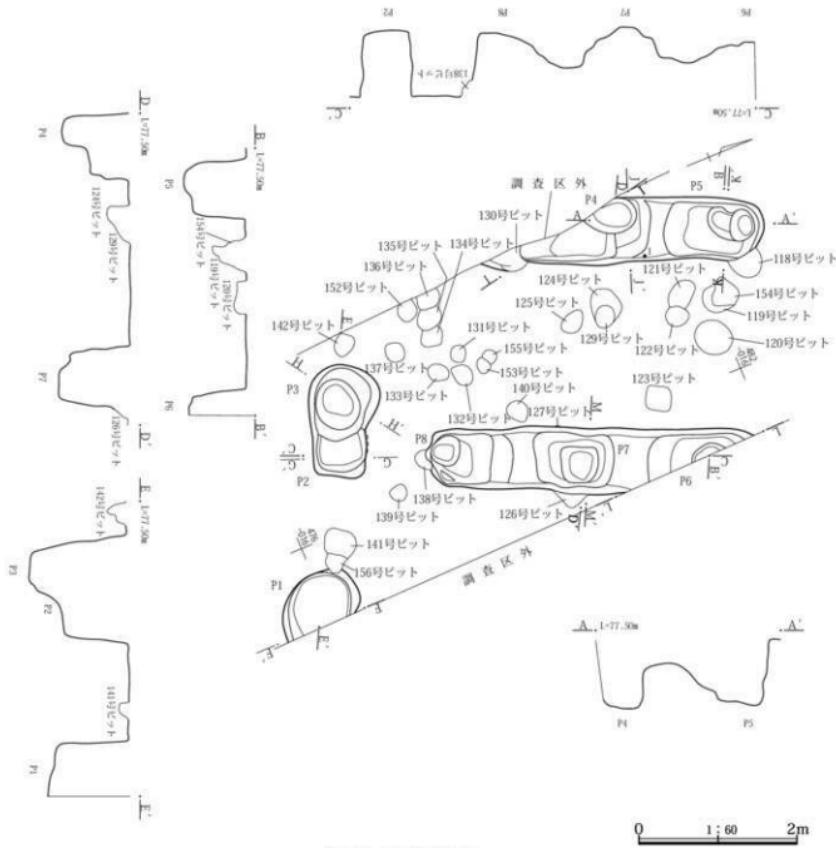
第66図 1号掘立柱建物土層断面と出土遺物

1区 2号掘立柱建物(第67～69図、PL.32～36・71)

1区中央部に位置し、X=29,475～29,482、Y=−68,014～−68,018の範囲にある。規模は長軸5.15m、短軸約5mを測る。布壙の建物である。桁側・南北梁側が東西方向の大型の建物の一部である。他の遺構との関係は118号～127号、129号～142号、152号～156号ピットと重複する。27基のピットの時期は出土遺物が無いため、不明である。

各々の柱間はP 1～P 2、1.95m、P 2～P 8、1.40m、P 4～P 7、3.00m、P 5～P 6、2.95m、P 6～

P 7、1.55m、P 7～P 8、1.80m、P 2～P 3、0.70m、P 4～P 5、1.40mを測る。各々の柱間は約6.5尺、4.5尺、1間、1間、5尺、6尺、6尺、4.5尺で1号掘立柱建物同様ややばらつきが認められる。本調査は大形の建物の一部を確認している。主軸方位はN=22°～Eで、1号掘立柱建物とは50°近く東西にぶれている。出土遺物はP 4で6世紀代の土師器片が出土しているが、流れ込みと思われる。本掘立柱建物は1号掘立柱建物と同一の建物群にある7世紀末から8世紀初頭期の掘立柱建物と考えられる。



第67図 2号掘立柱建物



2号掘立柱建物 P 1 F-F'

- 褐色土(10YR4/4)小礫を含み、非常に硬くしまり、粘質土。
 - 黒褐色土(10YR3/1)にぶい黄色ブロックを多く含み、非常に硬くしまり、粘質土。
 - にぶい黃褐色土(10YR4/3)繊を少量含み、非常に硬くしまり、粘質土。
 - 暗褐色土(10YR3/3)にぶい黄色土少量含み、非常に硬くしまり、粘質土。
 - 褐色土(10YR4/4)にぶい黄色ブロックを大量に含み、非常に硬くしまり、粘質土。
 - 暗褐色土(10YR3/4)にぶい黄色ブロックを大量に含み、非常に硬くしまり、粘質土。
 - 暗褐色土(10YR3/4)にぶい黄色ブロック少量含み、非常に硬くしまり、粘質土。
- 2号掘立柱建物 P 2 G-G'
- 暗褐色土(10YR3/3)にぶい黄色土ブロックを3%含み、硬くしまる。
 - 灰黃褐色土(10YR4/2)にぶい黄色土ブロック ø 1cm~3cmを10%含み、しまりややかく粘性あり。
 - にぶい黃褐色土(10YR5/4)細砂質土でしり強い崩落土。
 - にぶい黃褐色土(10YR4/3)にぶい黄色土ブロック ø 2cm~4cmを30%含み、しまりやや弱い。



2号掘立柱建物 P 4 J-J'

- 褐色土(10YR4/4)にぶい黄色土混土、白色粒を微量含み、非常に硬くしまり、粘質土。
- にぶい黃褐色土(10YR4/3)にぶい黄色ブロック含み、非常に硬くしまり、粘質土。
- 暗褐色土(10YR3/4)炭化物片を微量、にぶい黄色ブロックを含み、非常に硬くしまり、粘質土。
- 暗褐色土(10YR3/3)にぶい黄色土少量含み、非常に硬くしまり、粘質土。
- 褐色土(10YR2/3)硬くしまり、粘性あり。
- 黒褐色土(10YR2/3)硬くしまり、粘性あり。
- 暗褐色土(10YR3/1)にぶい黄色土含み、非常に硬くしまり、粘質土。
- 暗褐色土(10YR3/3)褐色土混土、非常に硬くしまり、粘質土。
- 黒褐色土(10YR3/2)にぶい黄色土混土、非常に硬くしまり、粘質土。
- 暗褐色土(10YR3/3)砂を少量含み、硬くしまる。
- 暗褐色土(10YR3/4)砂を少量、粘質ブロックを含み、硬くしまる。

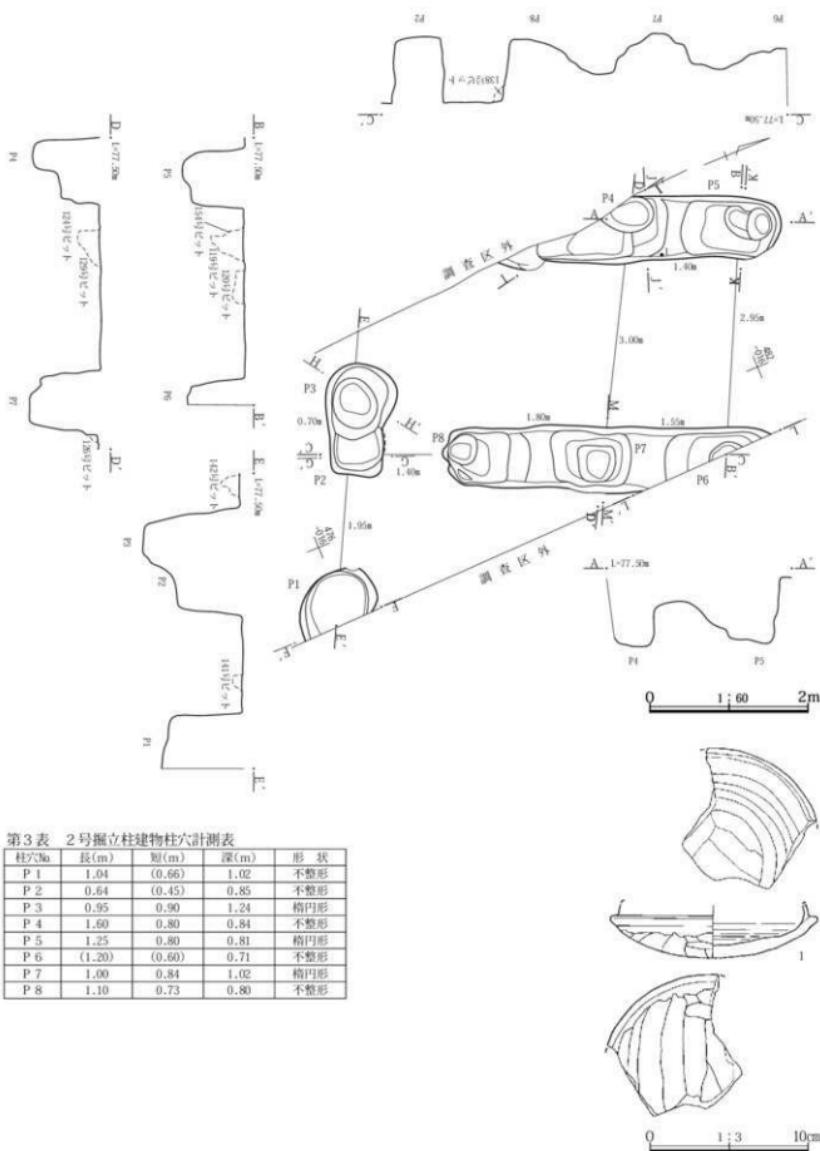


2号掘立柱建物 P 6 L-L'

- 褐色土(10YR4/6)硬くしまり、粘質土。
 - 褐色土(10YR4/6)にぶい黄色土含み、硬くしまり、粘質土。
 - 褐色土(10YR4/6)にぶい黄色ブロックを多く含み、硬くしまり、粘質土。
 - 褐色土(10YR4/6)黄褐色ブロックを3%よりも多く含み、硬くしまり、粘質土。
 - 褐色土(10YR4/6)暗褐色土とにぶい黄色ブロック混土、硬くしまり、粘質土。
 - 褐色土(10YR4/6)にぶい黄色ブロック少量含み、硬くしまり、粘質土。
 - 暗褐色土(10YR3/4)にぶい黄色ブロック少量含み、硬くしまり、粘質土。
- 2号掘立柱建物 P 7 M-M'
- 褐色土(10YR4/4)にぶい黄色土混土、白色粒を微量含み、非常に硬くしまり、やや粘性あり。
 - にぶい黃褐色土(10YR3/3)にぶい黄色ブロック含み、非常に硬くしまり、やや粘性あり。
 - 褐色土(10YR4/4)にぶい黄色ブロック多く含み、非常に硬くしまり、粘性あり。
 - 褐色土(10YR4/4)にぶい黄色土混土、硬くしまり、粘性あり。
 - 暗褐色土(10YR3/4)にぶい黄色ブロック多く含み、非常に硬くしまり、粘性あり。
 - にぶい黃褐色土(10YR4/3)褐色ブロック含み、硬くしまり、粘質土。



第68図 2号掘立柱建物土層断面



第3表 2号掘立柱建物柱穴計測表

柱穴No	長(m)	幅(m)	深(m)	形 状
P 1	1.04 (0.66)		1.02	不整形
P 2	0.64 (0.45)		0.85	不整形
P 3	0.95	0.90	1.24	椭円形
P 4	1.60	0.80	0.84	不整形
P 5	1.25	0.80	0.81	椭円形
P 6	(1.20) (0.60)		0.71	不整形
P 7	1.00	0.84	1.02	椭円形
P 8	1.10	0.73	0.80	不整形

第69図 2号掘立柱建物と出土遺物

第4節 土坑

遺跡内で確認された土坑は57基である。大半は1・2区で検出した。土坑の50基は1・2区である(第70~79図、第5表、PL.36~43・72・73)。

遺物が検出された土坑は15基である。1基は石が1点出土している。遺物から時期の分かれる土坑は以下の14基である。形状規模は第5表を参照されたい。(127・128頁)

4号土坑(第70・78図、PL.36・72)

須恵器の蓋(1)が出土している。時期は出土遺物から8世紀代である。

7号土坑(第71・78図、PL.37・72)

土師器杯(1~5)、須恵器杯(6)、須恵器壺(7・8)等が共伴出土している。時期は出土遺物から7世紀後半から8世紀前半である。

8号土坑(第71・78図、PL.37・72)

土師器杯(1)が1点出土し、時期は出土遺物から7世紀後半である。

15号土坑(第72・78図、PL.38・72)

土師器杯(1)・甕(2)が出土し、時期は出土遺物から8世紀後半から9世紀前半である。

22号土坑(第73・78図、PL.72)

土師器杯(1)が1点出土し、時期は出土遺物から7世紀後半である。

35号土坑(第74・78図、PL.40・72)

土師器杯(1)、須恵器蓋(2)等が出土し、時期は出土遺物から7世紀末から8世紀初頭である。

36号土坑(第75・78図、PL.40・72)

土師器杯(1・2)・甕(4)、須恵器蓋(3)が出土し、蓋内面に返りを持つ。時期は出土遺物から7世紀後半である。

37号土坑(第75・79図、PL.40・72)

土師器鉢(1)が出土し、時期は出土遺物から7世紀後半である。

38号土坑(第74・79図、PL.40・72)

須恵器盤(1)が出土し、時期は出土遺物から7世紀末から8世紀初頭である。

40号土坑(第75・79図、PL.41・73)

須恵器蓋(1)が出土し、時期は出土遺物から7世紀末から8世紀初頭である。

41号土坑(第75・79図、PL.41・73)

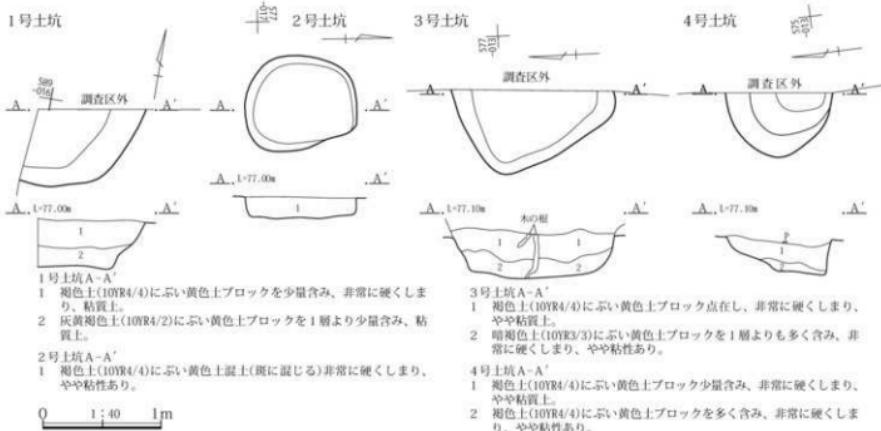
須恵器杯(1~4)が数点出土し、時期は出土遺物から8世紀後半である。

42号土坑(第76・79図、PL.41・73)

須恵器蓋(1)が出土し、時期は出土遺物から8世紀後半である。

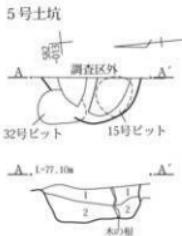
54号土坑(第77・79図、PL.42・43・73)

土師器杯(1・2)、須恵器杯(3)が出土し、時期は出土遺物から土師器が6世紀前半、須恵器杯は9世紀後半である。



第70図 1号~4号土坑

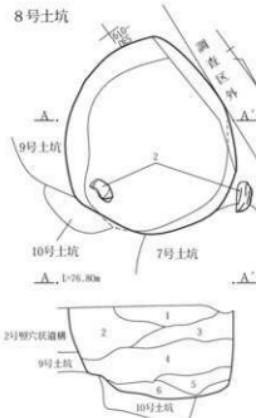
第3章 検出された遺構と遺物



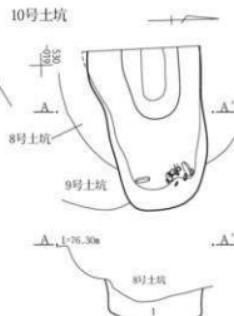
5号土坑 A-A'

- 1 暗褐色土(10YR3/4)にぶい黄色土ブロック点在し、白色細粒を微量含み、非常に硬くしまり、やや粘性あり。
- 2 黒褐色土(10YR3/2)にぶい黄色土ブロックを多く含み、非常に硬くしまり、粘質上。
- 3 号土坑 A-A'
- 4 暗褐色土(10YR3/3)φ 5mmの礫を少量含み、硬くしまり、粘質上。
- 5 黄褐色土(10YR4/3)灰褐色土混じりで硬くしまる粘質上。
- 6 黄褐色土(10YR4/2)にぶい黄色土ブロック5%含み、硬くしまる粘質上。
- 7 黄褐色土(2.5Y6/4)上部地山の崩落上。
- 8 暗褐色土(10YR3/3)にぶい黄色土ブロックを2%含み、しまりやや強く粘性あり。
- 9 黄褐色土(2.5Y6/3)灰褐色土混じる粘質上。
- 10 黑褐色土(10YR3/2)やシルト質上でしまり強く粘性あり、土器片出土。

8号土坑



10号土坑



9号土坑



8号土坑 A-A'

- 1 褐色土(10YR4/4)にぶい黄色土ブロック含み、土器片微量含む。非常に硬くしまり、やや粘性あり。
- 2 にぶい黄色土(2.5Y6/3)にぶい黄褐色ブロックを含み、炭化物片を微量含む。非常に硬くしまり、やや粘性あり。
- 3 にぶい黄色土(2.5Y6/3)硬くしまり、やや粘性あり。
- 4 灰褐色土(10YR4/2)白色粒を微量含み、土器片を微量含む。非常に硬くしまり、やや粘性あり。
- 5 にぶい黄色土(2.5Y6/3)にぶい黄褐色土混上、所々に砂粒を含み、しまりあり、粘質上。
- 6 暗褐色土(10YR3/4)黒褐色土・にぶい黄色土混上、砂粒と粘質上混じり、硬くしまる。

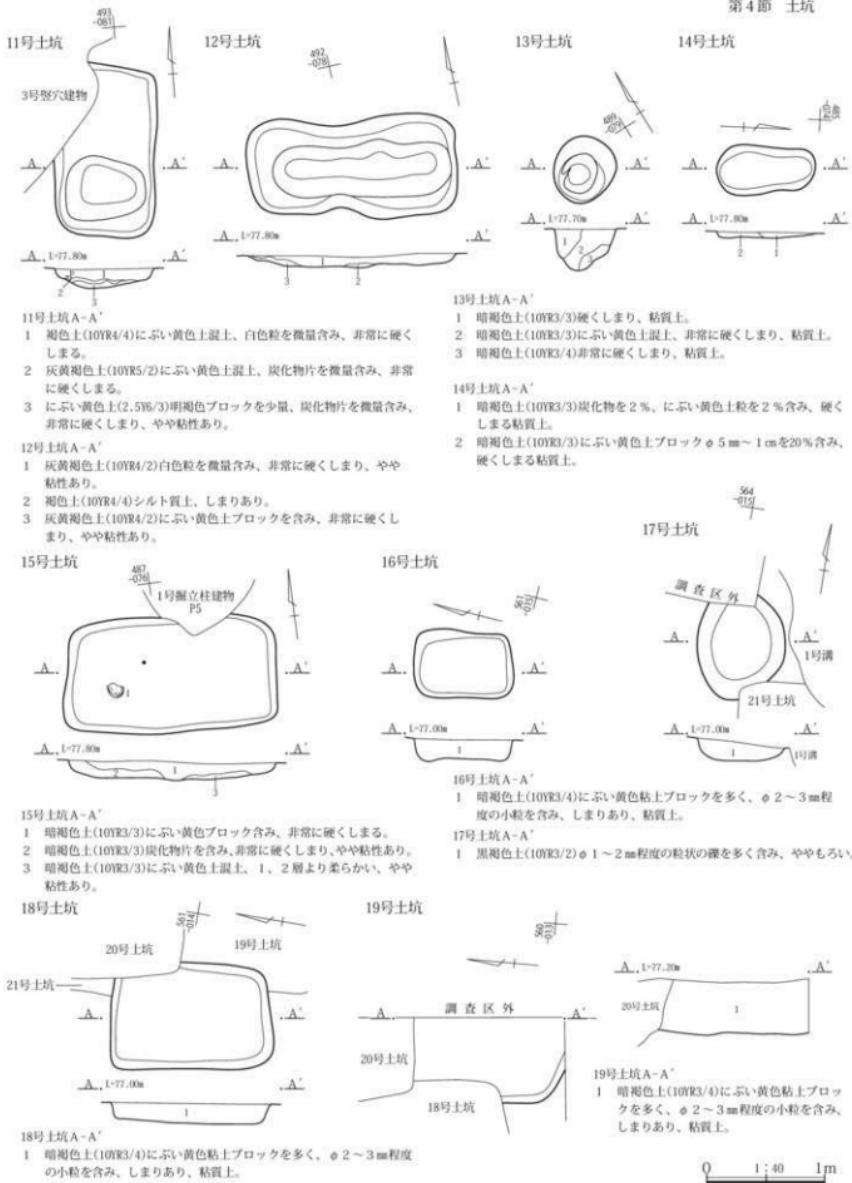
10号土坑 A-A'

- 1 暗褐色土(10YR3/4)砂礫帶を含み、所々に褐色粘土塊を少量含む。しまりあり。

0 1:40 1m

第71図 5号～10号土坑

第4節 土坑



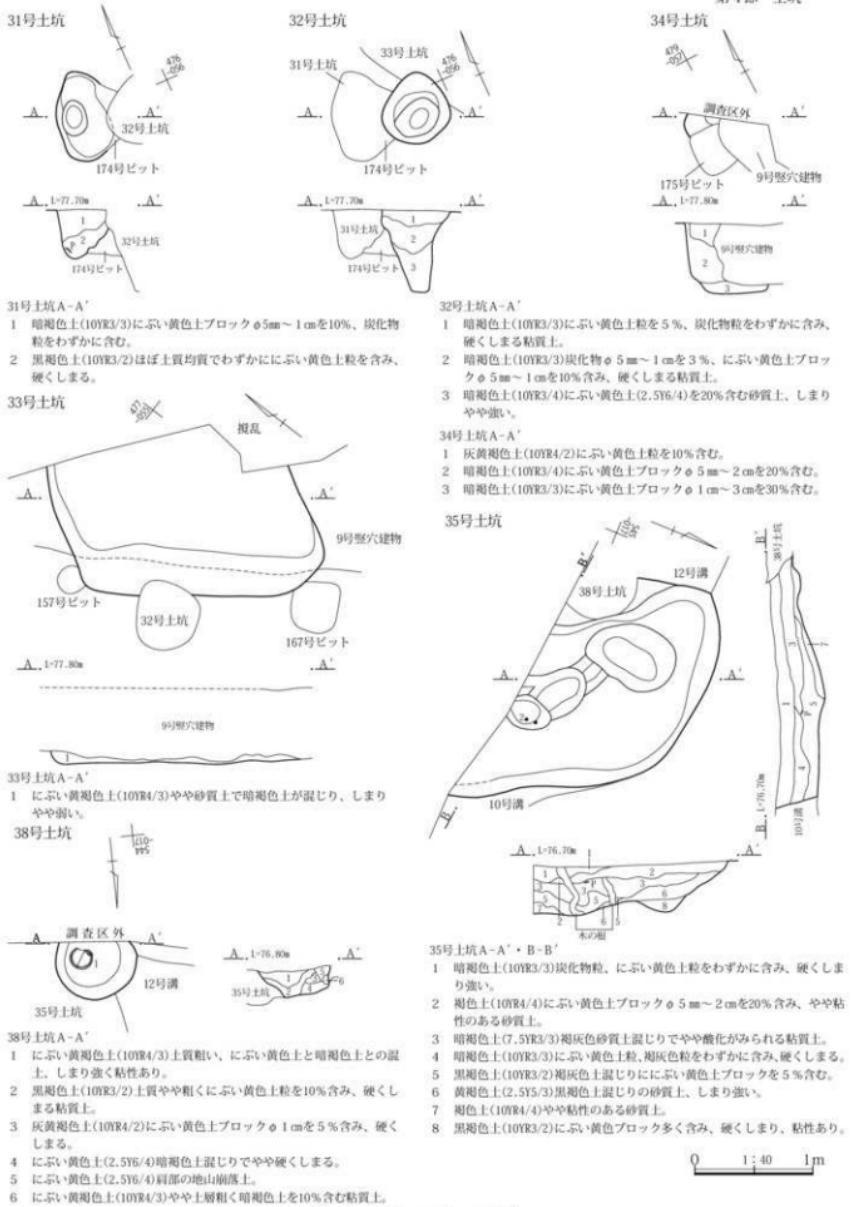
第72図 11号～19号土坑

第3章 検出された遺構と遺物



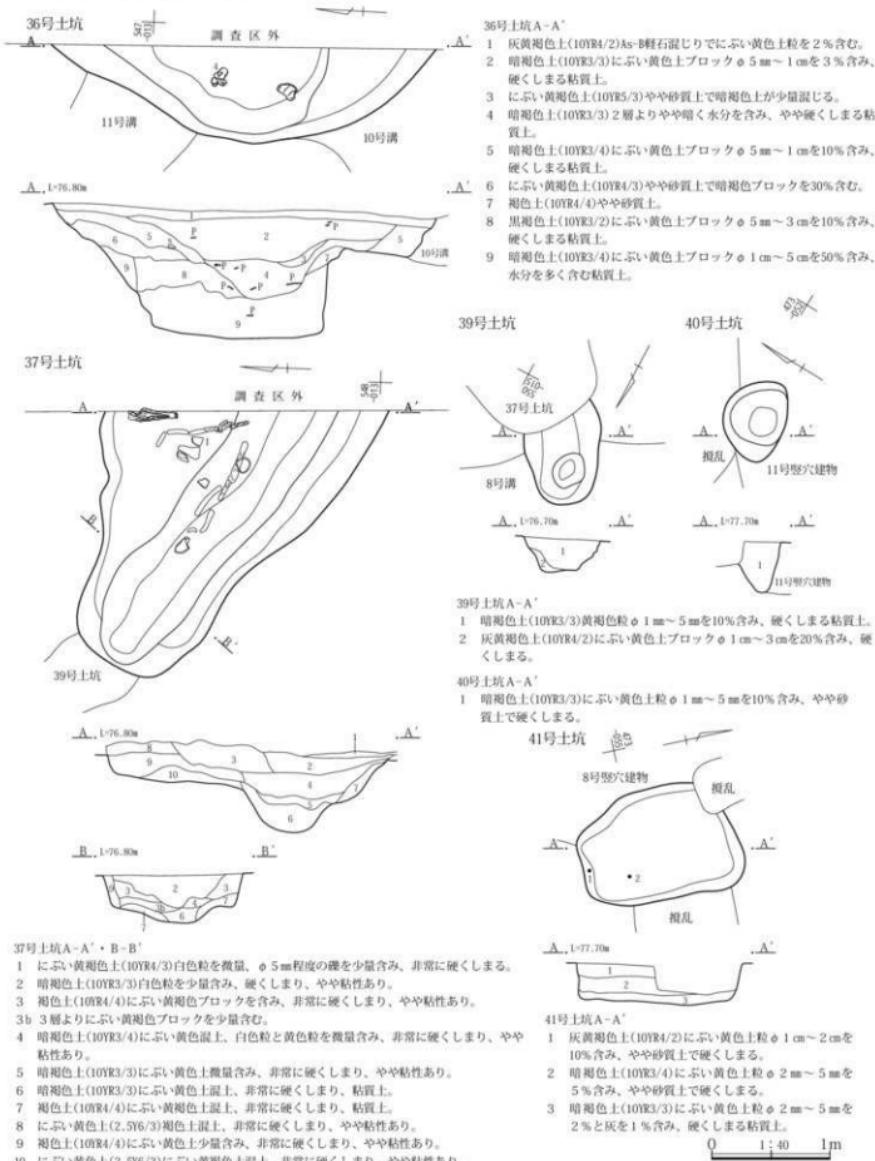
第73図 20号～22号・27号・28号・30号土坑

第4節 土坑



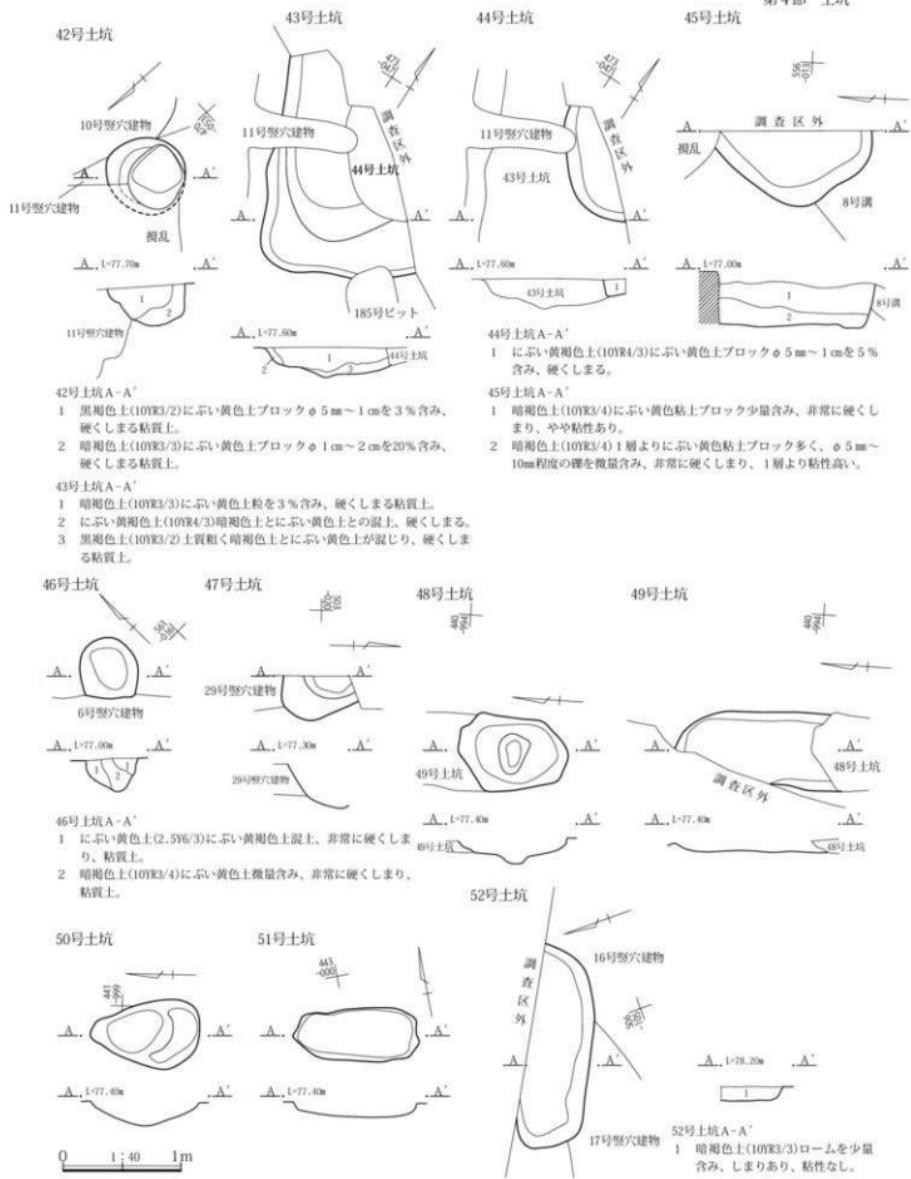
第74図 31号～35号・38号土坑

第3章 検出された遺構と遺物



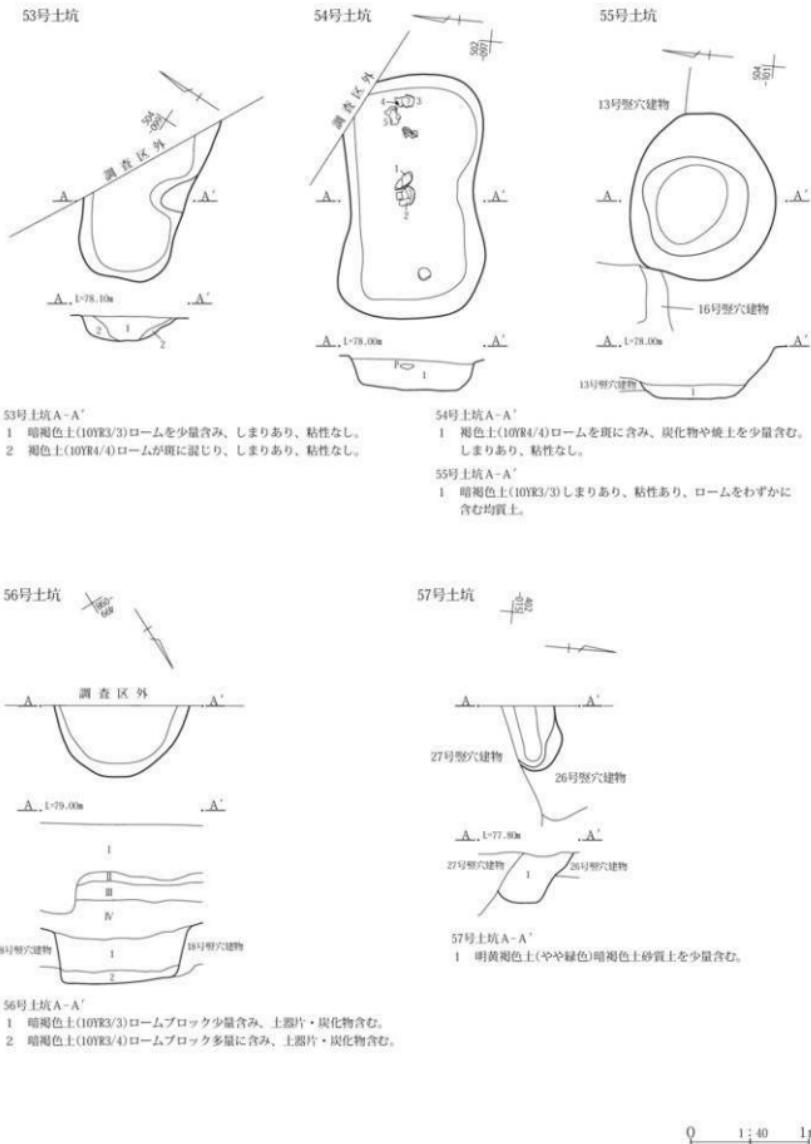
第75圖 36号・37号・39号～41号土坑

第4節 土坑



第76図 42号～52号土坑

第3章 検出された遺構と遺物

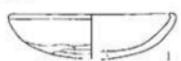


第77図 53号～57号土坑

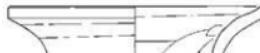
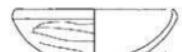
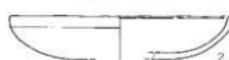
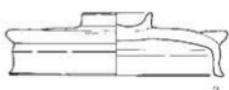
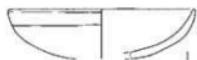
第4節 土坑



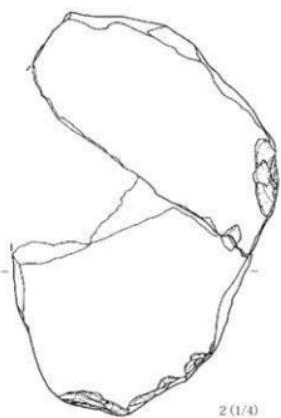
22号土坑



35号土坑

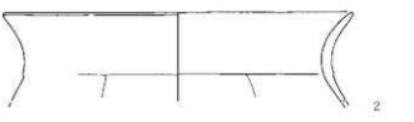


8号土坑

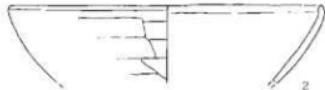


0 1:4 10cm

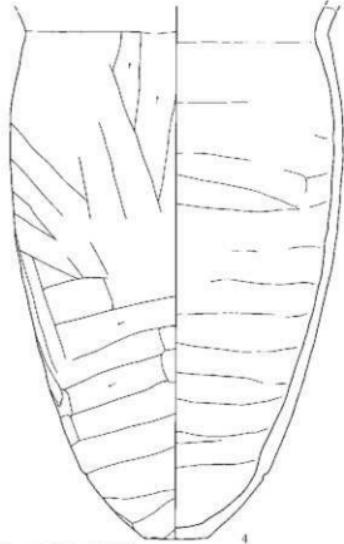
15号土坑



36号土坑



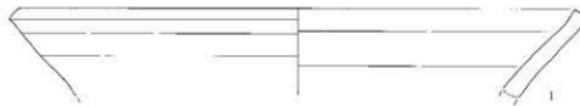
0 1:3 10cm



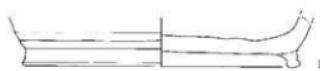
第78圖 4号・7号・8号・15号・22号・35号・36号土坑出土遺物

第3章 検出された遺構と遺物

37号土坑



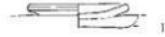
38号土坑



40号土坑



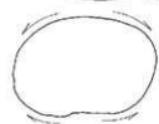
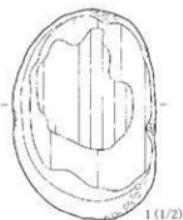
42号土坑



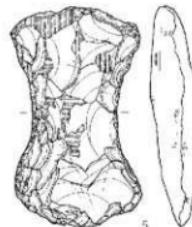
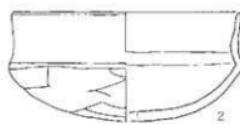
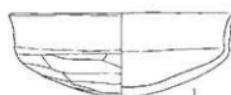
41号土坑



52号土坑



54号土坑



0 1:1 2cm

0 1:2 4cm

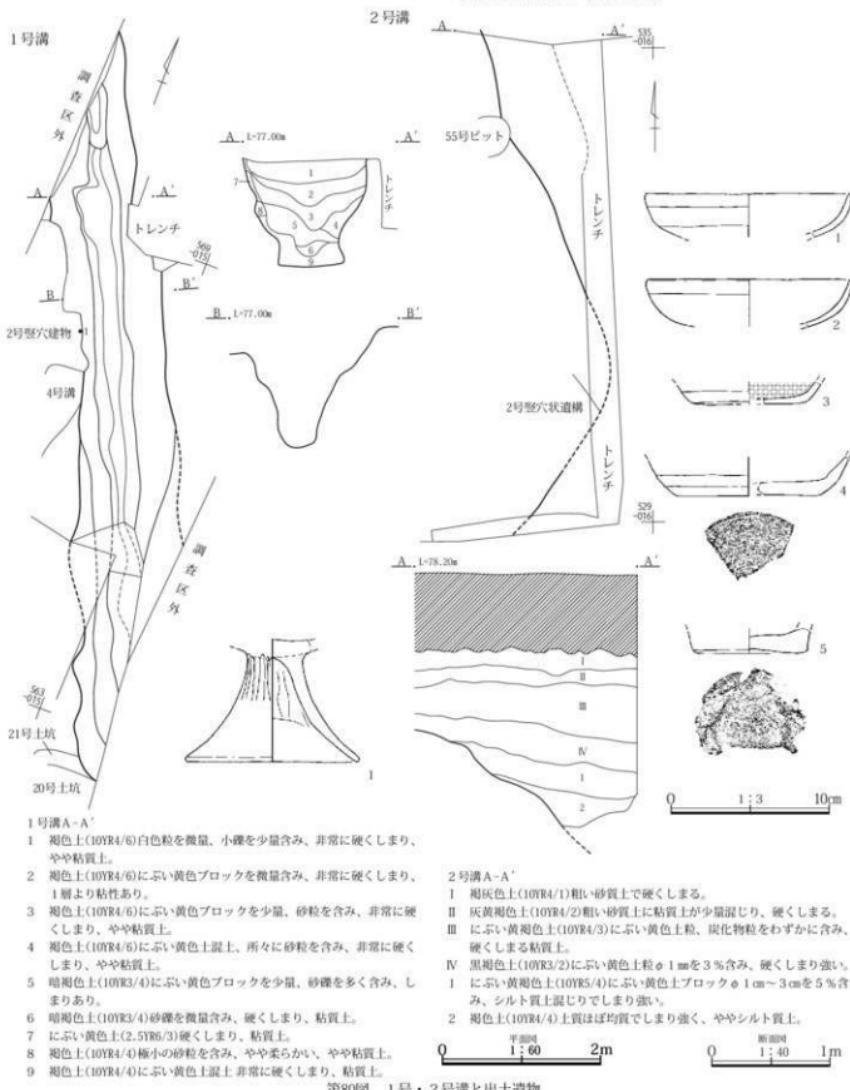
0 1:3 10cm

第79図 37号・38号・40号～42号・52号・54号土坑出土遺物

第5節 溝(第80~91図、第6表、PL.43~45・73
~76)

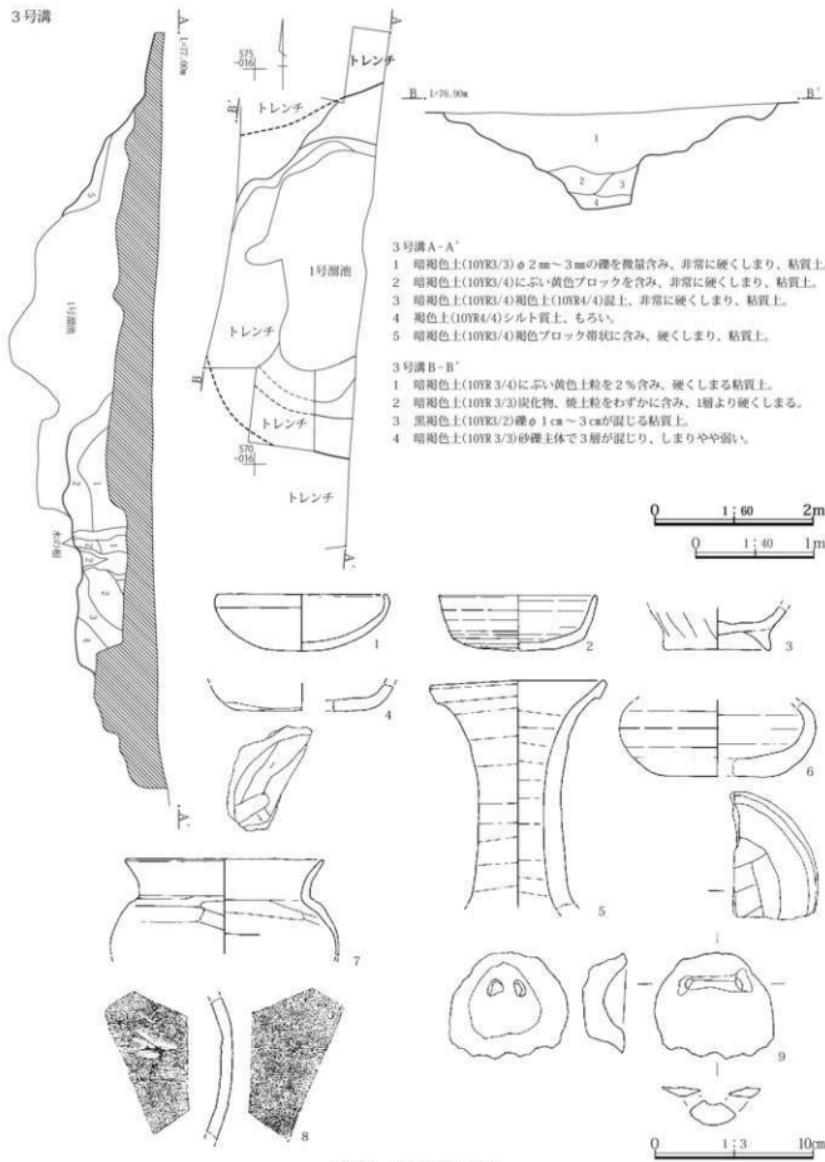
遺跡には全部で16条の溝が確認されている。

時期は各々6世紀から8世紀を主体とし、寛永通宝(1)を出土した7号溝がある。



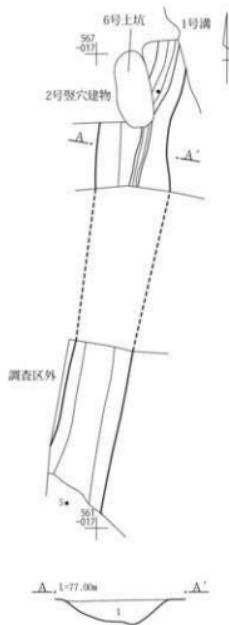
第80図 1号・2号溝と出土遺物

3号溝



第81図 3号溝と出土遺物

4号溝



6号溝



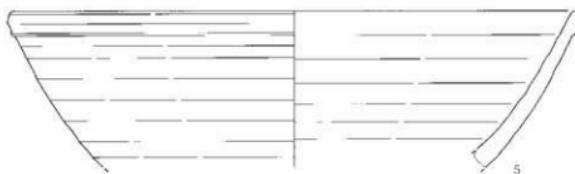
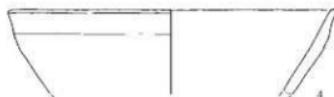
6号溝A-A'

- 1 單褐色土(10YR4/2)にふい黄色土ブロックを3%含む粘質土。
2 にふい黄色土(10YR4/2)にふい黄色土ブロックを7%含む粘質土。

0 1:60 2m
0 1:40 1m

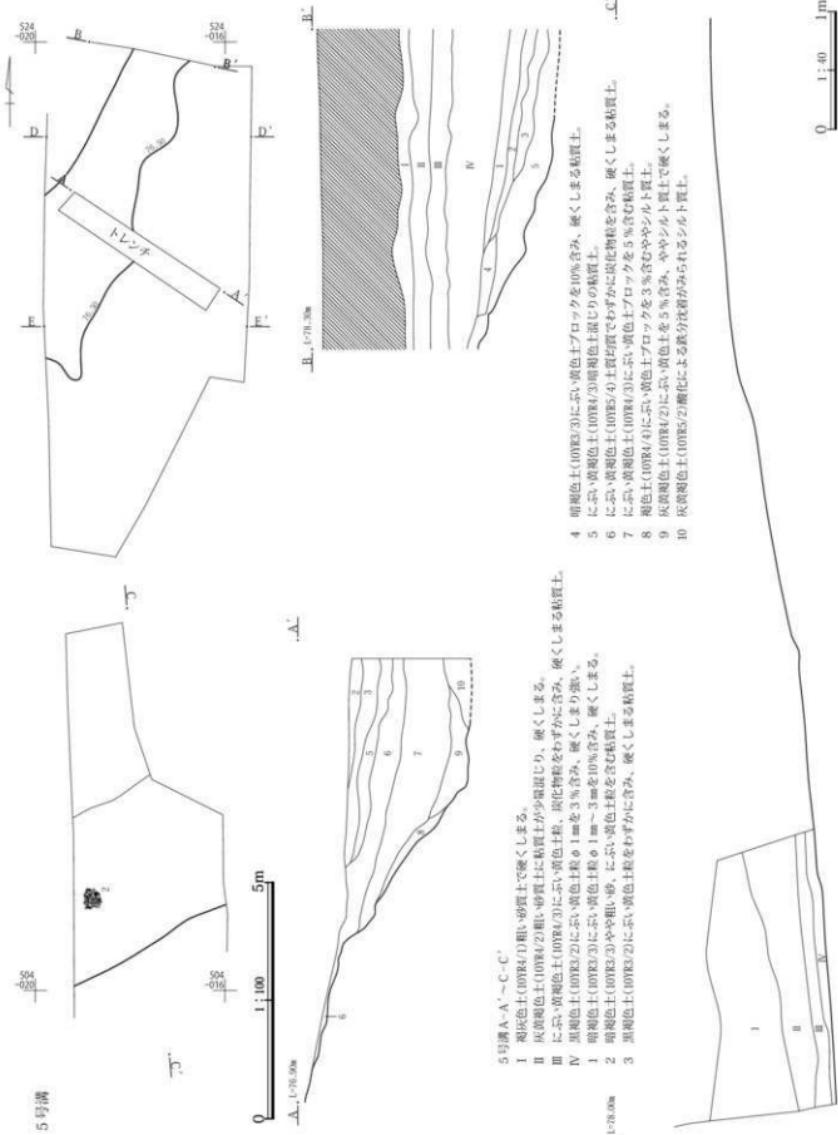
4号溝A-A'

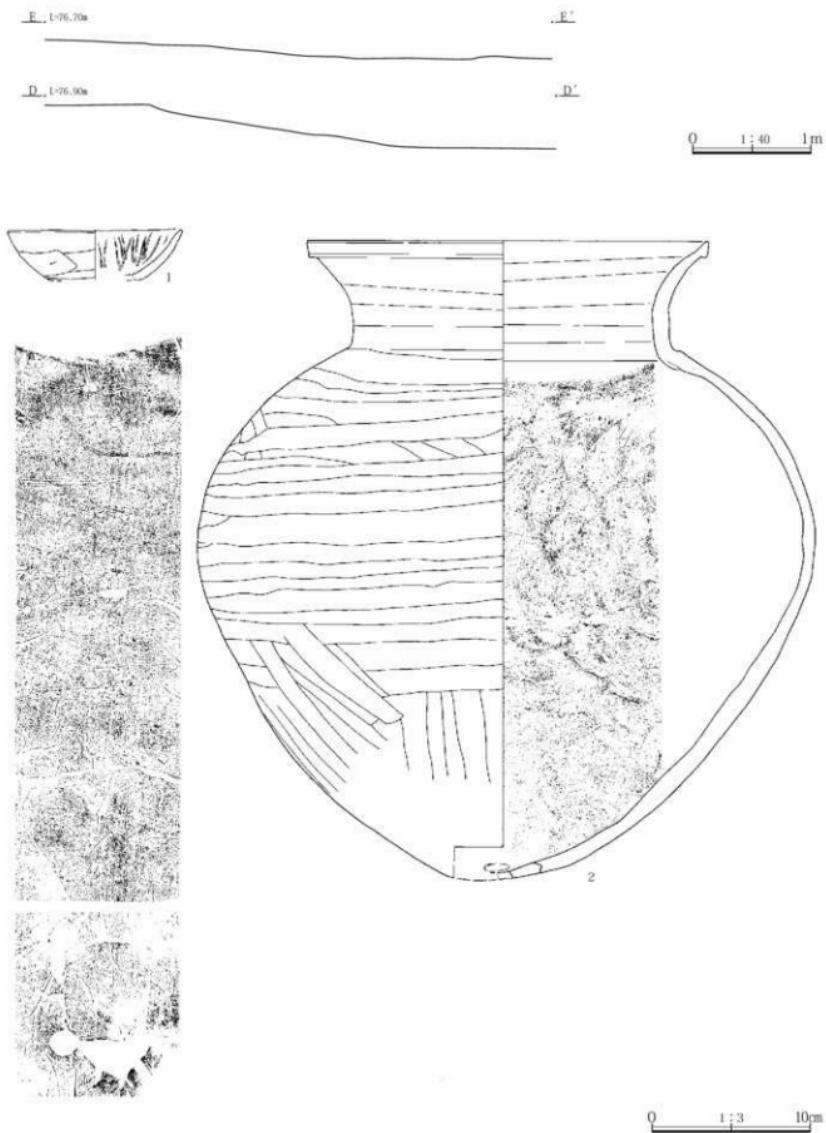
- 1 單褐色土(10YR3/3)φ2~3mmの塊を少量。にふい黄色土ブロックを微量含み、非常に硬くしまり、粘質土。



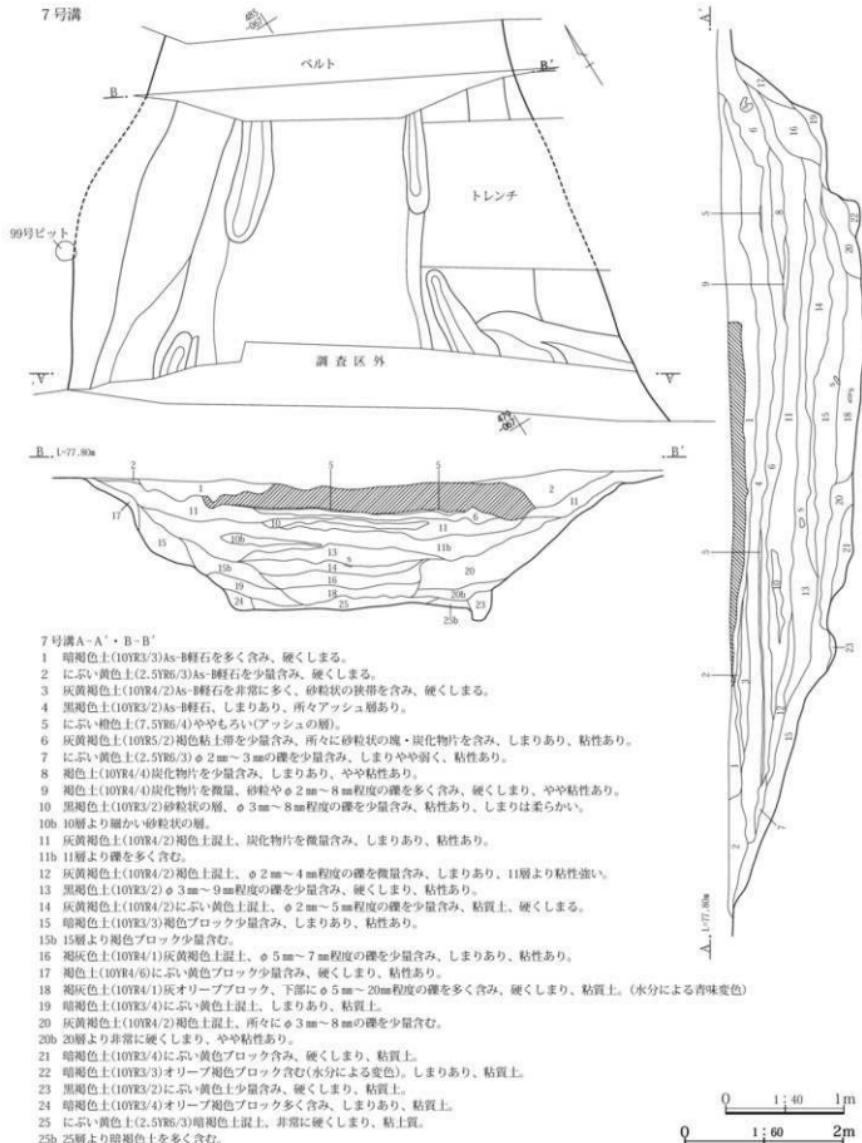
0 1:3 10cm

第82図 4号・6号溝と4号溝出土遺物

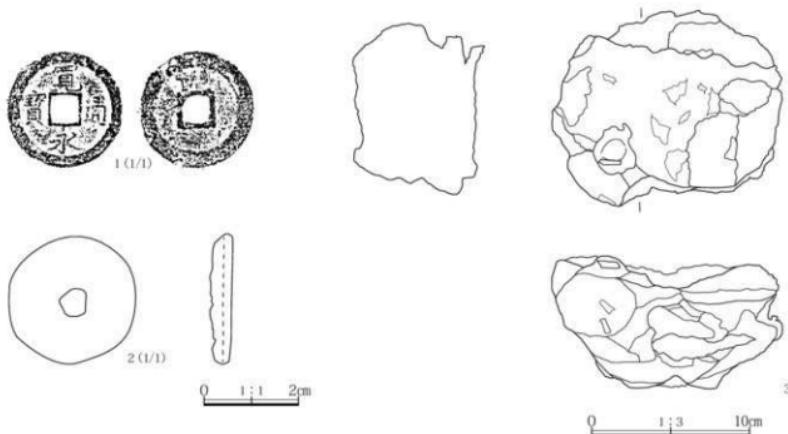




第84図 5号溝エレベーション図と出土遺物



第85図 7号溝



第86図 7号溝出土遺物

溝はほとんどが自然流路と考えられ、集落や掘立柱建物との関連を持つ構築物ではない。出土遺物も6世紀から中世までの遺物が出土している。

遺物が出土しているのは11条である。

3号溝(第81図、PL.43・73)

土師器杯(1・2)・甕(7)・須恵器壺(5・6)等が出土している。時期は出土遺物から7世紀後半である。

4号溝(第82図、PL.44・73)

土師器杯(1)・鉢(5)が出土し、時期は出土遺物から7世紀後半である。

5号溝(第83・84図、PL.74)

土師器杯(1)・須恵器壺(2)が出土し、時期は出土遺物から8世紀代である。

7号溝(第85・86図、PL.44・74)

7号溝はB-B'断面を確認すると、中央部に下半部、13~18層、更に14層を含めた上場を含めた溝と全体の形からみると2乃至3階の掘方を確認することができる。出土遺物も大型の鉄滓(3)と寛永通宝(1)等時間幅が大きい。鉄滓については11号竪穴建物にある小鍛治との関係については7号溝の鉄滓は大形の物で、小鍛治の鉄滓ではなく製鐵関連の可能性が指摘できる。溝の複数回数の掘削と出土遺物の時間幅から7世紀代の鉄滓は緑豊郡の製鐵炉の可能性も想定することができると考え

る。時期は出土遺物から近世である。

8号溝(第87図、PL.44・74・75)

皇宗通寶(3)と内耳銅(2)、焰ろく(1)が出土し、時期は出土遺物から中世である。

9号溝(第88・89図、PL.45・75)

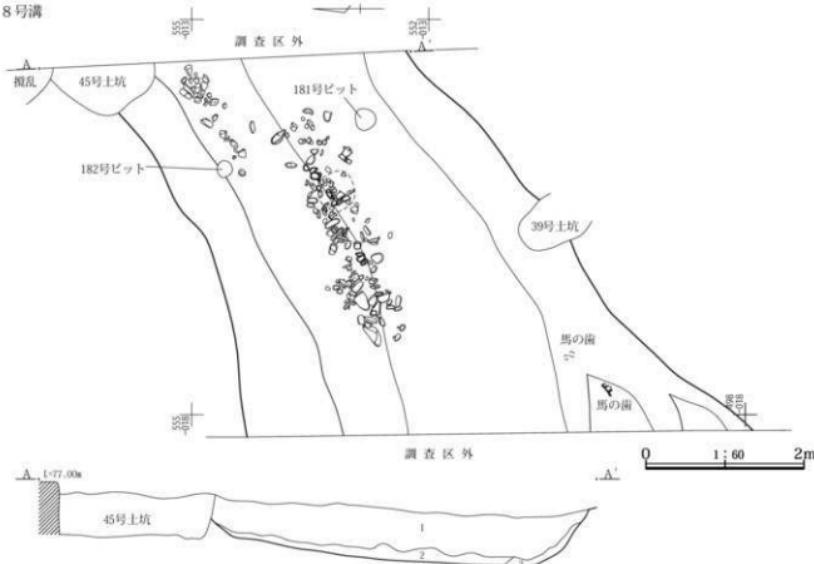
土師器杯(1~11)、須恵器壺(15)等が出土し、時期は出土遺物から7世紀後半から8世紀前半である。

15号溝(第91図、PL.45・76)

石製模造品(1)が1点出土し、土器は出土していない。おそらく15号竪穴建物、22号竪穴建物の模造品が流入したものである。15号溝は22号竪穴建物の上を流れ、竪穴建物より新しい。

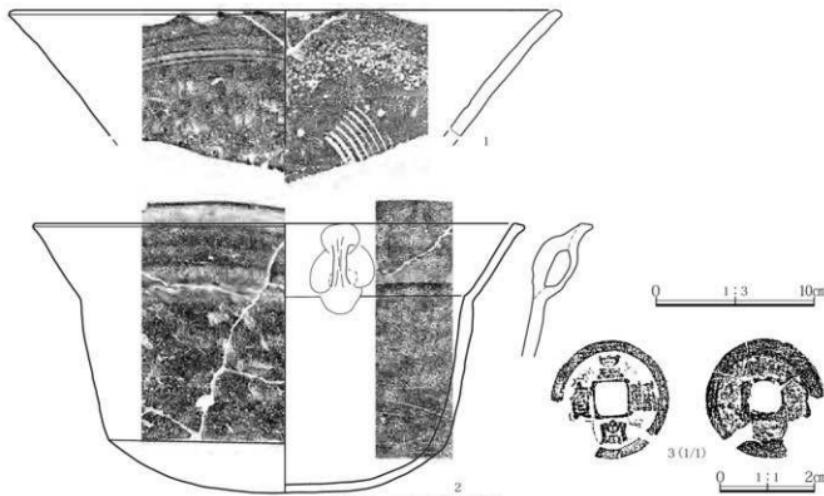
※なお個別の遺構は第6表128頁を参照されたい。

8号溝

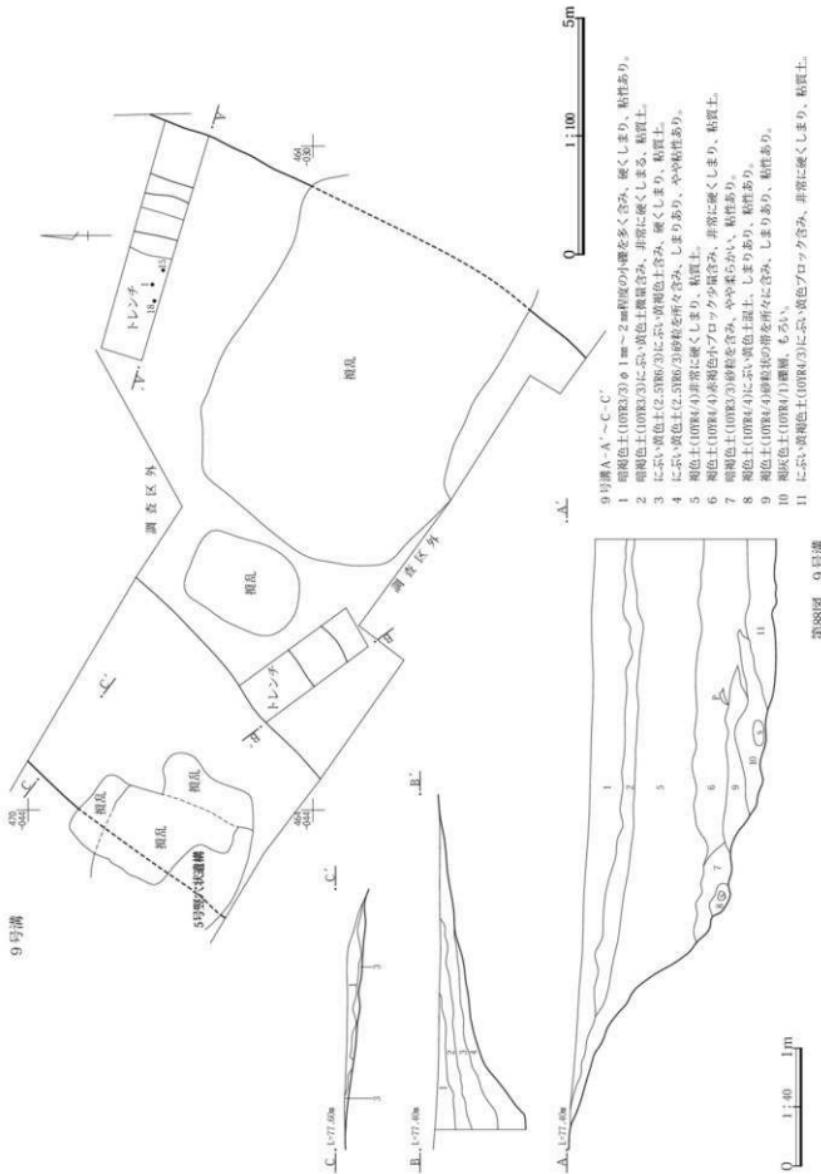


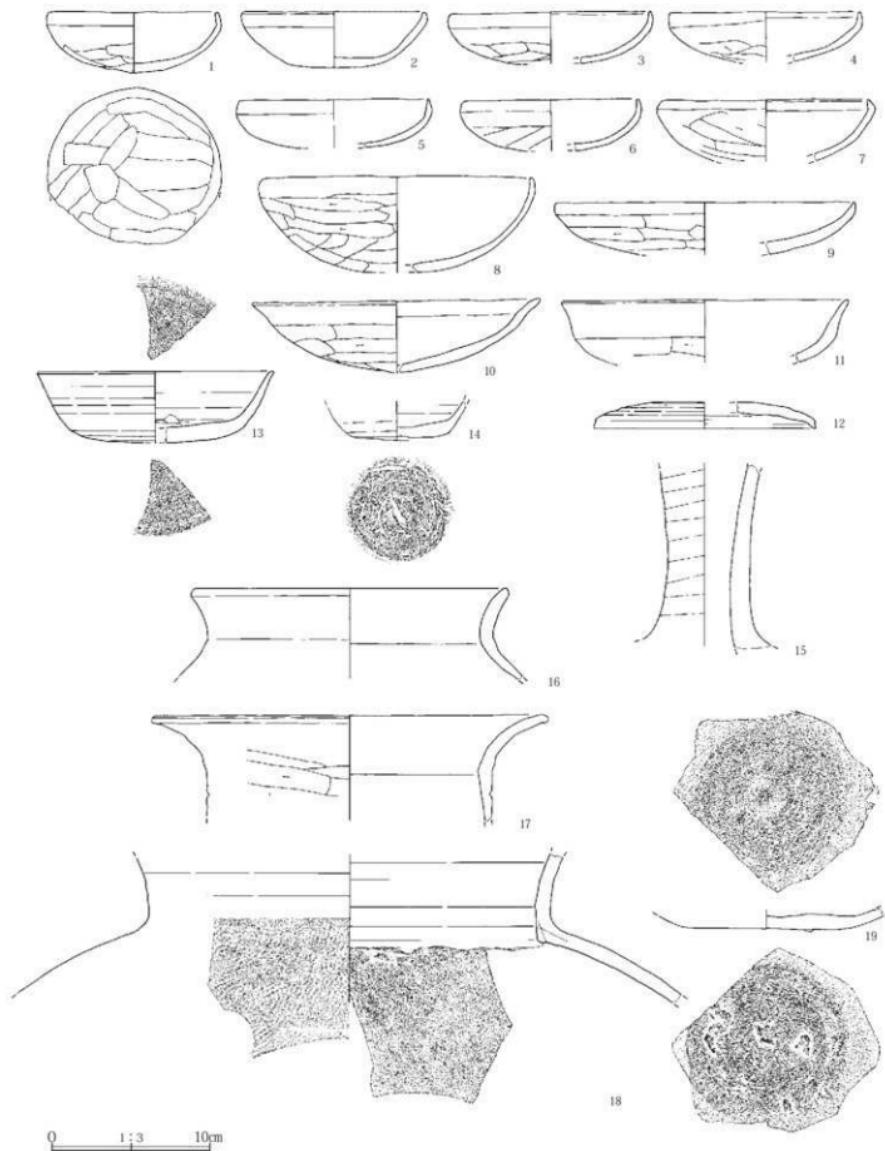
8号溝A-A'

- 1 暗褐色土(10YR3/3)白色粒・にふい黄色土微量含み、硬くしまり、粘質土。
- 2 暗褐色土(10YR3/3)黄褐色土混じ。1層より硬くしまり、粘質土。
- 3 にふい黄色土(2.5YR6/3)黄褐色土混じ。硬くしまり、シルト質土。



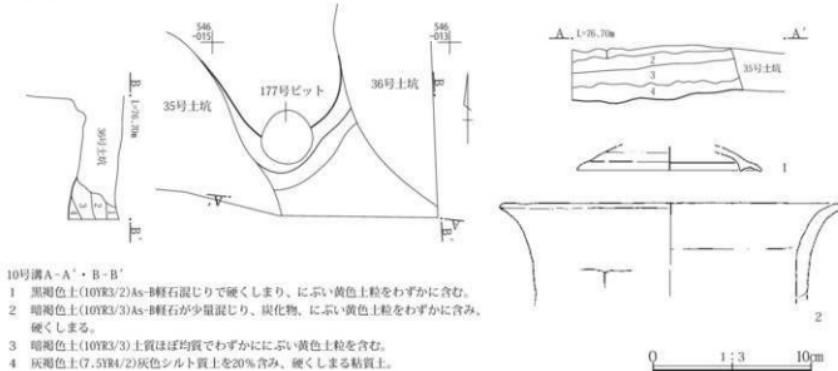
第87図 8号溝と出土遺物



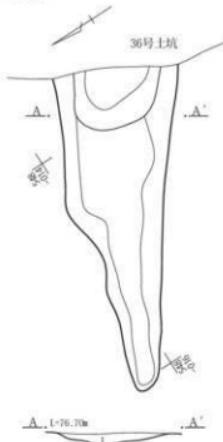


第89図 9号溝出土遺物

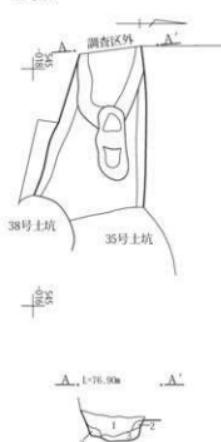
10号溝



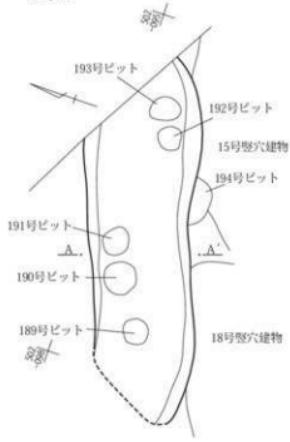
11号溝



12号溝



13号溝



11号溝A-A'

1 暗褐色土(10YR3/4)にぶい黄色土ブロック少量含み、硬くしまり、粘性あり。

12号溝A-A'

1 暗褐色土(10YR3/3)にぶい黄色土粒φ 5mm~1cmを10%、褐灰色粒を3%含み、硬くしまる。

2 にぶい黄色土(10YR4/3)灰色シルト質土と暗褐色粘質ブロックとの混土。硬くしまる。

3 灰褐色土(10YR4/2)やや紗質土で1層が少量混じり、硬くしまる。

13号溝A-A'

1 暗褐色土(10YR3/4)しまりあり、粘性なし、ロームを少量含む均質土。



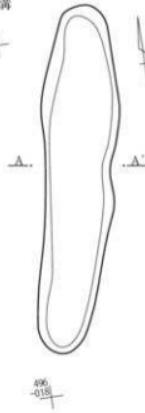
第90図 10号～13号溝、10号溝出土遺物

第3章 検出された遺構と遺物

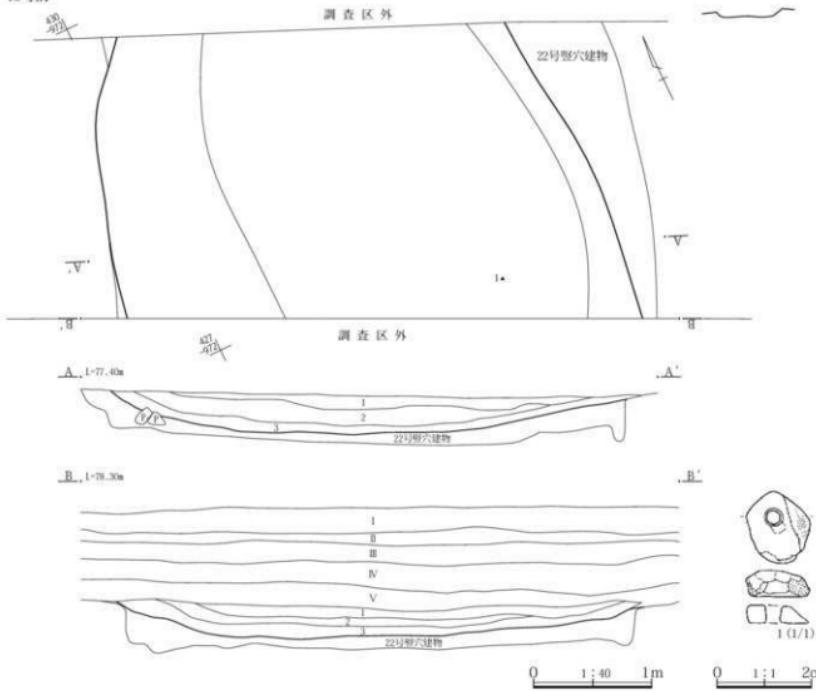
14号溝



16号溝



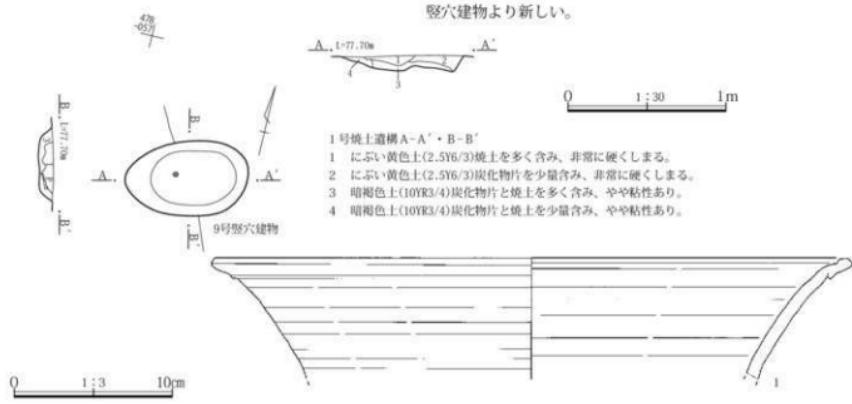
15号溝



第91図 14号～16号溝、15号溝出土遺物

第6節 焼土遺構

2区 1号焼土遺構(第92図、PL.76)

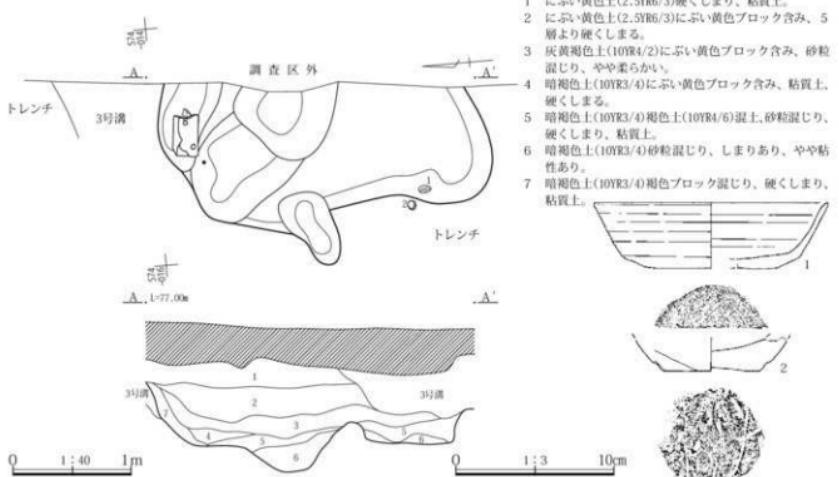


第92図 1号焼土遺構と出土遺物

第7節 溝池状遺構

1区 1号溝池状遺構(第93図、PL.45・76)

1区 3号溝と重複している。東半は調査区域外に伸びる。規模は南北3.8m、東西1.2m、深さ約1mを測る。



第93図 1号溝池状遺構と出土遺物

重複関係は3号溝と重複し、新旧関係は3号溝が新しい。

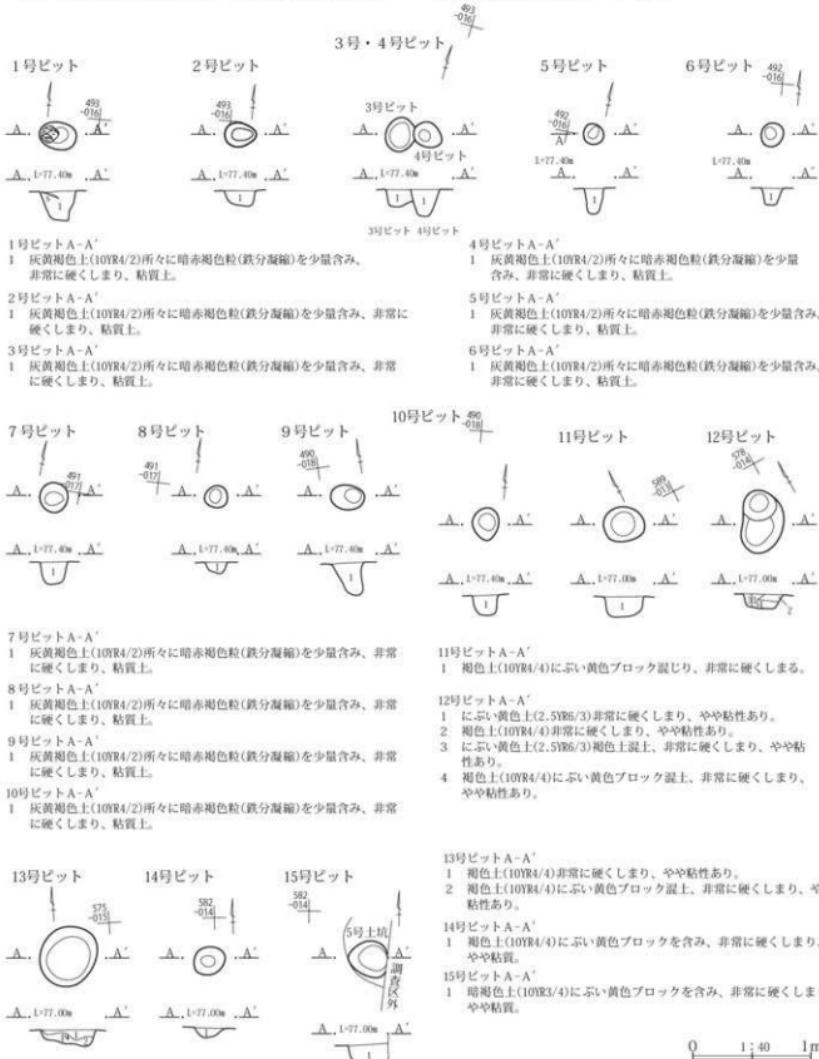
須恵器が1点、土師器が1点出土している。覆土中には砂層もあり、溜池状ではあるが、3号溝以前の水流路の一部と考えられる。時期は出土遺物から9世紀前半である。

- 1号溝池状遺構 A-A'
1. にぶい黄色土 (2.5Y6/3) 塵土を多く含み、非常に硬くしまり、粘質土。
2. にぶい黄色土 (2.5Y6/3) にぶい黄色ブロック含み、5層より硬くしまる。
3. 灰黄褐色土 (10Y4/2) にぶい黄色ブロック含み、砂粒混じり、やや柔らかい。
4. 暗褐色土 (10Y3/4) にぶい黄色ブロック含み、粘質土、硬くしまる。
5. 暗褐色土 (10Y3/4) 褐色土 (10Y4/6) 混土、砂粒混じり、硬くしまり、粘質土。
6. 暗褐色土 (10Y3/4) 砂粒混じり、しまりあり、やや粘性あり。
7. 暗褐色土 (10Y3/4) 褐色ブロック混じり、硬くしまり、粘質土。

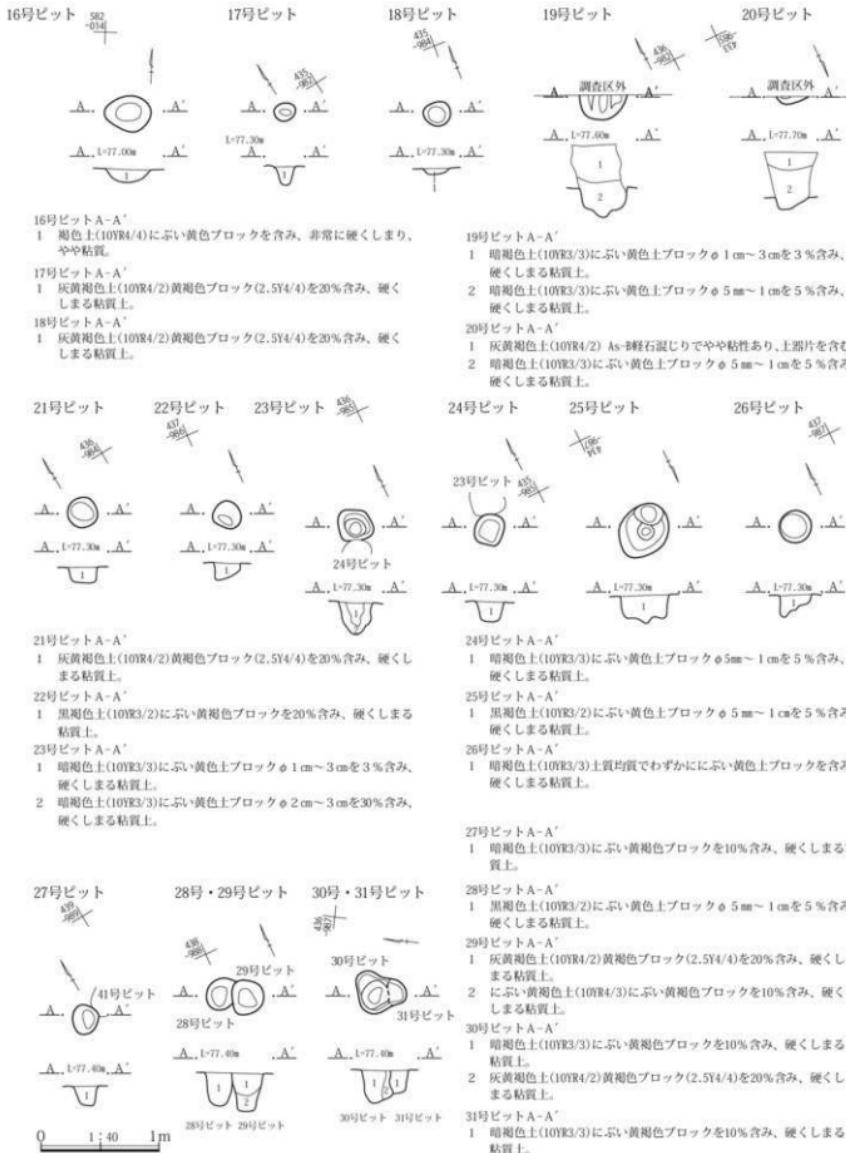
第8節 ピット

ピットは254基が確認されている。遺物が出土したピット

は162号ピットの1基のみである。土師器甕の破片が出土し、時期は出土遺物から7世紀代である(第94~109図、第7表、PL.46~56・76)。

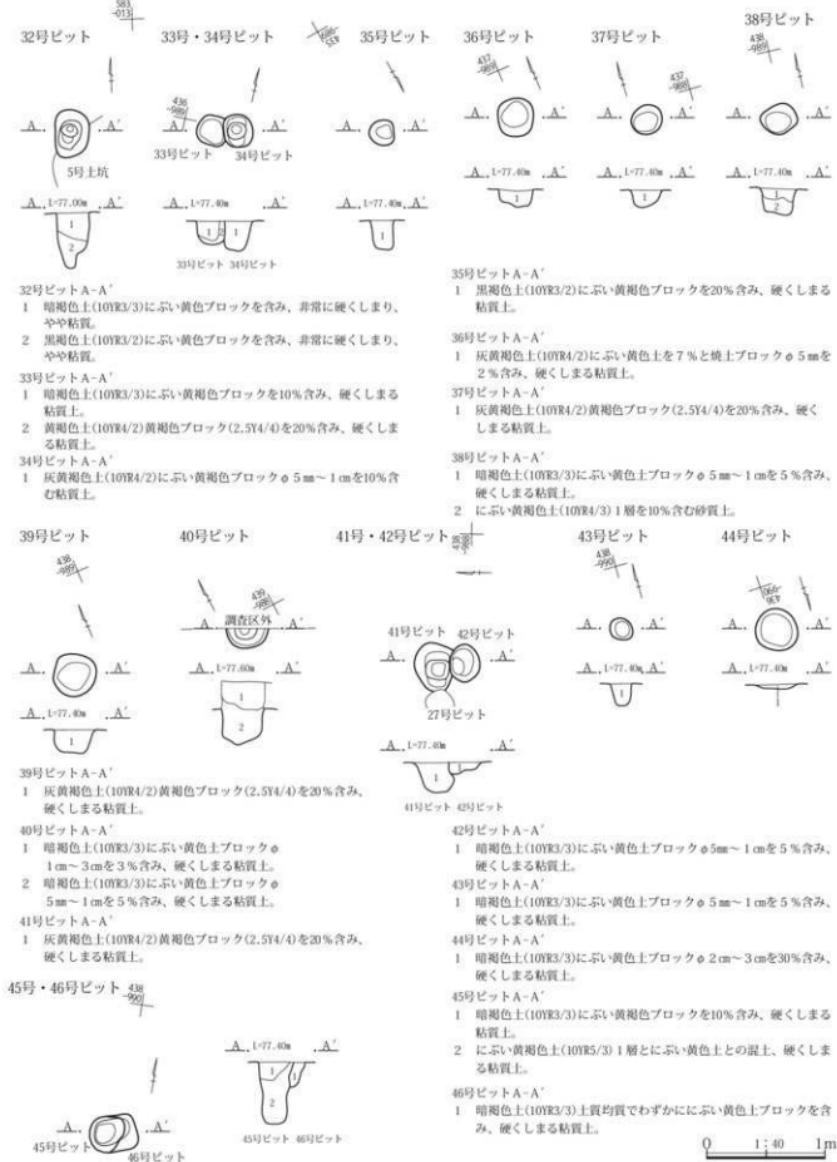


第94図 1号~15号ピット



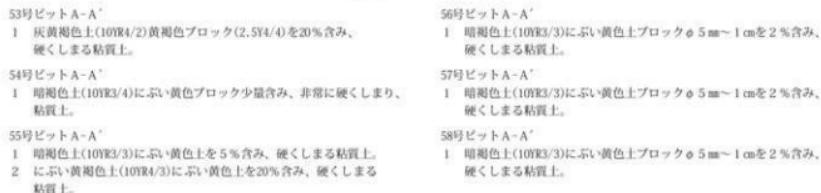
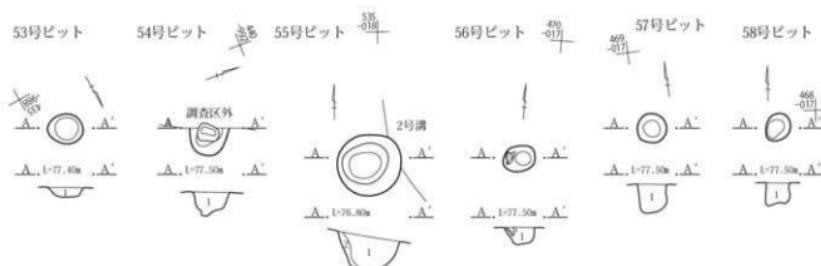
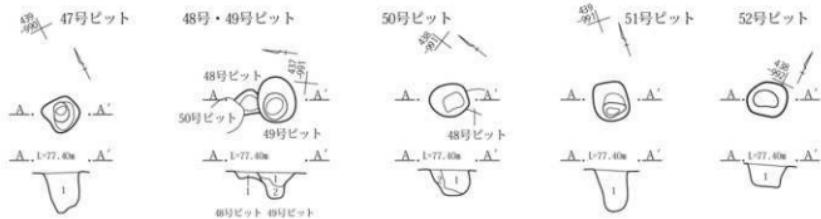
第95図 16号~31号ピット

第3章 検出された遺構と遺物



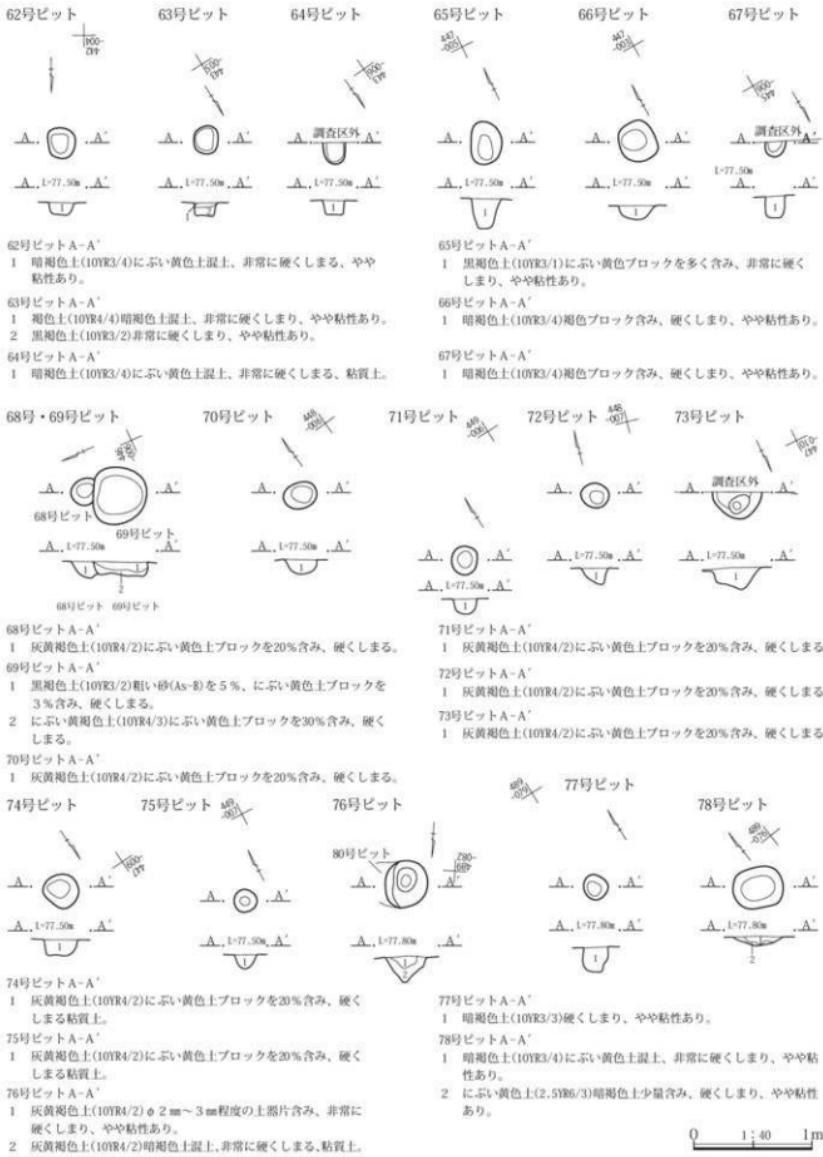
第96図 32号～46号ピット

第8節 ピット



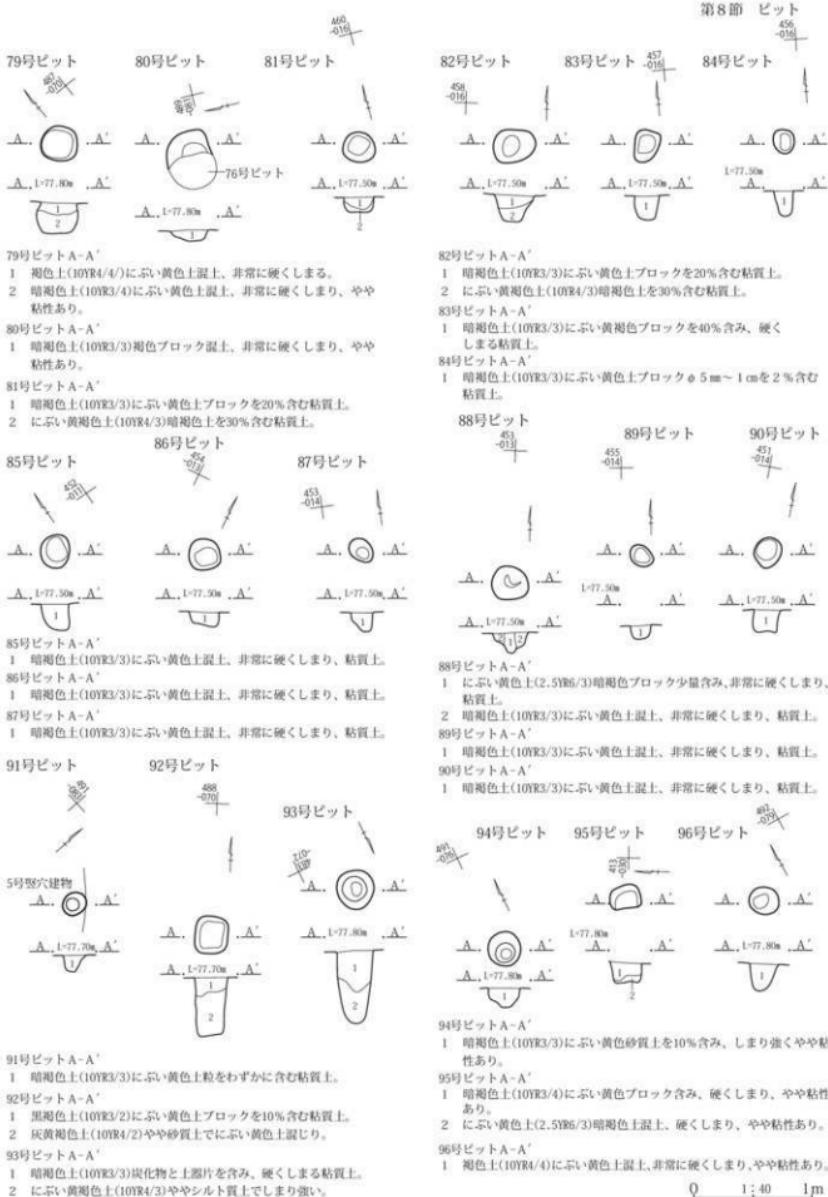
第97図 47号~61号ピット

第3章 検出された遺構と遺物



第98図 62号~78号ピット

第8節 ピット

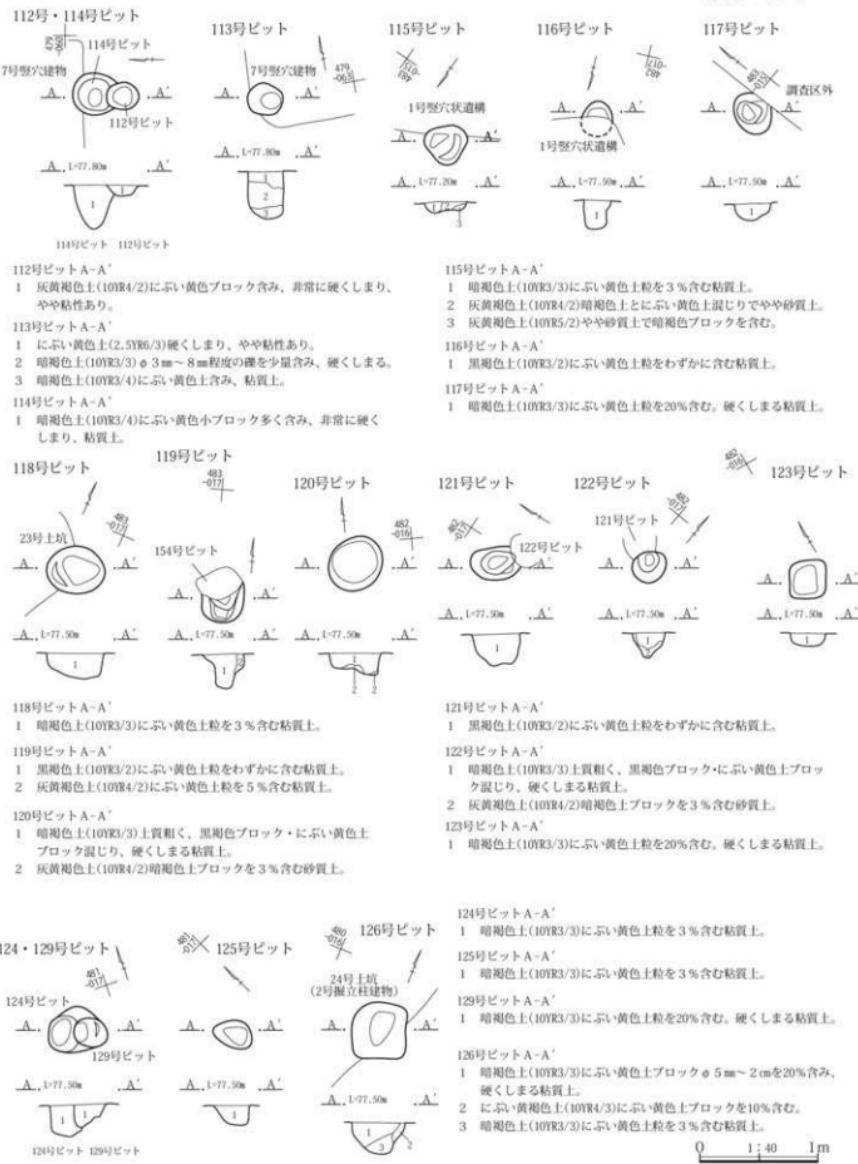


第99図 79号~96号ピット



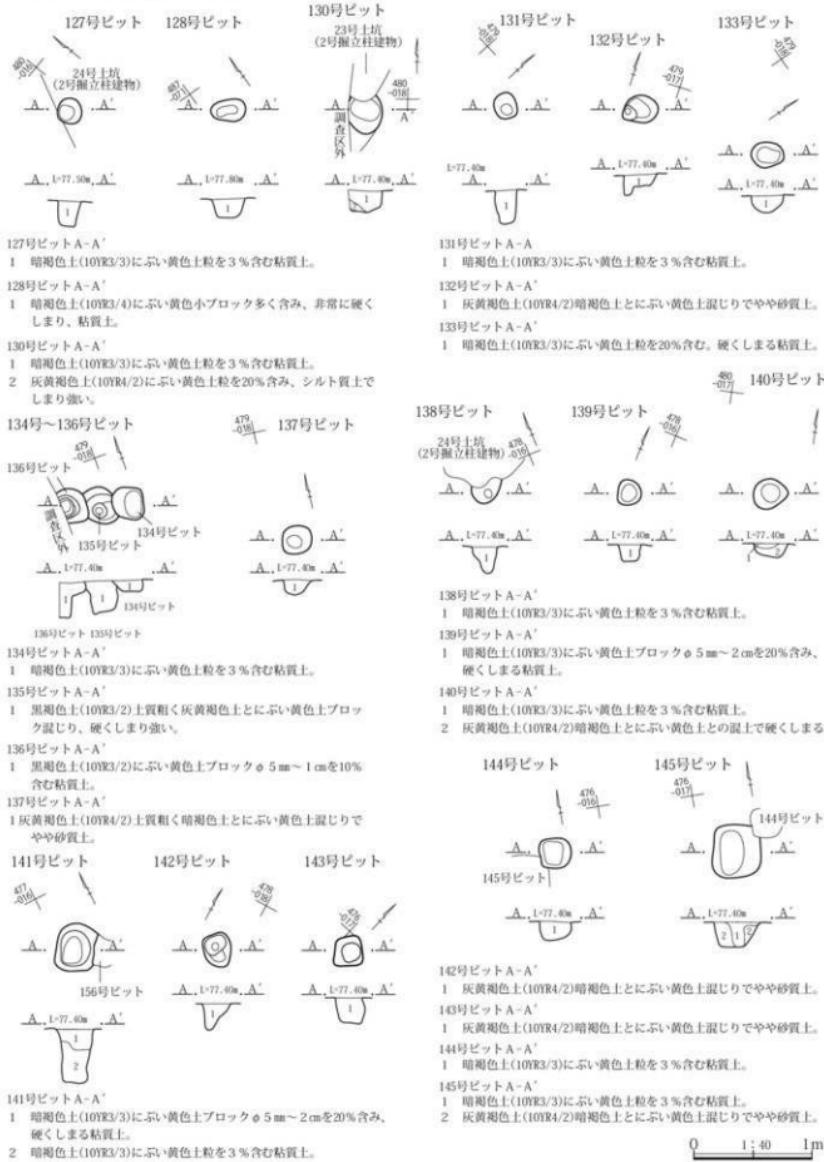
第100図 97号~111号ピット

第8節 ピット



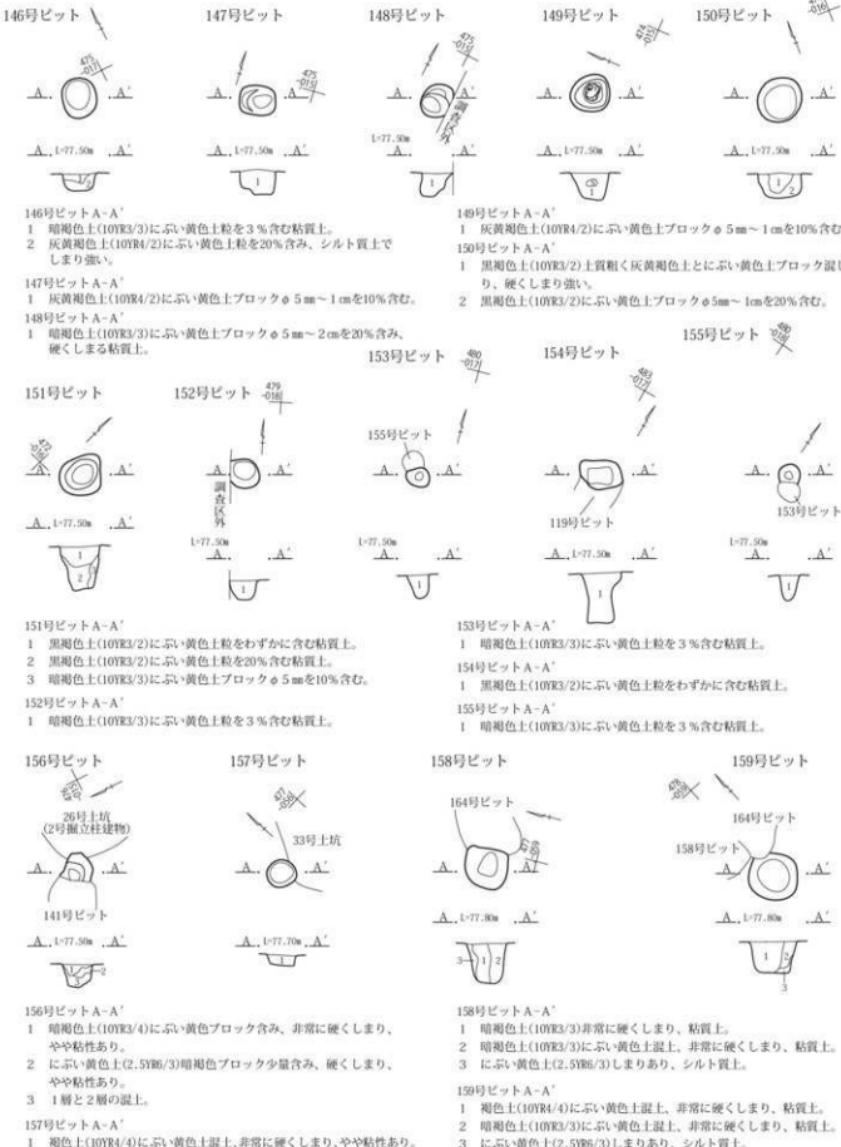
第101図 112号～126号・129号ビット

第3章 検出された遺構と遺物



第102図 127号・128号・130号～145号ビット

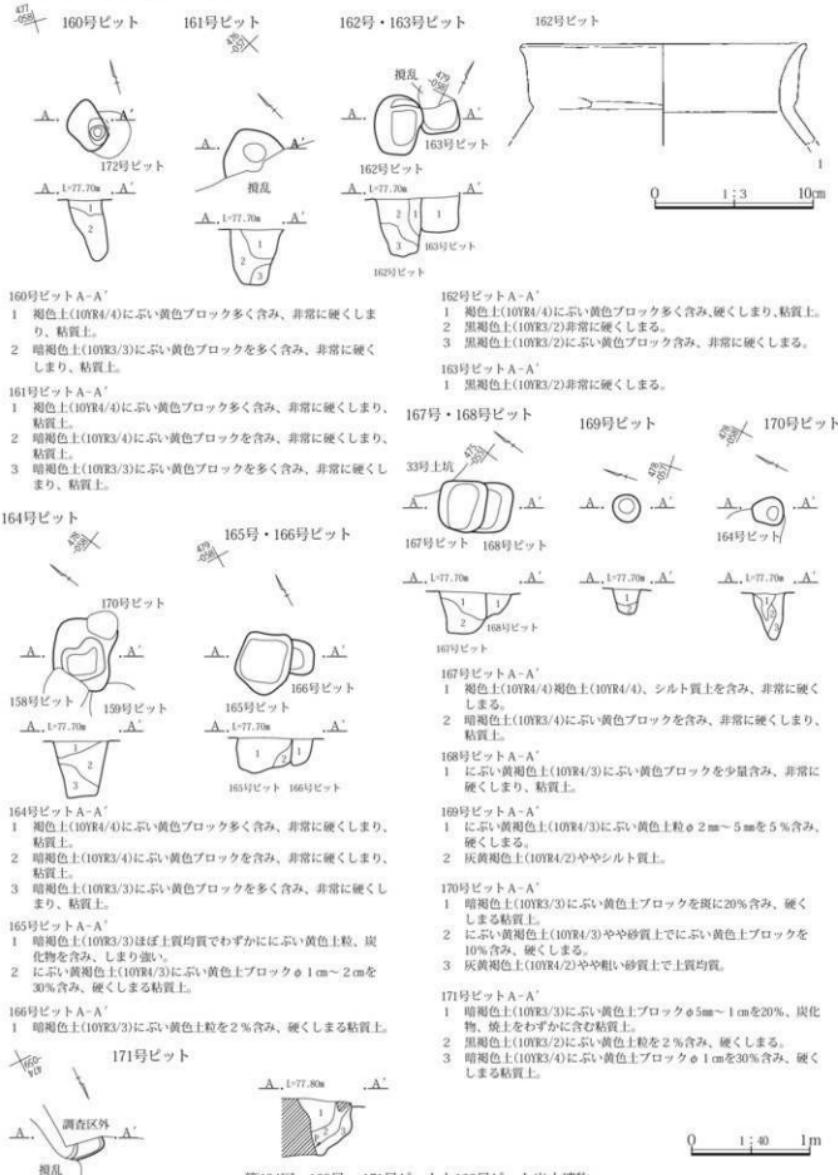
第8節 ピット



第103図 146号~159号ピット

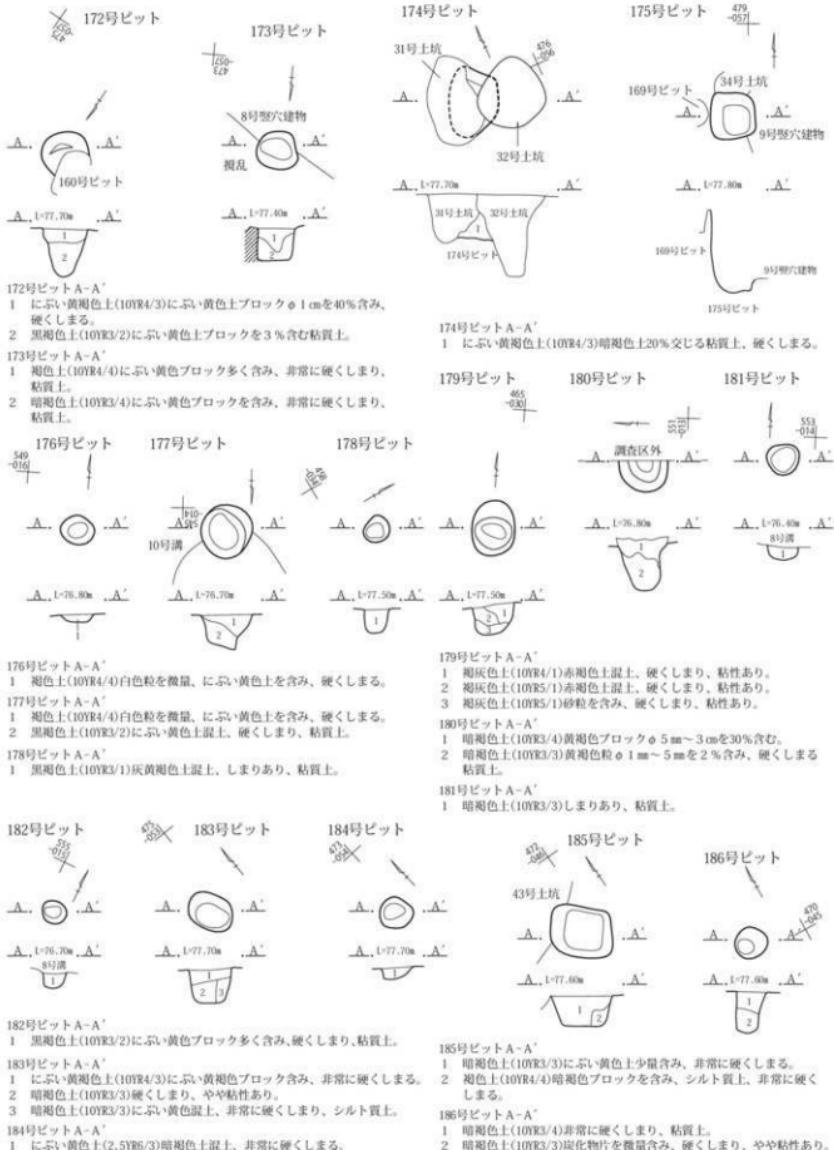
0 1:40 1m

第3章 検出された遺構と遺物



第104図 160号～171号ピットと162号ピット出土遺物

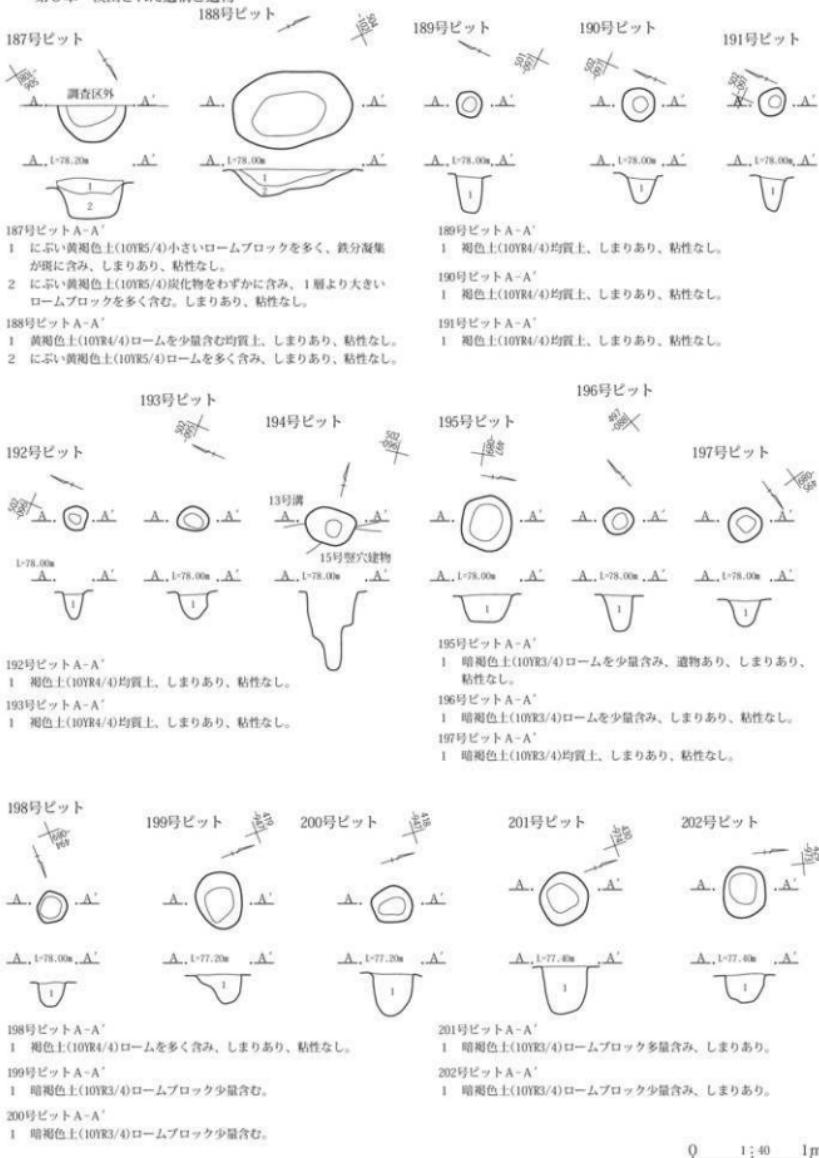
第8節 ピット



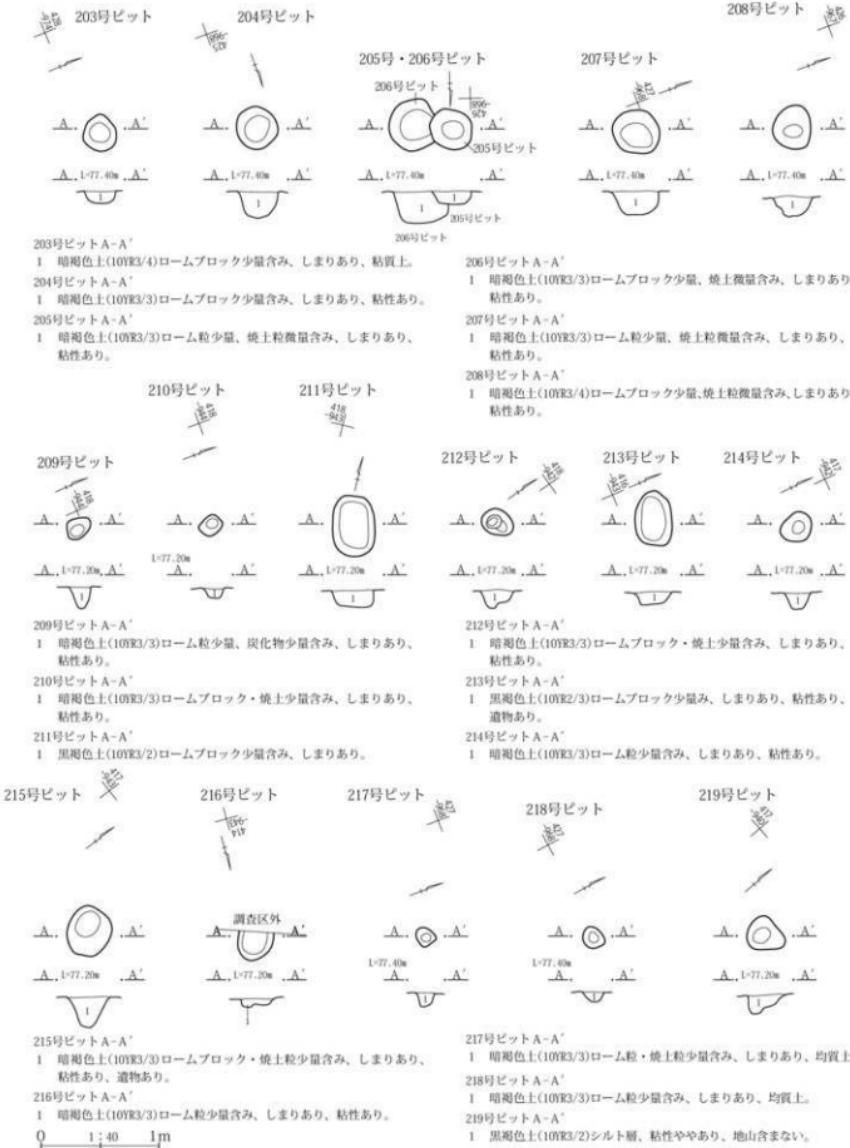
第105図 172号～186号ピット



第3章 検出された遺構と遺物



第106図 187号～202号ビット

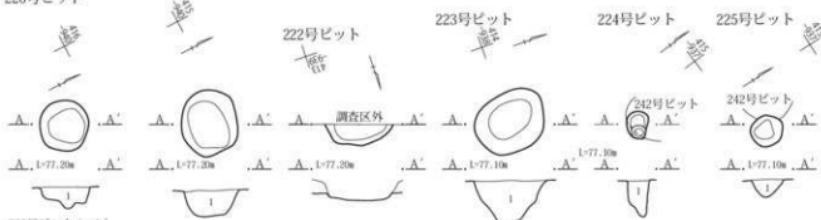


第107図 203号～219号ピット

第3章 検出された遺構と遺物

220号ピット

221号ピット



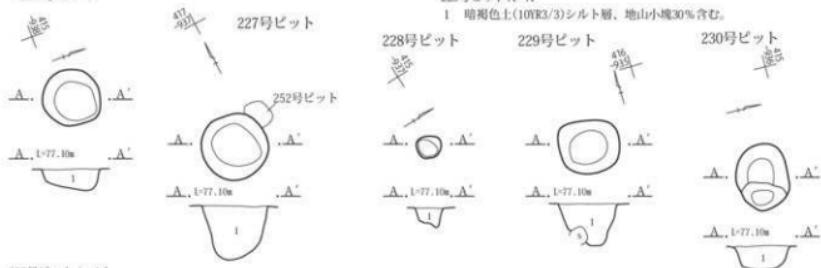
220号ピット A-A'

1 喀褐色土(10YR3/3)シルト層、地山中～大粒20%含む。

221号ピット A-A'

1 喀褐色土(10YR3/3)シルト層、地山小粒10%、燒土小粒5%以下含む。

226号ピット



226号ピット A-A'

1 喀褐色土(10YR3/3)シルト層、地山小塊不均等に30%含む。

227号ピット A-A'

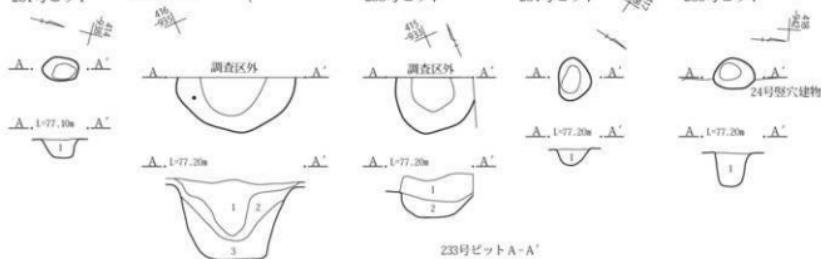
1 喀褐色土(10YR3/3)シルト層、地山小～大粒10%含む。

228号ピット A-A'

1 喀褐色土(10YR3/3)シルト層、燒土小粒5%以上含む。

231号ピット

232号ピット



231号ピット A-A'

1 喀褐色土(10YR3/3)シルト層、地山小・大粒10%含む。

232号ピット A-A'

1 黒褐色土(10YR3/2)ロームブロック少量、遺物片含み、柱痕か?

2 喀褐色土(10YR3/4)ロームブロック少量、遺物片含み、しまりあり。

3 喀褐色土(10YR3/3)ロームブロック少量含み、しまりあり。

223号ピット

224号ピット

225号ピット

223号ピット A-A'

1 喀褐色土(10YR3/3)シルト層、地山小～大粒20%含む。

224号ピット A-A'

1 喀褐色土(10YR3/3)シルト層、地山小粒5%含む。

225号ピット A-A'

1 喀褐色土(10YR3/3)シルト層、地山小粒30%含む。

229号ピット A-A'

1 喀褐色土(10YR3/3)シルト層、地山小～中粒10%含む。

230号ピット A-A'

1 喀褐色土(10YR3/3)シルト層、地山小～大粒15%、燒土小粒5%以下含む。

233号ピット A-A'

1 喀褐色土(10YR3/3)ローム粒少量現に混入、しまり強い。

2 喀褐色土(10YR3/3)ロームブロック多量に含み、しまり強い。

234号ピット A-A'

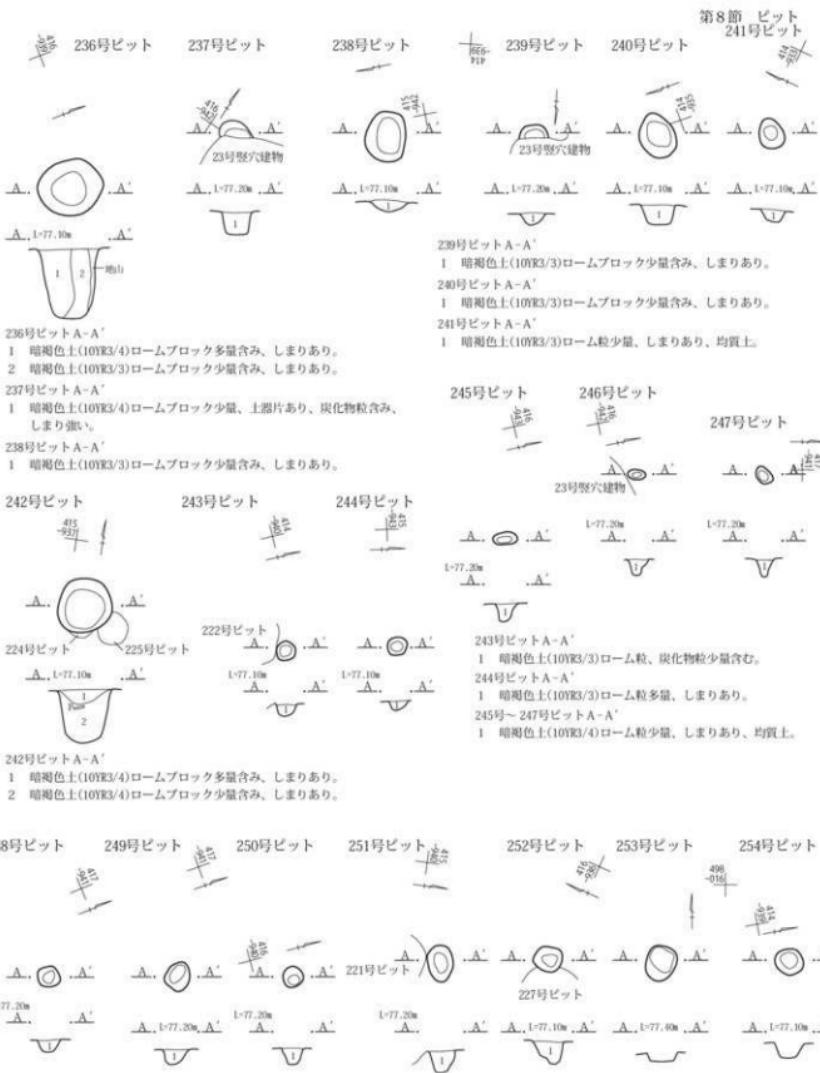
1 喀褐色土(10YR3/3)ロームブロック少量含み、土器片あり、しまりあり。

235号ピット A-A'

1 喀褐色土(10YR3/3)ロームブロック少量含み、土器片あり、しまりあり。

0 1:40 1m

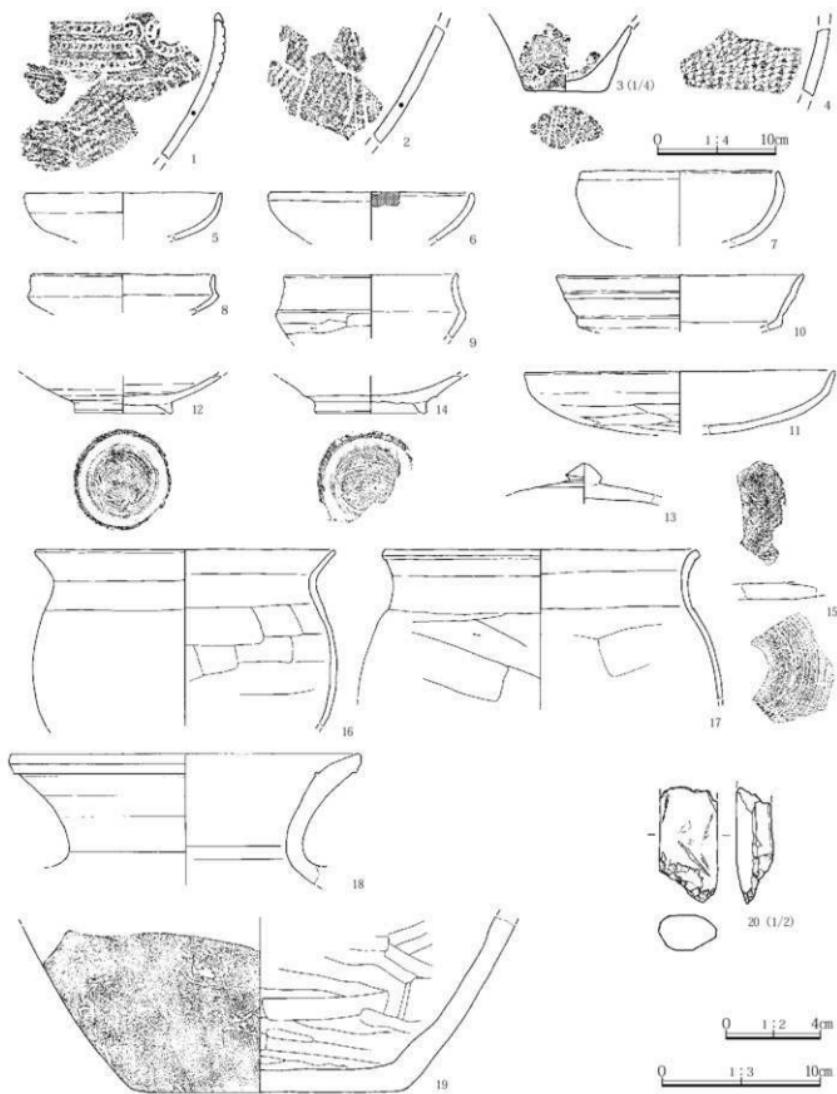
第108図 220号～235号ピット



第109図 236号～254号ピット

0 1:40 1m

第9節 遺構外(第110図、PL.76)



第110図 遺構外出土遺物

第4章 まとめ

中栗須邸前遺跡は藤岡市中栗須に所在しており、当遺跡の5kmほど南西に位置する鮎川左岸に「緑塙」の地名がある。この緑塙という地名は、「日本書紀」安閏天皇2年(535)に屯倉の設置された場所として記載された「緑野」に由来すると考えられる。また、当遺跡の所在する中栗須を含む一帯は、古代においては緑野郡に含まれた地域と考えられ、8世紀前半の多胡郡の建都に直接的に関わっていたことが知られている。当遺跡の所在する地域は、古墳時代から古代にかけて、中央とのかかわりが特に強い場所であったことが理解できる。

中栗須邸前遺跡では、この古墳時代から古代に当たる6世紀後半から9世紀の遺構・遺物が検出されているので、特徴的な遺構・遺物についてまとめておきたい。

古墳時代の遺構・遺物では、6世紀後半と考えている6区22号竪穴建物が注目される。この竪穴建物からは、白玉を含む滑石製品や未製品が大量に出土している。鮎川流域には滑石の産地も知られていることから、近くの石材を利用した滑石製品の製作が行われていた可能性がある。

古代の遺構で注目されるのは、7世紀末から8世紀代の時期が想定できる掘立柱建物がある。掘立柱建物は2棟検出されているが、1区2号掘立柱建物は、方形掘り方の柱穴と布振り方の柱穴を組み合わせた総柱の建物で、調査範囲で2間×3間の規模が確認できる。また、2区1号掘立柱建物は方形掘り方の柱穴の側柱建物で、調査範囲内には収まっていないことから、少なくとも2間×3間以上の規模が想定される。2棟の掘立柱建物は、柱穴掘り方などから見て一般集落の掘立柱建物より格の高い建物であった印象を受けるが、総柱建物と側柱建物という構造の違いと主軸方位に規格性が認められないことから、同時併存ではない可能性がある。建物の構造などから周囲に複数の掘立柱建物が存在した可能性が高く、その一部を検出したと見て良いであろう。

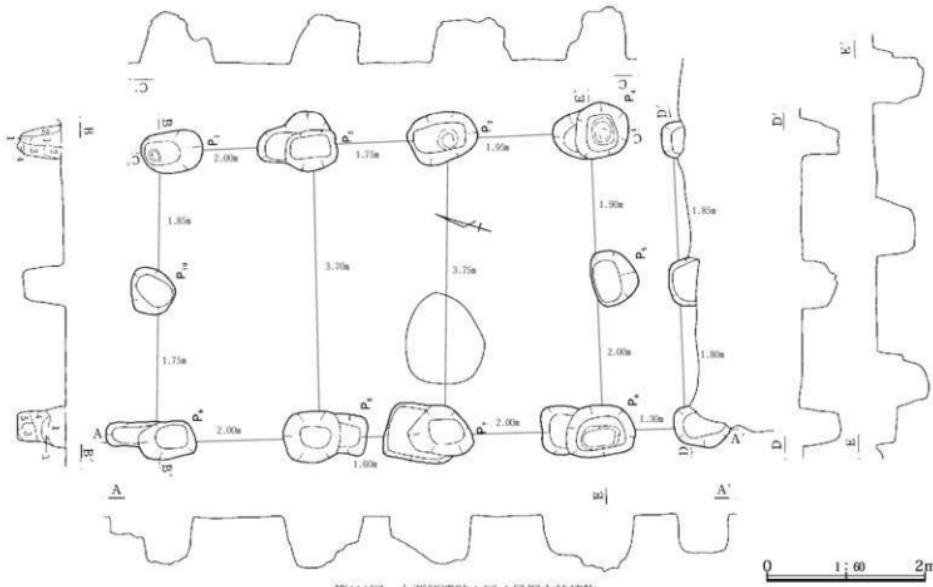
古代の遺物で注目されるものには、7世紀末から8世紀代と考えられる1区6号竪穴建物の須恵器高盤1点、2区9号竪穴建物の須恵器盤1点と鉄鉢形土器が1点、大型鉢1点、2区11号竪穴建物の須恵器高盤1点と鉄鉢形土器1点、北島型暗文土器杯1点、7区27号竪穴建物の須恵器盤の蓋1点などがある。須恵器の高盤や鉄鉢形

土器などは、一般的な集落遺跡ではあまり出土することのないものであり、当遺跡の出土率は高いものと考えられる。出土した竪穴建物などには優位性を示すような要素は見られないことは、周辺に使用されるにふさわしい官衙的な性格を有する遺構が存在していたことを示唆するものである。

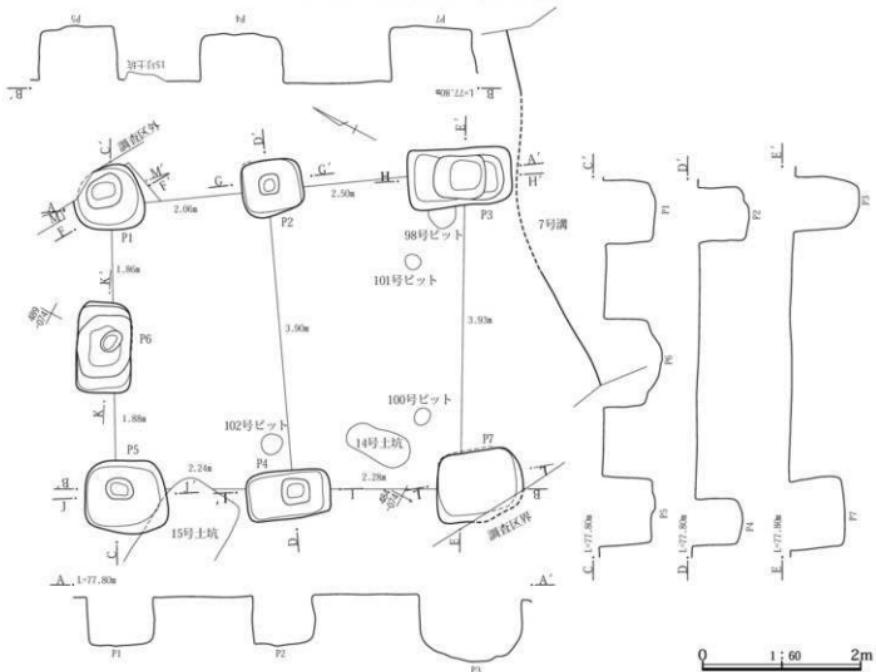
他には、2区8号竪穴建物出土のにぎり鉢と2区10号竪穴建物出土の瓦がある。2区6号竪穴建物は、8世紀第4四半期が想定され、その床面から現代の鉢のような支点を持たない鉄製のにぎり鉢が出土した。全体形状がわかるような出土例は、鳥羽遺跡などわずかに知られているだけである。

2区10号竪穴建物は9世紀後半と考えられ、窓の袖構築材として丸瓦2点が出土した。搬入・転用されたものと考えられるが、藤岡地域は県内でも有数の窯業地域でもあることから瓦窯からの直接的な搬入も想定可能であるが、近くに瓦窯の施設が存在したと見たほうが良いであろう。

上述のように、当遺跡では6世紀後半から9世紀代にいたるまで特徴的な遺構・遺物の検出が見られる。中でも、7世紀末から8世紀代の遺構・遺物に、官衙との関連を想定させるような要素が認められることが特筆される。特に掘立柱建物については、当遺跡の1区2号掘立柱建物と類似する掘立柱建物(第111・112図)が検出されている上栗須遺跡との関連が想定される。上栗須遺跡は、県道前橋長瀬バイパス関連で調査された遺跡で、当遺跡の西方500mほどに位置している。この遺跡では、3群の掘立柱建物群が確認されている。特にⅢ区で検出した一群は、南北を柵によって区画している。内部には2面に庇または目隠しを持つ建物を含む側柱建物が主軸方位を揃えた規格性のある配置が取られており、官衙的な遺跡との見方もある。当遺跡とは距離的にやや離れているが、遺構の時期は近いことが想定され、広範囲に展開する官衙関連施設の一部をそれぞれ検出した可能性がある。



第111図 上栗須遺跡1区4号掘立柱建物



第112図 中栗須遺跡2区1号掘立柱建物

土師器・須恵器等観察表凡例

1 種類

文化庁文化財部記念物課監修2010年『発掘調査のてびき』に準じて土師器、須恵器、黒色土器、施釉陶器(奈良三彩、灰釉陶器、綠釉陶器)、土製品等に種別している。

なお、古墳時代に黒色処理を施された土器についてはその成形から土師器とした。

その後の奈良時代中頃から出現する内面及び外面を黒色処理された土器については成形から黒色土器として種別してある。

2 器種

文化庁文化財部記念物課監修2010年『発掘調査のてびき』に準じて杯、椀、高杯、盤、皿、鉢、壇、器台、壺・瓶(長頸壺、短頸壺、平瓶、横瓶、提瓶、甕)、甕、硯等の名称を使用している。なお、杯と椀の区分は器高/口径比が大きいものを椀としているが、明確に数値化できていない。壺と甕との区分は頸部/胴部最大径比によって区分しているが、例外として胴部最大径より頸部系径の大きい形態である広口壺と呼称しているものも存在する。

3 残存率

概ね全体の比率で「完形」、「3/4」、「1/2」等で表示している。なお、1/4以下については「口縁部片」、「底部片」等の部位片で表示している。

4 計測値

計測力所は以下のように省略している。

口：口径、底：底径、高：器高、台：高台径、摘：摘径、カ：杯蓋等のカエリ径、頭：頸部径、孔：瓶・有孔鉢などの底部に設けられた孔径等である。この他の略称についてはそれぞれ備考等に表示した。

なお、単位はcmである。

5 胎土

記載中の表現にある細砂粒は径2mm以下、粗砂粒は2~5mmのものを表す。5mm以上は礫と表示した。

6 焼成

土師器は比較的硬質に焼成されているものを「良好」、軟質や脆い状態のものを「軟質」、「不良」で表示してある。

須恵器は「還元焰」、「酸化焰」で表示してある。

7 色調

農林水産省農林水産技術会議事務局監修・財団法人日本色彩研究所色票監修『新版 標準土色調帖』に準拠している。

8 特徴

成形を中心記載している。

9 備考

灰釉陶器は猿投古窯跡群と東濃古窯跡群とを区分し、可能な限り各窯式期を判断して記載している。

綠釉陶器は東海産、畿内産、近江産の区分を行い、可能な限り年代または窯式期を判断して記載している。

遺物観察表

第4表 遺物観察表

1号竪穴建物出土遺物

種類 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第5回 PL.58	1 上飾器 杯	覆土 1/4	口 12.2 高 3	粗砂粒/良好/赤 褐色	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。器面摩滅のため単位不明。	
第5回 PL.58	2 上飾器 杯	床直 口縁部~底部片	口 9.8	粗砂粒/良好/橙 褐色	口縁部は横ナデ、口縁部・体部から底部は手持ちヘラ削り。器面摩滅のため単位不明。	
第5回 PL.58	3 上飾器 杯	覆土 口縁部~体部片	口 13.7	粗砂粒・粗砂粒・ 褐色/良好/褐 褐色	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第5回 PL.58	4 上飾器 杯	床直 1/5	口 14.8 底 12.2	粗砂粒・粗砂粒/ 褐色/良好/に赤い 黄褐色	口縁部は横ナデ、口縁部から体部と底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から口縁部までヘラミガキ。口縁部は横ナデ。	
第5回 PL.58	5 須恵器 壺瓶	覆土 制脚部		粗砂粒/還元焰/暗 灰褐色	クロロ整形、回転右回り。	
第5回 PL.58	6 上飾器 甕	覆土 底部~胴部下位 片	底 6.8	粗砂粒・粗砂粒/ 良好/に赤い 黄褐色	底部と胴部はヘラ削り。内面はヘラナデ。	

2号竪穴建物出土遺物

種類 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第7回 PL.58	1 上飾器 杯	覆土 1/3	口 12 底 9.6	粗砂粒・粗砂粒/ 良好/橙 褐色	口縁部は横ナデ、体部はナデ。底部は手持ちヘラ削り。	
第7回 PL.58	2 上飾器 杯	床直 口縁部~体部片	口 11.8	粗砂粒/良好/橙 褐色	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。	
第7回 PL.58	3 上飾器 杯	覆土 ほぼ完形	口 15.9 底 8.2	粗砂粒・粗砂粒/ 良好/赤 褐色	口縁部は横ナデ、体部はヘラナデ、上半は器面摩滅のため単位不明。底部の整形不明。内面は底部にヘラナデの痕跡が明る。	
第7回 PL.58	4 上飾器 甕	覆土 口縁部~胴部上位 片	口 22.8	粗砂粒/良好/黒 褐色	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第7回 PL.58	5 上飾器 甕	覆土 底部~胴部下位 片	底 4.4	粗砂粒・粗砂粒/ 良好/灰 褐色	底部には木葉痕が残る。胴部はヘラ削り。内面はヘラナデ。	

3号竪穴建物出土遺物

種類 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第9回 PL.58	1 上飾器 杯	床直 1/3	口 10.8 高 3.3	粗砂粒・粗砂粒/ 良好/橙 褐色	口縁部は横ナデ。体部は上半がナデ。下半から底部は手持ちヘラ削り。	
第9回 PL.58	2 上飾器 杯	覆土 1/3	口 16.4	粗砂粒・粗砂粒/ 良好/橙 褐色	口縁部は横ナデ。口縁部・体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第9回 PL.58	3 上飾器 杯	覆土 1/4	口 9 底 3 高 3.2	粗砂粒/良好/に赤 い褐色	口縁部は横ナデ。体部はヘラ削り。表面摩滅のため単位不明。底部に廟代のような痕跡が残る。	
第9回 PL.58	4 須恵器 杯蓋	床直 完全形	口 11.6 底 2.9	粗砂粒・粗砂粒/ 褐色/還元焰/灰 褐色	クロロ整形、回転は右回り。袖は附屬。天井部は中程まで回転ヘラ削り。カエリは貼付か。	
第9回 PL.58	5 須恵器 杯蓋	覆土 口縁部~天井部片	口 13.8	粗砂粒/還元焰/灰 褐色	クロロ整形、回転は右回りか。天井部は回転ヘラ削り。カエリは貼付。	
第9回 PL.58	6 上飾器 甕	覆土 口縁部~胴部上位 片	口 17.6	粗砂粒・粗砂粒/ 褐色/良好/に赤い 褐色	口縁部は横ナデ。胴部から胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第9回 PL.58	7 上飾器 甕	覆土 口縁部片	口 23.6	粗砂粒・粗砂粒/ 褐色/良好/に赤い 褐色	口縁部は横ナデ。胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第9回 PL.58	8 白玉	床直 完全形	長 1.2 幅 1.2 厚 0.6	滑石	灰白色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。側面は中央に明顯な張りではなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第9回 PL.58	9 白玉	覆土 完全形	長 1.2 幅 1.6 厚 0.6	滑石	滑石。表面は部分的に平坦面があり擦痕が認められる。裏面はほぼ平坦であり擦痕が多く認められる。側面は中央に明显的張りではなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	

4号竪穴建物出土遺物

種類 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第10回 PL.58	1 上飾器 杯	床直 ほぼ完形	口 12.2 底 11.3	粗砂粒・粗砂粒/ 褐色/良好/赤 褐色	口縁部は横ナデ。穂から底部は手持ちヘラ削り。器面摩滅のため単位不明。	
第10回 PL.58	2 上飾器 杯	床直 3/4	口 14.4 底 5.2	粗砂粒・粗砂粒/ 褐色/片岩/良好/ 灰 褐色	表面が他の杯に比べ弱い。口縁部は横ナデ。体部は上半がナデ。下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部にヘラナデ。	
第10回 PL.58	3 須恵器 杯	覆土 口縁部~体部片	口 12.8	粗砂粒・粗砂粒/ 褐色/還元焰/灰 褐色	クロロ整形、回転は右回りか。口縁部に焼成前のヘラ傷あり。	
第10回 PL.58	4 須恵器 甕	覆土 小片		粗砂粒・粗砂粒/ 褐色/還元焰/オリーブ 褐色	クロロ整形。体部から底部は回転ヘラ削り。	

5号竪穴建物出土遺物

神 国 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	埴土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第12回 PL.58	1 杯	床直 1/4	□14.8	織砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。	
第12回 PL.58	2 杯	覆土 口縁部～体部片	□15.5	織砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、口縁部から体部はヘラ削り。	
第12回 PL.58	3 杯	覆土 口縁部～体部片	□15.6	織砂粒/良好/にぶ い黄根	口縁部は横ナデ、口縁部から体部はヘラ削り、器面摩滅のため単位不明。	
第12回 PL.58	4 杯	覆土 口縁部～体部片	□13.4	織砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、口縁部から体部はヘラ削り、器面摩滅のため単位不明。	
第12回 PL.58	5 高杯	覆土 脚部片		織砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐色	脚部外面は竪方向のヘラ削り、内面は横方向のヘラナデ。	
第12回 PL.58	6 頭蓋陶	覆土 頭部片		織砂粒・粗砂粒/ 礫・還元焰/褐灰	ロクロ整形、回転は右回り、頭部に数条の凹線がある。	
第12回 PL.58	7 師器 農	床直 口縁部～胸部片	□17.4	織砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部から頭部は横ナデ、制部はヘラ削り。内部胴部はヘラナデ。	
第12回 PL.58	8 白玉	覆土 4/5	長 幅1.0 厚 0.7 重 0.8	滑石	底ホリ一色、表面はほぼ平坦であり擦痕がわざかに認められる。裏面は凹凸があり擦痕は認められない。側面は中史に明顯な張りではなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	

6号竪穴建物出土遺物

神 国 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	埴土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第14回 PL.59	1 杯	上師器 完形	□12.3 高 11.8	織砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、縦下から底部は手持ちヘラ削り。器面や 手摩滅。	
第14回 PL.59	2 杯	覆土 1/4	□12.4 高 2.8	織砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。器 面摩滅のため単位不明。	
第14回 PL.59	3 杯	覆土 口縁部～体部片	□11.9	織砂粒/良好/橙	口縁部から体部上半は横ナデ、体部下半から底部は手持ち ヘラ削り。	
第14回 PL.59	4 杯	覆土 口縁部～底部片	□11.8	織砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、下半から底部は手持 ちヘラ削り。	
第14回 PL.59	5 杯	覆土 口縁部～体部片	□11.8 長 13.2	織砂粒/良好/明赤 褐色	口縁部は横ナデ、縦下は手持ちヘラ削り。	
第14回 PL.59	6 上師器 鉢	床直 口縁部～体部上 半	□18.2	織砂粒・粗砂粒・ 礫(片岩)/良好/ 橙	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り、器面が横ナデ。 底部はヘラナデ。	
第14回 PL.59	7 上師器 鉢	覆土 口縁部～体部片	□10.6	織砂粒・粗砂粒/ 良好/黑褐色	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り。内面は口縁が横ナデ。 底部はヘラナデ。	
第14回 PL.59	8 頭蓋陶	覆土 口縁部片	□14.6	織砂粒・粗砂粒/ 還元焰/褐灰	ロクロ整形、回転は右回り。天井部は回転ヘラ削り。	
第14回 PL.59	9 頭蓋陶	覆土 底部片		織砂粒・還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転ヘラ削り。	
第14回 PL.59	10 頭蓋陶	覆土 口縁部～体部片	□11.8	織砂粒/還元焰/灰 灰灰	ロクロ整形。	
第14回 PL.59	11 頭蓋陶	覆土 底部片		織砂粒・還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転ヘラ起こし後回転 ヘラ削り。	
第14回 PL.59	12 頭蓋陶	覆土 1/3	□19.6 高 5.7	織砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転ヘラ削り、体部下 位に1段の回転ヘラ削り、高台は貼付。底部は粘土板を2 枚貼り合わせている。	
第14回 PL.59	13 頭蓋陶 高盤	覆土 脚部～底部片		織砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰白	ロクロ整形、回転は右回り。盤身と脚部は接合。	
第14回 PL.59	14 上師器 農	床直 ほぼ完形	□16.2 高 6.3	織砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄 根	口縁部から頭部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面は 底部から胴部にヘラナデ。	
第14回 PL.59	15 上師器 農	床直 完形	□19.7 高 3.8	織砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黃 根	内外面の胴部に輪模み痕が残る。口縁部から頭部は横ナデ、 胴部はヘラ削り、底部に木葉痕が残る。内面は底部から胴 部にヘラナデ。	

7号竪穴建物出土遺物

神 国 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	埴土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第16回 PL.59	1 上師器 杯	覆土 2/3	□12.1 高 3.9	織砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第16回 PL.59	2 上師器 杯	覆土 3/5	□14.6 高 4.7	織砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第16回 PL.59	3 上師器 杯	覆土 1/2	□12.8	織砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持 ちヘラ削り。	
第16回 PL.59	4 上師器 杯	覆土 1/5	□12.4 高 2.9	織砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ。体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。	
第16回 PL.59	5 上師器 杯	床直 2/3	□13.3 高 3.3	織砂粒/良好/にぶ い黄根	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持 ちヘラ削り。	
第16回 PL.59	6 上師器 杯	覆土 1/4	□15.8	織砂粒/良好/明褐 色	口縁部は横ナデ。体部は手持ちヘラ削り、器面摩滅のため 単位不明。	
第16回 PL.59	7 上師器 杯	覆土 口縁部～底部片	□11.6	織砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部は上半がナデ、下半から底部は手持 ちヘラ削り。	

遺物觀察表

辨 別 號 PL.No.	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計測値	胎土・燒成・色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備 考	
第16回 PL.59	8 須恵器 杯蓋	覆土 完形	□ 捕 4.5	15.2 高 3.2 織砂粒・粗砂粒・ 礫(岩・長石) / 還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回り。捕は貼付。天井部は中程まで回転ヘラ削り。焼成時の歪みあり。		
第16回 PL.59	9 須恵器 杯蓋	床直 1/4	□ 捕	14.4	織砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回り。天井部は中程まで回転ヘラ削り。	
第16回 PL.59	10 須恵器 杯蓋	床直 1/4 横～天井部片		織砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰白	織砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰白 天井部は中程までは回転ヘラ削り。		
第16回 PL.59	11 須恵器 杯蓋	覆土 横～天井部片		織砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰灰	ロクロ整形、回転は右回り。捕は内盤状の粘土板を貼付。		
第16回 PL.59	12 須恵器 杯蓋	覆土 1/6 返13	□ 捕 4.4	15.4 織砂粒・還元焰/灰 黄	ロクロ整形、回転は右回り。天井部は中程まで回転ヘラ削り。カエリは貼付。		
第17回 PL.60	13 須恵器 杯蓋	覆土 横	□ 捕 4.4	織砂粒・還元焰/灰 白	ロクロ整形、捕は内盤状の粘土板を貼付し、周囲を立ち上げている。		
第17回 PL.60	14 須恵器 杯	覆土 底部片	底	9.2 織砂粒・還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転ヘラ削り。		
第17回 PL.60	15 須恵器 鉢	覆土 口縁部～体部片	□ 捕 11.8	織砂粒・粗砂粒/ 還元焰/黄灰	ロクロ整形。		
第17回 PL.60	16 須恵器 高杯	覆土 脚部片		織砂粒・還元焰/灰 黄	ロクロ整形。脚部はカギ目、透孔3カ所。		
第17回 PL.60	17 須恵器 鉢	覆土 口縁部片		織砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、口縁部に断面三角形の凸沿が巡る。		
第17回 PL.60	18 須恵器 鉢	覆土 脚部片	□ 捕 8	織砂粒・還元焰/褐 灰	ロクロ整形、回転は右回り。脚部中位に断面三角形の凸沿で区画。その下に円形の穿孔、刺文を施す。		
第17回 PL.60	19 須恵器 頭部	覆土 頭部		織砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転は右回り。頭部中程に2条の門線が巡る。		
第17回 PL.60	20 須恵器 足頭部	覆土 脚部上位小片	最 19	織砂粒・還元焰/灰 白	ロクロ整形、脚部上位は凹線が1条通り、その外側に刺突が巡る。		
第17回 PL.60	21 須恵器 鉢	覆土 口縁部片	□ 捕 9.8	織砂粒・還元焰/黄 灰	ロクロ整形。		
第17回 PL.60	22 上師器 鉢	床直 底部～脚部下位片	底	6.6 織砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	底部と脚部はヘラ削りか、器面摩滅のため単位不明。底部に径8mm前後の円形の穿孔を7～8カ所か。		
第17回 PL.60	23 上師器 小型盤	覆土 口縁部～脚部上半片	□ 捕 15.4	織砂粒/良好/概	口縁部は横ナデ、脚部はヘラ削り。内面脚部はヘラナデ。		
第17回 PL.60	24 上師器 小型盤	覆土 口縁部～脚部上位片	□ 捕 11.2	織砂粒/良好/に赤 い褐	口縁部から脚部は横ナデ、脚部はヘラ削り。内面脚部はヘラナデ。		
第17回 PL.60	25 上師器 鉢	床直 口縁部～脚部上半	□ 捕 22	織砂粒/良好/明赤 褐	外縁口縁部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、脚部はヘラ削り。内面脚部はヘラナデ。		
第17回 PL.60	26 上師器 鉢	床直 口縁部～脚部上半片	□ 捕 19.8	織砂粒/良好/概	口縁部は横ナデ、脚部はヘラ削り、中位は器面摩滅のため単位不明。内面脚部はヘラナデ。		
第17回 PL.60	27 上師器 鉢	覆土 口縁部～脚部片	□ 捕 24	織砂粒・粗砂粒/ 鐵/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、脚部はヘラ削りか、器面剥離のため評価不明。		
第17回 PL.60	28 上師器 鉢	覆土 底部～脚部下半片	底	4.6 織砂粒/良好/に赤 い黄褐	底部と脚部はヘラ削り。内面はヘラナデ。		
第17回 PL.60	29 上師器 鉢	床直 底部～脚部下位片		織砂粒/良好/概	底部と脚部はヘラ削り、器面摩滅のため単位不明。内面はヘラナデ。		
第17回 PL.60	30 上師器 鉢 不明	覆土 破片	浮 5.7	織砂粒/良好/概	部位は台脚か接合痕が残る。底部はヘラナデ。		
第17回 PL.60	31 鉄製品 不明	床直 不明	長 幅 1.4 厚 0.2 重 15.5		幅1.4cm、厚さ0.2cmの鉄の板、2片。同一個体と見られるが、接合せず。		

8号笠穴建物出土遺物

辨 別 號 PL.No.	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計測値	胎土・燒成・色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備 考	
第19回 PL.60	1 上師器 杯	床直 4/5	□ 捕 8.2	11.7 高 3.7 織砂粒・粗砂粒/ やや軟質/概	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。		
第19回 PL.60	2 須恵器 杯蓋	覆土 摘部	□ 捕	4.4	織砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回り。捕は内盤状の粘土板を貼付し、周囲を環状に起こしている。	
第19回 PL.60	3 須恵器 杯蓋	覆土 摘部	□ 捕	3.4	織砂粒・還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回り。捕は貼付。	
第19回 PL.60	4 須恵器 杯	覆土 口縁部～体部片	□ 捕 12.8	織砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回り。		
第19回 PL.60	5 須恵器 底部～体部片	覆土 底部片	底	7.4 織砂粒・粗砂粒/ 礫(岩)/還元焰/ 灰	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り無調整。底部は層似高台状を呈す。		
第19回 PL.60	6 須恵器 鉢	覆土 口縁部～体部片	□ 捕 9.8	織砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形。		
第19回 PL.60	7 須恵器 鉢	覆土 口縁部～体部片	□ 捕 14.8	織砂粒・醸化焰/に 赤い黄褐	ロクロ整形。		

種 国 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土・焼成・色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備 考
第19回 PL.60	須恵器 長颈瓶	床直 胴部中位片	脚 18.6	繊砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰黄	クロロ整形、回転は右回り。胴部上半に凹線が巡る	
第19回 PL.60	須恵器 壺	覆土 底部～胴部	底 6.2	繊砂粒・還元焰/暗 オーリーブ	クロロ整形、回転は右回り。底部は回転系切り痕が残る。	原始灰釉 8世紀後半
第20回 PL.61	須恵器 長颈瓶(無 台)	床直 2/3	口 9.4 高 20 底 9	繊砂粒・粗砂粒/ 礫/還元焰/オリーブ 黒	クロロ整形、回転は右回り。底部は手持ちヘラナデ、胴部 下位に叩き瓶が妙かに残る。	
第20回 PL.61	土師器 甕	床直 口縁部～胴部上 位片	口 19.6	繊砂粒/良好/灰 白	口縁部から颈部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘ ラナデ。	
第20回 PL.61	土師器 甕	床直 口縁部～胴部上 位片	口 21.6	繊砂粒・粗砂粒/ 良好/明灰褐色	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第20回 PL.61	須恵器 甕	床直 胴部		繊砂粒・粗砂粒/ 礫/還元焰/灰黄	外面は平行叩き痕、内面は同心円状アテ具痕が残る。	
第20回 PL.61	鉄製品 鍔	床直 ほぼ完形	長 10.6 厚 0.4 重 8.5	断面0.4×0.4cmの方形の軸が先端に向かって細く尖る。本質 の軸が半分ほど遺存。		
第20回 PL.61	鉄製品 不明	床直 内側欠損	長 (13.0) 厚 0.7 幅 0.7 重 19.5	内側欠損の方形の角棒。断面0.7×0.7cmの方形で先端部に 向かって窄まる。		
第20回 PL.61	鉄製品 鍔	床直 片方の刃部欠損	長 15.4 厚 0.2 幅 0.9 重 22.7	刃部は4.0×6.3cmの環状で、刃部は基部で交差し、刃は 互いに内側を向く。刃部の長さ8.7cm。もう一方の刃部は 半分ほど欠損。		

9号堅穴建物出土遺物

種 国 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土・焼成・色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備 考
第21回 PL.61	土師器 杯	覆土 口縁部～体部片	口 10	繊砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り、器面摩滅のため単位不 明。	
第21回 PL.61	須恵器 高盤	覆土 胴部片	脚 14	繊砂粒・還元焰/灰	クロロ整形。	
第21回 PL.61	須恵器 盤	覆土 1/2	口 24.8 高 3.6	繊砂粒・粗砂粒/ 礫/還元焰/灰	クロロ整形、回転は右回り。底部から体部下半は回転ヘラ 削り。内面口縁部に着受けがつくられている。	
第21回 PL.61	須恵器 鉢(鉄鉢)	覆土 口縁部～体部片	口 16	繊砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	クロロ整形、回転は右回り。体部は回転ヘラ削り。	
第21回 PL.61	須恵器 鉢	覆土 口縁部～体部片	口 32.8	繊砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰白	クロロ整形、回転は右回り。	

10号堅穴建物出土遺物

種 国 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土・焼成・色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備 考
第23回 PL.61	須恵器 杯	覆土 胴部片	口 10	繊砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り、器面摩滅のため単位不 明。	
第23回 PL.61	須恵器 甕	覆土 1/2	口 24.8 高 3.6	繊砂粒・粗砂粒/ 礫/還元焰/灰	クロロ整形、回転は右回り。底部から体部下半は回転ヘラ 削り。内面口縁部に着受けがつくられている。	
第23回 PL.61	須恵器 鉢	覆土 口縁部～体部片	口 16	繊砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	クロロ整形、回転は右回り。体部は回転ヘラ削り。	
第23回 PL.61	須恵器 鉢	覆土 口縁部～体部片	口 32.8	繊砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰白	クロロ整形、回転は右回り。	

11号堅穴建物出土遺物

種 国 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土・焼成・色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備 考
第28回 PL.62	土師器 杯	覆土 口縁部～底部片	口 8.8	繊砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第28回 PL.62	土師器 杯	覆土 口縁部～体部片	口 11	繊砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り、器面摩滅のため単位不 明。	
第28回 PL.62	土師器 杯	床直 1/2	口 11	繊砂粒/良好/明灰 褐色	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持 ちヘラ削り。	
第28回 PL.62	土師器 杯	床直 完形	口 11 高 3.3	繊砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	内面底部に煤 付着。
第28回 PL.62	土師器 杯	覆土 口縁部～体部片	口 11.6	繊砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り、器面摩滅のため単位不 明。	
第28回 PL.62	土師器 杯	覆土 口縁部～底部片	口 10.2	繊砂粒/良好/明灰 褐色	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り、器面摩 滅のため単位不明。	
第28回 PL.62	土師器 杯	覆土 1/3	口 11.6 高 2.9	繊砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、口縁部・体部から底部はヘラ削り。器面 摩滅のため単位不明。	
第28回 PL.62	土師器 杯	覆土 口縁部～体部片	口 10.7	繊砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り。	
第28回 PL.62	土師器 杯	床直 完形	口 11.3 高 3.8 底 9.2	繊砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。	
第28回 PL.62	土師器 杯	覆土 空形	口 12	繊砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持 ちヘラ削り。	
第28回 PL.62	土師器 杯	覆土 口縁部～体部片	口 11.2	繊砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	

遺物觀察表

種別 Pl.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値		胎土・焼成・色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
			口縁部	体部			
第28回 PL.62	12 上師器 杯	覆土 口縁部～体部片	[口] 12.8		粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り、器面摩滅のため単位不明。	
第28回 PL.62	13 上師器 杯	床直 2/3	[口] 13.7 高 4		粗砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第28回 PL.62	14 上師器 杯	覆土 口縁部～体部片	[口] 11		粗砂粒/良好/にふ い模	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削りか、器面摩滅のため単位不明。	
第28回 PL.62	15 上師器 杯	床直 4/5	[口] 13 高 3.7		粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、口縁部下にナデが残る、体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第28回 PL.62	16 上師器 杯	床直 1/4	[口] 14.8 高 4.4		粗砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。	内面に傷が付着。
第28回 PL.62	17 上師器 杯	床直 1/2	[口] 12.6 高 4.1		粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。	
第28回 PL.62	18 上師器 杯	覆土 口縁部～体部片	[口] 16.4		粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、口縁部から体部はヘラ削り。	
第28回 PL.62	19 上師器 杯	覆土 1/2	[口] 14.2 高 3		粗砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から口縁部に斜削状ヘラミカキ。	
第28回 PL.62	20 上師器 杯	覆土 口縁部～体部片	[口] 14		粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り、器面摩滅のため単位不明。	
第28回 PL.62	21 上師器 杯	覆土 口縁部片	[口] 15.2		粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第28回 PL.62	22 上師器 杯	覆土 1/4	[口] 12.8		粗砂粒/良好/にふ い黄褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。	
第28回 PL.62	23 上師器 杯	覆土 1/2	[口] 13.8 高 4.4		粗砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。	
第28回 PL.62	24 上師器 杯	覆土 3/4	[口] 13.1 高 4.9		粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。	
第28回 PL.62	25 上師器 杯	覆土 1/4	[口] 16.6		粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、口縁部・体部から底部はヘラ削り。	
第28回 PL.62	26 上師器 杯	覆土 ほぼ完形	[口] 15.5 横 12.8	高 4	粗砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、横下から底部は手持ちヘラ削り。口縁部に焼成前の補修痕あり。	
第28回 PL.62	27 上師器 杯	覆土 ほぼ完形	[口] 13.2 横 4.3		粗砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。	
第28回 PL.62	28 上師器 杯	覆土 1/2	[口] 16.6		粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、口縁部・体部から底部は手持ちヘラ削り、器面摩滅のため単位不明。	
第28回 PL.62	29 上師器 杯	床直 1/2	[口] 16.4 横 14	高 3.5	粗砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、横下から底部は手持ちヘラ削り。	
第28回 PL.62	30 上師器 杯	床直 1/4	[口] 14.8		粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。器面摩滅のため単位不明。	
第28回 PL.62	31 上師器 杯	床直 高 6.5	[口] 17.5		粗砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、口縁部・体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第28回 PL.62	32 上師器 高杯	覆土 脚部2/3	[脚] 9		粗砂粒・やや軟質 相	口縁部は横ナデ、口縁部・体部から底部は手持ちヘラ削り。脚部は内外ともヘラナデか、器面摩滅のため単位不明。	
第28回 PL.62	33 須恵器 杯蓋	覆土 口縁部片	[口] 11.6		粗砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰オリーブ	クロコ整形、回転は右回り。カエリは貼付か。	
第28回 PL.62	34 須恵器 杯蓋	覆土 口縁部片	[口] 10		粗砂粒・還元焰/灰 灰	クロコ整形、回転は右回り。	
第29回 PL.62	35 須恵器 杯	床直 3/4	[口] 10 底 5.9	高 3.4	粗砂粒・粗砂粒/ 灰/還元焰/灰	クロコ整形、回転は右回り。底部は回転ヘラ削り。	
第29回 PL.62	36 須恵器 高盤	床直 脚部上位～底部片			粗砂粒・粗砂粒/ 還元焰/黄灰	盤身部と脚部は接合。クロコ整形、回転は右回り。	
第29回 PL.62	37 須恵器 高杯	床直 脚部片	[脚] 10.1		粗砂粒・還元焰/灰	クロコ整形、回転は右回り。	
第29回 PL.63	38 須恵器 鉢(鉢身)	覆土 口縁部～体部片	[口] 16.2		粗砂粒・還元焰/灰	クロコ整形、回転は右回り。体部下位は回転ヘラ削り。	
第29回 PL.62	39 須恵器 壺	覆土 胴部1/3	[胴] 10.2		粗砂粒・粗砂粒/ 還元焰/オリーブ 黒	クロコ整形、回転は右回り。底部から胴部下位は回転ヘラ削り。	
第29回 PL.63	40 上師器 壺	床直 口縁部～胴部上 1/3	[口] 21.1		粗砂粒・粗砂粒・ 礫/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第29回 PL.63	41 上師器 壺	床直 口縁部～胴部上 半	[口] 21.4		粗砂粒・粗砂粒・ 礫/良好/地	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り、器面は剥離状態。内面胴部はヘラナデ。	
第29回 PL.63	42 上師器 壺	床直 口縁部～胴部上 位片	[口] 20.4		粗砂粒・粗砂粒/ 良好/相	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り、器面摩滅のため単位不明。内面胴部はヘラナデ。	
第29回 PL.63	43 上師器 壺	覆土 口縁部～胴部上 位片	[口] 19.6		粗砂粒・粗砂粒/ 褐色/良好/明赤 褐	口縁部から胴部は横ナデ、胴部はヘラ削り、器面摩滅のため単位不明。内面胴部はヘラナデ。	
第29回 PL.63	44 上師器 壺	床直 口縁部～胴部上 位	[口] 19.8		粗砂粒・粗砂粒/ 良好/相	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	

遺物観察表

種類 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第29回 PL.63	土師器 甕	覆土 口縁部片	口 19.8	粗砂粒・粗砂粒/ 褐色/良好/粗	口縁部は横ナデ。	
第29回 PL.63	土師器 甕	覆土 口縁部～胴部上 位片	口 19.6	粗砂粒/良好/にぶ い・褐色	口縁部は横ナデ、胴部はへラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第29回 PL.63	土師器 甕	覆土 口縁部片	口 17.6	粗砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。	
第29回 PL.63	土師器 甕	床直 底部～胴部下位 片	底 8.6	粗砂粒・粗砂粒/ 褐色/良好/粗	底部から胴部はへラ削り、残存部上位は器面摩滅のため単 位不明。内面はへラナデ。	
第29回 PL.63	鉄製品 月刀	床直 刃部	長 (5.9) 幅 1.8 厚 6.8		月刀の刃部片。	
第29回 PL.63	鉄製品 月刀	床直 刃部先端部欠損 片	長 (13.0) 幅 1.8 厚 20.3		刃部先端部分欠損の刀子。一部破損しているが、本質の柄 が遺存する。	

13号竪穴建物出土遺物

種類 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第30回 PL.63	1 土師器 杯	床直 1/3	口 12.9 高 3.5	粗砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい・黒褐	口縁部は横ナデ。種から底部は手持ちへラ削り。	外面焼し
第30回 PL.63	2 白玉	覆土 完形	長 1.3 厚 1.1 幅 1.2 重 2.2	滑石	灰白。表面は剥離面で構成され凹凸があり擦痕は認められ ない。側面は中央に明瞭な張りではなく斜め方向の推痕が 認められる。側面の上下端部には複数の作出面が認められ 月刀等工具による出作面と想定される。孔径約3mm。	

14号竪穴建物出土遺物

種類 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第31回 PL.63	1 土師器 高杯	覆土 底部～脚部片		粗砂粒/良好/明赤 褐	杯底部と脚部の接合状態不明。脚部はへラナデか、全体的 に整形不鮮明。	
第31回 PL.63	2 土師器 甕	覆土 口縁部小片	口 15.4	粗砂粒・粗砂粒/ 褐色/やや軟質/ にぶい・黃褐	外表面とも横ナデか。	
第31回 PL.63	3 土師器 甕	覆土 底部小片	底 9	粗砂粒・粗砂粒/ 褐色/良好/にぶ い・褐色	底部・胴部はへラ削り。内面はへラナデ。	

15号竪穴建物出土遺物

種類 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第34回 PL.63	1 土師器 杯	床直 1/2	口 11.4 高 3.7	粗砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。体部は上半がナデ、下半から底部は手持 ちへラ削り。	
第34回 PL.63	2 土師器 杯	覆土 口縁部～底部片	口 11.8 底 7.1	粗砂粒/軟質/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへラ削り、器面摩 滅のため単位不鮮明。	
第34回 PL.63	3 土師器 杯	覆土 口縁部～体部片	口 15.5	粗砂粒/良好/明赤 褐	有段口縁杯。口縁部は横ナデ、縦下部は手持ちへラ削り。	
第34回 PL.63	4 土師器 杯	覆土 口縁部～接片	口 11.8 底 13	粗砂粒/良好/にぶ い・褐色	有段口縁杯。口縁部は横ナデ、縦下の体部は手持ちへラ削 り。	
第34回 PL.64	5 土師器 杯	覆土 底部～体部片	底 8	粗砂粒/良好/赤褐	底部と体部はへラ削り。	
第34回 PL.64	6 黒色土器	覆土 腹部～体部下半 片	底 7	細砂粒・粗砂粒/ 酸化焰/褐色	内面黑色處理。ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転糸 切り、高台は貼付。内面は底部から体部に斜放状へラミ 方子。	
第34回 PL.64	7 須恵器 皿	覆土 3/4	口 13.3 底 6.2	粗砂粒・粗砂粒/ 酸化焰/淡黄	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り、高台は貼付。	
第34回 PL.64	8 須恵器 皿	覆土 3/4	口 13 底 6	粗砂粒・粗砂粒/ 酸化焰/淡黄	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り、高台は貼付。	
第34回 PL.64	9 須恵器 杯蓋	覆土 天井部片	摘 4.1	粗砂粒・還元焰/灰 色	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り無調整。 摘みは貼付、天井部は回転へラ削り。	
第34回 PL.64	10 須恵器 杯蓋	覆土 天井部片		粗砂粒・還元焰/黃 灰	ロクロ整形、回転は右回りか、天井部は中程まで回転へラ 削り。カエリは引き出されている。	
第34回 PL.64	11 須恵器 杯	覆土 2/3	口 13.4 底 6	粗砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰黃	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第34回 PL.64	12 須恵器 杯	覆土 3/4	口 13.1 底 6	粗砂粒・粗砂粒/ 酸化焰/明赤	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第34回 PL.64	13 須恵器 杯	覆土 2/3	口 14 底 6.6	粗砂粒・粗砂粒/ 還元焰/黃灰	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り、高台は貼 付が剥落。	
第34回 PL.64	14 須恵器 杯	覆土 1/2	口 13 底 9.5	粗砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転へラ削り、高台は 貼付。	
第34回 PL.64	15 須恵器 杯	覆土 1/6	口 12.8 底 5.7	粗砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第34回 PL.64	16 須恵器 杯	覆土 底部～体部片	底 7	粗砂粒・酸化焰/灰 色	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第34回 PL.64	17 須恵器 碗	床直 口縁部～一部欠 損	口 12.7 底 5.2	粗砂粒・粗砂粒/ 酸化焰/灰黃褐	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第34回 PL.64	18 須恵器 碗	覆土 1/3	口 12.3 底 6	粗砂粒・粗砂粒/ 酸化焰/橙	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り無調整。	

遺物觀察表

種類 PL.No.	種類 PL.No.	出上位置 存有率	計測値		胎土・焼成・色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
			口	底			
第34回 PL.64	19 須恵器 鏡	覆土 1/3	12.6 底 5.8	高 4.2	粗砂粒・粗砂粒/ 焼成焰/灰黃	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り無調整か。	
第34回 PL.64	20 須恵器 鏡	覆土 口縁部片	13.6 底 7		粗砂粒・焼成焰/に ふい黄	ロクロ整形、回転は右回りか。	
第34回 PL.64	21 須恵器 鏡	覆土 底部～体部片		7.2	粗砂粒・粗砂粒/ 焼元焰/にふい黄	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り、高台は貼付が剥落。	
第34回 PL.64	22 須恵器 鏡	覆土 底部～体部片		6	粗砂粒・粗砂粒/ 焼成焰/にふい黄	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り、高台は貼付が剥落。	
第35回 PL.64	23 須恵器 鏡	覆土 ほぼ完形	14.7 底 6.2	高 5.6	粗砂粒・粗砂粒/ 焼成焰/にふい黄	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り、高台は貼付。	
第35回 PL.64	24 須恵器 鏡	覆土 4/5	15.8 底 7.2	高 6	粗砂粒・粗砂粒/ 焼成焰/長白/灰黃	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り、高台は貼付。	
第35回 PL.64	25 須恵器 鏡	床直 3/4	15.5 底 6.9	5.2	粗砂粒・粗砂粒/ 焼成焰/明赤	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転糸切りか、高台は貼付。	
第35回 PL.64	26 須恵器 鏡	覆土 2/3	14.9 底 6.6	高 4.8	粗砂粒・粗砂粒/ 焼元焰/灰黃	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り、高台は貼付。	
第35回 PL.64	27 須恵器 鏡	床直 1/3	14.6 底 7.3	5.3	粗砂粒・焼元焰/灰 白	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り、高台は貼付。	
第35回 PL.64	28 須恵器 鏡	床直 1/2	14.3 底 7.6	高 6	粗砂粒・粗砂粒/ 焼元焰/灰黃	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り、高台は貼付。	
第35回 PL.64	29 須恵器 鏡	覆土 1/4		15.5 底 7.4	粗砂粒・粗砂粒/ 焼元焰/灰白	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り、高台は貼付。	
第35回 PL.64	30 須恵器 鏡	覆土 底部～体部片		7.8	粗砂粒・粗砂粒/ 焼成焰/にふい黄	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り、高台は貼付。	
第35回 PL.64	31 須恵器 鏡	覆土 底部～体部片		6.2	粗砂粒・粗砂粒/ 焼元焰/灰黃	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転糸切りか、高台は貼付。	
第35回 PL.64	32 須恵器 鏡	覆土 底部～体部片		7.4	粗砂粒・粗砂粒/ 焼元焰/灰白	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り、高台は貼付。	
第35回 PL.64	33 須恵器 鏡	覆土 試部～体部片		6.6	粗砂粒・粗砂粒/ 焼元焰/浅黄	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り、高台は貼付。	
第35回 PL.64	34 須恵器 鏡	床直 試部～体部		6.8	粗砂粒・粗砂粒/ 焼元焰/灰黃	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り、高台は貼付。	
第35回 PL.64	35 須恵器 鏡	覆土 底部～体部		7	粗砂粒・粗砂粒/ 焼元焰/灰白	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り、高台は貼付。	
第35回 PL.64	36 須恵器 鏡	覆土 底部～体部片		7.2	粗砂粒・粗砂粒/ 焼成焰/灰黃	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り、高台は貼付。	
第35回 PL.64	37 須恵器 鏡	覆土 底部～体部片		7.4	粗砂粒・粗砂粒/ 焼元焰/黄	ロクロ整形、回転は右回りか。底部はヘラナデ、高台は貼付が剥落。	
第36回 PL.64	38 須恵器 鏡	覆土 底部～体部片		7	粗砂粒・粗砂粒/ 焼元焰/灰黃	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第36回 PL.64	39 須恵器 鏡	覆土 底部		7	粗砂粒・粗砂粒/ 焼成焰/灰白	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り、高台は貼付。	
第36回 PL.64	40 須恵器 鏡	覆土 底部		6.7	粗砂粒・粗砂粒/ 焼元焰/にふい黄	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り、高台は貼付。	
第36回 PL.64	41 須恵器 鏡	覆土 底部		6.8	粗砂粒・焼元焰/灰 白	ロクロ整形、回転は右回り。底部は切り離し方法不明、高台は貼付。	
第36回 PL.64	42 須恵器 鏡	覆土 底部		6	粗砂粒・粗砂粒/ 焼元焰/灰黃	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り、高台は貼付が剥落。	
第36回 PL.64	43 須恵器 杯蓋	覆土 底部片		11.8	粗砂粒・粗砂粒/ 焼元焰/灰黃	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転ヘラ削り、高台は貼付。	
第36回 PL.64	44 須恵器 鉢	床直 2/3	23.2 底 11	高 10.7 2/3・焼元焰/灰黃	粗砂粒・粗砂粒/ 焼元焰/灰黃	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第36回 PL.64	45 須恵器 鉢	覆土 脚部下位片		15	粗砂粒・粗砂粒/ 焼元焰/灰黃	ロクロ整形、回転は右回りか。高台は貼付。	
第36回 PL.65	46 灰釉陶器 皿	覆土 1/3	14 底 6.8	高 3.2	微砂粒・焼元焰/灰 白	ロクロ整形、回転は右回りか。底部は回転ヘラ削り、高台は貼付。体部の底周辺部は回転ヘラ削り。施釉方法は清け拂掛け。内面は全面に厚く施釉が付着。	大原2号窯式 期
第36回 PL.65	47 上彌器 甕	覆土 口縁部～胴部片		19.6	粗砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤	外面部に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面部は上半はハケ目状工具によるヘラナデ。	
第36回 PL.65	48 上彌器 甕	覆土 口縁部～胴部上 位片		18.6	粗砂粒/良好/にふ い粒	外面部に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面部はヘラナデ。	
第36回 PL.65	49 上彌器 甕	覆土 口縁部～胴部上 位片		19.8	粗砂粒/良好/粒	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面部はヘラナデ。	
第36回 PL.65	50 上彌器 甕	覆土 口縁部～胴部上 位片		21.8	粗砂粒/良好/にふ い粒	外面部に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面部はヘラナデ。	
第36回 PL.65	51 上彌器 甕	覆土 口縁部～胴部上 位片		23.3	粗砂粒/良好/にふ い粒	外面部に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面部はヘラナデ。	

種 因 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土・焼成・色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備 考
第37回 PL.65	上師器 甕	覆土 口縁部～胴部上 位片	口19.5	粗砂粒・粗砂粒・ 礫/良好/相	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第37回 PL.65	上師器 甕	覆土 口縁部～胴部上 位片	口20.5	粗砂粒/良好/相	内面口縁部に輪積み痕が残る。口縁部から頭部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第37回 PL.65	上師器 甕	覆土 口縁部～胴部上 位片	口21.5	粗砂粒/良好/相	外面白口縁部に輪積み痕が残る。口縁部から頭部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第37回 PL.65	上師器 甕	覆土 口縁部～胴部上 位片	口19	粗砂粒/良好/にぶ い粗	外面白口縁部に輪積み痕が残る。口縁部から頭部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第37回 PL.65	上師器 甕	覆土 口縁部～胴部下 位片	口20.5	粗砂粒/良好/にぶ い粗	口縫部から頭部は横ナデ。	
第37回 PL.65	上師器 甕	覆土 口縫部片	口18	粗砂粒/良好/相	口縫部は横ナデ。	
第37回 PL.65	須恵器 壺	床直 3/4	口20.3 高35.3 底14.8	粗砂粒・粗砂粒・ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。底部と胴部下位へヘラ削り。中位はヘラナデ。内面は底部から胴部下半はヘラナデ。	
第37回 PL.65	須恵器 壺	覆土 底部～胴部片	底14	粗砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰/灰	ロクロ整形、回転は右回り。高台は貼付が剥落。底部は回転ナデ、胴部は底部周囲が回転ヘラ削り、下位はヘラナデ、中位はカキ目。内面は底部、胴部ともヘラナデ。	
第37回 PL.65	須恵器 壺	床直 底部～胴部下位 片	底15.2	粗砂粒・粗砂粒・ 礫/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。底部は不定方向のヘラ削り。胴部は最下位にヘラ削り、その上位はヘラナデ。内面はヘラナデ。	
第38回 PL.61	須恵器 甕	覆土 口縫部片		粗砂粒・還元焰/灰	外面底部には2段の波状文とカギ目が施されている。内面はヘラナデ。	
第38回 PL.62	須恵器 甕	覆土 胴部片		粗砂粒・還元焰/灰 黄	外面は平行たき瓶、内面は同心円状アテ具痕が残る。	
第38回 PL.63	須恵器 甕	覆土 胴部片		粗砂粒・還元焰/に ぶい黄	外面は平行たき瓶、内面は同心円状アテ具痕が残る。胡れ口4力所の内、2力所に再調整の痕跡が残る。	
第38回 PL.64	ガラス玉 完形	覆土 長幅	長0.5 厚0.3 0.6 重0.1	滑石		
第38回 PL.65	白玉	床直 完形	長1.0 厚0.4 重0.6	滑石	灰色。表裏面は滑らかな部分が広範囲に認められるが擦痕はない。側面は中央に明瞭な張りではなく横方向の擦痕が認められる。孔径約3mm。	
第38回 PL.66	白玉	床直 完形	長1.0 厚0.5 重0.6	滑石	灰オリーブ色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は凹があり擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りではなく横方向の擦痕が認められる。孔径約3mm。	
第38回 PL.67	白玉	床直 完形	長1.2 厚0.5 重1.1	滑石	灰オリーブ色。表裏面は剖離面で構成され凹凸があり擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りではなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第38回 PL.68	白玉	覆土 ほぼ完形	長1.2 厚0.5 重1.1	滑石	灰オリーブ色。表裏面には部分的な摩滅痕が認められる。側面は中央に明瞭な張りではなく横方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第38回 PL.69	白玉	床直 完形	長1.1 厚0.6 重1.1	滑石	灰オリーブ色。表面はほぼ平坦であり擦痕がわずかに認められる。裏面は凹があり擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りではなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第38回 PL.70	白玉	覆土 完形	長2.4 厚1.3 重2.5	滑石	灰色。表裏面は剖離面で構成され凹凸があり擦痕は認められない。側面は中央に明瞭な張りではなく横方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第38回 PL.71	白玉	床直 完形	長1.2 厚0.8 重1.2	滑石	灰白色。表裏面は剖離面で構成され凹凸があり擦痕は認められない。側面には摩滅痕が部分的に認められる。側面は中央に明瞭な張りではなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2mm。	
第38回 PL.72	石皿	覆土 完形	長28.0 厚7.8 重586.9	粗粒輝石安山岩	表面のほぼ全面に滑らかな部分が認められる。表面の中央付近と裏面の一部に斜め打痕が認められる。表裏面の一部に表面的な剥離痕が認められ斜め打を受けることにより生じたと考えられる。扁平な大円錐形を利用する。	
第38回 PL.73	鉄製品 釘	覆土 完形	長0.7 厚0.3 重0.3		小さな釘。中央部で直角に曲がり、さらに先端は水平方向に直角に曲がる。先端は丸く潰れる。	
第38回 PL.74	鉄製品 金具	覆土 環状部、先端部 欠損	長(2.8) 厚0.6 重4.7		角棒の付いた扁平な輪状となる小型の鉄製品で、一部を欠く。断面はやや丸みを持つ。角棒は断面方形で、2cmほど残る。	

16号堅穴建物出土遺物

種 因 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土・焼成・色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備 考
第40回 PL.66	1 上師器 杯	床直 完形	口11.6 高4.7 底11.2	粗砂粒・粗砂粒・ 礫/やや軟質/相	口縫部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。	
第40回 PL.66	2 上師器 杯	床直 口縫部一部欠損	口12.5 高4.7 底11.7	粗砂粒・粗砂粒・ 礫/良好/相	口縫部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。	

遺物觀察表

種別 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値		胎土・焼成・色調 石材・素材等	成形・整形の特徴		備考
			口	底		口縁部	底	
第40回 PL.66	3 上師器 杯	覆土 ほぼ完形	□ 13.5	高 4.7	粗砂粒・粗砂粒・ 良好/赤褐色	口縁部は平坦面をつくる。口縁部は横ナデ、稜下から底 部は手持ちヘラ削り。		
第40回 PL.66	4 上師器 杯	床直 完形	□ 12.9	高 4.8	粗砂粒・良好/明赤 褐色	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。		
第40回 PL.66	5 上師器 杯	床直 2/3	□ 10.7	高 5.7	粗砂粒・粗砂粒・ 良好/明赤褐色	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。		
第40回 PL.66	6 上師器 杯	床直 口縁部一部欠損 高	□ 13.7	高 5.1	粗砂粒/やや軟質/ 明赤褐色	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。		
第40回 PL.66	7 上師器 杯	覆土 杯身部片	□ 21		粗砂粒/やや軟質/ 橙	口縁部は横ナデ、底辺底部はヘラ削り。		
第40回 PL.66	8 上師器 杯	床直 2/3	□ 12.7	高 4.4	粗砂粒・粗砂粒・ やや軟質/橙	口縁部は横ナデ、稜下から底部は手持ちヘラ削り。		
第40回 PL.66	9 上師器 杯	床直 3/4	□ 14.9	高 15.6	粗砂粒・粗砂粒・ 良/良/明赤褐色	杯身部と脚部は接合。脚部内面に輪積み痕が残る。杯身部 口縁部は横ナデ、底部はヘラ削り、器面摩滅のため単位不 鮮明。脚部はヘラナデ、瓶底は横ナデ、内面脚部はヘラナデ。		
第40回 PL.66	10 上師器 鉢	覆土 口縁部~体部片	□ 15.2		粗砂粒・粗砂粒・ 良好/白/青い斑	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り。内面体部はヘラナデ。		
第40回	11 爪忠器 杯蓋	覆土 口縁部小片	□ 13		粗砂粒/還元焰/灰 灰	ロクロ整形、口縁端部に段を設けている。		
第40回	12 爪忠器 杯蓋	覆土 天井部片			粗砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回り。天井部は中程まで回転ヘラ削 り。		
第40回	13 爪忠器 杯身	覆土 口縁部片	□ 12.7		粗砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。口縁端部は平坦面をつくる。		
第40回	14 爪忠器 杯身	覆土 口縁部片	□ 12		粗砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。		
第40回 PL.66	15 上師器 覆土	口縁部~脚部上 位	□ 10		粗砂粒/良好/明褐 色	口縁部は横ナデ。		
第40回 PL.66	16 上師器 直口壺	床直 口縁部~脚部上 位	□ 10.3		粗砂粒/良好/橙	口縁部と脚部は頂部で接合。口縁部は横ナデ、脚部はヘラ 削りか。内面脚部はヘラナデ。		
第40回 PL.66	17 上師器 小型甕	床直 完形	□ 13.2	高 15.6	粗砂粒・粗砂粒・ 良(岩片多)/良好/ 黄褐色	外周脚部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、脚部と底部 はヘラ削り。器面摩滅のため単位不鮮明。内面は底部か ら剥離がヘラナデ。		
第40回 PL.66	18 上師器 一部欠損	覆土 6.3	□ 14.8	高 20.1	粗砂粒・粗砂粒・ 良好/明赤褐色	口縁部は横ナデ、脚部と底部はヘラ削り。内面は底部から 剥離がヘラナデ。		
第40回 PL.66	19 上師器 甕	床直 口縁部~脚部上 位	□ 14.8		粗砂粒・粗砂粒・ 良好/明赤褐色	外周脚部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、脚部はヘラ 削り。内面脚部はヘラナデ。		
第40回 PL.66	20 上師器 甕	床直 口縁部~脚部中 位片	□ 16.6		粗砂粒・粗砂粒・ 良/良好/明赤褐色	口縁部から脚部は横ナデ、脚部はヘラ削り。内面脚部はヘ ラナデ。		
第41回 PL.67	21 上師器 甕	覆土 ほぼ完形	□ 17.8	高 32.5 底 8.1	粗砂粒・粗砂粒・ 良(岩片多)/良好/ 明赤褐色	内部脚部に輪積み痕が残る。口縁部から脚部は横ナデ、脚 部と底部はヘラ削り。内面は底部から脚部がヘラナデ。		
第41回 PL.67	22 上師器 甕	床直 一部欠損	□ 16.6	高 36.9 底 8.2	粗砂粒・粗砂粒・ 良(岩片多)/良好/ 明赤褐色	内部前面に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、脚部と底部 はヘラ削り、器面摩滅のため単位不鮮明。内面は底部から脚 部がヘラナデ。		
第41回 PL.67	23 上師器 甕	床直 口縁部~脚部片	□ 16		粗砂粒・粗砂粒・ 良(岩片多)/良好/ 白/青い斑	口縁部は横ナデ、脚部はヘラ削り。内面脚部はヘラナデ。 一部脚面摩滅のため単位不鮮明。		
第41回 PL.67	24 上師器 甕	床直 口縁部~脚部片	□ 23		粗砂粒・粗砂粒・ 良/良好/明赤褐色	口縁部は横ナデ、脚部はヘラ削り。内面脚部はヘラナデ。		
第41回 PL.67	25 上師器 甕	床直 口縁部~脚部上 位片	□ 23.2		粗砂粒・粗砂粒・ 良好/白/橙	口縁部は横ナデ、脚部はヘラ削り。内面脚部はヘラナデ。		
第42回 PL.67	26 上師器 甕	床直 口縁部~脚部上 半片	□ 14.9		粗砂粒・粗砂粒・ 良/良好/橙	口縁部は横ナデ、脚部はヘラ削り。内面脚部はヘラナデ、 器面摩滅のため単位不鮮明。		
第42回 PL.67	27 上師器 甕	覆土 口縁部~脚部上 位	□ 23.6		粗砂粒・粗砂粒・ 良/良好/橙	口縁部は横ナデ、脚部はヘラ削り。内面脚部はヘラナデ。		
第42回 PL.67	28 上師器 甕	床直 口縁部~脚部上 位	□ 22		粗砂粒・粗砂粒・ 良好/橙	口縁部から脚部は横ナデ、脚部はヘラ削り。内面脚部はヘ ラナデ。		
第42回 PL.67	29 上師器 甕	床直 口縁部~脚部上 半片	□ 22.1		粗砂粒・粗砂粒・ 良/良好/橙	口縁部は横ナデ、脚部はヘラ削り、器面摩滅のため単位不 鮮明。内面脚部はヘラナデ。		
第42回 PL.67	30 桟状甕	床直 ほぼ完形	長 17.3 幅 5.8	厚 5.0 重 738.6	雲母石英片岩	柵状の円窓		
第42回 PL.67	31 桟状甕	床直 完形	長 16.8 幅 7.0	厚 5.1 重 806.0	砂岩	柵状の亜円窓		
第42回 PL.67	32 桅状甕	床直 完形	長 17.9 幅 6.2	厚 3.1 重 482.7	黒色片岩	柵状の円窓		
第42回 PL.67	33 桅状甕	覆土 完形	長 13.2 幅 7.0	厚 2.8 重 544.7	黒色片岩	柵状の円窓		

17号竪穴建物出土遺物

種類 PL.No.	種類 No.	出上位置 残存率	計測値	施上/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第43回 PL.67	1 柄状鍬	床直 宍形	長17.8 幅6.1 厚 重431.8	雲母石英片岩	棒状の円鍬。表裏面の下端部には下方から剝離痕が認められ敲打により生じた可能性がある。	

19号竪穴建物出土遺物

種類 PL.No.	種類 器種 No.	出上位置 残存率	計測値	施上/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第46回 PL.68	1 杯	覆土 1/3	口13.8 高3.3	粗砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐色	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第46回 PL.68	2 杯	覆土 1/4	口12.8 高3.8	粗砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第46回 PL.68	3 台付壺	覆土 底部片	底8.4	粗砂粒/良好/概 無	脚部と底部はヘラ削り、脚部は貼付。	
第46回 PL.68	4 瓶底器	覆土 1/3	口20.6 幅5 高 4.5	粗砂粒・粗砂粒/ 墨/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転は右回り。天井部は中程まで回転ヘラ削り、摘みは貼付。	
第46回 PL.68	5 瓶底器	覆土 1/5	口5	粗砂粒・還元焰/黃 乐	ロクロ整形、回転は右回りか。摘みは貼付。	
第46回 PL.68	6 瓶底器	覆土 天井部片		粗砂粒・粗砂粒/ 還元焰/にぶい黄 色	ロクロ整形、回転は右回り。天井部は中程まで回転ヘラ削り、摘みは貼付削落。	環境摘み。
第46回 PL.68	7 瓶底器	覆土 口縁部一部欠損 8.9	口13.4 高4	粗砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転ヘラ削り。	
第46回 PL.68	8 瓶底器	覆土 1/5	口13.1 底6 高4	粗砂粒・粗砂粒/ 還元焰/黃灰	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転系切り無調整。	
第46回 PL.68	9 瓶底器	覆土 底部片	底13.2	粗砂粒・粗砂粒/ 墨/還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転ヘラ削り、高台は貼付。	
第46回 PL.68	10 瓶底器	覆土 口縁部上半片		粗砂粒・粗砂粒/ 墨(片岩)/還元焰/ 黃灰	ロクロ整形、口縁部は断面三角形の凸沿と凹窓による区画、内面に波状文がある。	
第46回 PL.68	11 瓶底器	覆土 頭部～口縁部下 半片		粗砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	頭部はハナナデ、口縁部は下位にカキ目、その上位に数段の波状文。内面は下位がヘラナデ。脚部外面に平行たき痕が見られる。	
第46回 PL.68	12 柄状鍬	床直 宍形	長15.7 幅5.4 厚 重396.3	黒色片岩	棒状の円鍬	
第46回 PL.68	13 柄状鍬	床直 ほぼ宍形	長14.7 幅6.6 厚 重336.5	雲母石英片岩	棒状の円鍬	

20号竪穴建物出土遺物

種類 PL.No.	種類 器種 No.	出上位置 残存率	計測値	施上/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第47回 PL.68	1 頭患器 杯蓋	覆土 口縁部片	口16	粗砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形。	

21号竪穴建物出土遺物

種類 PL.No.	種類 器種 No.	出上位置 残存率	計測値	施上/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第48回 PL.68	1 頭患器 杯蓋	覆土 口縁部片	口10	粗砂粒・還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向は不明。天井部は回転ヘラ削り。内面にカカリを有す。	
第48回 PL.68	2 頭患器 杯蓋	覆土 口縁部片	口9.7	粗砂粒・還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向は不明。天井部は回転ヘラ削り。内面にカカリを有す。	

22号竪穴建物出土遺物

種類 PL.No.	種類 器種 No.	出上位置 残存率	計測値	施上/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第49回 PL.68	1 上師器 杯	覆土 口縁部～体部片	口11	粗砂粒/良好/明赤 褐色	口縁部は横ナデ、種々体部は手持ちヘラ削り。	
第49回 PL.68	2 上師器 震	床直 1/4	口16 底4.8	粗砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい赤褐色	口縁部は横ナデ、脚部はヘラ削り。内面は底部から脚部がヘラナデ。	
第49回 PL.68	3 上師器 震	床直 宍形	口23.5 底10.2 高 53.2	粗砂粒・粗砂粒/ 墨(片岩)/長石/良 好/明黄褐色	口縁部は輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、脚部はヘラ削り、底部は木葉痕が残る。内面は底部から脚部がヘラナデ。外面部に輪積み痕が認められる。孔は表面から裏面にかけて抜くなっている。片面穿孔と考えられる。孔径約2mm。	
第50回 PL.68	4 石製模造品 (劍形)	覆土 不明	長(1.4) 幅(1.4) 厚 0.3 重0.5	滑石	灰白色。表面裏面は斜方鏡面で構成される。表面下端と下面の一部には作出面が認められ刀子等工具による作出面と考えられる。作出面の一部には纏かい線条痕が認められ工具の進行方向に残された作業痕跡と考えられる。作出面の一部にはよくわざな段差が平行して認められ工具の進行方向に垂直に残された工具痕と考えられる。	
第50回 PL.68	5 白玉(未成 品)	覆土 宍形	長1.2 幅1.2 厚 0.4 重0.6	滑石	灰オリーブ色。表面面と左側面は斜方鏡面で構成される。上下側面と右側面には複数の作出面が認められ刀子等工具による作出面と考えられる。作出面の一部には纏かい線条痕が認められ工具の進行方向に残された作業痕跡と考えられる。作出面の一部にはよくわざな段差が平行して認められ工具の進行方向に垂直に残された工具痕と考えられる。	
第50回 PL.68	6 白玉(未成 品)	覆土 宍形	長1.6 幅1.5 厚 0.4 重1.3	滑石	灰オリーブ色。表面面と左側面は斜方鏡面で構成される。上下側面と右側面には複数の作出面が認められ刀子等工具による作出面と考えられる。作出面の一部には纏かい線条痕が認められ工具の進行方向に残された作業痕跡と考えられる。作出面の一部にはよくわざな段差が平行して認められ工具の進行方向に垂直に残された工具痕と考えられる。	

遺物観察表

種別 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第50回 PL.68	7 白玉(未成 品)	覆土 完形	長 幅 2.1 1.6	厚 重 0.7 3.4	滑石	灰白色。全体的に剥離面で構成される。表面の上下端部と左端部には表面に対して急角度で平坦な作出生面認められ刀子等工具による作出生面と考えられる。各作出生面には表裏面と平行する方向の小さな段差が多数認められ工具の進行方向に垂直に残された工具痕と考えられる。これらの作出生面は白玉の製作を目的とした素朴の切断を意図した痕跡と考えられる。		
第50回 PL.68	8 白玉(未成 品)	覆土 完形	長 幅 1.5 1.4	厚 重 0.9 2.5	滑石	浅黄色。側面部は剥離面で構成されるが平坦な作出生面が複数認められ刀子等工具による作出生面と考えられる。側面部には断面V字形の溝状痕跡が三条認められ刀子等工具痕と考えられる。表面には部分的な擦痕が認められる。裏面には部分的に平坦な作出生面が認められ刀子等工具による作出生面と考えられる。孔径約3mm		
第50回 PL.68	9 白玉(未成 品)	覆土 完形	長 幅 1.7 1.6	厚 重 0.9 3.0	滑石	灰白色。表裏面は剥離面で構成される。側面部は複数の作出生面で構成され刀子等工具による作出生面と考えられる。側面部の一部には細かい線条痕が認められ工具の進行方向に残された作業痕跡と考えられる。表面には部分的な擦痕が認められる。裏面には部分的に平坦な作出生面が認められ刀子等工具による作出生面と考えられる。		
第50回 PL.68	10 石製模造品 (劍形)	床直 完形	長 幅 3.2 3.2	厚 重 0.9 13.6	滑石	灰白色。全体的に数多くの作出生面で構成され刀子等工具による作出生面と考えられる。作出生面の一部には細かい線条痕がわざかに認められ工具の進行方向に残された作業痕跡と考えられる。下面は折断面であるがその一部に刀子等工具による作出生面が認められ折断後の製作作業が想定される。孔径約3mm		
第50回 PL.68	11 石製模造品 (刀子形)	床直 不明	長 幅 (4.5) (3.3)	厚 重 (1.2) 23.0	滑石	灰白色。全体的に無数の作出生面で構成され刀子等工具による作出生面と考えられる。上面は破損面であるがその一部に刀子等工具による作出生面が認められ破損面の製作作業が想定される。下面は破損面であるが中央部に孔がありその周辺に刀子等工具による作出生面が認められる。破損面の形成と穿孔の新規痕跡は確定できないが刀子等工具痕が残る痕跡でありやはり破損面の製作作業が想定される。孔径約3mm		
第50回 PL.68	12 石製模造品 (未成品)	床直 完形	長 幅 5.8 3.9	厚 重 1.7 48.5	滑石	灰オリーブ色。全体的に無数の作出生面で構成され刀子等工具による作出生面と考えられる。作出生面の一部には細かい線条痕が認められ工具の進行方向に残された作業痕跡と考えられる。作出生面の一部にはごくわずかな段差が平行して認められ工具の進行方向に垂直に残された工具痕と考えられる。下側面は削離面で構成される。		
第50回 PL.68	13 石製模造品 (未成品)	覆土 完形	長 幅 3.9 2.7	厚 重 1.7 15.5	滑石	浅黄色。全体的に無数の作出生面で構成され刀子等工具による作出生面と考えられる。作出生面の一部には細かい線条痕が認められ工具の進行方向に残された作業痕跡と考えられる。作出生面の一部にはごくわずかな段差が平行して認められ工具の進行方向に垂直に残された工具痕と考えられる。下側面は削離面で構成される。		
第50回 PL.68	14 剃片(石製 模造品)	覆土 完形	長 幅 2.5 2.1	厚 重 0.7 4.6	滑石	灰白色。全体的に剥離面で構成される。表面の下方には複数の作出生面が認められ刀子等工具による作出生面と想定される。作出生面の一部には細かい線条痕が認められ工具の進行方向に残された作業痕跡と考えられる。作出生面の一部にはごくわずかな段差が平行して認められ工具の進行方向に垂直に残された工具痕と考えられる。		
第50回 PL.68	15 剃片(石製 模造品)	床直 完形	長 幅 4.1 1.6	厚 重 0.9 6.9	滑石	灰白色。全体的に剥離面で構成される。表面上には複数の作出生面が認められ刀子等工具による作出生面と想定される。作出生面の一部には細かい線条痕が認められ工具の進行方向に残された作業痕跡と考えられる。作出生面の一部にはごくわずかな段差が平行して認められ工具の進行方向に垂直に残された工具痕と考えられる。表面上には断面V字形の細かい線条痕が散在しており刀子等工具痕と考えられる。		
第50回 PL.69	16 剃片(石製 模造品)	覆土 完形	長 幅 4.8 2.1	厚 重 1.2 11.8	滑石	灰白色。全体的に剥離面で構成される。表面右側にはほぼ平坦な作出生面が集中しており刀子等工具による作出生面と考えられる。作出生面には細かい線条痕がわざかに認められ工具の進行方向に残された作業痕跡と考えられる。		
第50回 PL.69	17 剃片(石製 模造品)	覆土 完形	長 幅 3.9 2.1	厚 重 1.3 15.0	滑石	灰オリーブ色。全体的に剥離面で構成される。表面にはほぼ平均的な作出生面が複数認められ刀子等工具による作出生面と考えられる。作出生面にはごくわずかな段差が平行して認められ工具の進行方向に垂直に残された工具痕と考えられる。		
第50回 PL.69	18 剃片(石製 模造品)	覆土 完形	長 幅 5.3 2.4	厚 重 0.6 9.1	滑石	灰白色。全体的に剥離面で構成される。表面の中央や下方には断面V字形の溝状痕跡が3条認められ刀子等の工具痕と考えられる。右側面の一部にはほぼ平坦な作出生面があり刀子等工具による作出生面と考えられる。		
第50回 PL.69	19 剃片(石製 模造品)	覆土 完形	長 幅 5.8 2.3	厚 重 1.1 16.6	滑石			

遺物観察表

種類 PL.No.	種類 No.	器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第50回 PL.69	20	刮片(石製 模造品)	覆土 完形	長幅 2.1 厚 1.3 重 15.4	滑石	にぶい黃褐色。全体的に削面で構成される。表面右側にはほぼ平坦な作出生が複数認められ刀子等工具による作出生と考えられる。作出生には細かい縦条痕がわずかに認められ工具の進行方向に残された作業痕跡と考えられる。	
第50回 PL.69	21	石製模造品 (未完成)	覆土 不明	長幅 (2.4) (1.3) 厚 (0.9) 重 4.3	滑石	浅黄色。裏面と左右両側面及び上面は全体的に無数の作出生で構成され刀子等工具による作出生と考えられる。作出生の一部には細かい縦条痕が認められ工具の進行方向に残された作業痕跡と考えられる。作出生の一部にはごくわずかな段差が平行して認められ工具の進行方向に垂直に残された工具と考えられる。下側面は折断面である。	
第50回 PL.69	22	刮片(石製 模造品)	覆土 完形	長幅 3.2 厚 1.0 重 16.1	滑石	灰白色。全体的に削面で構成される。	
第50回 PL.69	23	刮片(石製 模造品)	覆土 完形	長幅 4.9 厚 2.2 重 57.5	滑石	灰オーリーブ色。全体的に削面で構成される。左側面には平坦な作出生が認められ刀子等工具による作出生と想定される。作出生の一部には細かい縦条痕が認められ工具の進行方向に残された作業痕跡と考えられる。作出生の一部にはごくわずかな段差が平行して認められ工具の進行方向に垂直に残された工具とを考えられる。表面中央付近と裏面合間に滑かな部分がセイザク状に認められ痕跡と想定される。	
第50回 PL.69	24	刮片(石製 模造品)	覆土 完形	長幅 2.4 厚 1.7 重 22.0	滑石	灰オーリーブ色。全体的に削面で構成される。表面の下部には表面と約60度程度の角度をなす細長い平坦面が認められ刀子等工具による痕跡と考えられる。	
第50回 PL.69	25	刮片(石製 模造品)	覆土 完形	長幅 2.4 厚 1.5 重 25.4	滑石	にぶい黃褐色。全体的に削面で構成される。表面左半部中央には表面と約60度程度の角度をなす細長い平坦面が認められ刀子等工具による痕跡と考えられる。	
第50回 PL.69	26	刮片(石製 模造品)	床直 完形	長幅 3.0 厚 1.3 重 28.4	滑石	浅黄色。全体的に削面で構成される。表面中央には表面と約60度程度の角度をなす細長い平坦面が認められ刀子等工具による痕跡と考えられる。表面中央から下方にかけては平坦面が認められ刀子等工具痕と考えられる。	
第50回 PL.69	27	刮片(石製 模造品)	覆土 完形	長幅 4.1 厚 2.9 重 78.7	滑石	灰白色。全体的に削面で構成される。表面には複数の平坦面が認められ刀子等工具による作出生と想定される。作出生の一部には細かい縦条痕が認められ工具の進行方向に残された作業痕跡と考えられる。作出生の一部にはごくわずかな段差が平行して認められ工具の進行方向に垂直に残された工具とと考えられる。	
第50回 PL.69	28	刮片(石製 模造品)	床直 完形	長幅 3.7 厚 2.3 重 41.1	蛇紋岩	灰オーリーブ色。全体的に削面で構成される。	
第50回 PL.69	29	刮片(石製 模造品)	床直 完形	長幅 7.0 厚 1.8 重 97.5	滑石	全体的に削面で構成される。表面には表面と約60度程度の角度をなす細長い平坦面が多く認められ刀子等工具による痕跡と考えられる。上側面にも平坦面が認められ刀子等工具痕と考えられる。	
第50回 PL.69	30	石製模造品 (不明)	床直 完形	長幅 3.6 厚 1.9 重 52.8	滑石	にぶい黃褐色。全体的に無数の作出生で構成され刀子等工具による作出生と考えられる。作出生の一部には細かい縦条痕が認められ工具の進行方向に残された作業痕跡と考えられる。作出生の一部にはごくわずかな段差が平行して認められ工具の進行方向に垂直に残された工具と想定される。	
第50回 PL.69	31	石製模造品 (未完成)	床直 完形	長幅 5.2 厚 2.2 重 156.1	滑石	灰白色。全体的に削面で構成される。表面の下には刀子等工具による長く平坦な作出生がわざかに認められる。裏面には下をを中心に滑かな平面面が形成され細かい擦痕がわずかに認められる。孔径約2mm。	

23号竪穴建物出土遺物

種類 PL.No.	種類 No.	器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第51回 PL.69	1	土師器 杯	床直 口縁部~体部片	口 19.6	磁砂粒/良好/橙	口唇部は横ナデ、口縁部から体部は手持ちヘラ削り。	
第51回 PL.69	2	土師器 杯	覆土 口縁部~底部片	口 13.5	磁砂粒/良好/にぶい黄褐	口縁部は横ナデ。底部は手持ちヘラ削り。	

24号竪穴建物出土遺物

種類 PL.No.	種類 No.	器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第52回 PL.69	1	土師器 杯	床直 口縁部~底部片	口 12	磁砂粒/良好/にぶい黄褐	口縁部は横ナデ、体部は上平がナデ、下平から底部は手持ちヘラ削り。	
第52回 PL.69	2	土師器 杯	床直 口縁部~底部片	口 12	磁砂粒/良好/明黄 褐	口縁部は横ナデ、体部は上平がナデ、下平から底部は手持ちヘラ削り。	
第52回 PL.69	3	土師器 杯	覆土 口縁部~体部片	口 11.7	磁砂粒/良好/明黄 褐	口縁部は横ナデ、種々体部は手持ちヘラ削りか。表面摩滅のため上部不鮮明。	
第52回 PL.69	4	土師器 甕	床直 口縁部片	口 19.8	磁砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。下位にヘラがあたった跡が残る。	

25号竪穴建物出土遺物

種類 PL.No.	種類 No.	器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第53回 PL.69	1	土師器 杯	床直 1/4	口 14.9	磁砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第53回 PL.69	2	土師器 甕	床直 口縁部~胴部上 位片	口 18.8	磁砂粒/良好/橙	外面底部に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ。胴部はヘラ削り。内面脚部はヘラナデ。	

遺物観察表

27号竪穴建物出土遺物

種 因 PL.No.	種 類 器 種	出上位置 残 存 率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備 考
第55回 PL.69	1 上師器 杯	覆土 1/5	口 11.2	繊砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。	
第55回 PL.69	2 上師器 杯	床直 3/4	口 12.8	繊砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。	
第55回 PL.69	3 上師器 杯	床直 1/2	口 11.3	繊砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第55回 PL.69	4 上師器 杯	覆土 高 3.4	口 10.8	高 3.5 繊砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい相	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り、器面摩滅のため単位不明。	
第55回 PL.69	5 上師器 杯	床直 2/3	口 13.4	繊砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。	
第55回 PL.69	6 上師器 杯	床直 2/3	口 13.6	繊砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第56回 PL.69	7 上師器 杯	床直 4/5	口 13.5	繊砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。	
第56回 PL.69	8 上師器 杯	床直 口縁部～体部片 高 4	口 13.7	繊砂粒/良好/にぶ い相	口縁部は横ナデ、体部は手持ちヘラ削り。	
第56回 PL.69	9 上師器 杯	床直 1/3	口 15.8	繊砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい相	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り、器面摩滅のため単位不明。	
第56回 PL.69	10 上師器 杯	覆土 口縁部～体部片	口 17	繊砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい赤褐色	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。	
第56回 PL.70	11 上師器 杯	覆土 1/4	口 13	高 1.9 繊砂粒/良好/にぶ い相	口縁部は横ナデ、下段から底部は手持ちヘラ削り。	
第56回 PL.70	12 上師器 小型杯	床直 1/2	口 8	繊砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。	
第56回 PL.70	13 上師器 杯	覆土 1/2	口 13.4	高 5.1 繊砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第56回 PL.70	14 須恵器 盤蓋	覆土 4/5	口 25	高 3.2 繊砂粒・粗砂粒・ 織(引)岩/元還/元 黄褐	ロクロ整形、回転は右回り。描は円盤状の粘土板を貼付し、周縁を起こし環状物としている。天井部は中程まで回転ヘラ削り。	
第56回 PL.70	15 須恵器 杯蓋	覆土 掘～天井部	口 5.4	繊砂粒・粗砂粒・ 織(引)岩/黄褐	ロクロ整形、回転は右回り。描は貼付。天井部は中程まで回転ヘラ削り。	
第56回 PL.70	16 須恵器 杯蓋	覆土 口縁部片	口 16	繊砂粒・粗砂粒/ 元還/灰黃褐	ロクロ整形。カエリは貼付か。	
第56回 PL.70	17 須恵器 杯蓋	覆土 口縁部片	口 17	繊砂粒・元還/灰	ロクロ整形。	
第56回 PL.70	18 須恵器 杯蓋	覆土 口縁部片	口 18.6	繊砂粒・元還/灰	ロクロ整形。	
第56回 PL.70	19 須恵器 杯	床直 1/3	口 14.8	高 3.8 繊砂粒・粗砂粒・ 織/元還/灰褐	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転ヘラ削り、高台は貼付。	
第56回 PL.70	20 須恵器 杯	覆土 口縁部～体部片	口 14.4	繊砂粒・元還/に ぶい黄相	ロクロ整形、回転は右回り。	
第56回 PL.70	21 上師器 裏	覆土 口縁部～胴部上 位片	口 22.4	繊砂粒/良好/にぶ い相	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り、内面胴部はヘラナデ。胴部ヘラ削りは器面摩滅のため単位不明。	
第56回 PL.70	22 上師器 裏	床直 口縁部～胴部上 位片	口 20.8	繊砂粒/良好/にぶ い相	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第56回 PL.70	23 上師器 裏	覆土 口縁部～胴部上 位片	口 26.8	繊砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から胴部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第56回 PL.70	24 須恵器 裏	床直 胴部～胴部上位 片	口 32	繊砂粒・粗砂粒・ 織/元還/灰/白	口縁部と胴部は須部にて接合。口縁部はロクロ整形、波状が通る。内面須部はヘラナデ。胴部は外面に障が付着し、叩き痕不規則、内面は同心円状ア貝具痕が残る。	
第56回 PL.70	25 須恵器 裏	床直 胴部片		繊砂粒・粗砂粒・ 織/元還/灰/黄	外側はヘラナデ、平行叩き痕が残る。内面もヘラナデ。同心円状ア貝具痕が一部残る。	

28号竪穴建物出土遺物

種 因 PL.No.	種 類 器 種	出上位置 残 存 率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備 考
第57回 PL.70	1 上師器 杯	覆土 3/4	口 11.3	繊砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。	

29号竪穴建物出土遺物

種 因 PL.No.	種 類 器 種	出上位置 残 存 率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備 考
第58回 PL.70	1 磷製石斧	覆土 1/2	長 4.7 厚 3.1 重 29.2	鯨紋岩	黒色。全般的に丁寧に研磨整形成されており光沢がある。全体的に幅かい腹溝筋が多い数認められる。表裏面の先端刃部には刃部にはほぼ直角する方向の崩かい腹溝筋が多数認められる。	
第59回 PL.70	1 上師器 杯	覆土 口縁部片	口 12.8 口 10.4	繊砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。	

1号竪穴状遺構出土遺物

種 因 PL.No.	種 類 器 種	出上位置 残 存 率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備 考
第59回 PL.70	1 上師器 杯	覆土 口縁部片	口 12.8 口 10.4	繊砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。	

遺物観察表

種別 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土・焼成・色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第59PL. PL.70	2	須恵器 高杯	覆土 脚部片		繊砂粒・還元焰に ぶい黄	ロクロ整形。器面摩滅のため整形不鮮明。脚部に透孔が3 カ所。	
第59PL. PL.70	3	土師器 甕	床直 底部片	底 7	繊砂粒・粗砂粒/ 良好/白褐	底部と胴部はヘラ削り。内面はヘラナデ。	
2号窓穴状遺構出土遺物							
種別 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土・焼成・色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第60PL. PL.70	1	土師器 杯	覆土 口縁部～体部片	□1 18.6	繊砂粒・粗砂粒/ 良好/白	口縁部は横ナデ、体部は手持ちヘラ削り。	
第60PL. PL.70	2	土師器 杯	覆土 口縁部～体部片	□1 17.2	繊砂粒/良好/に ぶい黄	口縁部は横ナデ、体部は手持ちヘラ削り。	
第60PL. PL.70	3	須恵器 杯蓋	床直 摘欠損	□1 10.9 返 8.8	繊砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転は右回り。摘は貼付が剥落。天井部は回 転ヘラ削り。内面のカエリは引き出し。	
第60PL. PL.70	4	須恵器 杯蓋	床直 4/5	□1 19.1 高 4 □1 6.2	繊砂粒・粗砂粒/ 醸/酸化焰/にぶい 黄	ロクロ整形、回転は右回り。摘は貼付。天井部は中程まで 回転ヘラ削り。	
第60PL. PL.70	5	須恵器 杯蓋	床直 1/2	□1 18.6 高 4 □1 5.4	繊砂粒・粗砂粒/ 醸/還元焰/黄褐	ロクロ整形、回転は右回り。摘は環状に貼付。天井部は中 程まで回転ヘラ削り。	
第60PL. PL.70	6	須恵器 杯蓋	覆土 摘～天井部片	□1 4.3	繊砂粒・還元焰/灰 オーリーフ	ロクロ整形、回転は右回り。摘は円盤状の粘土板を貼付。 天井部は回転ヘラ削り。	
第60PL. PL.70	7	須恵器 杯蓋	覆土 口縁部～天井部	□1 18.8	繊砂粒・粗砂粒/ 醸/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転は右回り。天井部は中程まで回転ヘラ削 り。	
第60PL. PL.70	8	須恵器 杯蓋	覆土 1/5	□1 16.8	繊砂粒・粗砂粒/ 還元焰/暗灰黄	ロクロ整形、回転は右回り。天井部は中程まで回転ヘラ削 り。	
第60PL. PL.71	9	須恵器 杯蓋	覆土 摘	□1 3.4	繊砂粒/還元焰/灰	摘は貼付。	
第60PL. PL.71	10	須恵器 杯蓋	床直 口縁部～天井部 片	□1 16.8	繊砂粒・粗砂粒/ 醸/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転は右回り。天井部は回転ヘラ削り。	
第60PL. PL.71	11	須恵器 杯蓋	覆土 口縁部片	□1 15.8	繊砂粒・還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転は右回り。天井部は回転ヘラ削り。	
第60PL. PL.71	12	須恵器 杯身	覆土 口縁部～天井部 片	□1 11.2 高 0	繊砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転は右回り。外側は中程まで回転ヘラ削り。	
第60PL. PL.71	13	須恵器 杯	覆土 1/2	□1 14.4 高 3.7 底 9.6	繊砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転ヘラ起こし。	
第60PL. PL.71	14	須恵器 杯	覆土 1/4	□1 14 高 4.9 底 9	繊砂粒・粗砂粒/ 還元焰/暗灰黄	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転ヘラ起こし後回転 ヘラ削り。	
第60PL. PL.71	15	須恵器 杯	床直 1/4	□1 12.8 高 4.8 底 7.8	繊砂粒/還元焰/灰 黄	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転系切り無調整。	
第61PL. PL.71	16	須恵器 杯	覆土 底部～体部下位	底 8	繊砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転系切り無調整。体 部下位は回転ヘラ削り。	
第61PL. PL.71	17	須恵器 杯	床直 底部～体部下位 片	底 7	繊砂粒/還元焰/灰 黄	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転系切り無調整。	
第61PL. PL.71	18	須恵器 杯	覆土 底部～体部片	底 7.4	繊砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰白	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転系切り後回転を回 転ヘラ削り。	
第61PL. PL.71	19	須恵器 盤	覆土 底部～体部片	底 16	繊砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰白	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転ヘラ削り。高台は 貼付。	
第61PL. PL.71	20	須恵器 短颈甕	覆土 底部片	底 14	繊砂粒・粗砂粒/ 醸/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転は右回り。底部はヘラナデ、高台は貼付。	
第61PL. PL.71	21	須恵器 平瓶	床直 口縁部～胴部片	□1 4.5	繊砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	口縁部と胴部はロクロ整形後、胴部を穿孔して口縁部を接 合。	
第61PL. PL.71	22	土師器 甕	覆土 口縁部～胴部上 位片	□1 29	繊砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい褐	口縁部から胴部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘ ラナデ。	
第61PL. PL.71	23	土師器 甕	床直 口縁部～胴部上 位片	□1 24.8	繊砂粒/良好/概	口縁部から胴部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘ ラナデ。	
第61PL. PL.71	24	土師器 甕	床直 底部～胴部下位 片	底 9.2	繊砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい褐	底部と胴部はヘラ削り。内面はヘラナデ。	
第61PL. PL.71	25	土師器 甕	覆土 底部～胴部下位 片	底 10.7	繊砂粒・粗砂粒/ 良好/白	底部と胴部はヘラ削り。内面はヘラナデ。	
第61PL. PL.71	26	須恵器 瓶か?	覆土 胴部下位片	底 10.8	繊砂粒・粗砂粒/ 醸/還元焰/灰白	ロクロ整形、胴部中位ではヘラ削りか、内面はヘラナデ。	
第61PL. PL.71	27	須恵器 甕	床直 口縁部片	□1 56.2	繊砂粒・粗砂粒/ 醸/酸化焰/にぶい 褐	ロクロ整形か。口縁部は2条の凹線によって3段に区分。 上位2段の区画には1条となる波状文が巡る。内面には 同心円状アーチ貝殻がかかるに残る。	
第61PL. PL.71	28	瓦 平瓦	覆土 破片	厚 2.2	繊砂粒・粗砂粒/ 醸/還元焰/暗灰	桶を作りか、凹面に模様側板痕(幅3.0cm)。布目瓦が残る。 凸面は粗いナデ。	

遺物観察表

3号竪穴状遺構出土遺物

種 因 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第62回 PL.71	1	土師器 杯	覆土 口縁部~体部片	□13.6	粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は手持ちヘラ削り。器面摩滅のため単位不明。	
第62回 PL.71	2	須恵器 杯蓋	覆土 口縁部片	□15.8	粗砂粒/還元焰/灰 黄褐色	ロクロ整形。カエリは貼付か。	
第62回 PL.71	3	須恵器 杯	覆土 口縁部~体部片	□110.9	粗砂粒/還元焰/黄 灰	ロクロ整形。	
第62回 PL.71	4	須恵器 杯	覆土 口縁部~底部片	□117 底12.2	粗砂粒・粗砂粒・ 礫/還元焰/黄灰	ロクロ整形、回転は右回り。底部は手持ちヘラ削り。	

5号竪穴状遺構出土遺物

種 因 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第64回 PL.71	1	土師器 杯	床直 1/4	□118.8 底15.2	粗砂粒・粗砂粒・ 良好/橙	口縁部は横ナデ。底から底部は手持ちヘラ削り。内面は 鍛なべヘナデ。	
第64回 PL.71	2	土師器 甕	床直 口縁部~胴部上 位片	□123.8	粗砂粒・粗砂粒・ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。胴部はヘラ削り。内面胴部はヘナデ。	

1号掘立柱建物跡出土遺物

種 因 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第66回 PL.71	1	土師器 高杯	覆土 脚部~底部片		粗砂粒・やや軟質/ にいし相	杯身部と脚部は接合。脚部は縱方向のヘラ削り。	
第66回 PL.71	2	土師器 高杯	覆土 脚部~底部片		粗砂粒/良好/橙	杯身部と脚部は接合。脚部は縱方向のヘラ削り。	
第66回 PL.71	3	須恵器 杯蓋	覆土 口縁部片		粗砂粒/還元焰/黄 灰	ロクロ整形。	
第66回 PL.71	4	須恵器 高杯	覆土 脚部	脚 6.8	粗砂粒/還元焰/暗 灰	ロクロ整形。脚部に円形の透孔を3ヵ所。	

2号掘立柱建物跡出土遺物

種 因 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第69回 PL.71	1	須恵器 杯身	床直 1/4	最 13	粗砂粒/還元焰/黄 灰	ロクロ整形、回転は右回り。底部は手持ちヘラ削り。内面 底部はヘナデ。蓋受けは貼付。	

4号土坑出土遺物

種 因 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第78回 PL.72	1	須恵器 杯蓋	覆土 口縁部片	□13.8	粗砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。	

7号土坑出土遺物

種 因 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第78回 PL.72	1	土師器 杯	底面 完形	□13 高 4.1	粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。口縁部・体部から底部は手持ちヘラ削り、 恐面はやや軟質。	
第78回 PL.72	2	土師器 杯	底面 1/3	□13.9	粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部から底部は手持ちヘラ削り。器面摩 滅のため単位不明。	
第78回 PL.72	3	土師器 杯	覆土 1/4	□11.2	粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部から底部は手持ちヘラ削り。器面摩 滅のため単位不明。	
第78回 PL.72	4	土師器 杯	覆土 □縁部~体部片	□110	粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第78回 PL.72	5	土師器 杯	底面 □縁部~体部片	□11	粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。体部から底部は手持ちヘラ削り。器面摩 滅のため単位不明。	
第78回 PL.72	6	須恵器 杯	覆土 底部~体部下位 片	底 6	粗砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転ヘラ起こし後回転 ヘラ削り。	
第78回 PL.72	7	須恵器 甕	覆土 □縁部片	□15.8	粗砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰白	ロクロ整形、回転は右回りか。内面は口縁部下にヘナデ。 外面頭部に隆ぼ付着。	
第78回 PL.72	8	須恵器 甕	覆土 □縁部片	□15.6	粗砂粒/還元焰/黄 灰	ロクロ整形。	

8号土坑出土遺物

種 因 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第78回 PL.72	1	土師器 杯	覆土 □縁部~体部片	□11.8	粗砂粒/良好/浅黄	口縁部は横ナデ。体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第78回 PL.72	2	不明	底面 2/3	長 33.9 幅 (22.4) 厚 3.3 重 3541.8	褐色片岩	表面は平坦で比較的滑らかである。裏面と側面は全体的に 打削面で構成され摩滅している。板碑から他の器種に転用 したものと考えられる。	2点接合

15号土坑

種 因 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第78回 PL.72	1	土師器 杯	底面 1/2	□13.6 高 3.2	粗砂粒/良好/明赤 褐色	口縁部は横ナデ。体部は上平がナデ、下平から底部は手持 ちヘラ削り。	
第78回 PL.72	2	土師器 甕	覆土 □縁部~胴部片	□21.8	粗砂粒/良好/に赤 い褐色	口縁部から胴部は横ナデ。胴部はヘラ削り。内面胴部はヘ ナデ。	

22号土坑出土遺物

種類 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第78回 PL.72	1 上飾器 杯	覆土 1/4	□ 10.2	粗砂粒・粗砂粒/ 良好/明暗	口縁部は横ナデ、口縁部から体部上半はナデ、下半から底 部はヘラ削り。	

35号土坑出土遺物

種類 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第78回 PL.72	1 上飾器 杯	覆土 □ 口縁部-体部片	□ 11.8	粗砂粒/良好/根 彎	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り、器面摩滅のため単位不 明。	
第78回 PL.72	2 頭飾器 短到巻蓋	覆土 1/3	□ 14. 高 3.9 横 4.4	粗砂粒/還元焰/灰 黒	ロクロ整形、回転は右回り。縦と跨は貼付。天井部は回転 ヘラ削り。	
第78回 PL.72	3 台形器 脚部	覆土 脚部-底部片	底 6.4	粗砂粒・粗砂粒/ 良好/灰黒	脚部と脚部は接合。器面摩滅のため整形不明。	

36号土坑出土遺物

種類 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第78回 PL.72	1 上飾器 杯	覆土 □ 口縁部-体部片	□ 11.2	粗砂粒/良好/根 彎	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り、器面摩滅のため単位不 明。	
第78回 PL.72	2 上飾器 大型杯	覆土 □ 口縁部-体部片	□ 19.5	粗砂粒/良好/明暗	□ 縁部は横ナデ、口縁部から体部はヘラ削り。	
第78回 PL.72	3 頭飾器 杯蓋	覆土 □ 口縁部片	□ 15. 高 13.3 カ力	粗砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形。カエリは貼付。	
第78回 PL.72	4 上飾器 甕	覆土 頂-底部1/2	底 4	粗砂粒・粗砂粒/ 良好/にい/根	頭部は横ナデ、胸部と底部はヘラ削り。内面は底部から胴 部にヘラナデ。	

37号土坑出土遺物

種類 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第79回 PL.72	1 陶器 鉢	覆土 □ 口縁部片	□ 34.8	粗砂粒・還元焰/灰 黄	ロクロ整形。	

38号土坑出土遺物

種類 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第79回 PL.72	1 頭飾器 鉢	底面 □ 鉢部片	底 17	粗砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転ヘラ削り、高台は 貼付。	

40号土坑出土遺物

種類 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第79回 PL.73	1 頭飾器 杯	覆土 杯片	□ 捨 4.1	粗砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰白	ロクロ整形、回転は右回り。捨は円盤状の粘土板を貼付。	

41号土坑出土遺物

種類 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第79回 PL.73	1 頭飾器 杯	覆土 1/3	□ 11.8 高 3.6 底 6.6	粗砂粒・還元焰/灰 黄	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転系切り後周囲を回 転ヘラ削り。	
第79回 PL.73	2 頭飾器 杯	底面 1/2	□ 13.2. 高 4 底 8.2	粗砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転系切り無調整。底 部は疑似高台状を呈す。	
第79回 PL.73	3 頭飾器 杯	覆土 □ 部片	底 6.4	粗砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転系切り無調整。	
第79回 PL.73	4 頭飾器 杯	覆土 底部	底 6.9	粗砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰灰	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転系切り無調整。	

42号土坑出土遺物

種類 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第79回 PL.73	1 頭飾器 蓋	覆土 完全	□ 捨 6.4	粗砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回り。捨は円盤状の粘土板を貼付。	

52号土坑出土遺物

種類 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第79回 PL.73	1 磨石	覆土 完全	長 8.9 厚 4.5 幅 6.1 重 289.2	デイサイト	表面のはば全面に磨面が認められ中央付近は特に滑らかで ある。裏面のほぼ全面に磨面が認められ中央に横長の凹み がある。側面には敲打痕が散在する。	

54号土坑出土遺物

種類 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第79回 PL.73	1 上飾器 杯	覆土 2/3	□ 14.2 高 5.4 縦 13.5	粗砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤	口縁部は横ナデ、下段から底部は手持ちヘラ削り。	
第79回 PL.73	2 上飾器 杯	覆土 1/2	□ 14.2 高 6.8 縦 14.8	粗砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤	口縁部は横ナデ、下段から底部は手持ちヘラ削り。	
第79回 PL.73	3 頭飾器 椀	底面 1/2	□ 13.7 高 4.3 縦 6	粗砂粒・粗砂粒/ 還元焰/黄褐	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転系切り無調整。	
第79回 PL.73	4 白玉	覆土 完全	長 0.8 厚 0.7 幅 0.7 重 0.5	滑石	灰オリーブ色。表面は平坦であり擦痕がわずかに認められ る。裏面は凹凸があり擦痕は認められない。側面は中央に 明瞭な張りはなく斜め方向の擦痕が認められる。孔径約2 mm。	

遺物観察表

種類 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第79回 PL.73	5 打製石斧	陶土 完形	長幅 8.2 厚 3.0 重 338.5	硬質泥岩	側面部は全体的に両面加工が認められる。全体的に摩滅痕が散在する。表面には自然面が認められ扁平な盤を利用する。鍔を素材とする可能性がある。	

1号溝出土遺物

種類 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第80回 PL.73	1 上師器 底面 脚部片	底面 脚部片	脚 10.8	粗砂粒・粗砂粒/ 良好/粗	杯身部と脚部は接合。脚部は上位にヘラ削りが見られるが、中・下位は器面摩滅のため整形不明。内面はヘラナデ。	

2号溝出土遺物

種類 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第80回 PL.73	1 上師器 杯	陶土 口縁部~体部片	口 12.9	粗砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。器面摩滅のため単位不明。	
第80回 PL.73	2 上師器 杯	陶土 口縁部~体部片	口 13	粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り、器面摩滅のため単位不明。	
第80回 PL.73	3 黒色土器 椀	陶土 底部~体部下位 片	底 7	粗砂粒/燒成施/明 褐	内面黒色処理。ロクロ整形、底部は回転ヘラ削り。	
第80回 PL.73	4 黒色土器 椀	陶土 底部~体部片	底 9	粗砂粒・粗砂粒/ 焼成施/黄褐	ロクロ整形、回転は右回り。底部と体部下位は回転ヘラ削り。	
第80回 PL.73	5 上師器 甕	陶土 底部片	底 7	粗砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	底部はヘラ削り。	

3号溝出土遺物

種類 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第81回 PL.73	1 上師器 杯	陶土 1/2	口 10.6 高 3.6	粗砂粒・粗砂粒/ やや軟質/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り、器面摩滅のため単位不明。	
第81回 PL.73	2 須恵器 小形杯	陶土 1/2	口 9.8 底 8.2	粗砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転ヘラ削り。	
第81回 PL.73	3 上師器 底部	陶土 底部	底 6.6	粗砂粒/良好/明赤 褐	高台は貼付、体部から高台にかけてヘラナデ。	
第81回 PL.73	4 須恵器 杯	陶土 底部片	底 9.2	粗砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転は右回り。底部は手持ちヘラ削り。	
第81回 PL.73	5 須恵器 長颈瓶	陶土 口縁部~颈部	口 11	粗砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転は右回り。内面に粘土巻き上げ痕が残る。	
第81回 PL.73	6 須恵器 短颈瓶	陶土 底部~胴部下半 片	底 7.8	粗砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回り。底部は手持ちヘラ削り。	
第81回 PL.73	7 上師器 小型甕	陶土 口縁部~胴部上 位片	口 12.4	粗砂粒・粗砂粒/ やや軟質/橙	口縁部は横ナデ。胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第81回 PL.73	8 須恵器 甕	陶土 脚部片		粗砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	外面はカキ目、内面はかすかにアチ具痕が残るが、破片上手はナデ。	
第81回 PL.73	9 上師器 不明	陶土 不明	長 7.4 厚 6.2	粗砂粒・粗砂粒/ 良好/暗灰	底面は型作りか、凹部に2カ所の穿孔有り。	

4号溝出土遺物

種類 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第82回 PL.73	1 上師器 杯	陶土 口縁部~体部片	口 11	粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り、器面摩滅のため単位不明。	
第82回 PL.73	2 上師器 底面	陶土 脚部片		粗砂粒/良好/橙	脚部に杯身部を粘土巻き上げで製作か。杯身部内面は黒色處理。	
第82回 PL.73	3 須恵器 杯	陶土 1/4	口 11 高 8.6	粗砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回り。天井部は中程まで回転ヘラ削り。内面カエリと脚部付近。	
第82回 PL.73	4 上師器 杯	陶土 口縁部~体部片	口 20.4	粗砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ。体部はヘラ削り、器面摩滅のため単位不明。	
第82回 PL.73	5 須恵器 甕	底面 口縁部~体部上 位片	口 35.6	粗砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回り。口唇部下に凸部が残る。	

5号溝出土遺物

種類 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第84回 PL.74	1 上師器 杯	陶土 口縁部~底部片	口 10.8 高 6	粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面の体部から口縁部にやや雜な輪文(放射状ペラミガキ)。	
第84回 PL.74	2 須恵器 甕	底面 1/2	口 24.9 高 41	粗砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰オリーブ	口縁部と胴部は頭蓋にて接合。口縁部はロクロ整形。胴部は内面に同心円状アチ具痕が残るが、外側はカキ目が施され、叩き痕が残らない。	底部に焼成後の穿孔あり。

7号溝出土遺物

種類 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第96回 PL.74	1 践貨 甕	陶土 貯水道甕 完形	底 2.4 幅 4.4 厚 0.1 重 2.8		新直水。	
第96回 PL.74	2 践貨 甕	陶土 完形	底 2.7 幅 2.7 厚 0.6 重 5.8		鉄錆。錆に厚く覆われているため、詳細は不明。	

遺物観察表

種類 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第86回 PL.74	3 鉄斧 槌型鍛冶斧	覆土 不明	長幅 14.7 厚 8.4 12.6 重 182.1		平素不整格円形。上面は、中心部は一部凹み、鋸化が進んでいる。周辺に焼化土砂が付着し、小石を含んでいる。底面は鋸化が進んでいる。滓質やや粗。	

8号溝出土遺物

種類 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第87回 PL.74	1 在地系土器 すり鉢	覆土 口縁部片	口 (34.0) 高 底	黒褐色や白色片を 含むにぶい黄柏	口縁部はやや外側に開き、口縁端部は外側に尖る。口縁部 外面はヨコ方向に工具でケズり、ヨコナデ、体部外面は指 面痕で円凸があり、縦方向のナデ。内面に8柔のクシ目。 表面は摩耗している。外側は炭素吸着。	中世
第87回 PL.75	2 在地系土器 内耳皿	覆土 7/8	口 底 21.2	31.0 高 17.1 白褐色片を含むにぶい黄柏	口縁部は弧状に張る、1対の内耳片が付き、内面で接着。口縁部から底 部内面はヨコナデ。底部外面は円形に炭素の吸着がない。 器表は灰黃、外側は炭素吸着。体部外面は焼け付着。	15世紀末から 16世紀初頭 上野型
第87回 PL.74	3 戰斧 宗室通寶	覆土 70%	底 横 2.5 厚 2.5 重 1.2		「皇宗通寶」(北宋、1038年)字体篆書。	

9号溝出土遺物

種類 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第89回 PL.75	1 上師器 杯	覆土 3/4	口 10.5 高 3.8	粗砂粒/良好/粗 良好/柏	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り、器面摩 滅のため単位不明。	
第89回 PL.75	2 上師器 杯	覆土 1/3	口 11.4 高 3.5	粗砂粒/良好/にぶ い黄柏	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第89回 PL.75	3 上師器 杯	覆土 1/3縁部～底部片	口 12.7	粗砂粒・粗砂粒/ 粗砂粒・粗砂粒/ 良好/柏	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持 ちヘラ削り。	
第89回 PL.75	4 上師器 杯	覆土 口縁部～底部片	口 11.9	粗砂粒・粗砂粒/ 粗砂粒・粗砂粒/ 良好/柏	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持 ちヘラ削り。	
第89回 PL.75	5 上師器 杯	覆土 口縁部～底部片	口 12	粗砂粒/良好/粗 良好/柏	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り、器面摩 滅のため単位不明。	
第89回 PL.75	6 上師器 杯	覆土 口縁部～底部片	口 11	粗砂粒/良好/粗 良好/柏	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持 ちヘラ削り。	
第89回 PL.75	7 上師器 杯	覆土 口縁部～体部片	口 13	粗砂粒/良好/にぶ い黄柏	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第89回 PL.75	8 上師器 杯	覆土 1/4	口 16.8	粗砂粒/良好/粗 良好/柏	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第89回 PL.75	9 上師器 杯	覆土 口縁部～体部片	口 18.8	粗砂粒・粗砂粒/ 粗砂粒・粗砂粒/ 良好/柏	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第89回 PL.75	10 上師器 杯	覆土 1/4	口 18.1 横 15.6	粗砂粒・粗砂粒/ 粗砂粒・粗砂粒/ 良好/柏	口縁部は横ナデ、下段から底部は手持 ちヘラ削り。	
第89回 PL.75	11 上師器 杯	覆土 口縁部～体部片	口 18	粗砂粒/良好/にぶ い黄柏	口縁部は横ナデ、体部は手持ちヘラ削り。	
第89回 PL.75	12 須恵器 杯蓋	覆土 口縁部～天井部 片	口 14	粗砂粒・粗砂粒・ 礫/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転は右回り。天井部は回転ヘラ削り。	
第89回 PL.75	13 須恵器 杯	覆土 1/5	口 14.8 高 4.4 底 13.8	粗砂粒・粗砂粒/ 粗砂粒・還元焰/灰白	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転ヘラ削り。	
第89回 PL.75	14 須恵器 杯	覆土 底部～体部下位 片	底 5.8	粗砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転ヘラ起こし。	
第89回 PL.75	15 須恵器 頭部片	覆土 頭部片		粗砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転は右回り。頭部下に剥離との接合面が残 る。	
第89回 PL.75	16 上師器 甕	覆土 口縁部～胴部上位 片	口 19.6	粗砂粒/良好/粗 良好/にぶい黄柏	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。 剥離ヘラ削り。器面摩滅のため単位不明。	
第89回 PL.75	17 上師器 甕	覆土 口縁部～頭部片	口 24.5	粗砂粒・粗砂粒/ 粗砂粒・良好/にぶい 黄柏	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第89回 PL.75	18 須恵器 甕	覆土 頭部5胴部上位 片		粗砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	口縁部と胴部は頭部にて接合。口縁部はロクロ整形、胴部 は外面が平行叩き後剥離のあるカキ目、内面はアテ具痕が 僅かに残る程度までナデ消されている。	
第89回 PL.75	19 須恵器 甕	覆土 武部	底 10	粗砂粒・粗砂粒/ 礫/還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転ヘラ削り。底面に 乾燥時に粘土粒付着。	

10号溝出土遺物

種類 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第90回 PL.74	1 須恵器 杯蓋	覆土 口縁部片	口 11.7	粗砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向は不明。天井部は回転ヘラ削り。内 面にカリを有す。	
第90回 PL.74	2 上師器 甕	覆土 口縁部～胴部上位 片	口 21	粗砂粒/良好/粗	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	

遺物観察表

15号溝出土遺物

種類 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第91回 PL.76	1 白玉	覆土 完形	長 幅	1.5 1.4	厚 重	0.5 1.2	滑石	にぶい黄褐色。表裏面は削面で構成される。側面部は複数の作出面で構成され刀子等工具による作出面と考えられる。作出面の一部には細かい線状痕が認められ工具の進行方向に残された段差が平行して認められ工具の進行方向に垂直に残された工具痕と考えられる。孔径約3mm。

1号壇土遺構出土遺物

種類 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第92回 PL.76	1 須恵器 甕	覆土 口縁部片	口	39.6		粗砂粒・粗砂粒・ 礫/還元焰/灰	ロクロ整形。口唇部下に凸帯が温る。	

1号溜池状遺構出土遺物

種類 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第93回 PL.76	1 須恵器 杯	覆土 1/3	口	14.6	高	4.1	粗砂粒・粗砂粒・ 礫/還元焰/黄灰	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転ヘラ削り。
第93回 PL.76	2 上飾器 甕	底面 底部片	底	6			粗砂粒・粗砂粒・ 礫/良好/赤褐色	脚部はヘラ削り。底部は木葦痕が残る。

162号ピット出土遺物

種類 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第104回 PL.76	1 土師器 甕	覆土 口縁部・胴部上 位片	口	17.8		粗砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい相	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	

遺構外出土遺物

種類 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第108回 PL.76	1 硬土文器 深鉢	覆土 口縁部破片				粗粒、礫粒、石英/ 普通/赤褐色	硬やかな波状口縁で円孔を持つ、半截竹管文を横位に3段 平行して施し円孔外周にも半截竹管文を施す。下位にRL を施す。	有尾式
第108回 PL.76	2 硬土文器 深鉢	覆土 胴部破片				粗粒、礫粒、石英/ 普通/赤褐色	1と同一個体	有尾式
第108回 PL.76	3 硬土文器 武鉢	覆土 底部破片	底	6.6		粗粒、石英、結晶 片岩/普通/赤褐色	底部・木葦痕	不明
第108回 PL.76	4 硬土文器 深鉢	覆土 胴部破片				粗粒、白色粒/普 通/赤褐色	R Lを斜位に施す	前期前半
第108回 PL.76	5 上飾器 杯	覆土 口縁部～体部片	口	12.4		粗砂粒/良好/に ぶい黄褐色	口縁部は横ナデ、体部は手持ちヘラ削り。	
第108回 PL.76	6 上飾器 杯	覆土 口縁部～体部片	口	14.7		粗砂粒/良好/明赤 褐色	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り、器面摩滅のため単位不 規則。	内面口縁部に 剥離付着。
第108回 PL.76	7 上飾器 杯	覆土 口縁部～体部片	口	12.4		粗砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐色	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り、器面摩滅のため単位不 規則。	内面口縁部に 剥離付着。
第108回 PL.76	8 上飾器 杯	覆土 口縁部～体部片	口	11.4		粗砂粒/良好/赤褐色	口縁部は横ナデ、稜下体部は手持ちヘラ削り。	
第108回 PL.76	9 上飾器 杯	覆土 口縁部～体部片	口	10.8	棱	粗砂粒/良好/明赤 褐色	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り。	
第108回 PL.76	10 上飾器 杯	覆土 口縁部～体部片	口	15.5		粗砂粒/良好/明赤 褐色	口縁部は横ナデ、稜下体部は手持ちヘラ削り。	
第108回 PL.76	11 上飾器 盤	覆土 1/4	口	19.5		粗砂粒/良好/明赤 褐色	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持 ちヘラ削り。	
第108回 PL.76	12 須恵器 甕	覆土 底部～体部	底	6.2		粗砂粒/燒化焰/黃 褐色	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転系切りか、高台は 貼付。	
第108回 PL.76	13 須恵器 杯蓋	覆土 天井部片	摘	2.3		粗砂粒/還元焰/灰 褐色	粗砂粒、回転は右回りか。天井部は中程まで回転ヘラ 削りか、摘みは貼付。	
第108回 PL.76	14 須恵器 椀	覆土 底部～体部	底	7		粗砂粒/燒化焰/に ぶい相	ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転系切り、高台は貼付。	
第108回 PL.76	15 須恵器 高盤	覆土 身部底部小片				粗砂粒・粗砂粒/ 還元焰/浅黃	ロクロ整形、回転は右回りか。身部底部はカキ目。	
第108回 PL.76	16 上飾器 甕	覆土 口縁部～胴部中 位片	口	18.8		粗砂粒・粗砂粒/ 礫/良好/明赤褐色	口縁部から胴部は横ナデ、胴部はヘラ削り。器面摩滅のた め単位不鮮明。内面胴部はヘラナデ。	
第110回 PL.76	17 上飾器 甕	覆土 口縁部～胴部上 位片	口	19.6		粗砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい相	口縁部から胴部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘ ラナデ。	
第110回 PL.76	18 上飾器 甕	覆土 口縁部片	口	21.8		粗砂粒・粗砂粒/ 還元焰/褐灰	ロクロ整形、回転方向不明。内面には降灰が厚く付着。	
第110回 PL.76	19 須恵器 甕	覆土 底部～胴部下位 片	底	18		粗砂粒・粗砂粒/ 還元焰/褐灰	底部と胴部はヘラナデか。器面摩滅のため単位不明。内面 はヘラナデ。	
第110回 PL.76	20 石刀	覆土 不明	長 幅	(4.9)	厚 (2.5)	重 26.0	緑色片岩	全体的に滑らかであり研磨整形される。表面には比較的幅 広い断面H～V字形の溝状痕跡が認められる。

第5表 土坑計測値一覧表

土坑番号	区	位置(グリッド)	形 状	規 模 (m)			長 軸 方 位	備 考
				長 種	短 種	深 底		
1	I	X=29,588 ~ 29,589 Y=-68,015 ~ -68,016	不整形	(0.86)	(0.68)	0.41	N-90°	
2	I	X=29,576 ~ 29,577 Y=-68,015 ~ -68,016	椭円形	0.94	0.81	0.18	N- 0°	
3	I	X=29,576 ~ 29,577 Y=-68,013 ~ -68,014	不整形	1.36	0.71	0.36	N- 3° ~ E	
4	I	X=29,574 ~ 29,575 Y=-68,013 ~ -68,014	不整形	0.90	0.54	0.30	N- 8° ~ E	
5	I	X=29,581 ~ 29,582 Y=-68,013	不整形	0.83	(0.38)	0.27	N-10° ~ E	15・32号ビットと重複
6	I	X=29,566 ~ 29,567 Y=-68,016	椭円形	0.96	0.46	0.22	N- 4° ~ W	2号窓穴建物、4号溝と重複
7	I	X=29,531 ~ 29,533 Y=-68,017 ~ -68,019	不整形	1.78	1.43	1.10	N- 0°	2号窓穴状遺構、8・9号土坑と重複
8	I	X=29,530 ~ 29,531 Y=-68,018 ~ -68,019	不整形	1.56	(1.36)	0.46	N- 0°	2号窓穴状遺構、7・9・10号土坑と重複
9	I	X=29,529 ~ 29,531 Y=-68,017 ~ -68,019	不整形	(2.20)	(1.90)	0.36	N-34° ~ E	2号窓穴状遺構、7・8・10号土坑と重複
10	I	X=29,530 ~ 29,531 Y=-68,017 ~ -68,019	不整形	(1.38)	0.94	0.41	N-90°	2号窓穴状遺構、8・9号土坑と重複
11	2	X=29,491 ~ 29,492 Y=-68,080 ~ -68,081	長方形	1.45	0.83	0.19	N- 6° ~ E	3号窓穴建物と重複
12	2	X=29,490 ~ 29,491 Y=-68,077 ~ -68,078	長方形	1.76	0.88	0.12	N-77° ~ W	
13	2	X=29,488 ~ 29,489 Y=-68,079	椭円形	0.56	0.52	0.37	N-57° ~ W	
14	2	X=29,484 Y=-68,073	椭円形	0.83	0.42	0.10	N- 0°	1号掘立柱建物と重複
15	2	X=29,485 ~ 29,486 Y=-68,075 ~ -68,076	長方形	1.76	0.98	0.17	N-82° ~ W	1号掘立柱建物 P 5と重複
16	I	X=29,561 Y=-68,015 ~ -68,016	長方形	0.85	0.57	0.21	N-14° ~ W	
17	I	X=29,562 ~ 29,563 Y=-68,014 ~ -68,015	椭円形	(0.90)	0.74	0.22	N- 6° ~ W	21号土坑と重複
18	I	X=29,560 ~ 29,561 Y=-68,014 ~ -68,015	長方形	1.34	0.95	0.24	N-10° ~ W	19・20・21号土坑と重複
19	I	X=29,559 ~ 29,561 Y=-68,013 ~ -68,014	長方形	(1.26)	(0.72)	0.18	N- 3° ~ W	18・20号土坑と重複
20	I	X=29,561 ~ 29,562 Y=-68,013 ~ -68,014	長方形	1.31	(0.73)	0.22	N- 8° ~ W	18・19・21号土坑と重複
21	I	X=29,561 ~ 29,562 Y=-68,014	長方形	(0.96)	(0.84)	0.15	N- 8° ~ W	17・18・20号土坑、1号溝と重複
22	3	X=29,411 ~ 29,413 Y=-68,025 ~ -68,027	不整形	(2.10)	(1.70)	0.68	N-86° ~ E	3号窓穴状遺構と重複
23	I	X=29,479 ~ 29,482 Y=-68,017 ~ -68,018	長方形	(3.56)	0.80	0.86	N-24° ~ E	2号掘立柱建物に(P 4・P 5)変更 118・130号ビットと重複
24	I	X=29,477 ~ 29,481 Y=-68,015 ~ -68,016	長方形	(4.12)	0.84	1.02	N-22° ~ E	2号掘立柱建物(P 6 ~ P 8)に変更 125・127・138号ビットと重複
25	I	X=29,476 ~ 29,477 Y=-68,017	椭円形	0.95	0.90	1.24	N-63° ~ W	2号掘立柱建物(P 3)に変更 29号土坑と重複
26	I	X=29,475 ~ 29,476 Y=-68,014 ~ -68,015	不整形	1.04	(0.66)	1.02	N- 0°	2号掘立柱建物(P 1)に変更 156号ビットと重複
27	I	X=29,473 ~ 29,474 Y=-68,017 ~ -68,018	不整形	(1.01)	(0.44)	0.38	N- 5° ~ W	
28	I	X=29,470 ~ 29,471 Y=-68,017	椭円形	0.80	(0.33)	0.66	N- 5° ~ W	
29	I	X=29,476 ~ 29,477 Y=-68,016 ~ -68,017	長方形	0.64	(0.45)	0.85	N-20° ~ E	2号掘立柱建物(P 2)に変更 25号土坑と重複
30	2	X=29,476 ~ 29,477 Y=-68,057	椭円形	0.71	0.46	0.45	N- 0°	
31	2	X=29,475 ~ 29,476 Y=-68,056	椭円形	0.76	(0.46)	0.44	N-20° ~ E	32号土坑、174号ビットと重複
32	2	X=29,475 ~ 29,476 Y=-68,056	椭円形	0.60	0.58	0.68	N-25° ~ E	31・33号土坑、174号ビットと重複
33	2	X=29,475 ~ 29,477 Y=-68,054 ~ -68,056	不整形	2.10	(1.45)	0.09	N-37° ~ W	9号窓穴建物、32号土坑、157・167号ビットと重複
34	2	X=29,476 Y=-68,056 ~ -68,057	不整形	(0.28)	(0.26)	0.59	N-37° ~ W	9号窓穴建物、175号ビットと重複
35	I	X=29,544 ~ 29,546 Y=-68,014 ~ -68,016	不整形	(2.20)	(1.74)	0.38	N-23° ~ W	38号土坑、10・12号溝と重複
36	I	X=29,544 ~ 29,547 Y=-68,013	不整形	(3.20)	(0.76)	1.07	N- 3° ~ W	10・11号溝と重複
37	I	X=29,549 ~ 29,545 Y=-68,016	椭円形	(0.68)	(0.50)	0.04	N-81° ~ W	35号土坑、12号溝と重複
38	I	X=29,549 ~ 29,550 Y=-68,015	椭円形	(1.00)	0.62	0.43	N-30° ~ W	37号土坑、8号溝と重複

土坑計測値一覧表

土坑番号	区	位置(グリッド)	形 状	規 模 (m)			長軸方位	備考
				長 広	短 広	深 さ		
40	2	X=29,472 ~ 29,473 Y= -68,052 ~ -68,053	楕円形	0.66	0.54	0.50	N-58° -E	11号型穴建物と重複
41	2	X=29,472 ~ 29,473 Y= -68,053 ~ -68,054	楕円形	1.36	0.94	0.33	N- O°	8号型穴建物と重複
42	2	X=29,470 ~ 29,471 Y= -68,052 ~ -68,053	楕円形	0.66	(0.64)	0.31	N-42° -E	10・11号型穴建物と重複
43	2	X=29,471 ~ 29,472 Y= -68,045 ~ -68,047	長方形	(1.86)	(1.20)	0.37	N-34° -W	11号型穴建物、44号土坑、185号ピットと重複
44	2	X=29,471 Y= -68,046 ~ -68,047	楕円形	(0.92)	(0.38)	0.35	N-34° -W	11号型穴建物、43号土坑と重複
45	1	X=29,555 ~ 29,556 Y= -68,013 ~ -68,014	不整形	(1.30)	(0.62)	0.41	N- O°	8号溝と重複
46	1	X=29,560 ~ 29,561 Y= -68,016	不整形	(0.53)	0.48	0.28	N-38° -E	6号型穴建物と重複
47	1	X=29,502 ~ 29,503 Y= -68,019	不整形	(0.64)	(0.38)	0.27	N- O°	29号型穴建物と重複
48	1	X=29,439 ~ 29,440 Y= -67,994 ~ -67,995	楕円形	(0.94)	0.60	0.21	N- 3° -W	49号土坑と重複
49	1	X=29,439 ~ 29,441 Y= -67,994 ~ -67,995	不整形	(1.16)	0.60	0.10	N- 3° -W	48号土坑と重複
50	1	X=29,440 ~ 29,441 Y= -67,998 ~ -67,999	楕円形	0.92	0.58	0.21	N- O°	
51	1	X=29,442 Y= -67,999 ~ -68,000	長方形	1.04	0.46	0.14	N-78° -W	
52	5	X=29,506 ~ 29,507 Y= -68,104 ~ -68,105	不整形	2.19	(0.53)	0.14	N-68° -W	16・17号型穴建物と重複
53	5	X=29,503 ~ 29,504 Y= -68,098 ~ -68,100	不整形	(0.98)	0.80	0.22	N-69° -E	
54	5	X=29,501 ~ 29,503 Y= -68,097 ~ -68,099	楕円形	2.06	1.04	0.38	N-84° -E	
55	5	X=29,503 ~ 29,505 Y= -68,101 ~ -68,102	楕円形	1.40	1.22	0.44	N-90°	13・16号型穴建物と重複
56	5	X=29,499 ~ 29,500 Y= -68,097 ~ -68,098	不整形	1.14	(0.60)	0.14	N-57° -W	18号型穴建物と重複
57	7	X=29,401 ~ 29,402 Y= -68,013 ~ -68,014	楕円形	(0.52)	0.40	0.23	N-72° -E	26・27号型穴建物と重複

第6表 溝計測値一覧表

溝番号	区	位置(グリッド)	規模(m)			走行方位	備考
			長さ	幅	深さ		
1	1	X=29,562 ~ 29,571 Y= -68,014 ~ -68,017	4.70	0.53 ~ 0.73	0.81 ~ 0.94	N-25° -W	2号型穴建物、20・21号土坑、4号溝と重複
2	1	X=29,528 ~ 29,535 Y= -68,016 ~ -68,018	3.47	0.72	0.19 ~ 0.70	N-14° -W N-30° -E	2号型穴状遺構、55号ピットと重複
3	1	X=29,570 ~ 29,574 Y= -68,014 ~ -68,016	2.36	(0.95)	0.47 ~ 0.91	N-90°	1号溜池状遺構と重複
4	1	X=29,561 ~ 29,567 Y= -68,015 ~ -68,017	2.95	0.37 ~ 0.47	0.16 ~ 0.23	N-10° -E	2号型穴建物、6号土坑、1号溝と重複
5	1	X=29,513 ~ 29,523 Y= -68,015 ~ -68,019	計測不能	計測不能	計測不能	計測不能	
6	1	X=29,447 ~ 29,451 Y= -68,008 ~ -68,011	1.50	1.26	0.14 ~ 0.18	N-32° -E	
7	2	X=29,478 ~ 29,485 Y= -68,064 ~ -68,071	4.78	6.70	1.14 ~ 1.26	N-31° -E	99号ピットと重複
8	1	X=29,547 ~ 29,555 Y= -68,013 ~ -68,018	2.68	0.72 ~ 3.18	0.58 ~ 0.69	N-63° -E	39・45号土坑、181・182号ピットと重複
9	2	X=29,458 ~ 29,471 Y= -68,029 ~ -68,046	12.00	13.80	計測不能	N-25° -E	5号型穴状遺構と重複
10	1	X=29,544 ~ 29,545 Y= -68,013 ~ -68,014	計測不能	計測不能	0.35	計測不能	35・36号土坑、177号ピットと重複
11	1	X=29,546 ~ 29,548 Y= -68,013 ~ -68,016	1.37	0.16 ~ 0.51	0.09 ~ 0.17	N-60° -W	36号土坑と重複
12	1	X=29,545 Y= -68,016 ~ -68,018	0.70	0.16 ~ 0.45	0.09 ~ 0.20	N-85° -W	35・36号土坑と重複
13	5	X=29,500 ~ 29,502 Y= -68,095 ~ -68,098	2.74	0.82 ~ 1.00	0.06 ~ 0.08	N-72° -E	15・18号型穴建物、189～194号ピットと重複
14	5	X=29,507 ~ 29,509 Y= -68,108 ~ -68,109	2.32	0.48 ~ 0.74	0.17 ~ 0.27	N-29° -W	
15	5	X=29,425 ~ 29,429 Y= -68,968 ~ -68,972	2.44	3.25 ~ 4.30	0.23 ~ 0.38	N-23° -E	22号型穴建物と重複
16	1	X=29,496 ~ 29,499 Y= -68,017	2.96	0.50 ~ 0.59	0.05 ~ 0.07	N-14° -E	

第7表 ピット計測値一覧表

ピット番号	区	位置(グリッド)	形 状	規 模 (m)			長 軸 方 位	備 考
				長 篙	短 篙	深 さ		
1	1	X=29,492 Y=-68,016	楕円形	0.31	0.22	0.23	N-85° - E	
2	1	X=29,492 Y=-68,015 + -68,016	楕円形	0.26	0.21	0.15	N-85° - E	
3	1	X=29,491 + 29,492 Y=-68,015 + -68,016	楕円形	0.30	(0.22)	0.12	N-10° - W	4号ピットと重複
4	1	X=29,491 + 29,492 Y=-68,015 + -68,016	楕円形	0.26	0.21	0.23	N-80° - W	3号ピットと重複
5	1	X=29,491 + 29,492 Y=-68,015	楕円形	0.18	0.16	0.22	N-15° - E	
6	1	X=29,491 Y=-68,015 + -68,016	楕円形	0.22	0.18	0.18	N-15° - E	
7	1	X=29,490 + 29,491 Y=-68,017	楕円形	0.26	0.24	0.18	N-15° - W	
8	1	X=29,490 + 29,491 Y=-68,016	楕円形	0.20	0.19	0.09	N-83° - E	
9	1	X=29,489 Y=-68,017	楕円形	0.29	0.20	0.26	N-81° - W	
10	1	X=29,489 Y=-68,017	楕円形	0.28	0.21	0.18	N-0°	
11	1	X=29,588 + 29,589 Y=-68,013	楕円形	0.34	0.30	0.17	N-64° - W	
12	1	X=29,577 Y=-68,013 + -68,014	楕円形	0.54	0.33	0.17	N-30° - E	
13	1	X=29,574 Y=-68,015	楕円形	0.50	0.48	0.10	N-4° - E	
14	1	X=29,581 Y=-68,013 + -68,014	楕円形	0.24	0.23	0.07	N-90°	
15	1	X=29,581 Y=-68,013	楕円形	0.33	0.30	0.21	N-90°	5号土坑と重複
16	1	X=29,580 Y=-68,013	楕円形	0.39	0.30	0.12	N-87° - E	
17	1	X=29,434 Y=-67,982	楕円形	0.18	0.16	0.16	N-58° - W	
18	1	X=29,434 Y=-67,984	楕円形	0.23	0.20	0.06	N-69° - W	
19	1	X=29,435 + 29,436 Y=-67,982	不整形	0.38	0.21	0.24	N-63° - W	
20	1	X=29,433 Y=-67,985	不整形	(0.26)	(0.06)	0.07	N-65° - W	
21	1	X=29,435 Y=-67,984	楕円形	0.26	0.24	0.15	N-30° - E	
22	1	X=29,436 Y=-67,985 + -67,986	楕円形	0.24	0.22	0.18	N-20° - E	
23	1	X=29,435 Y=-67,985	楕円形	0.30	0.25	0.16	N-66° - E	24号ピットと重複
24	1	X=29,434 + 29,435 Y=-67,985	楕円形	0.26	0.23	0.17	N-41° - E	23号ピットと重複
25	1	X=29,434 + 29,435 Y=-67,986 + -67,987	楕円形	0.44	0.40	0.32	N-25° - E	
26	1	X=29,436 Y=-67,987	円形	0.28	0.28	0.16	N-0°	
27	1	X=29,438 Y=-67,989	楕円形	0.24	0.21	0.16	N-27° - E	41号ピットと重複
28	1	X=29,437 Y=-67,987 + -67,988	楕円形	0.26	(0.20)	0.29	N-40° - E	29号ピットと重複
29	1	X=29,437 Y=-67,987	楕円形	0.28	0.26	0.31	N-40° - E	28号ピットと重複
30	1	X=29,435 Y=-67,987	楕円形	0.38	0.28	0.26	N-50° - E	31号ピットと重複
31	1	X=29,435 Y=-67,987	不整形	0.22	(0.12)	0.18	N-50° - E	30号ピットと重複
32	1	X=29,581 + 29,582 Y=-68,013	楕円形	0.40	0.28	0.46	N-0°	5号土坑と重複
33	1	X=29,435 + 29,436 Y=-67,988	楕円形	0.28	0.24	0.15	N-10° - W	34号ピットと重複
34	1	X=29,435 + 29,436 Y=-67,988	楕円形	0.28	(0.22)	0.25	N-10° - W	33号ピットと重複
35	1	X=29,435 + 29,436 Y=-67,988 + -67,989	楕円形	0.21	0.20	0.25	N-30° - W	
36	1	X=29,436 Y=-67,988 + -67,989	楕円形	0.32	0.30	0.15	N-25° - E	

ピット計測値一覧表

ピット番号	区	位置(グリッド)	形 状	規 模 (m)			長 軸 方 位	備 考
				長 篙	短 径	深 さ		
37	1	X=29,436 Y=-67,988	楕円形	0.26	0.25	0.16	N-16° -E	
38	1	X=29,437 Y=-67,988 + -67,989	楕円形	0.28	0.24	0.21	N-60° -E	
39	1	X=29,437 Y=-67,989	楕円形	0.36	0.34	0.19	N-28° -E	
40	1	X=29,438 Y=-67,988	楕円形	0.36	(0.18)	0.30	N-65° -W	
41	1	X=29,438 Y=-67,988 + -67,989	楕円形	0.40	0.36	0.26	N-90°	27 + 42号ピットと重複
42	1	X=29,437 + 29,438 Y=-67,988 + -67,989	楕円形	0.32	(0.18)	0.14	N-90°	41号ピットと重複
43	1	X=29,437 Y=-67,990	楕円形	0.20	0.18	0.19	N-75° -W	
44	1	X=29,436 Y=-67,989 + -67,990	楕円形	0.36	0.35	0.05	N-23° -E	
45	1	X=29,436 + 29,437 Y=-67,989 + -67,990	不整形	0.40	(0.31)	0.53	N-80° -E	46号ピットと重複
46	1	X=29,436 + 29,437 Y=-67,989 + -67,990	不整形	0.28	(0.14)	0.30	N-80° -E	45号ピットと重複
47	1	X=29,438 Y=-67,990	楕円形	0.33	0.30	0.34	N-63° -W	
48	1	X=29,437 Y=-67,991	不整形	(0.20)	0.20	0.06	N-35° -W	49 + 50号ピットと重複
49	1	X=29,437 Y=-67,990 + -67,991	楕円形	0.38	0.32	0.23	N-79° -E	48号ピットと重複
50	1	X=29,437 Y=-67,991	楕円形	0.32	0.27	0.23	N-35° -W	48号ピットと重複
51	1	X=29,438 Y=-67,990 + -67,991	楕円形	0.33	0.30	0.40	N-10° -E	
52	1	X=29,437 Y=-67,991 + -67,992	楕円形	0.34	0.30	0.16	N-65° -E	
53	1	X=29,435 Y=-67,988	楕円形	0.30	0.25	0.08	N-61° -W	
54	1	X=29,439 Y=-67,991	不整形	0.34	(0.22)	0.20	N-20° -E	
55	1	X=29,533 + 29,534 Y=-68,017 + -68,018	楕円形	0.53	0.50	0.35	N-90°	2号溝と重複
56	1	X=29,468 + 29,469 Y=-68,017	楕円形	0.26	0.22	0.14	N-86° -E	
57	1	X=29,468 Y=-68,016	楕円形	0.25	0.24	0.23	N-81° -W	
58	1	X=29,467 Y=-68,017	楕円形	0.22	0.20	0.17	N-0°	
59	1	X=29,443 + 29,444 Y=-68,003	楕円形	0.22	0.20	0.14	N-62° -W	
60	1	X=29,442 Y=-68,002 + -68,003	楕円形	0.24	0.20	0.14	N-75° -W	
61	1	X=29,442 + 29,443 Y=-68,003	楕円形	0.26	0.21	0.10	N-0°	
62	1	X=29,442 + 29,443 Y=-68,003	楕円形	0.20	0.19	0.11	N-0°	
63	1	X=29,443 Y=-68,004	楕円形	0.22	0.20	0.11	N-35° -E	
64	1	X=29,443 Y=-68,005	楕円形	(0.18)	0.17	0.11	N-30° -E	
65	1	X=29,446 Y=-68,005	楕円形	0.36	0.26	0.28	N-25° -E	
66	1	X=29,446 Y=-68,003	楕円形	0.34	0.30	0.12	N-28° -E	
67	1	X=29,445 Y=-68,005	不整形	0.18	(0.12)	0.20	N-60° -W	
68	1	X=29,446 Y=-68,006	楕円形	0.24	0.21	0.11	N-62° -W	69号ピットと重複
69	1	X=29,446 Y=-68,006	楕円形	0.48	0.44	0.11	N-66° -W	68号ピットと重複
70	1	X=29,447 Y=-68,006	楕円形	0.28	0.20	0.11	N-53° -W	
71	1	X=29,448 Y=-68,006	楕円形	0.23	0.21	0.08	N-27° -E	
72	1	X=29,447 Y=-68,007	楕円形	0.24	0.20	0.13	N-75° -W	
73	1	X=29,447 Y=-68,009	不整形	0.42	(0.20)	0.33	N-64° -W	

ピット計測値一覧表

ピット番号	区	位置(グリッド)	形 状	規 模 (m)			長 軸 方 位	備 考
				長 篙	短 径	深 さ		
74	1	X=29,446・29,447 Y=-68,008	楕円形	0.30	0.27	0.14	N-55° -W	
75	1	X=29,448 Y=-68,007	楕円形	0.20	0.19	0.12	N-24° -E	
76	2	X=29,488・29,489 Y=-68,081	楕円形	0.40	0.35	0.20	N- 0°	80号ピットと重複
77	2	X=29,487・29,488 Y=-68,078・-68,079	楕円形	0.21	0.20	0.21	N-30° -E	
78	2	X=29,488 Y=-68,076	楕円形	0.42	0.34	0.07	N-50° -W	
79	2	X=29,486 Y=-68,070	楕円形	0.31	0.30	0.28	N-51° -W	
80	2	X=29,488・29,489 Y=-68,081	不整形	0.36	(0.12)	0.08	N-15° -E	76号ピットと重複
81	1	X=29,458・29,459 Y=-68,016	楕円形	0.28	0.25	0.12	N-75° -W	
82	1	X=29,457 Y=-68,015	楕円形	0.36	0.28	0.28	N-90°	
83	1	X=29,456 Y=-68,016	楕円形	0.28	0.20	0.18	N-17° -E	
84	1	X=29,455 Y=-68,016	楕円形	0.20	0.17	0.22	N- 0°	
85	1	X=29,451 Y=-68,011	楕円形	0.28	0.23	0.16	N-34° -E	
86	1	X=29,453 Y=-68,012	楕円形	0.26	0.25	0.11	N-31° -W	
87	1	X=29,452 Y=-68,013	楕円形	0.22	0.18	0.19	N-28° -W	
88	1	X=29,451・29,452 Y=-68,012・-68,013	楕円形	0.30	0.28	0.18	N-90°	
89	1	X=29,454 Y=-68,013	楕円形	0.20	0.16	0.12	N-33° -W	
90	1	X=29,450 Y=-68,013	楕円形	0.26	0.22	0.19	N-27° -E	
91	2	X=29,490 Y=-68,082	楕円形	0.20	0.18	0.15	N-41° -E	5号堅穴建物と重複
92	2	X=29,486・29,487 Y=-68,069・-68,070	楕丸方形	0.32	0.27	0.51	N- 0°	
93	2	X=29,483 Y=-68,072	楕円形	0.32	0.30	0.59	N-24° -E	
94	2	X=29,490 Y=-68,075・-68,076	楕円形	0.30	0.28	0.18	N-24° -E	
95	3	X=29,412・29,413 Y=-68,030	楕円形	0.26	0.20	0.17	N- 0°	
96	2	X=29,491 Y=-68,079	楕円形	0.26	0.21	0.22	N-61° -W	
97	2	X=29,483 Y=-68,071	楕円形	0.25	0.21	0.11	N-11° -W	
98	2	X=29,485 Y=-68,070	不整形	0.33	(0.24)	0.14	N-52° -W	1号掘立柱建物P3と重複
99	2	X=29,483・29,484 Y=-68,070	楕円形	0.28	0.25	0.15	N- 6° -W	7号溝と重複
100	2	X=29,484 Y=-68,072・-68,073	楕円形	0.22	0.18	0.18	N-57° -W	
101	2	X=29,485 Y=-68,071	楕円形	0.20	0.18	0.20	N-58° -W	
102	2	X=29,485 Y=-68,074	楕円形	0.28	0.26	0.14	N-43° -W	
103	2	X=29,477・29,478 Y=-68,062・-68,063	楕円形	0.40	0.32	0.37	N-51° -E	
104	2	X=29,476・29,477 Y=-68,063	不整形	0.38	(0.22)	0.21	N-58° -W	
105	2	X=29,476・29,477 Y=-68,062・-68,063	楕円形	0.54	0.50	0.41	N-24° -E	
106	2	X=29,477 Y=-68,061・-68,062	楕円形	0.26	0.20	0.29	N-65° -E	109号ピットと重複
107	2	X=29,477・29,478 Y=-68,061	楕円形	0.54	0.46	0.25	N-10° -W	
108	2	X=29,476 Y=-68,061	楕円形	0.57	0.54	0.22	N-13° -W	
109	2	X=29,477 Y=-68,061・-68,062	不整形	(0.42)	0.37	0.47	N-31° -W	106号ピットと重複
110	2	X=29,477・29,478 Y=-68,060・-68,061	楕円形	0.56	0.50	0.43	N-70° -E	

ピット計測値一覧表

ピット番号	区	位置(グリッド)	形 状	規 模 (m)			長 軸 方 位	備 考
				長 篙	短 径	深 さ		
111	2	X=29,477・29,478 Y=-68,064	楕円形	0.38	0.34	0.29	N-22° -E	
112	2	X=29,478 Y=-68,060	楕円形	0.28	0.22	0.09	N- 0°	114号ピットと重複
113	2	X=29,478・29,479 Y=-68,063	楕円形	0.30	0.26	0.39	N-78° -W	7号堅穴建物と重複
114	2	X=29,478 Y=-68,060	楕円形	(0.36)	0.34	0.36	N- 0°	7号堅穴建物、112号ピットと重複
115	1	X=29,483 Y=-68,015	楕円形	0.36	0.34	0.09	N-55° -E	1号堅穴状造構と重複
116	1	X=29,482 Y=-68,016	楕円形	0.30	0.26	0.24	N- 6° -W	1号堅穴状造構と重複
117	1	X=29,482・29,483 Y=-68,015	楕円形	0.38	0.30	0.14	N-17° -E	
118	1	X=29,482 Y=-68,017	楕円形	0.48	0.40	0.21	N-66° -E	23号上坑と重複
119	1	X=29,481・29,482 Y=-68,016・-68,017	不整形	0.34	(0.30)	0.23	N-85° -E	154号ピットと重複
120	1	X=29,481・29,482 Y=-68,016	楕円形	0.48	0.42	0.17	N-28° -E	
121	1	X=29,481 Y=-68,016・-68,017	楕円形	0.41	0.27	0.27	N-33° -W	122号ピットと重複
122	1	X=29,481 Y=-68,016・-68,017	楕円形	0.28	0.26	0.27	N-50° -E	121号ピットと重複
123	1	X=29,480・29,481 Y=-68,015・-68,016	楕丸方形	0.32	0.30	0.11	N-25° -E	
124	1	X=29,480 Y=-68,017	不整形	(0.40)	0.38	0.26	N-70° -W	129号ピットと重複
125	1	X=29,480 Y=-68,017	楕円形	0.31	0.23	0.16	N-44° -W	
126	1	X=29,479 Y=-68,015	楕円形	0.48	0.46	0.26	N-19° -W	24号上坑と重複
127	1	X=29,479 Y=-68,016	楕円形	0.21	0.20	0.22	N-40° -E	24号上坑と重複
128	2	X=29,486 Y=-68,070	楕円形	0.30	0.20	0.17	N-56° -W	
129	1	X=29,480 Y=-68,017	楕円形	0.28	0.24	0.12	N-70° -W	124号ピットと重複
130	1	X=29,479・29,480 Y=-68,018	楕円形	0.37	(0.28)	0.17	N- 0°	23号上坑と重複
131	1	X=29,478 Y=-68,017	楕円形	0.22	0.18	0.29	N-61° -W	
132	1	X=29,478 Y=-68,017	楕円形	0.30	0.22	0.17	N-72° -E	
133	1	X=29,478 Y=-68,017	楕円形	0.28	0.20	0.14	N-34° -E	
134	1	X=29,478 Y=-68,017	楕円形	0.28	(0.20)	0.10	N-18° -E	135号ピットと重複
135	1	X=29,478 Y=-68,017・-68,018	楕円形	0.32	(0.26)	0.28	N- 0°	134・136号ピットと重複
136	1	X=29,478 Y=-68,018	楕円形	0.30	(0.20)	0.30	N- 0°	135号ピットと重複
137	1	X=29,477・29,478 Y=-68,017	楕円形	0.24	0.23	0.13	N-77° -W	
138	1	X=29,477 Y=-68,016	不整形	0.24	(0.20)	0.23	N-68° -W	24号上坑と重複
139	1	X=29,477 Y=-68,016	楕円形	0.22	0.20	0.14	N-18° -W	
140	1	X=29,479 Y=-68,016	楕円形	0.30	0.26	0.13	N-82° -E	
141	1	X=29,476 Y=-68,015・-68,016	楕円形	0.40	(0.31)	0.48	N-25° -E	156号ピットと重複
142	1	X=29,477 Y=-68,018	楕円形	0.30	0.22	0.23	N-30° -W	
143	1	X=29,475・29,476 Y=-68,016・-68,017	楕丸長方形	0.26	0.22	0.20	N-37° -W	
144	1	X=29,475 Y=-68,016	楕丸長方形	0.26	0.24	0.17	N-80° -W	145号ピットと重複
145	1	X=29,475 Y=-68,016	楕丸長方形	0.44	0.40	0.21	N-15° -E	144号ピットと重複
146	1	X=29,474・29,475 Y=-68,017	楕円形	0.34	0.28	0.15	N-20° -E	
147	1	X=29,474 Y=-68,015	楕丸長方形	0.30	0.24	0.21	N-73° -E	

ピット計測値一覧表

ピット番号	区	位置(グリッド)	形 状	規 模 (m)			長 軸 方 位	備 考
				長 径	短 径	深 さ		
148	1	X=29,474 Y=-68,014 • -68,015	楕円形	0.30	0.26	0.21	N-21° ~ E	
149	1	X=29,474 Y=-68,015	楕円形	0.32	0.30	0.23	N-24° ~ W	
150	1	X=29,473 Y=-68,016	楕円形	0.38	0.36	0.21	N-68° ~ W	
151	1	X=29,471 • 29,472 Y=-68,015	楕円形	0.34	0.32	0.36	N-46° ~ E	
152	1	X=29,478 Y=-68,018	楕円形	0.24	0.23	0.18	N- 0°	
153	1	X=29,478 • 29,479 Y=-68,017	楕円形	0.18	0.16	0.20	N-75° ~ E	155号ピットと重複
154	1	X=29,481 • 29,482 Y=-68,016 • -68,017	楕円形	0.34	0.32	0.43	N-60° ~ E	119号ピットと重複
155	1	X=29,479 Y=-68,017	楕円形	0.18	(0.14)	0.20	N-55° ~ E	153号ピットと重複
156	1	X=29,476 Y=-68,015	不整形	0.26	(0.20)	0.21	N-27° ~ E	26号上坑、141号ピットと重複
157	2	X=29,476 Y=-68,056	楕円形	0.24	0.22	0.11	N-43° ~ W	33号上坑と重複
158	2	X=29,477 Y=-68,058 • -68,059	楕円形	0.36	0.34	0.34	N-15° ~ W	164号ピットと重複
159	2	X=29,476 • 29,477 Y=-68,058 • -68,059	楕円形	0.42	0.38	0.26	N-47° ~ W	164号ピットと重複
160	2	X=29,475 • 29,476 Y=-68,057	楕円形	0.38	0.28	0.52	N-23° ~ W	172号ピットと重複
161	2	X=29,475 Y=-68,057	不整形	0.47	(0.32)	0.46	N-45° ~ W	
162	2	X=29,478 Y=-68,058	楕円形	0.50	0.40	0.41	N-25° ~ W	163号ピットと重複
163	2	X=29,478 • 29,479 Y=-68,057 • -68,058	楕円形	0.34	0.32	0.26	N-65° ~ E	162号ピットと重複
164	2	X=29,476 Y=-68,058 • -68,059	楕円形	0.60	0.48	0.49	N-52° ~ E	158 • 159 • 170号ピットと重複
165	2	X=29,477 • 29,478 Y=-68,057 • -68,058	楕円形	0.52	0.44	0.30	N-38° ~ E	166号ピットと重複
166	2	X=29,477 • 29,478 Y=-68,057	不整形	0.28	(0.18)	0.22	N-34° ~ E	165号ピットと重複
167	2	X=29,474 • 29,475 Y=-68,055	楕円形	0.43	0.39	0.38	N-59° ~ E	33号上坑、168号ピットと重複
168	2	X=29,474 Y=-68,055	楕円形	0.42	(0.20)	0.21	N-59° ~ E	167号ピットと重複
169	2	X=29,478 Y=-68,057	楕円形	0.22	0.21	0.22	N-18° ~ W	
170	2	X=29,477 Y=-68,058	楕円形	0.27	0.24	0.40	N-26° ~ W	164号ピットと重複
171	2	X=29,474 Y=-68,058 • -68,059	不整形	(0.48)	(0.12)	0.42	N-63° ~ W	
172	2	X=29,475 Y=-68,057	不整形	0.38	(0.30)	0.40	N-55° ~ E	160号ピットと重複
173	2	X=29,473 Y=-68,057	楕円形	0.32	0.30	0.33	N- 2° ~ W	8号竖穴建物と重複
174	2	X=29,475 • 29,476 Y=-68,056	不整形	(0.55)	(0.40)	0.37	N-28° ~ E	31 • 32号上坑と重複
175	2	X=29,478 Y=-68,056 • -68,057	楕円形	0.40	0.38	0.69	N- 0°	9号竖穴建物、34号上坑と重複
176	1	X=29,548 Y=-68,015	楕円形	0.30	0.24	0.07	N-85° ~ E	
177	1	X=29,544 • 29,545 Y=-68,014	楕円形	0.46	0.44	0.27	N- 0°	10号溝と重複
178	2	X=29,458 Y=-68,033	楕円形	0.24	0.22	0.22	N-30° ~ E	
179	2	X=29,463 • 29,464 Y=-68,030	楕円形	0.46	0.36	0.19	N- 0°	
180	1	X=29,551 Y=-68,013	楕円形	0.42	(0.25)	0.40	N- 2° ~ W	
181	1	X=29,552 Y=-68,014	楕円形	0.26	0.24	0.14	N- 0°	8号溝と重複
182	1	X=29,554 Y=-68,014	円形	0.20	0.20	0.17	N- 0°	8号溝と重複
183	2	X=29,474 Y=-68,052 • -68,053	楕円形	0.36	0.30	0.29	N-50° ~ W	
184	2	X=29,472 Y=-68,053 • -68,054	楕円形	0.28	0.26	0.10	N-50° ~ W	

ピット計測値一覧表

ピット番号	区	位置(グリッド)	形 状	規 模 (m)			長 軸 方 位	備 考
				長 軸	短 軸	深 さ		
185	2	X=29,471 Y=-68,045 - 68,046	楕円形	(0.52)	0.42	0.28	N-55° -W	43号土坑と重複
186	2	X=29,470 Y=-68,045	楕円形	0.28	0.26	0.37	N-60° -W	
187	5	X=29,506 Y=-68,108	不整形	0.56	(0.30)	0.28	N-58° -W	
188	5	X=29,502 - 29,503 Y=-68,101 - 68,102	楕円形	1.00	0.62	0.15	N-25° -E	
189	5	X=29,501 Y=-68,097	楕円形	0.22	0.20	0.34	N-72° -E	13号溝と重複
190	5	X=29,501 Y=-68,097	楕円形	0.28	0.26	0.25	N-24° -W	13号溝と重複
191	5	X=29,501 Y=-68,096 - 68,097	楕円形	0.22	0.20	0.30	N-24° -W	13号溝と重複
192	5	X=29,501 Y=-68,095 - 68,096	楕円形	0.20	0.19	0.24	N- 0°	13号溝と重複
193	5	X=29,501 Y=-68,095	楕円形	0.26	0.19	0.24	N-24° -W	13号溝と重複
194	5	X=29,501 Y=-68,096	楕円形	0.40	0.30	0.46	N-75° -E	15号堅穴建物、13号溝と重複
195	5	X=29,496 - 29,497 Y=-68,088	楕円形	0.46	0.42	0.23	N-80° -E	
196	5	X=29,496 Y=-68,088	楕円形	0.26	0.22	0.31	N-47° -W	
197	5	X=29,494 - 29,495 Y=-68,088	楕円形	0.29	0.26	0.25	N-38° -E	
198	5	X=29,494 Y=-68,088	楕円形	0.28	0.24	0.21	N-22° -E	
199	6	X=29,418 Y=-67,946	楕円形	0.48	0.38	0.34	N-77° -W	
200	6	X=29,417 Y=-67,946	楕円形	0.34	0.30	0.37	N-20° -E	
201	6	X=29,429 Y=-67,973	楕円形	0.44	0.40	0.40	N-67° -W	
202	6	X=29,428 Y=-67972 - 67,973	楕円形	0.42	0.36	0.25	N-78° -W	
203	6	X=29,427 - 29,428 Y=-67,972 - 67,973	楕円形	0.32	0.26	0.10	N-70° -W	
204	6	X=29,425 - 29,426 Y=-67,967 - 67,968	楕円形	0.36	0.33	0.23	N-20° -E	
205	6	X=29,426 Y=-67,967	楕円形	0.36	0.34	0.09	N-90°	206号ピットと重複
206	6	X=29,425 - 29,426 Y=-67,967	楕円形	0.44	0.42	0.35	N- 0°	205号ピットと重複
207	6	X=29,426 - 29,427 Y=-67,967	楕円形	0.40	0.36	0.18	N-20° -E	
208	6	X=29,425 Y=-67,966	楕円形	0.37	0.32	0.16	N-68° -W	
209	6	X=29,417 - 29,418 Y=-67,943	楕円形	0.20	0.16	0.21	N- 7° -E	
210	6	X=29,417 Y=-67,943	圓丸長方形	0.19	0.14	0.10	N-17° -W	
211	6	X=29,416 - 29,417 Y=-67,942	長方形	0.51	0.36	0.14	N-17° -W	
212	6	X=29,417 Y=-67,941 - 67,942	楕円形	0.26	0.22	0.14	N-33° -E	
213	6	X=29,416 Y=-67,942	楕円形	0.46	0.30	0.10	N-63° -W	
214	6	X=29,416 Y=-67,941	楕円形	0.26	0.24	0.17	N-22° -E	
215	6	X=29,415 - 29,416 Y=-67,941 - 67,942	楕円形	0.42	0.38	0.32	N-57° -W	
216	6	X=29,414 - 29,415 Y=-67,942 - 67,943	不整形	0.29	(0.24)	0.07	N-73° -W	
217	6	X=29,426 Y=-67,967	楕円形	0.18	0.14	0.11	N-75° -W	
218	6	X=29,426 - 29,427 Y=-67,967	楕円形	0.18	0.17	0.07	N-27° -E	
219	6	X=29,416 Y=-67,939	楕円形	0.32	0.27	0.17	N-43° -E	
220	6	X=29,414 - 29,415 Y=-67,938 - 67,939	楕円形	0.42	0.40	0.19	N-26° -E	
221	6	X=29,414 - 29,415 Y=-67,938 - 67,939	楕円形	0.56	0.46	0.25	N-62° -W	

ピット計測値一覧表

ピット番号	区	位置(グリッド)	形 状	規 模 (m)			長 軸 方 位	備 考
				長 径	短 径	深 さ		
222	6	X=29,413 Y=-67,938 • -67,939	不整形	0.56	(0.16)	0.06	N-70° -W	
223	6	X=29,413 • 29,414 Y=-67,937	楕円形	0.60	0.52	0.34	N-23° -W	
224	6	X=29,414 Y=-67,936	楕円形	0.23	0.16	0.32	N-48° -W	242号ピットと重複
225	6	X=29,414 Y=-67,936	楕円形	0.27	0.25	0.16	N-30° -E	242号ピットと重複
226	6	X=29,414 • 29,415 Y=-67,937	楕円形	0.50	0.47	0.18	N-21° -E	
227	6	X=29,415 • 29,416 Y=-67,936 • -67,937	楕円形	0.57	0.55	0.45	N-63° -W	252号ピットと重複
228	6	X=29,414 • 29,415 Y=-67,936	楕円形	0.20	0.18	0.12	N-29° -E	
229	6	X=29,415 Y=-67,935	楕円形	0.51	0.44	0.35	N-73° -W	
230	6	X=29,414 Y=-67,934 • -67,935	楕円形	0.56	0.44	0.39	N-73° -W	
231	6	X=29,413 Y=-67,937	楕円形	0.30	0.20	0.21	N-17° -W	
232	6	X=29,414 • 29,415 Y=-67,934 • -67,935	不整形	0.98	(0.46)	0.63	N-66° -W	
233	6	X=29,414 Y=-67,932 • -67,933	不整形	(0.66)	(0.46)	0.21	N-66° -W	
234	6	X=29,416 • 29,417 Y=-67,947	楕円形	0.36	0.28	0.14	N-50° -E	
235	6	X=29,417 Y=-67,941	楕円形	0.36	0.25	0.29	N-4° -W	24号壁穴建物と重複
236	6	X=29,415 • 29,416 Y=-67,937 • -67,938	楕円形	0.54	0.46	0.59	N-20° -E	
237	6	X=29,415 • 29,416 Y=-67,941	不整形	0.26	(0.15)	0.19	N-55° -E	23号壁穴建物と重複
238	6	X=29,415 Y=-67,941 • -67,942	楕円形	0.40	0.34	0.09	N-78° -W	
239	6	X=29,414 Y=-67,939	不整形	0.26	(0.10)	0.09	N-90°	23号壁穴建物と重複
240	6	X=29,414 Y=-67,934 • -67,935	楕円形	0.40	0.30	0.18	N-90°	
241	6	X=29,413 • 29,414 Y=-67,933	楕円形	0.26	0.20	0.10	N-52° -E	
242	6	X=29,414 Y=-67,936 • -67,937	楕円形	0.46	0.44	0.45	N-66° -E	224 • 225号ピットと重複
243	6	X=29,413 Y=-67,938 • -67,939	楕円形	0.16	0.14	0.09	N-0°	
244	6	X=29,414 • 29,415 Y=-67,941 • -67,942	楕円形	0.16	0.14	0.08	N-0°	
245	6	X=29,415 Y=-67,942	楕円形	0.20	0.10	0.15	N-9° -E	
246	6	X=29,416 Y=-67,941	楕円形	0.16	0.08	0.14	N-9° -E	
247	6	X=29,416 Y=-67,940	楕円形	0.16	0.10	0.12	N-52° -E	
248	6	X=29,416 Y=-67,940	楕円形	0.18	0.16	0.10	N-20° -E	
249	6	X=29,416 Y=-67,940	楕円形	0.25	0.20	0.12	N-44° -W	
250	6	X=29,416 Y=-67,939	楕円形	0.18	0.16	0.13	N-77° -W	
251	6	X=29,415 Y=-67,939	楕円形	0.30	0.20	0.20	N-75° -E	
252	6	X=29,415 • 29,416 Y=-67,936	楕円形	0.24	0.20	0.20	N-20° -W	227号ピットと重複
253	1	X=29,497 Y=-68,016	楕円形	0.30	0.25	0.08	N-31° -E	
254	6	X=29,414 Y=-67,938	楕円形	0.24	0.20	0.13	N-10° -E	

写 真 図 版



1 I区1号竪穴建物全景 西から



2 I区1号竪穴建物縄全景 西から



3 I区1号竪穴建物遺物出土状態 東から



4 I区1号竪穴建物掘り方全量 東から



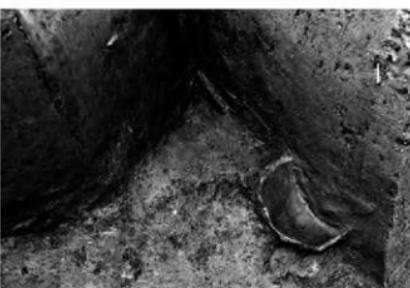
5 I区2号竪穴建物全景 西から



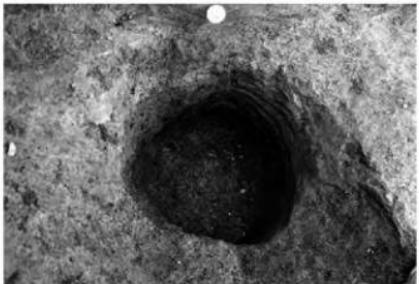
6 I区2号竪穴建物縄全景 西から



7 I区2号竪穴建物遺物出土状態 西から



8 I区2号竪穴建物焼土確認 東から



1 1区2号竪穴建物P1全景 西から



2 1区2号竪穴建物遺物出土状態 東から



3 2区3号竪穴建物全景 南西から



4 2区3号竪穴建物全景 東から



5 2区3号竪穴建物全景 西から



6 2区3号竪穴建物掘り方工具痕 東から



7 2区3号竪穴建物遺土層断面 南から



8 2区3号竪穴建物出土遺物 東から



1 2区3号竪穴建物出土遺物出土状態 南西から



2 2区3号竪穴建物出土遺物出土状態 南から



3 2区3号竪穴建物出土遺物 南西から



4 2区3号竪穴建物出土遺物 東から



5 1区4号竪穴建物全景 西から



6 1区4号竪穴建物全景 東から



7 1区4号竪穴建物礎土層断面 東から



8 2区5号竪穴建物全景 南から



1 2区5号竪穴建物土層断面 北東から



2 2区5号竪穴建物遺物出土状態 北から



3 2区5号竪穴建物遺物出土状態 西から



4 2区5号竪穴建物土層断面 東から



5 2区5号竪穴建物土坑Ⅰ全景 北から



6 2区5号竪穴建物壙全景 南から



7 2区5号竪穴建物壙出土遺物 東から



8 2区5号竪穴建物壙土層断面 北から



1 1区6号竪穴建物全景 南西から



2 1区6号竪穴建物壙全景 南西から



3 1区6号竪穴建物壙使用面 南西から



4 1区6号竪穴建物壙土断面 南東から



5 1区6号竪穴建物壙土断面 南東から



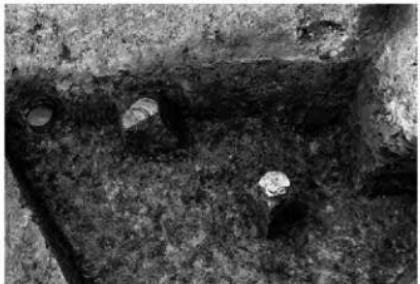
6 1区6号竪穴建物壙出土遺物 南西から



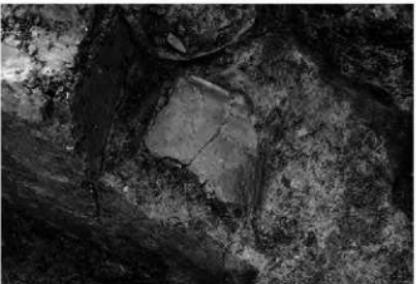
7 1区6号竪穴建物壙出土遺物 南西から



8 1区6号竪穴建物壙出土遺物 南西から



1 1区6号竪穴建物出土遺物 東から



2 1区6号竪穴建物出土遺物 南西から



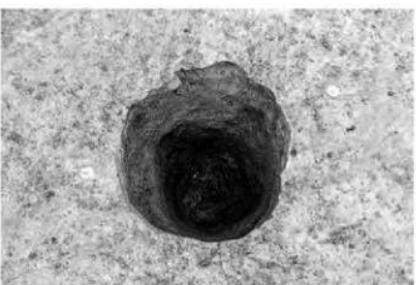
3 1区6号竪穴建物出土遺物 東から



4 1区6号竪穴建物出土遺物 東から



5 1区6号竪穴建物P1、P2全景 南から



6 1区6号竪穴建物P2全景 南から



7 2区7号竪穴建物全景 南西から



8 2区7号竪穴建物P2全景 南西から



1 2区7号竖穴建物出土遺物 出土状態 西から



2 2区7号竖穴建物出土遺物 出土状態 西から



3 2区7号竖穴建物出土遺物 出土状態 西から



4 2区7号竖穴建物出土遺物 出土状態 南西から



5 2区7号竖穴建物出土遺物 出土状態 南西から



6 2区7号竖穴建物出土遺物 出土状態 南西から



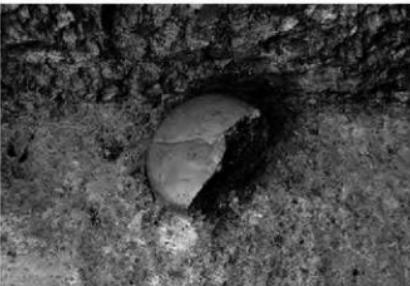
7 2区7号竖穴建物出土遺物 出土状態 南から



8 2区7号竖穴建物出土遺物 出土状態 南から



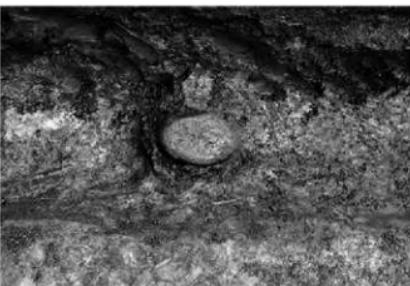
1 2区7号竪穴建物出土遺物 西から



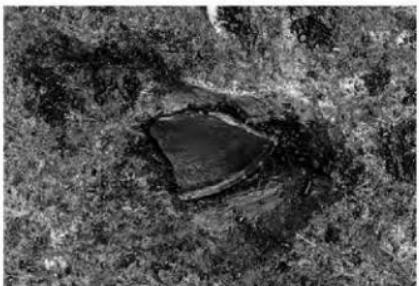
2 2区7号竪穴建物出土遺物 南西から



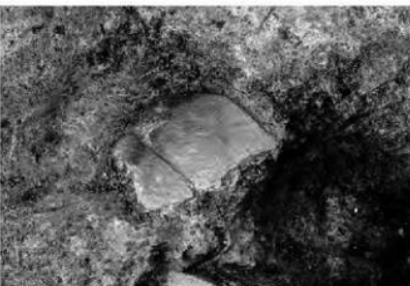
3 2区7号竪穴建物出土遺物 東から



4 2区7号竪穴建物出土遺物 北から



5 2区7号竪穴建物出土遺物 北から



6 2区7号竪穴建物出土遺物 南西から



7 2区7号竪穴建物鉄製品出土状態 西から



8 2区8号竪穴建物全景 西から



1 2区8号竪穴建物土層断面 北から



2 2区8号竪穴建物出土遺物 北から



3 2区8号竪穴建物出土遺物 南から



4 2区8号竪穴建物出土状態 西から



5 2区8号竪穴建物出土状態 西から



6 2区8号竪穴建物出土状態 西から



7 2区8号竪穴建物出土状態 西から



8 2区8号竪穴建物床下土坑 全景 西から



1 2区9号竖穴建物全景 北西から



2 2区9号竖穴建物全景 南東から



3 2区9号竖穴建物出土遺物 南から



4 2区10号竖穴建物全景 西から



5 2区10号竖穴建物遺物全景 西から



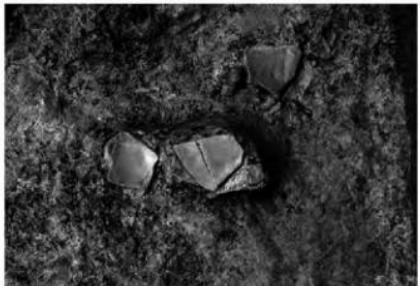
6 2区10号竖穴建物遺物出土状態 西から



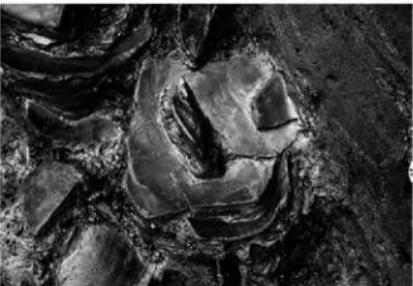
7 2区10号竖穴建物遺物出土状態 西から



8 2区10号竖穴建物遺物出土状態 西から



1 2区10号竪穴建物遺物出土状態 西から



2 2区10号竪穴建物遺物出土状態 西から



3 2区10号竪穴建物遺物出土状態 西から



4 2区10号竪穴建物遺物・瓦出土状態 西から



5 2区10号竪穴建物遺物・瓦出土状態 西から



6 2区10号竪穴建物瓦出土状態 北から



7 2区11号竪穴建物全景 南西から



8 2区11号竪穴建物全景 南西から



1 2区11号竪穴建物出土遺物 出土状態 南西から



2 2区11号竪穴建物出土遺物 南から



3 2区11号竪穴建物出土遺物 南から



4 2区11号竪穴建物出土遺物 出土状態 南から



5 2区11号竪穴建物出土遺物 出土状態 南から



6 2区11号竪穴建物出土遺物 出土状態 南から



7 2区11号竪穴建物出土遺物 出土状態 南から



8 2区11号竪穴建物出土遺物 出土状態 南から



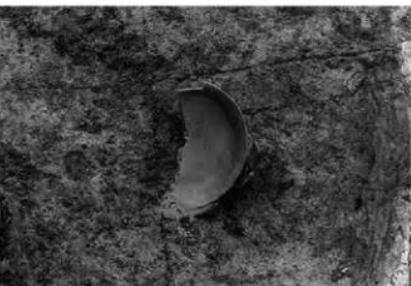
1 2区11号竪穴建物出土遺物 東から



2 2区11号竪穴建物出土遺物 南東から



3 2区11号竪穴建物出土遺物 南西から



4 2区11号竪穴建物出土遺物 北東から



5 2区11号竪穴建物遺物出土状態 南から



6 2区11号竪穴建物遺物出土状態 南から



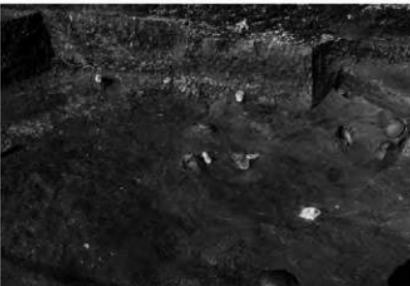
7 2区11号竪穴建物出土遺物 南から



8 2区11号竪穴建物遺物出土状態 南から



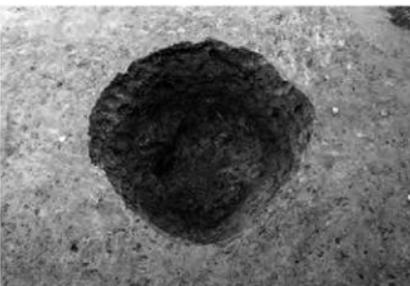
1 2区11号竪穴建物鉄製品出土状態 西から



2 2区11号竪穴建物遺物出土状態 東から



3 2区11号竪穴建物P1全景 南から



4 2区11号竪穴建物P3全景 南から



5 2区11号竪穴建物埴土層断面 南東から



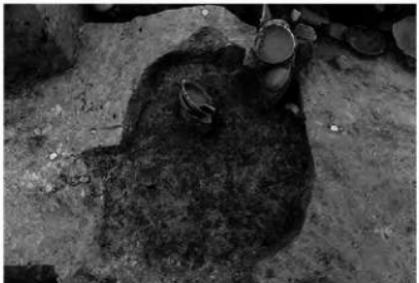
6 2区11号竪穴建物埴土層断面 南西から



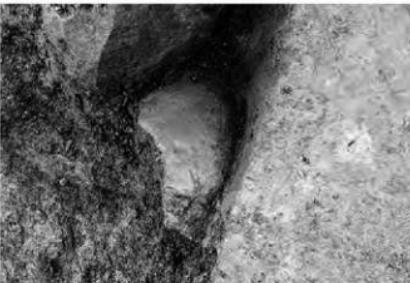
7 2区11号竪穴建物埴土層断面 西から



8 2区11号竪穴建物埴土層断面 東から



1 2区11号竪穴建物焼土全景 南西から



2 2区11号竪穴建物焼土出土遺物 南から



3 2区11号竪穴建物焼土土層断面 東から



4 5区13号竪穴建物炭化物・遺物出土状態 南から



5 5区13号竪穴建物炭化物・遺物出土状態 南から



6 5区13号竪穴建物出土遺物 南西から



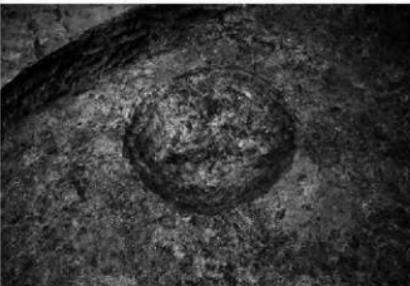
7 5区13号竪穴建物土層断面 南西から



8 5区14号竪穴建物全景 南から



1 5区14号竪穴建物P 1 全景 東から



2 5区14号竪穴建物P 2 全景 東から



3 5区15号竪穴建物全景 南西から



4 5区15号竪穴建物全景 南から



5 5区15号竪穴建物遺物出土状態 西から



6 5区15号竪穴建物遺物出土状態 東から



7 5区15号竪穴建物遺物出土状態 東から



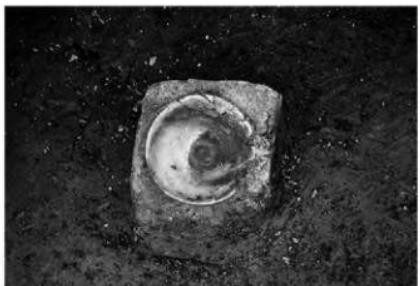
8 5区15号竪穴建物遺物出土状態 東から



1 5区15号竪穴建物出土遺物 東から



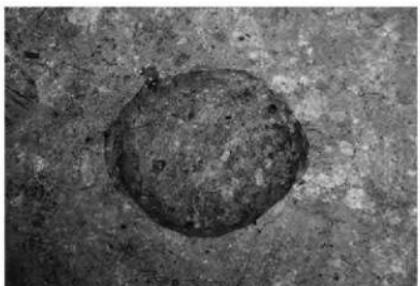
2 5区15号竪穴建物出土遺物 東から



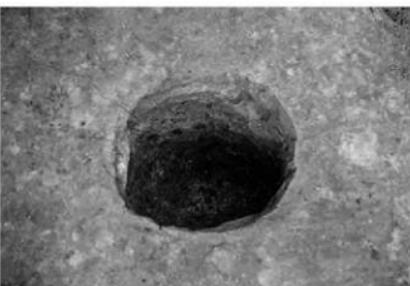
3 5区15号竪穴建物出土遺物 東から



4 5区15号竪穴建物P 1 全景 東から



5 5区15号竪穴建物P 2 全景 東から



6 5区15号竪穴建物P 3 全景 南から



7 5区15号竪穴建物P 4 全景 東から



8 5区15号竪穴建物P 5 全景 東から



1 5区15号竪穴建物P 6 全景 東から



2 5区15号竪穴建物土坑1 全景 南から



3 5区15号竪穴建物土坑1 土層断面 南から



4 5区15号・18号～20号竪穴建物、56号土坑土層断面 北東から



5 5区15号・18号・20号竪穴建物土層断面 北から



6 5区16号竪穴建物全景 南から



7 5区16号竪穴建物全景 西から



8 5区16号竪穴建物壇全景 西から



1 5区16号竪穴建物遺物出土状態 南から



2 5区16号竪穴建物遺物出土状態 南から



3 5区16号竪穴建物遺物出土状態 西から



4 5区16号竪穴建物遺物出土状態 南西から



5 5区16号竪穴建物遺物出土状態 西から



6 5区16号竪穴建物遺物出土状態 東から



7 5区16号竪穴建物遺物出土状態 西から



8 5区16号竪穴建物遺物出土状態 西から



1 5区16号竪穴建物遺物出土状態 西から



2 5区16号竪穴建物遺物出土状態 西から



3 5区16号竪穴建物遺物出土状態 西から



4 5区16号竪穴建物遺物出土状態 北から



5 5区16号竪穴建物遺物出土状態 北から



6 5区16号・17号竪穴建物土層断面 北から



7 5区16号・17号竪穴建物全景 西から



8 5区17号竪穴建物遺物出土状態 南西から



1 5区17号竪穴建物遺物出土状態 西から



2 5区17号竪穴建物出土遺物 西から



3 5区18号竪穴建物全景 南から



4 5区18号竪穴建物、56号土坑土層断面 北から



5 5区19号竪穴建物全景 南から



6 5区19号竪穴建物全景 西から



7 5区19号竪穴建物埴土層断面 北西から



8 5区19号竪穴建物埴土層断面 北西から



1 5区19号竪穴建物遺物全般・遺物出土状態 南から



2 5区19号竪穴建物遺物出土状態 南から



3 5区19号竪穴建物炭化物出土状態 南から



4 5区19号竪穴建物遺物出土状態 南から



5 5区19号竪穴建物遺物出土状態 南から



6 5区19号竪穴建物遺物出土状態 南から



7 5区19号竪穴建物遺物出土状態 南から



8 5区19号竪穴建物遺物出土状態 南から



1 5区19号・20号竪穴建物全景 南から



2 5区20号竪穴建物P1 全景 北から



3 6区21号竪穴建物全景 西から



4 6区21号竪穴建物土層断面 西から



5 6区22号竪穴建物全景 西から



6 6区22号竪穴建物全景 西から



7 6区22号竪穴建物P1 全景 西から



8 6区22号竪穴建物周溝 東から



1 6区22号竪穴建物遺物出土状態 西から



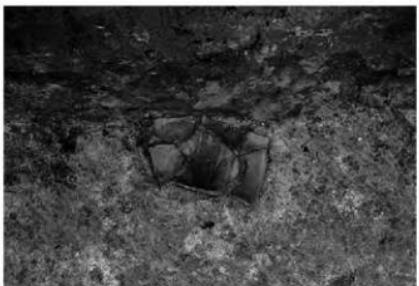
2 6区22号竪穴建物遺物出土状態 西から



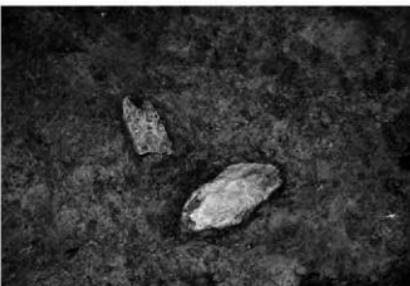
3 6区22号竪穴建物出土遺物 東から



4 6区22号竪穴建物遺物土層断面 東から



5 6区22号竪穴建物出土遺物 北から



6 6区22号竪穴建物遺物出土状態 北から



7 6区22号竪穴建物遺物出土状態 北から



8 6区22号竪穴建物集石出土状態 西から



1 6区K22号竪穴建物集石出土状態 西から



2 6区K22号竪穴建物集石土層断面 東から



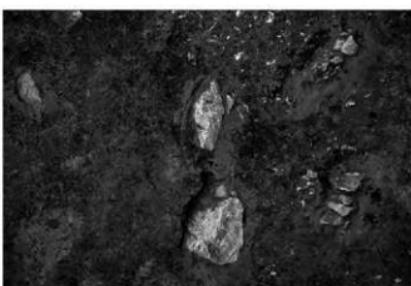
3 6区K22号竪穴建物集石出土状態 西から



4 6区K22号竪穴建物集石出土状態 西から



5 6区K22号竪穴建物集石出土状態 西から



6 6区K22号竪穴建物集石出土状態 西から



7 6区K22号竪穴建物集石跡 西から



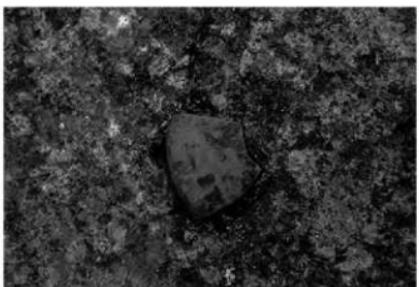
8 6区K23号竪穴建物全景 西から



1 6区23号竪穴建物遺物全景 西から



2 6区23号竪穴建物遺物出土状態 西から



3 6区23号竪穴建物出土遺物 西から



4 6区24号竪穴建物全景 西から



5 6区24号竪穴建物出土遺物 東から



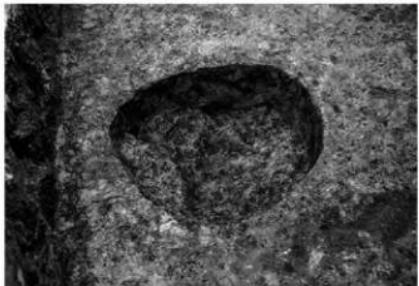
6 6区24号竪穴建物遺物出土状態 西から



7 6区24号竪穴建物遺物出土状態 西から



8 6区25号竪穴建物全景 西から



1 6区25号竪穴建物P1 全景 西から



2 6区25号竪穴建物遺物出土状態 西から



3 6区25号竪穴建物遺物出土状態 西から



4 6区25号竪穴建物遺物出土状態 西から



5 6区25号竪穴建物遺物出土状態 西から



6 7区26号竪穴建物全景 南西から



7 7区26号竪穴建物土層断面 南東から



8 7区27号竪穴建物遺物出土状態 東から



1 7区27号竪穴建物遺物出土状態 北から



2 7区27号竪穴建物遺物出土状態 北東から



3 7区27号竪穴建物遺物出土状態 北東から



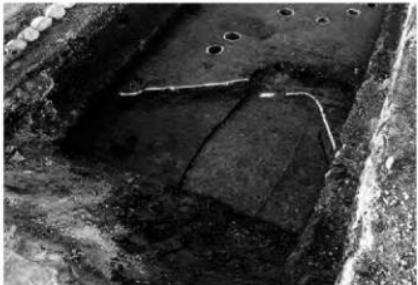
4 7区27号竪穴建物遺物出土状態 北東から



5 7区27号竪穴建物遺物出土状態 東から



6 7区28号竪穴建物全景 西から



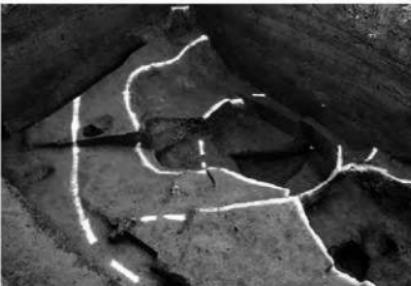
7 1区1号竪穴状遺構全景(北半分) 南東から



8 1区1号竪穴状遺構全景(南半分) 北から



1 1区1号竪穴状遺構土層断面 東から



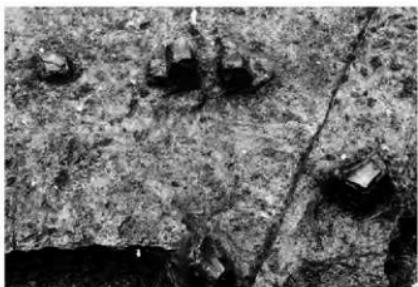
2 1区2号竪穴状遺構全景(7号～10号土坑含) 北東から



3 1区2号竪穴状遺構遺物出土状態 南西から



4 1区2号竪穴状遺構遺物出土状態 西から



5 1区2号竪穴状遺構遺物出土状態 西から



6 1区2号竪穴状遺構遺物出土状態 東から



7 1区2号竪穴状遺構遺物出土状態 東から



8 1区2号竪穴状遺構遺物出土状態 東から



1 3区3号竖穴状遺構全景 東から



2 3区3号竖穴状遺構全景 東から



3 3区3号竖穴状遺構土層断面 南から



4 2区4号竖穴状遺構土層断面 南から



5 2区5号竖穴状遺構全景 東から



6 2区5号竖穴状遺構遺物出土状態 東から



7 2区5号竖穴状遺構出土遺物 東から



8 2区5号竖穴状遺構遺物出土状態 東から



1 2区1号掘立柱建物全景 東から



2 2区1号掘立柱建物全景 南から



1 2区1号掘立柱建物P5 南西から



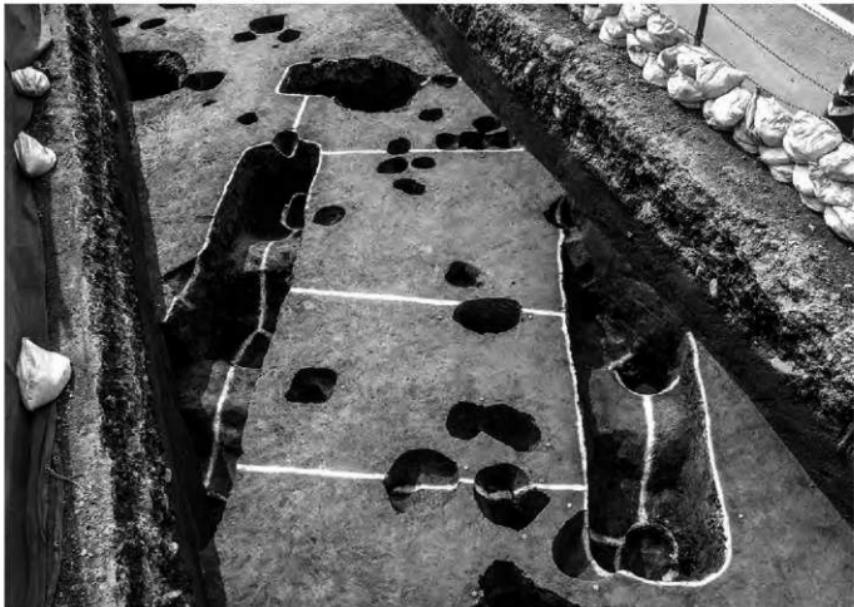
3 1区2号掘立柱建物P4・P5 北東から



2 1区2号掘立柱建物P4土層断面 東から



4 1区2号掘立柱建物全景 南西から



1 1区2号掘立柱建物全景 北東から



2 1区2号掘立柱建物P4～P8 北東から



3 1区2号掘立柱建物P6～P8 北東から



4 1区2号掘立柱建物P4 北東から



5 1区2号掘立柱建物P6土層断面 南から



1 1区2号掘立柱建物全景 北東から



2 1区2号掘立柱建物P4～P8 南西から



1 1区2号掘立柱建物P8 北東から



3 1区2号掘立柱建物P6～P8 北東から



4 1区2号掘立柱建物P6 北東から



5 1区2号掘立柱建物P6～P8 北東から



1 1区2号掘立柱建物P2・P3 北から



2 1区2号掘立柱建物P1土層断面 西から



3 1区2号掘立柱建物P2土層断面 西から



4 1区1号土坑全景 南から



5 1区2号土坑全景 東から



6 1区3号土坑全景 西から



7 1区4号土坑全景 西から



8 1区5号土坑全景 西から



1 1区6号土坑全景 西から



2 1区7号土坑全景 東から



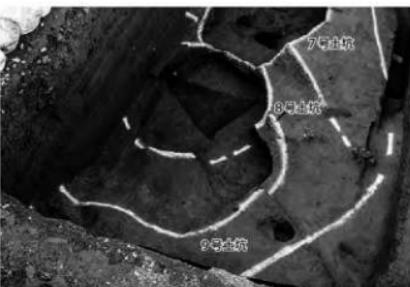
3 1区7号土坑遺物出土状態 南から



4 1区7号土坑遺物出土状態 東から



5 1区8号土坑全景 東から



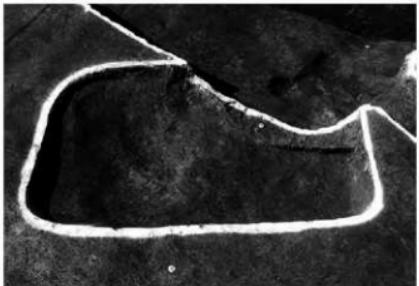
6 1区9号土坑全景 南から



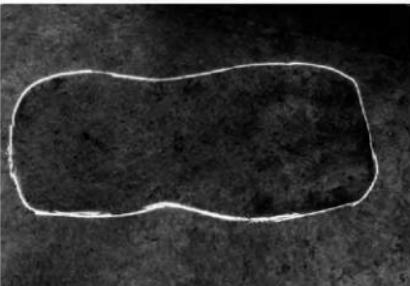
7 1区10号土坑全景 東から



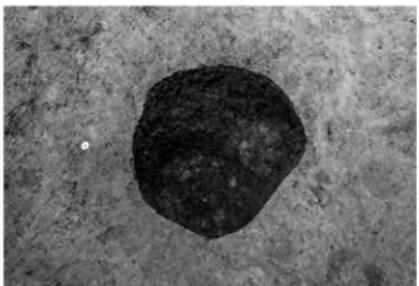
8 1区10号土坑遺物出土状態 西から



1 2区11号土坑全景 東から



2 2区12号土坑全景 南東から



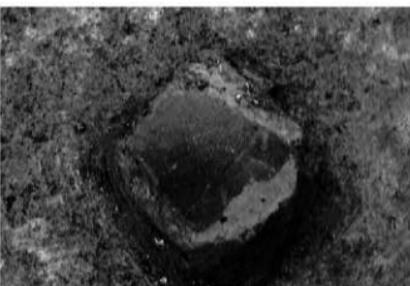
3 2区13号土坑全景 南から



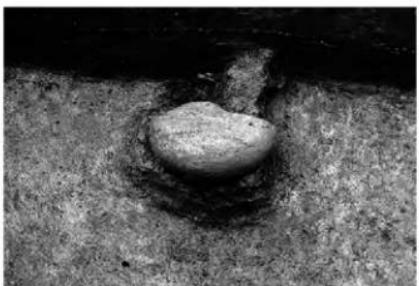
4 2区14号土坑全景 北東から



5 2区15号土坑全景 東から



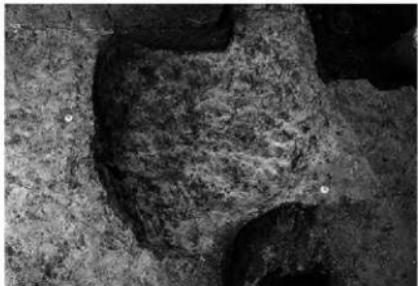
6 2区15号土坑出土遺物 東から



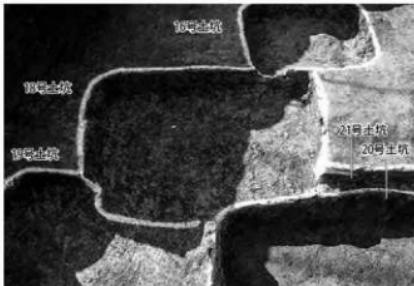
7 2区15号土坑石出土状態 南から



8 1区16号土坑全景 南から



1 1区17号土坑全景 南から



2 1区18号土坑全景 東から



3 1区19号土坑全景 西から



4 1区20号土坑全景 東から



5 1区16～21号土坑群全景 東から



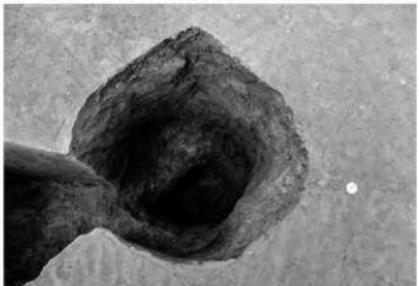
6 1区27号土坑全景 東から



7 1区28号土坑全景 東から



8 2区31号・32号土坑、174号ピット全景 南から



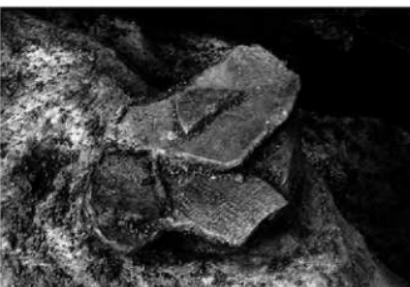
1 2区32号土坑全景 南から



2 1区35号土坑全景 南から



3 1区36号土坑全景 南から



4 1区36号土坑出土遺物 西から



5 1区37号土坑全景 南から



6 1区37号土坑馬の骨出土状態 北から



7 1区37号土坑馬の骨出土状態 北から



8 1区38号土坑土層断面 北から



1 1区39号土坑全景 北から



2 2区40号土坑全景 北から



3 2区41号土坑全景 西から



4 2区41号土坑出土遺物 北から



5 2区41号土坑出土遺物 東から



6 2区42号土坑全景 南から



7 2区43号・44号土坑全景 東から



8 1区45号土坑全景 西から



1 1区46号土坑全景 南から



2 5区52号土坑全景 西から



3 5区54号土坑全景 南西から



4 5区54号土坑遺物出土状態 南西から



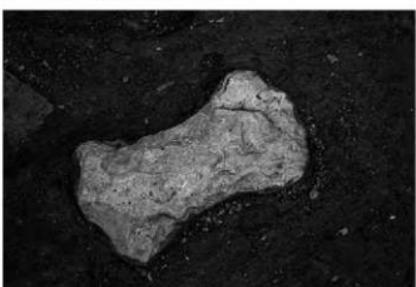
5 5区54号土坑出土遺物 南西から



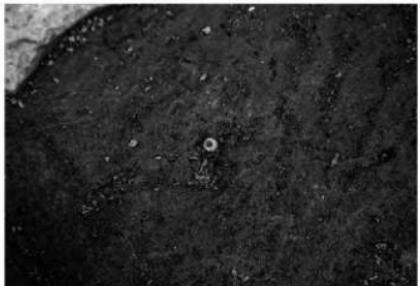
6 5区54号土坑出土遺物 南西から



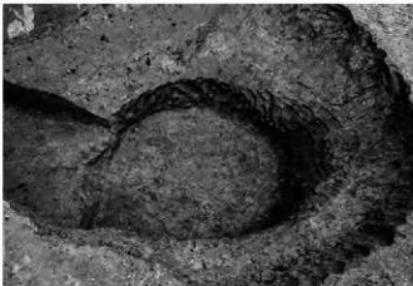
7 5区54号土坑遺物出土状態 南西から



8 5区54号土坑打製石斧出土状態 南西から



1 5区54号土坑白玉出土状態 南西から



2 5区55号土坑全景 南西から



3 7区57号土坑全景 南西から



4 1区1号溝出土遺物 東から



5 1区1号溝全景 北西から



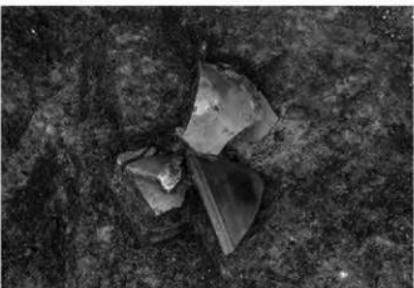
6 1区2号溝全景 南から



7 1区3号溝土層断面 西から



1 1区4号溝全景 南から



2 1区4号溝出土遺物 東から



3 1区6号溝全景 南から



4 1区6号溝出土遺物 西から



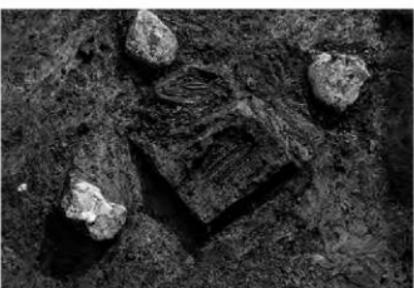
5 2区7号溝全景 東から



6 1区8号溝全景 北東から



7 1区8号溝集石出土状態 北東から



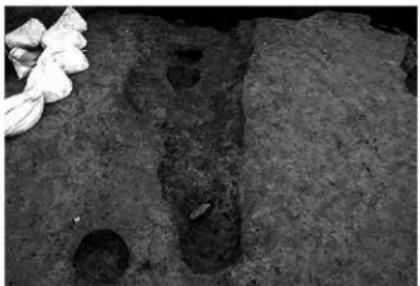
8 1区8号溝馬の骨出土状態 北から



1 2区9号溝出土遺物 北から



2 1区10号溝、35号土坑全景 北から



3 1区11号溝全景 北西から



4 1区12号溝全景 西から



5 5区13号溝全景 南から



6 5区14号溝全景 南東から



7 6区15号溝土層断面(22号堅穴建物含) 北から



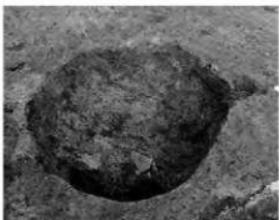
8 1区1号溜池出土遺物 南西から



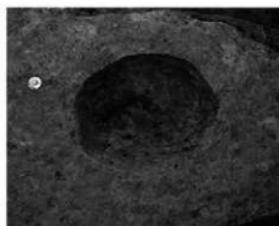
1 1区1号～10号ピット群全景 北から



2 1区1号ピット全景 南から



3 1区13号ピット全景 南から



4 1区14号ピット全景 南から



5 1区15号ピット全景 南から



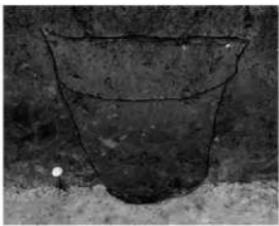
6 1区16号ピット全景 南から



7 1区14号～16号・22号ピット全景 南から



8 1区19号ピット全景 南から



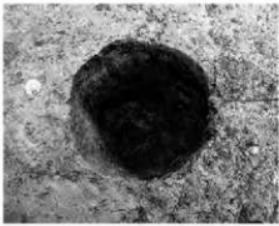
9 1区20号ピット全景 北から



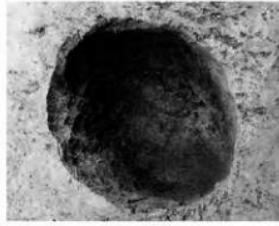
10 1区54号ピット全景 東から



11 1区56号ピット全景 南から



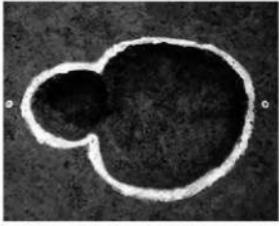
12 1区57号ピット全景 南から



13 1区58号ピット全景 南から



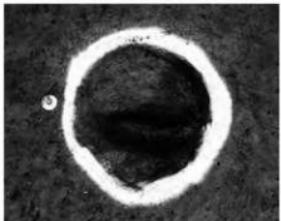
14 1区64号ピット全景 西から



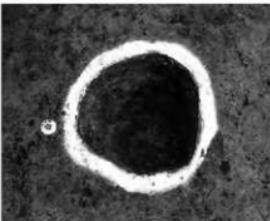
15 1区68号・69号ピット全景 西から



1 1区70号ピット土層断面 南から



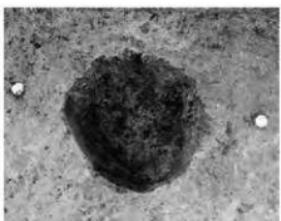
2 1区71号ピット全景 南から



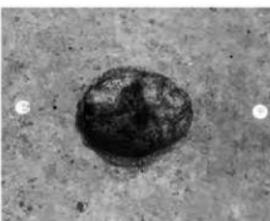
3 1区72号ピット全景 南から



4 1区73号ピット全景 北から



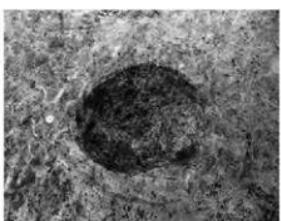
5 1区74号ピット全景 北から



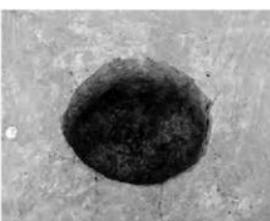
6 1区75号ピット全景 南から



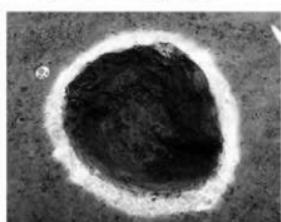
7 2区77号ピット全景 南から



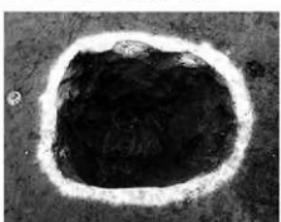
8 2区78号ピット全景 南から



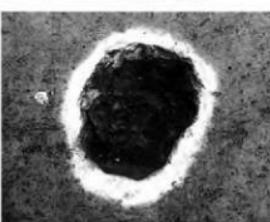
9 2区79号ピット全景 南から



10 1区81号ピット全景 南から



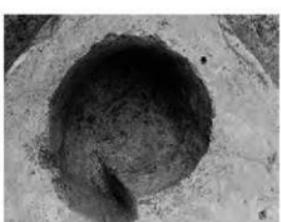
11 1区82号ピット全景 南から



12 1区83号ピット全景 南から



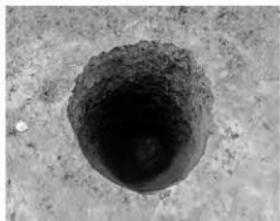
13 1区84号ピット全景 南から



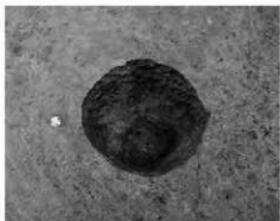
14 2区91号ピット全景 南東から



15 2区92号ピット全景 南から



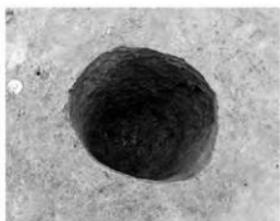
1 2区93号ピット全景 北から



2 2区94号ピット全景 南から



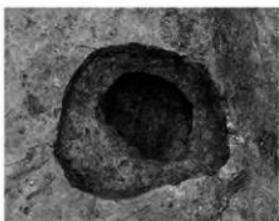
3 3区95号ピット全景 西から



4 2区96号ピット全景 南から



5 2区98号ピット全景 南から



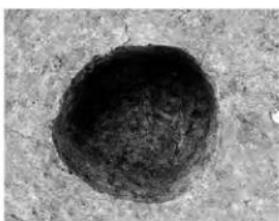
6 2区99号ピット全景 南から



7 2区100号ピット全景 南から



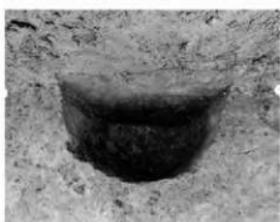
8 2区101号ピット全景 南から



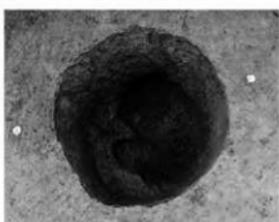
9 2区102号ピット全景 西から



10 2区103号ピット全景 南東から



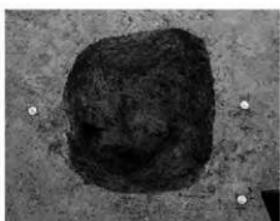
11 2区104号ピット全景 北から



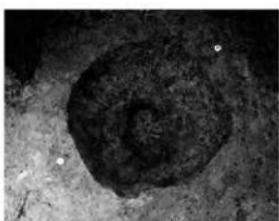
12 2区105号ピット全景 北から



13 2区106号・109号ピット全景 南から



14 2区107号ピット全景 南から



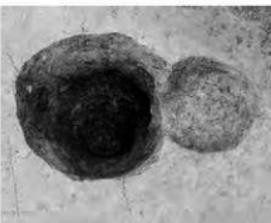
15 2区108号ピット全景 西から



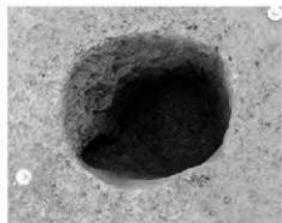
1 2区110号ピット全景 南から



2 2区111号ピット全景 北から



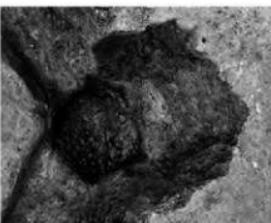
3 2区112号・114号ピット全景 西から



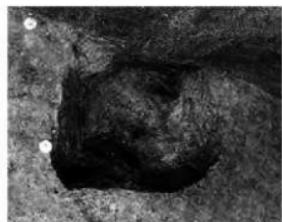
4 2区113号ピット全景 南から



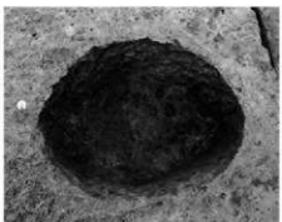
5 1区115号ピット土層断面 北から



6 1区116号ピット全景 北から



7 1区117号ピット全景 北から



8 1区118号ピット全景 南から



9 1区120号ピット全景 南から



10 1区121号ピット全景 南から



11 1区122号ピット全景 南から



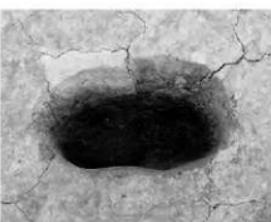
12 1区123号ピット全景 南から



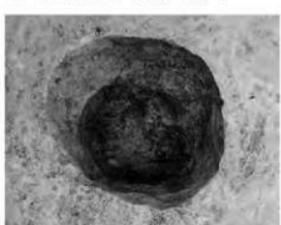
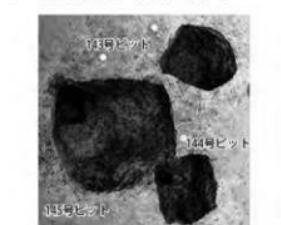
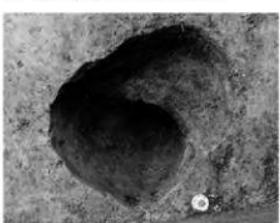
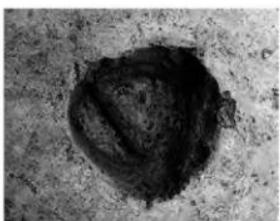
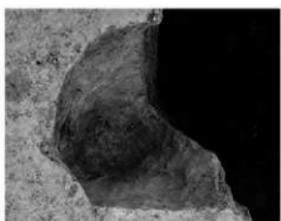
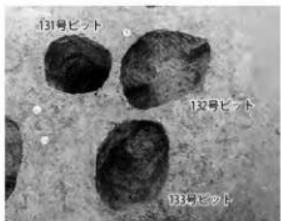
13 1区124号・129号ピット全景 南から

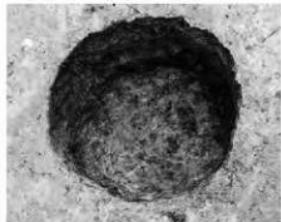


14 1区126号ピット全景 南から

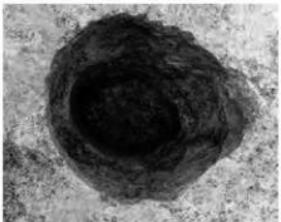


15 2区128号ピット全景 南から

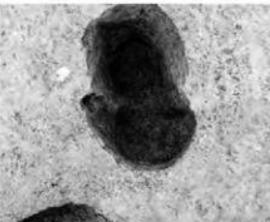




1 1区150号ピット全景 南から



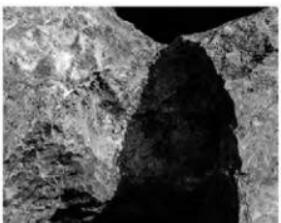
2 1区151号ピット全景 南から



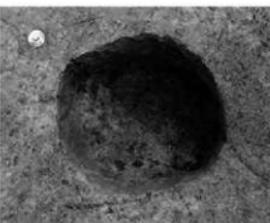
3 1区153号・155号ピット全景 南から



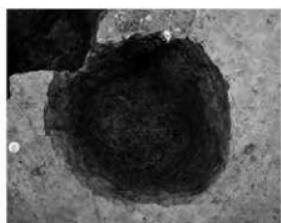
4 1区154号ピット全景 南から



5 1区156号ピット全景 西から



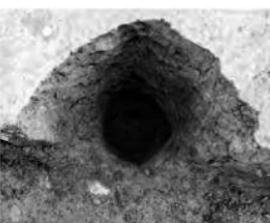
6 2区157号ピット全景 南から



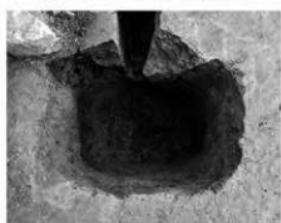
7 2区159号ピット全景 南西から



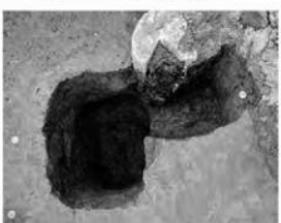
8 2区160号ピット全景 南から



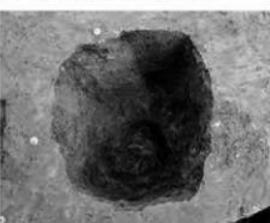
9 2区161号ピット全景 南から



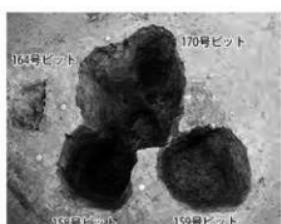
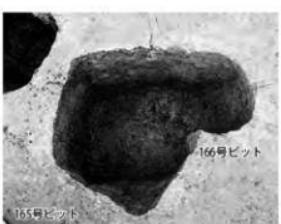
10 2区162号ピット全景 西から



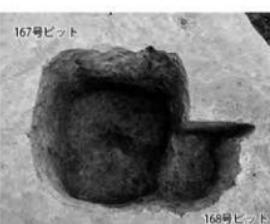
11 2区162号・163号ピット全景 南東から



12 2区164号ピット全景 南から

13 2区158号・159号・164号・170号ピット
ト全景 南西から

14 2区165号・166号ピット全景 南西から



15 2区167号・168号ピット全景 南から



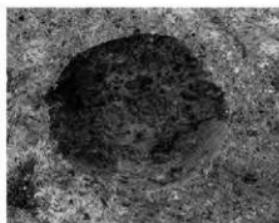
1 2区169号ピット全景 南から



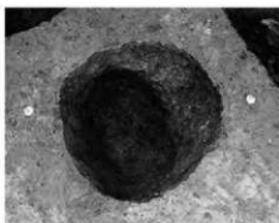
2 2区172号ピット全景 南から



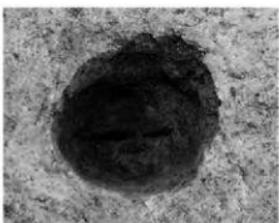
3 2区175号ピット全景 南から



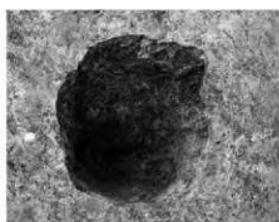
4 1区176号ピット全景 南から



5 1区177号ピット全景 北から



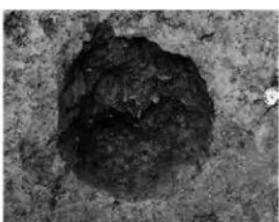
6 2区178号ピット全景 東から



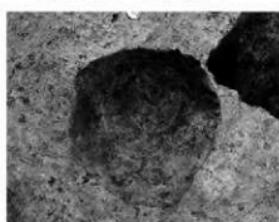
7 2区179号ピット全景 南から



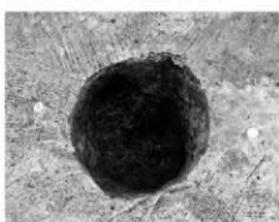
8 1区180号ピット全景 西から



9 1区182号ピット全景 南から



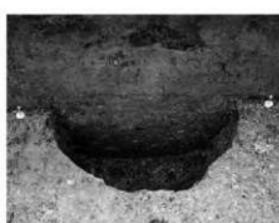
10 2区184号ピット全景 東から



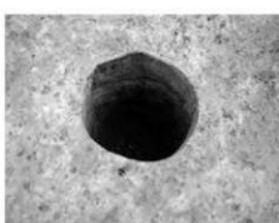
11 2区185号ピット全景 南から



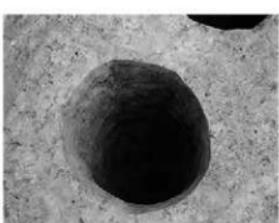
12 2区186号ピット全景 南から



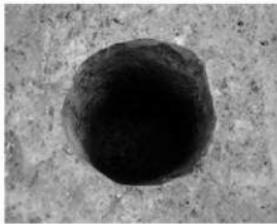
13 5区187号ピット全景 北から



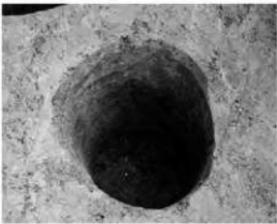
14 5区189号ピット全景 南から



15 5区190号ピット全景 南から



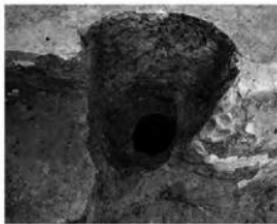
1 5区191号ピット全景 南から



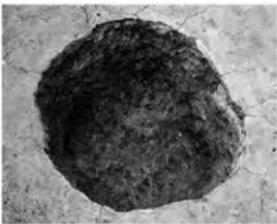
2 5区192号ピット全景 南から



3 5区193号ピット全景 南から



4 5区194号ピット全景 南東から



5 5区195号ピット全景 北東から



6 5区196号ピット全景 南から



7 5区197号ピット全景 北から



8 5区198号ピット全景 北から



9 6区199号ピット全景 東から



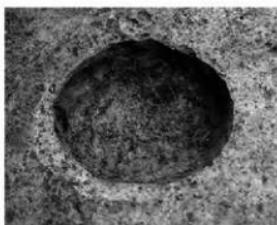
10 6区200号ピット全景 北から



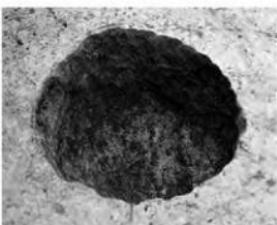
11 6区201号ピット全景 東から



12 6区202号ピット全景 東から



13 6区203号ピット全景 東から



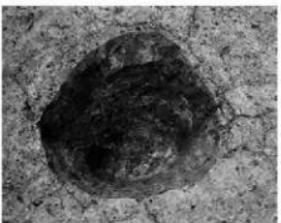
14 6区204号ピット全景 東から



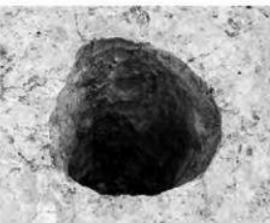
15 6区205号ピット全景 東から



1 6区207号ピット全景 東から



2 6区208号ピット全景 東から



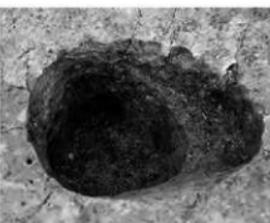
3 6区209号ピット全景 南から



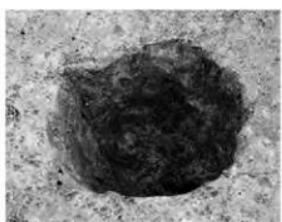
4 6区210号ピット全景 南から



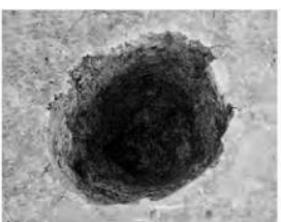
5 6区211号ピット全景 西から



6 6区212号ピット全景 南から



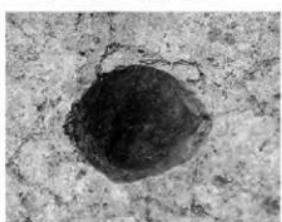
7 6区214号ピット全景 西から



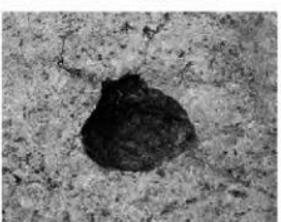
8 6区215号ピット全景 東から



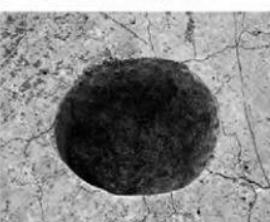
9 6区216号ピット全景 北から



10 6区217号ピット全景 東から



11 6区218号ピット全景 東から



12 6区219号ピット全景 東から



13 6区220号ピット全景 東から



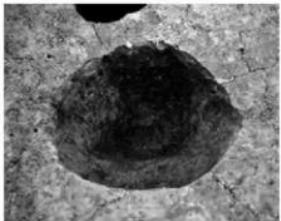
14 6区221号ピット全景 北から



15 6区223号ピット全景 東から



1 6区224号ピット全景 東から



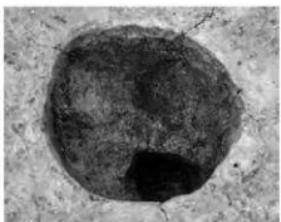
2 6区225号ピット全景 東から



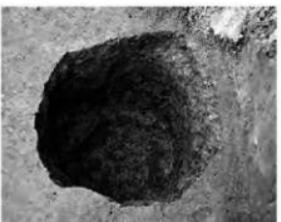
3 6区226号ピット全景 東から



4 6区227号ピット全景 東から



5 6区228号ピット全景 東から



6 6区229号ピット全景 東から



7 6区230号ピット全景 南から



8 6区231号ピット全景 東から



9 6区232号ピット全景 南から



10 6区233号ピット全景 南から



11 6区234号ピット全景 東から



12 6区235号ピット全景 東から



13 6区236号ピット全景 東から



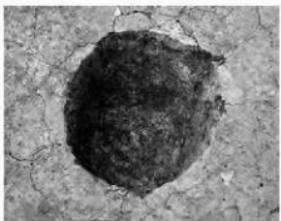
14 6区237号ピット全景 東から



15 6区238号ピット全景 東から



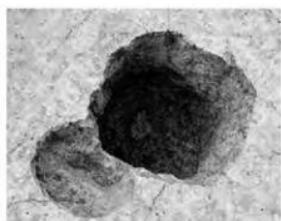
1 6区239号ピット全景 北から



2 6区240号ピット全景 東から



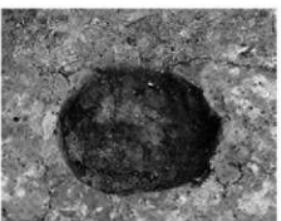
3 6区241号ピット全景 西から



4 6区242号ピット全景 東から



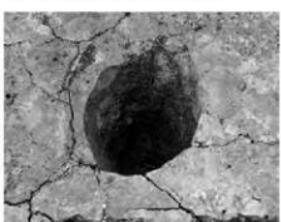
5 6区243号ピット全景 東から



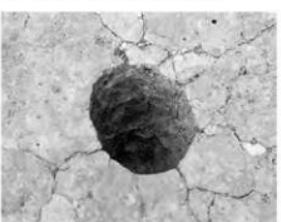
6 6区244号ピット全景 東から



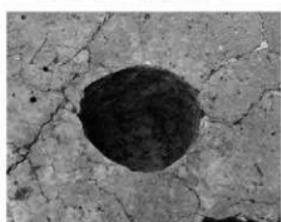
7 6区245号ピット全景 東から



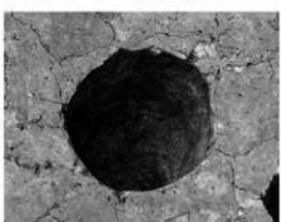
8 6区246号ピット全景 東から



9 6区247号ピット全景 東から



10 6区248号ピット全景 東から



11 6区249号ピット全景 東から



12 6区250号ピット全景 東から



13 6区251号ピット全景 東から



14 6区252号ピット全景 西から



15 6区254号ピット全景 東から



1 1区1号旧石器調査坑 東から



2 1区5号旧石器調査坑 南から



3 1区2号旧石器調査坑 西から



4 1区3号旧石器調査坑 南から



5 4区5号旧石器調査坑 南から

PL.58

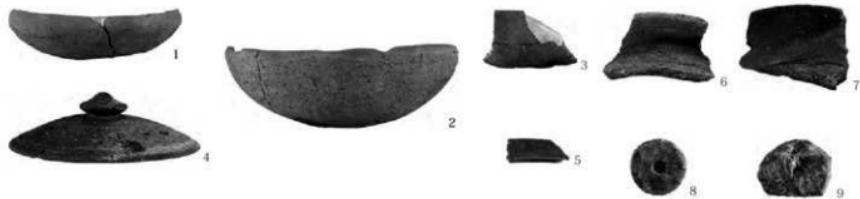
I区 1号竖穴建物



I区 2号竖穴建物



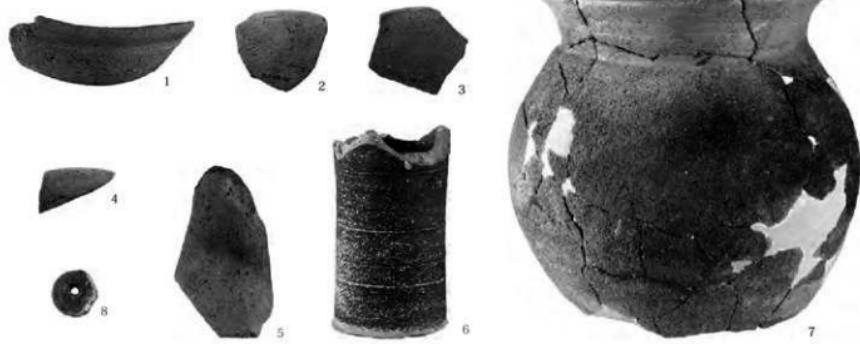
2区 3号竖穴建物



I区 4号竖穴建物



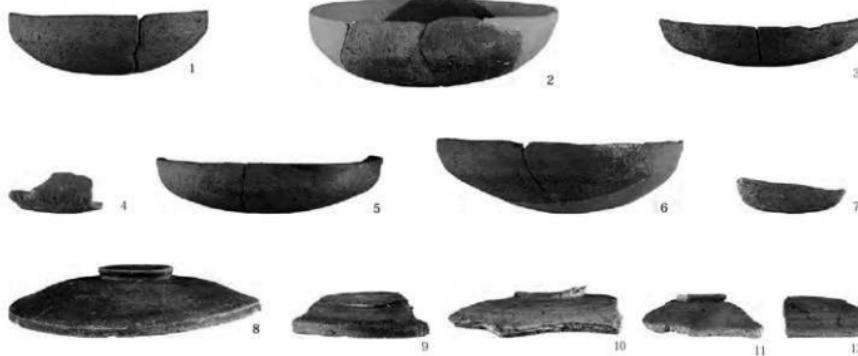
2区 5号竖穴建物



I 区 6 号竖穴建物



2 区 7 号竖穴建物



PL.60

2区 7号竖穴建物



2区 8号竖穴建物



2区 8号竖穴建物



11



12



13



14

15



16

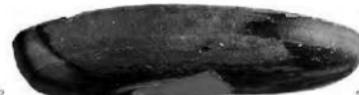
I区 9号竖穴建物



1



2



3



4



5

2区 10号竖穴建物



1



2



3



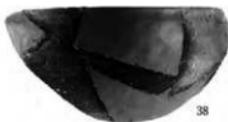
4

PL.62

2区11号竖穴建物



2区11号竖穴建物



38



41



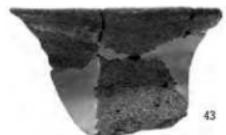
40



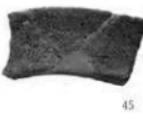
42



44



43



45



46



47



49



50



48

5区13号竖穴建物



1



2



1



2



3

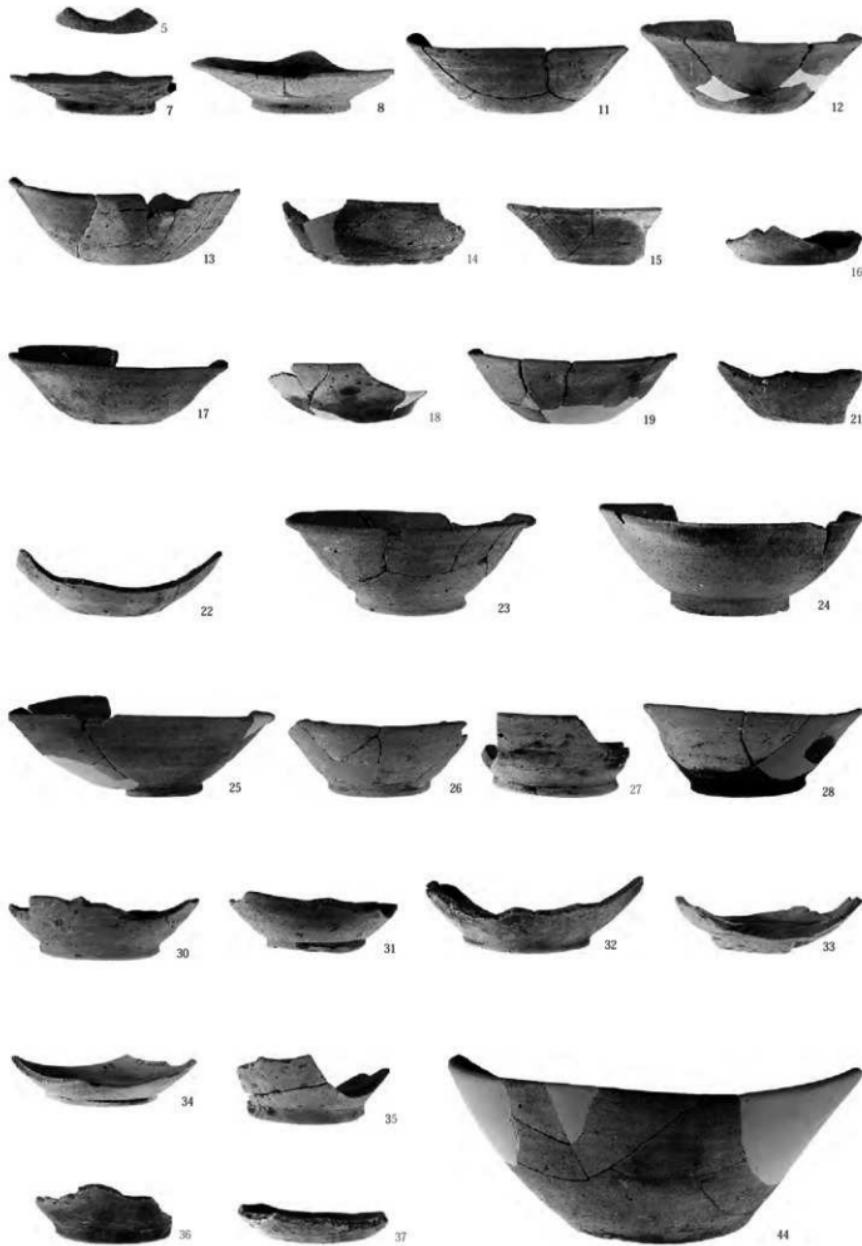


4

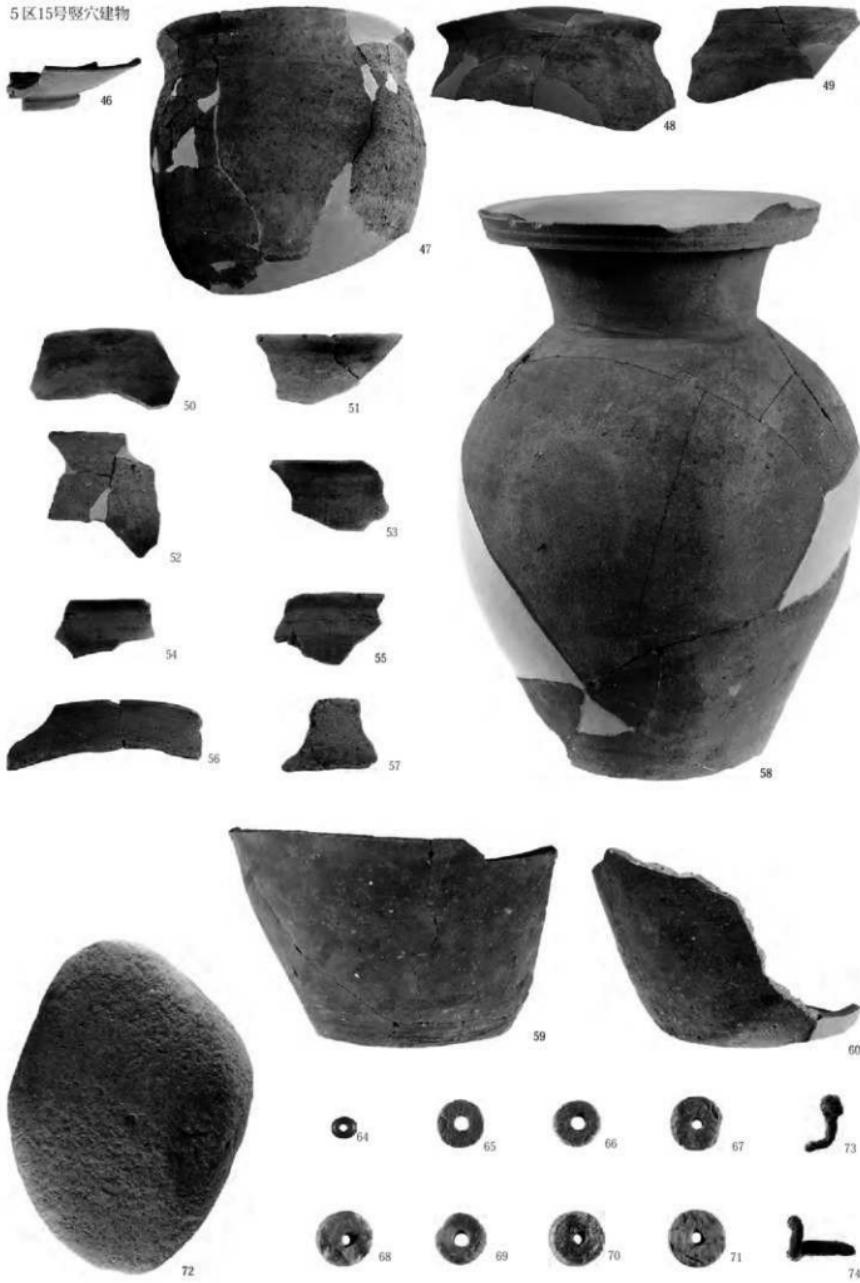
5区15号竖穴建物

PL.64

5区15号竖穴建物



5区15号竖穴建物



PL.66

5区16号竖穴建物



1



2



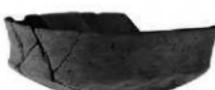
3



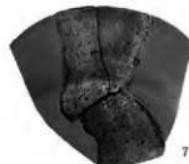
4



5



6



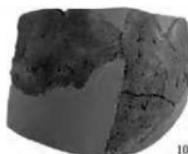
7



8



9



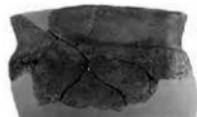
10



11



15



20



17

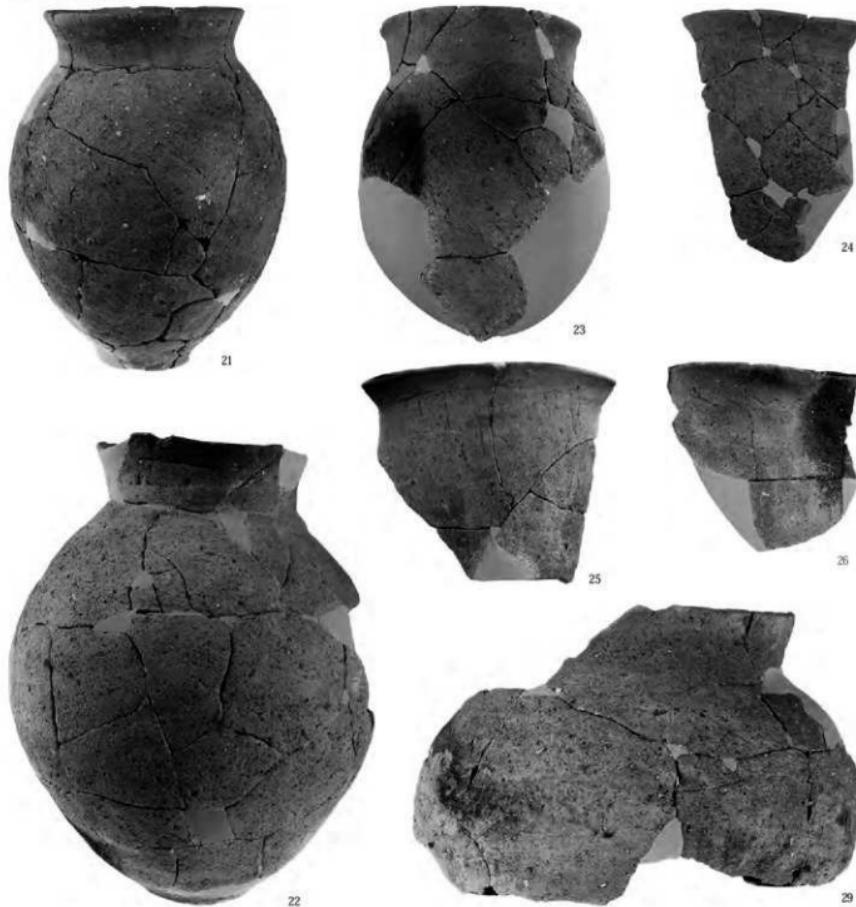


18

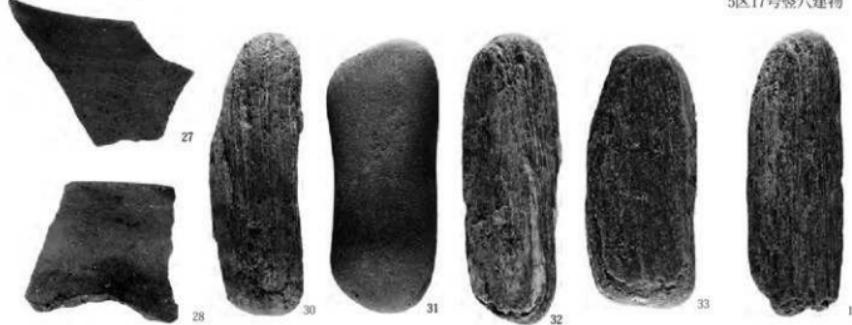


19

5区16号竖穴建物



5区17号竖穴建物

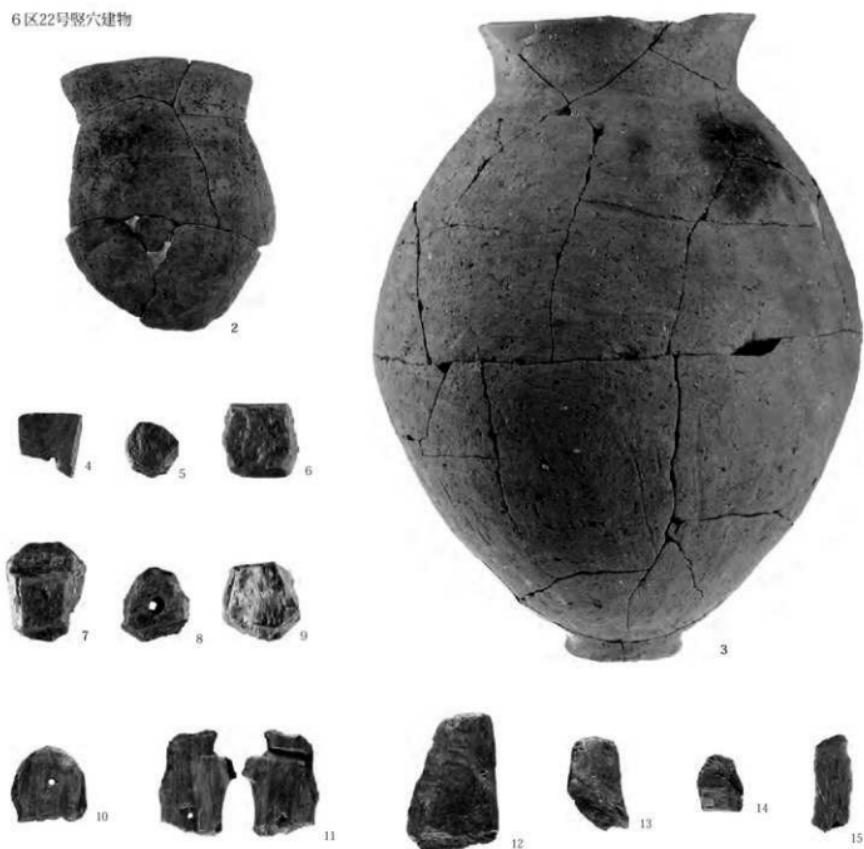


PL.68

5区19号竖穴建物



6区22号竖穴建物



6区22号竖穴建物



6区23号竖穴建物



6区24号竖穴建物



6区25号竖穴建物



7区27号竖穴建物



PL.70

7区27号竖穴建物



7区28号竖穴建物



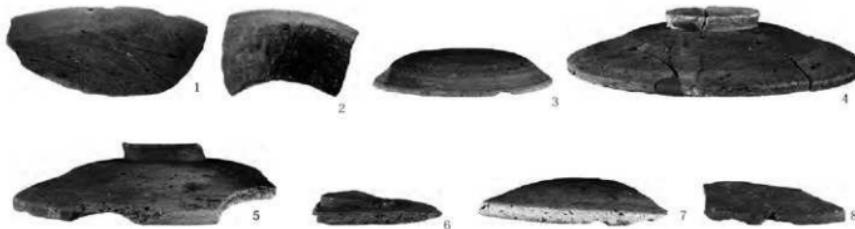
1区29号竖穴建物



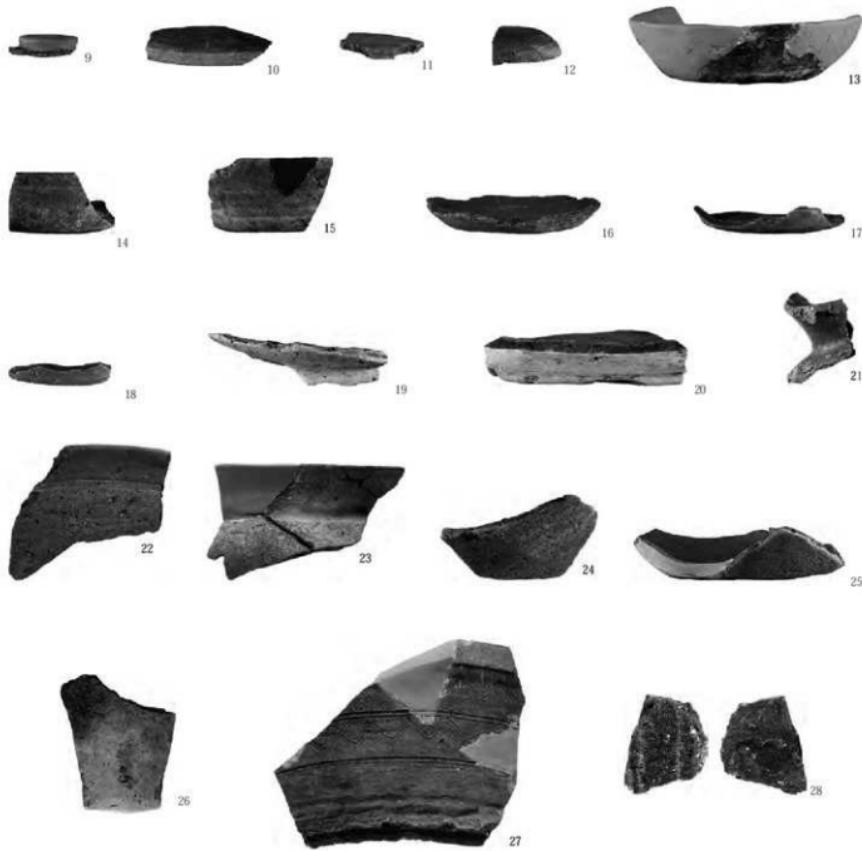
1区1号竖穴状遗構



1区2号竖穴状遗構



I 区 2号竖穴状遗構



3区 3号竖穴状遗構



2区 5号竖穴状遗構



2区 1号掘立柱建物



1区 2号掘立柱建物



PL.72

4号土坑 22号土坑



35号土坑



7号土坑



8号土坑



36号土坑



15号土坑



37号土坑



38号土坑



40号土坑



42号土坑



41号土坑



52号土坑



54号土坑



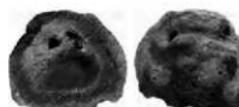
1号溝



2号溝



3号溝



4号溝



PL.74

5号沟



7号沟



8号沟



8号溝



2

9号溝



1



2



3



4



5



6



7



8



9



10



11



12



13



14



15



16



17



18



19

PL.76

15号溝



1号焼土遺構



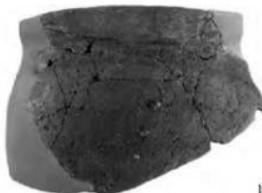
1号溜池状遺構



162号ピット



遺構外出土遺物



報 告 書 抄 錄

書名ふりがな	なかくりすやしまえいせき(にじゅうにはうぞうち)
書名	中栗須邸前遺跡(22包蔵地)
副書名	(主)藤岡本庄線(中栗須工区)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	
シリーズ名	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書
シリーズ番号	663
編著者名	友廣哲也
編集機関	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
発行機関	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
発行年月日	20200310
作成法人ID	21005
郵便番号	377-8555
電話番号	0279-52-2511
住所	群馬県渋川市北橘町下箱田784-2
遺跡名ふりがな	なかくりすやしまえいせき(にじゅうにはうぞうち)
遺跡名	中栗須邸前遺跡(22包蔵地)
所在地ふりがな	ぐんまけんふじおかしなかくりす
遺跡所在地	群馬県藤岡市中栗須
市町村コード	209
遺跡番号	B0183
北緯(世界測地系)	361546
東経(世界測地系)	1390435
調査期間	20160101-20160331/20180101-20180228
調査面積	2272.5m ²
調査原因	道路改良工事
種別	包蔵地/集落
主な時代	古墳/奈良/平安/中近世
遺跡概要	包蔵地-土器+石器+鉄製品/集落-古墳~奈良平安-竪穴建物29+竪穴状遺構5+掘立柱建物2+土坑57+近世-溝16/+ピット254
特記事項	官的要素を持つ掘立柱建物2棟
要約	古墳時代後期から9世紀までの集落、主体は7~8世紀。大型の掘立柱建物跡。小鍛治、鉗・刀子等の鉄製品を確認。出土遺物は須恵器蓋、蓋を作う蟹、ほかに鉄鉢状の器形を持つ須恵器。掘立柱建物は布振り総柱である。近接する上栗須遺跡から富本銭が出土。以上の出土遺物・遺物から綠壁郡衙のような官的な要素を持つ施設等が想定される。

公益財團法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書 第663集

中栗須邸前遺跡(22包藏地)

(主)藤岡本庄園(中栗須工区)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

令和2(2020)年3月10日 印刷
令和2(2020)年3月10日 発行

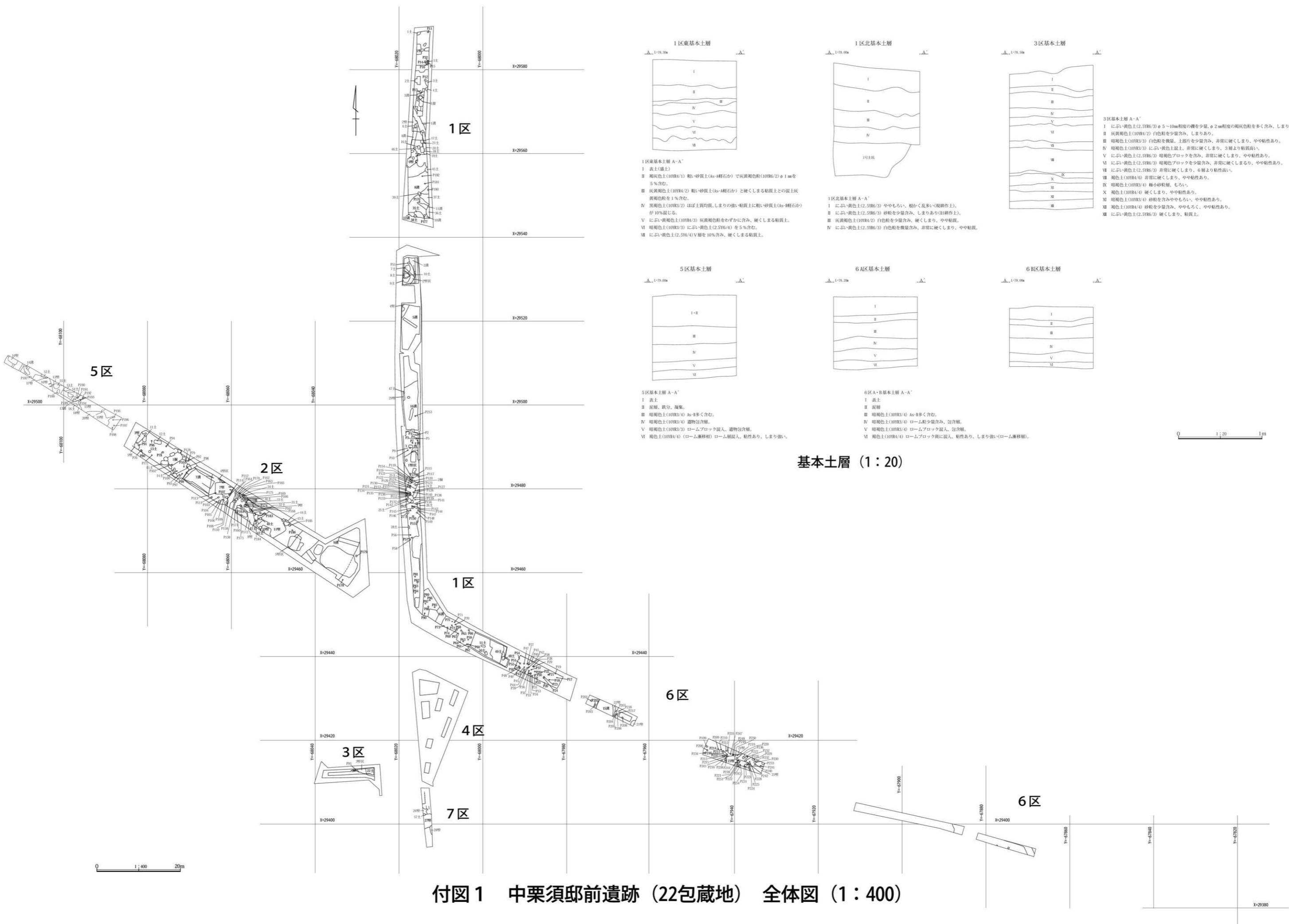
編集・発行／公益財團法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

〒377-8555 群馬県渋川市北橘町下箱田784番地2

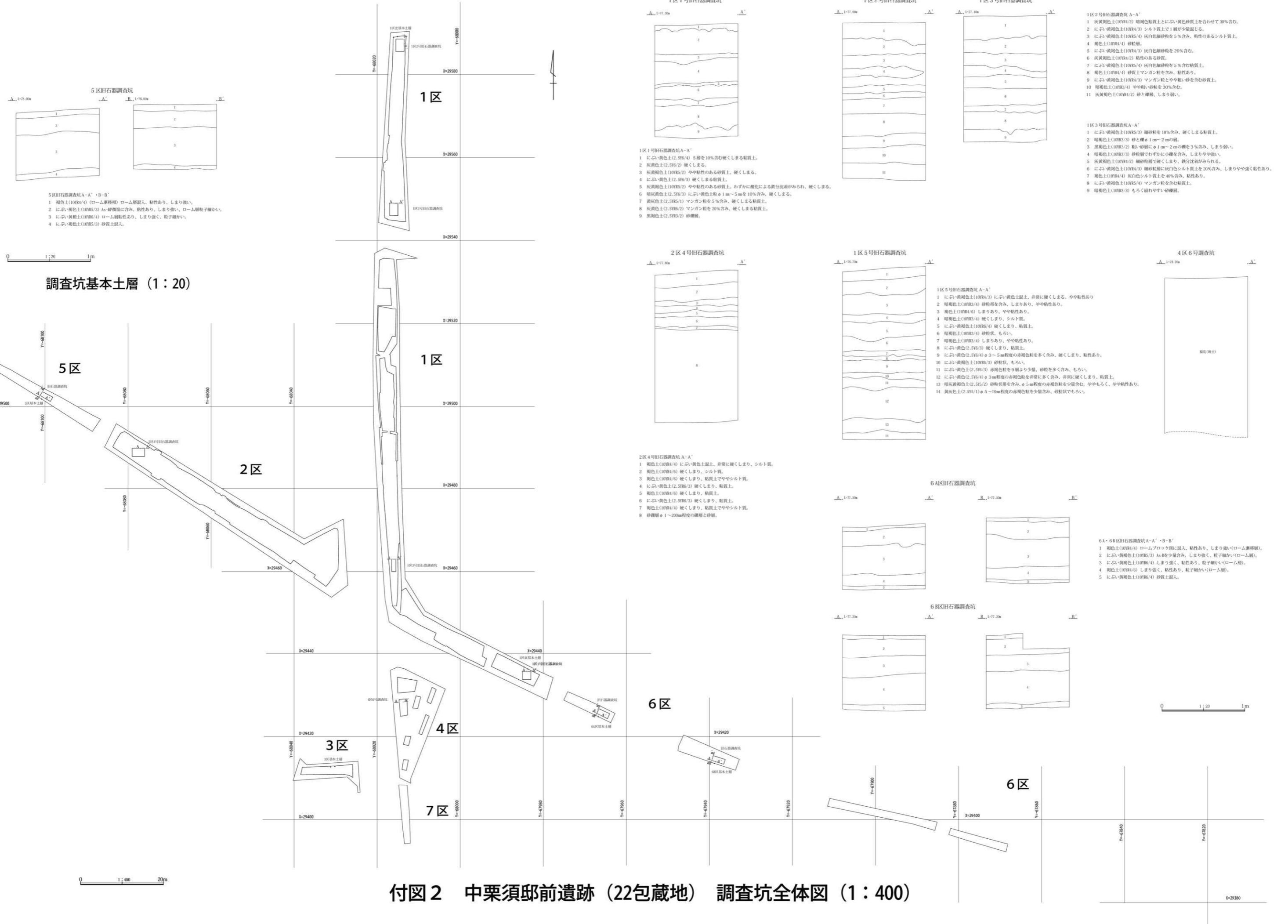
電話(0279)52-2511(代表)

ホームページアドレス <http://www.gummai bun.org/>

印刷／川島美術印刷株式会社



付図1 中栗須邸前遺跡（22包蔵地） 全体図（1：400）



付図2 中栗須邸前遺跡（22包蔵地） 調査坑全体図（1：400）